

ANNUAL REPORT

2011

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

The Niigata **Bandaijima** Art Museum

年報



目次

平成23年度の流れ	近代美術館	3
	万代島美術館	4
事業報告 展覧会	近代美術館	
	常設展 第1期 新潟洋画事始め	7
	子、娘、そして女	7
	第2期 Animal! Animal! Animal!	9
	ちひろの愛した画家たち	9
	グラフィックデザイナー 亀倉雄策	10
	第3期 難波田龍起・史男展	12
	奇想の風景	12
	第4期 近代美術館の名品	15
	植物図鑑	15
	亀倉コレクションの古刊本と李朝明画	16
	第5期 近代美術館の名品	18
	ささやかな日々	18
	企画展 県内コレクターによる秘蔵の日本画名品展	20
	いわさきちひろ展	25
	美の軌跡	31
	借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	33
	びじゅつのおそびば	41
	共催展 第66回新潟県美術展覧会長岡展	45
	JAGDA 新人賞展	45
	第42回新潟県ジュニア美術展覧会長岡展	46
	第14回新潟県立美術館友の会作品展	47
	万代島美術館	
	所蔵品展 画家のまなざし	48
	異国憧憬～あこがれの風景～	51
	企画展 いもとようこ絵本原画展	55
	藤城清治 光と影のシンフォニー	59
	クレーとカンディンスキーの時代	64
	新潟の画家たち～色と形を紡いで～	72
教育普及	近代美術館	
	巡回ミュージアム	77
	イベント	78
	刊行物	81
	作品解説会	82
	団体への解説	83
	学校教育との連携	84
	観覧料免除	86
	アートボランティア	87
	博物館実習	88
	万代島美術館	
	イベント	89
	刊行物	91
	作品解説会	91
	団体への解説	92
	学校教育との連携	92
	観覧料免除	94
	サポートメンバー	95
	博物館実習	96
調査・研究	近代美術館	97
	万代島美術館	99
収集・保存	作品の収集	平成23年度収集作品 100
	作品の保存	美術品の修復 104
	作品の貸出	美術品の貸出 104
管理・運営	開館及び入館状況	近代美術館 103
		万代島美術館 103
	講堂・ギャラリー等の貸出	近代美術館 110
	アンケート集計	近代美術館 111
		万代島美術館 111
	組織及び業務	115
	職員	115
施設	近代美術館	116
	万代島美術館	116
審議会等	美術館協議会	120
	美術品収集委員会	120
	新潟県立美術館友の会	121
沿革		127

平成 23 年度の流れ (新潟県立近代美術館)

4月	14日(木)	常設展第1期 「新潟洋画事始め」 「子、娘、そして女」 開会	
	23日(土)	企画展 「県内コレクターによる秘蔵の日本画名品展」 開会	
	24日(日)	ギャラリートーク 「コレクターの眼差し」 ①	
	29日(金)	ワークショップ 「美術館の舞台裏探検」	
5月	30日(土)	映画鑑賞会 「続・映画でみる昭和30年代の日本・ 家族の幸福 「夫婦編」	
	5日(木)	ワークショップ 「美術館の舞台裏探検」	
	7日(土)	ワークショップ 「掛軸の扱い方講座」	
	8日(日)	ギャラリートーク 「コレクターの眼差し」 ②	
	14日(土)	美術鑑賞講座 「日本画の見方～「秘蔵の日本画名品展」 を10倍楽しむ」	
	21日(土)	映画鑑賞会 「続・映画でみる昭和30年代の日本・ 家族の幸福 「夫婦編」	
6月	22日(日)	ギャラリートーク 「コレクターの眼差し」 ③	
	28日(土)	美術鑑賞講座 「新潟の洋画と彫刻 (戦前を中心に)」	
	5日(日)	企画展 「県内コレクターによる秘蔵の日本画名品展」 閉会	
	16日(木)	出前講座 「デザインで何？」 魚沼市立湯之谷中学校	
	18日(土)	出前講座 「つんでならべて、美術館の舞台裏探検」 上川西コミュニティセンタージュニア体験教室	
	22日(水)	出前講座 「マティスの切り絵に迫る」 長岡市立石坂小学校	
7月	28日(火)	出前講座 「つんでならべて、動物をえがく」 新発田市立七葉小学校	
	7日(木)	常設展第2期前期 「Animal! Animal! Animal!」 「ちひろの愛した画家たち」 開会	
	9日(土)	美術鑑賞講座 「描かれた Animal—花鳥画・動物画の世界」	
	13日(水)	出前講座 「つんでならべて」 上越市門前にこここ保育園	
	16日(土)	美術鑑賞講座 「ちひろの愛した画家たち」	
	23日(土)	企画展 「いわさきちひろ展」 開会 講演会 「母、ちひろが絵に込めた願い」 映画鑑賞会 「巴里祭」	
8月	24日(日)	出前講座 「つんでならべて、にじみの光のアート」 塩沢金城わかば児童館	
	26日(火)	上組小学校 第1回子ども学芸員作品解説会	
	31日(日)	ワークショップ 「楽しく描こう石ころアート」	
	5日(金)	上組小学校 第2回子ども学芸員作品解説会	
	7日(日)	ワークショップ 「まわれ！ ペットボトル風見鶏」 朗読会 「赤い蠟燭と人魚」 ほか 出前講座 「にじみで光のアート」 長岡市立北地域図書館	
	12日(金)	第4回子どもアートミュージアム (～8/18)	
9月	14日(土)	ワークショップ 「美術館の野外展示探検」 コンサート 「ちひろの愛した音楽」	
	20日(土)	映画鑑賞会 「イースター・パレード」 ボランティアによるえほんのおはなし会	
	21日(日)	ワークショップ 「にじみの美 ゆらり水彩の世界」	
	24日(水)	出前講座 「つんでならべて」 胎内市教育研究会図工部	
	28日(日)	企画展 「いわさきちひろ展」 閉会 出前講座 「にじみで光のアート」 長岡市 ちびっこ広場	
	30日(火)	常設展第2期後期 「グラフィックデザイナー 亀倉雄策」 開会	
10月	3日(土)	企画展 「美の軌跡 前川誠郎の美学」 開会 美術鑑賞講座 「国家有用の美術—フォンタネージと小山正太郎」	
	4日(日)	ワークショップ 「美術館の舞台裏探検」 「芸術百話」 上映 (「桃李の門」 「日本への返事」)	
	6日(火)	出前講座 「つんでならべて」 長岡市立大島小学校	
	11日(日)	ワークショップ 「美術館の名探偵」 美術鑑賞講座 「デューラーの旅」	
	12日(月)	出前講座 「マティスの切り絵に迫る」 小出特別支援学校ふれあいの丘分校	
	16日(金)	出前講座 「デザインで何？」 南魚沼市立五十沢中学校 キャンドルナイト	
11月	17日(土)	美術鑑賞講座 「モネとロダン—近代美術の革命者」	
	18日(日)	「芸術百話」 上映 (「嵐と黙示録」 「パトロンの言葉」)	
	22日(木)	出前講座 「にじみで光のアート」 長岡聾学校	
	1日(土)	美術鑑賞講座 「ジャポニスム—江戸への眼差し」	
	2日(日)	ワークショップ 「落ち葉のブローチ」 「芸術百話」 上映 (「ショパンとドラクロワ」 「モーツァルト とベートーベン」)	
	8日(土)	「芸術百話」 上映 (「版画の東西」 浮世絵① 「歌麿・北斎・広重」 浮世絵②)	
12月	10日(月)	企画展 「美の軌跡 前川誠郎の美学」 閉会	
	14日(金)	常設展第3期 「難波田龍起・史男展」 「奇想の風景」 開会	
	23日(日)	出前講座 「マティスの切り絵に迫る」 「にじみで光のアート」 十日町市立橋小学校	
	3日(木)	企画展 「借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展」 開会	
	5日(土)	種田陽平×武重洋二 トークセッション	
	6日(日)	ワークショップ 「クイズで探検小人の世界」	
1月	20日(日)	長岡少年少女合唱団ミニコンサート	
	3日(土)	室内楽ミニコンサート	
	29日(木)～ 31日(土)	年末の休館	
	1日(日)	年始の休館	
	14日(土)	常設展第4期 「近代美術館の名品」 「植物図鑑」 「亀倉 コレクションの古刊本と李朝民画」 開会	
	15日(日)	企画展 「借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展」 閉会	
2月	22日(日)	ワークショップ 「張り子でだるま」 ①	
	5日(日)	ワークショップ 「張り子でだるま」 ②	
	11日(土)	上組小学校 第3回子ども学芸員作品解説会	
	12日(日)	ワークショップ 「張り子でだるま」 ③	
	28日(火)	企画展 「びじゅつのあそびば」 開会	
	3日(土)	講演会 「児童画の世界をさぐる—わが子のよさや可能性が見える—」	
3月	4日(日)	ワークショップ 「名画の謎を解け！ クイズラリー」	
	14日(金)	常設展第5期 「近代美術館の名品」 「ささやかな日々」 開会	
	11日(日)	ワークショップ 「きんぴのびじゅつであそぼう」	
	18日(日)	ワークショップ 「体で表現 はい、ポーズ」	
	24日(土)	講演会 「アッシジの光—イタリア絵画のルーツを求めて—」	
	25日(日)	ワークショップ 「からだで気持ちを表すと…？」	

平成23年度の流れ (新潟県立万代島美術館)

4月	10日(日)	所蔵品展 「画家のまなざし スケッチ、構想、そして作品」閉会
	11日(月)～ 21日(木)	展示替えによる休館
	22日(金)	企画展「いもとようこ絵本原画展」開場式・開会
	22日(金)	「いもとようこサイン会」
	23日(土)	「いもとようこサイン会」
6月	4日(土)	美術鑑賞講座「美術家が描いた絵本」
	19日(日)	企画展「いもとようこ絵本原画展」閉会
	20日(月)～ 30日(木)	展示替えによる休館
7月	1日(金)	展示替えによる休館/ 企画展「藤城清治 光と影のシンフォニー」開場式
	2日(土)	企画展「藤城清治 光と影のシンフォニー」開会
	24日(日)	「藤城清治サイン会」
	6日(土)	ワークショップ 「みんなで描こう 光にかがやく希いの水玉」
8月	7日(日)	ワークショップ 「みんなで描こう 光にかがやく希いの水玉」
	13日(土)	「藤城清治ミニトークショー・サイン会」
	14日(日)	「藤城清治ミニトークショー・サイン会」
	28日(日)	「藤城清治ミニトークショー・サイン会」
9月	19日(月祝)	「藤城清治トークショー」「藤城清治サイン会」
10月	8日(土)	「藤城清治サイン会」
	9日(日)	「藤城清治サイン会」
	10日(月祝)	「藤城清治サイン会」/ 企画展「藤城清治 光と影のシンフォニー」閉会
	11日(火)～ 21日(金)	展示替えによる休館
	21日(金)	企画展「クレーとカンディンスキーの時代」開場式
11月	22日(土)	企画展「クレーとカンディンスキーの時代」開会
	23日(日)	講演会「クレーとカンディンスキーの時代」
	5日(土)	美術鑑賞講座 「世紀末のウィーン、ミュンヘン、ベルリン」
	19日(土)	美術鑑賞講座「バウハウス入門」
23日(水祝)	コンサート&トーク 「クレーとカンディンスキーに因んで」	

12月	11日(日)	企画展「クレーとカンディンスキーの時代」閉会	
	12日(月)～ 22日(木)	展示替えによる休館	
	22日(木)	企画展「新潟の画家たち」開場式	
	23日(金祝)	企画展「新潟の画家たち」開会	
	28日(水)～ 31日(土)	年末の休館	
1月	1日(日)～ 3日(火)	年始の休館	
	7日(土)	アーティスト・トーク (番場三雄氏)	
	8日(日)	講演会「色との対話」 (山田修市氏)	
	9日(月祝)	アーティスト・トーク (早津剛氏)	
	14日(土)	アーティスト・トーク (鈴木力氏)	
	15日(日)	トーク「絵具考」(柴田長俊氏)/ワークショップ 「スタンドグラスのプローチを作ろう」(加藤智之氏)	
	21日(土)	美術鑑賞講座 「所蔵品に親しむ① 亀倉雄策1960年代の仕事」	
	22日(日)	日本画実演 (齋藤満栄氏)	
	28日(土)	アーティスト・トーク (池山阿有氏)	
	29日(日)	アーティスト・トーク (猪爪彦一氏)	
2月	4日(土)	美術鑑賞講座 「所蔵品に親しむ② ギャラリートークの手法」	
	5日(日)	ワークショップ「色を織る」	
	12日(日)	アーティスト・トーク (坪谷幸作氏)	
	18日(土)	美術鑑賞講座「所蔵品に親しむ③ 描かれた風景」	
	19日(日)	企画展「新潟の画家たち」閉幕	
	20日(月)～ 29日(水)	展示替えによる休館	
	3月	1日(木)～ 2日(金)	展示替えによる休館
		3日(土)	所蔵品展「異国憧憬～あこがれの風景～」開会 美術鑑賞講座「来日した外国の美術家たち」
17日(土)		美術鑑賞講座「異国へ渡った日本人画家たち」	

事業報告



常設展



【趣旨】

当館の所蔵品による展示。本年度は各期毎に複数のテーマを設け作品を選定し展示した。また、併せて遠来の来館者にも応えられるように当館の名品を展示する場も設けた。

【観覧料】

- 一般……………410円 (330円)
- 大学・高校生……………200円 (160円)
- 中学生以下無料

※ () 内は20名以上の団体料金

※ 企画展観覧券で観覧可



第1期 2011年4月14日(木)～7月3日(日)(71日間)

前期：4月14日(木)～5月29日(日)

後期：5月31日(火)～7月3日(日)

展示室1・2 新潟洋画事始め

展示室3 子、娘、そして女

新潟洋画事始め

—小山正太郎から阿部展也まで

【趣旨】

「新潟洋画事始め」展では、とりわけ戦前に活躍した新潟出身・在住の画家が制作した「洋画」の作品を中心に展示した。

岡倉天心との「書は美術ならず」論争で知られる小山正太郎や高村真夫、そして安宅安五郎ら新潟出身の作家が東京で活躍し始めると、新潟でも洋画家をめざして東京に向かったり、あるいは東京で出版された美術雑誌に掲載された複製画をもとに独学で洋画を始めたり、グループを結成する作家たちも登場してくる。

そして1930年には、安宅安五郎や諸橋政範らが発起人となって、いわゆる「旧・県展」が開催されることとなる。新潟師範学校の美術の教員であった諸橋は、教え子たちにこの「県展」への出品を積極的に勧めており、また「県展」から小野末や笹岡一ら新世代の作家がデビューした。

今回の展示では、当館の所蔵品の中から、小山正太郎から阿部展也までに至る新潟の洋画の流れを追うとともに、同時期に活躍した新潟ゆかりの彫刻家の作品もあわせて紹介した。

【総括】

●評価すべき点

地元ゆかりの作家を顕彰するという意味だけではなく、平成21年度に開催した「油絵事始め」のいわばローカル版という性格をもたせることができた。「中央」で発展していった「洋画」がどのように地方に伝播していくかを、当時の美術雑誌や教育機関の調査によって、具体的に示すことができた。

●検討課題

三輪大次郎や鈴木良治ら、活動の詳細についていまだによく分かっていない作家もいるが、本来ならばこの展覧会をきっかけにして本格的な調査を進めるべきであった。

【関連記事】

●新聞

6月15日(水) 新潟日報 あーとびっくす／高 晟俊

担当 高 晟俊

子、娘、そして女

【趣旨】

子どもから少女、そして成人へと成長する女性の姿を、当館コレクションから辿っていく。

【総括】

●評価すべき点

成長の過程が鋭く捉えられた作品を展示し、女性の一生を辿ることができる展示となった。

●検討課題

「コレクション展のすすめ」を作成し、企画展未実施期間の観客増を試みたが、その効果が十分であったとは言えなかった。

担当 野村宏毅

【出品リスト】
展示室 1・2

作家名	作品名	制作年
小山 正太郎	仙台の桜	1881
小山 正太郎	男の肖像	不明
三輪 大次郎	睡蓮の沼	不明
三輪 大次郎	米を洗う女	不明
三輪 大次郎	高原の朝	不明
三輪 大次郎	秋の森	不明
三輪 大次郎	苺	不明
高村 真夫	春日野	1911
高村 真夫	ラバクール村	c1915
高村 真夫	裸婦	1921
相馬 其一	フランス郊外	1931
相馬 其一	雪景色	1934
安宅 安五郎	群蝶	1926
安宅 安五郎	伊太利亚アッシジ	1922
安宅 安五郎	巴里郊外ムードン	1922
安宅 安五郎	川田啓一郎氏像	1954
安宅 安五郎	寺	c1940
安宅 安五郎	山と畑	c1940
安宅 安五郎	野尻湖外人別荘	不明
安宅 安五郎	明治神宮外苑	c1940
安宅 安五郎	越後六拾景図：新潟異人池天主教会	1939-53 前期
安宅 安五郎	越後六拾景図：新潟祝園	1939-53 後期
安宅 安五郎	越後六拾景図：新潟白山神社	1939-53 前期
安宅 安五郎	越後六拾景図：沼垂	1939-53 後期
鈴木 良治	つれづれ	1928
牧野 虎雄	妻扱く農婦等	1918
牧野 虎雄	ザンルーム	1929
諸橋 政範	潮風	1937
佐藤 哲三郎	裸婦	1930
佐藤 哲三郎	鍵雷三作像	不明
清水 敦次郎	若草山	1943
矢部 友衛	習作	1920
矢部 友衛	裸婦	1932
矢部 友衛	アメリカの農村	1940
矢部 友衛	茶刈-静岡県下-	1960
宮 芳平	カーテンに	c1914
宮 芳平	きざはし	1959
佐藤 三郎	フォントノワ	1929
佐藤 三郎	バリ郊外	1927-28
佐藤 三郎	バリ郊外	1927-28
吉原 義彦	柏木平附近	1934
柏森 義	織女の家路	1971
安宅 庸雄	子守と幼児	1935
布川 勝三	蒲原風景	1976
千原 三郎	水中花	1952
荒井 一郎	山川の春	1962
富樫 寅平	農家	1943
笹岡 了一	ウィリアム物語	1978
竹谷 富士雄	壺つくりの女	1940
水島 清	地上	1959
桂 重英	晩秋奥上高地	1982
田代 修一	プラントのある風景	1986
新保 兵次郎	エッフェル塔	1955
鳥居 敏文	草の上	1963
峰村 リツ子	桜井浜江像	1930
末松 正樹	歷程	1963
佐藤 吉五郎	花野	1969
佐藤 哲三	瓦焼場風景	1928
佐藤 哲三	郵便脚夫宮下君	1931

佐藤 哲三	農村託児所	1934
佐藤 哲三	柿を持つ女	1934
佐藤 哲三	越後の秋	1937
佐藤 哲三	帰路	1954
三芳 悌吉	パラシュート制作工場 (東京藤倉無線)	1945
三芳 悌吉	歯車の廃墟	1950
三芳 悌吉	踏切	1951
小野 木	夏の街(街景)	1949
上野 省策	いすこえ	1975
関屋 俊彦	いか釣りの船	1990
桑原 実	断絶の子ら	1969
丸山 正三	斜陽	1974
阿部 展也	作品	1949
阿部 展也	太郎	1949
羽下 修三	軽羅	1954
戸張 幸男	片隅の男	1955
武石 弘三郎	母	1917 ロビー
千野 茂	F嬢	1970 ロビー

展示室 3

作家名	作品名	制作年	備考
香場 春雄	雪に遊ぶ	1935	前期
鶴巻 三郎	おり鶴	1972	後期
土田 麦僮	画帳「春」より 子供6	1920	後期
土田 麦僮	画帳「春」より 子供1	1920	後期
安宅 安五郎	姉弟	1931	
牧野 虎雄	秋近き濱	1934	
佐藤 哲三	稲	1941	
細野 稔人	鳥と少女	1976	
J.E.ミレイ	アリス・グレイの肖像	1859	
小山 正太郎	婦人	1891	
中澤 茂	炎天下に立つ乙女	1972	
路谷 虹児	花火	1952	前期
路谷 虹児	阿蘭陀船	1969	後期
安井 曾太郎	読書	1942	
北村 四海	すみれ	1920	
M.ドニ	夕映えの中のマルト	1892	
広川 青五	'01「スペース・XⅢ」	2001	前期
青山 巨幹	夏	1998	後期

第2期 2011年7月7日(木)～10月10日(月)(88日間)

前期：7月7日(木)～8月28日(日)

後期：8月30日(火)～10月10日(月)

展示室1・2 Animal! Animal! Animal!

展示室3 前期 ちひろの愛した画家たち

後期 グラフィックデザイナー亀倉雄策

Animal! Animal! Animal!

【趣旨】

人間と動物のつながりは深く長い。自分たちとは異なる姿、能力をもつ動物を、古くから人間はおそれ敬い、神秘的な存在として宗教的、象徴的なイメージを託してきた。また、作家のするどい観察力や豊かな想像力は、伝統的テーマにとどまることなく、動物をめぐる多様な表現を生み出していった。本展では、人間にとって身近な存在である動物をモチーフとした作品をテーマごとに紹介。第1室では、伝統的テーマである花鳥画や、物語の中で、ときに人間のように振る舞いながら何かを表す動物たちを、第2室では古くから人間と関わり合い、人間の営みを支えてきた身近な動物たちや、想像上の動物たちの姿を紹介した。

【総括】

●評価すべき点

会期中夏休みを挟むことから、子どもでも親しみやすいテーマを設定。夏休み期間中はクイズシート「かくれた動物たちをさがせ」を会場に設置し、家族連れのグループを中心に参加する姿が見られ好評だった。また、「動物」という汎用性のあるテーマであることから、これまであまり展示機会がなかった所蔵作品を紹介することができた。

●検討課題

コレクション展の来場者はその時開催している企画展に左右されやすい。コレクション展の魅力を伝える手立てを引き続き考えていく必要がある。また、今回はクイズシートを作成したが、来場者の鑑賞を促すような仕掛けを、コレクション展でも必要に応じて用いていきたい。

担当 伊澤朋美、松矢国憲

ちひろの愛した画家たち

【趣旨】

企画展「いわさきちひろ展」にあわせ、生前ちひろが敬愛していた画家や師事していた画家や、少女時代に強く感銘を受けた展覧会で見た画家の作品を紹介した。

【総括】

●評価すべき点

展示している作家ごとに、いわさきちひろとの関連をキャプションで解説した。そのことにより、ちひろと展示作家とのつながりがわかるようになってきた。

また、マリー・ローランサンについては、長岡市立中央図書館より『マリイ・ロオランサン詩画集』を借用でき、関係機関と連携した展示をすることができた。

さらに、次回の「グラフィックデザイナー亀倉雄策」につながる作品も紹介することができた。

●検討課題

当館の所蔵作品から選んだため、ケーテ・コルヴィッツの作品が多くなってしまった。そのコルヴィッツ作品も、次の企画展「美の軌跡」と重なるため、全作品を展示できなかった。

担当 佐藤克己

グラフィックデザイナー 亀倉雄策

【趣旨】

アートボランティアが整理している亀倉雄策資料の整理の成果を紹介するとともに、亀倉雄策がアートディレクションしたポスターに込めた思いを伝える。

【総括】

●評価すべき点

アートボランティアが整理したことにより、NTTトレードマークロゴタイプを6種類展示することができた。

また、同じくアートボランティアの整理により、安比スキー場の全般に亀倉雄策が関わっていたことも展示することができた。

さらに、ポスター制作にその写真家やイラストレーターを起用した意図を、亀倉や関係者の証言から紹介することもできた。

●検討課題

展示段階で、亀倉雄策関係資料は整理が5分の2程度しか終わっておらず、今回は一部の紹介にとどまってしまった。できるだけ早く全資料の整理を完了させ、来館者に紹介したい。

担当 佐藤克己

【出品リスト】

展示室1

作家名	作品名	制作年
あらわすアニマル 花鳥 物語の中の動物たち		
〈全会期〉		
加山 又造	月と駱駝	1957
加山 又造	白い華	1995
山崎 隆夫	茄子	1990
竹内 浩一	降	2000
中野 嘉之	生命の賛歌-鹿(白月)	2000
中野 嘉之	生命の賛歌-鹿(黒月)	2000
山口 薫	林と動物	1958
金井 二郎	海の詩	2002
モーリス・ドニ	ベンガル虎 バッカス祭	1920
〈前期〉		
五十嵐 浚明	中国武将図屏風(右隻) 不明	
竹内 蘆風	極彩色孔雀之図	1926
瀧 和亭	着色牡丹孔雀之図	1857
石塚 仙堂	鷹	不明
尾竹 国親	瓢箪から駒	昭和初期
石橋 犀水	中原逐鹿	1987
土田 麦僊	山茶花	大正中期
〈後期〉		
佐々木 林風	柳におしどり	昭和初期
今尾 景年	松桜小禽図	明治-大正期
竹内 栖鳳	秋陽	1926
荒木 十畝	月下飛雁	c1936
尾竹 越堂	桃太郎	1922
小川 芋銭	仙洞叱羊の図	延暦-醍醐
小山 正太郎	牧童図	不明

人まねするアニマル 擬人化された動物たち

〈前期〉		
フランク・デュ・ポワ	カプリチョス37 弟の方が物知なのだらうか	1788
フランク・デュ・ポワ	カプリチョス39 祖母の代まで	1788
フランク・デュ・ポワ	カプリチョス41 どっちもどっち	1788
〈後期〉		
フランク・デュ・ポワ	カプリチョス38 ブラボー	1788
フランク・デュ・ポワ	カプリチョス40 何の病気で死ぬのだらう	1788
フランク・デュ・ポワ	カプリチョス42 お前も苦労だらうけど	1788

展示室2

■いろいろなアニマル 身近な動物たち

〈前期〉		
猪熊 弦一郎	犬とネクタイ	1991
竹谷 富士雄	家族	1952
峰村 リツ子	猫と裸婦	1988
宮田 藍堂(二代)	鐘型鍔柄ひねり-罌置物	1976
小野 末	闘牛場(潮騒C)	1977
林 功	綱引き	1998
村山 径	陽	1975
マリノ・マリニ	馬	1953
マリノ・マリニ	騎手のための構想・習作	1955
佐々木象堂	鍍金色絵罌置物	1940
山本 自炉	鍍銅罌置物	1940
三輪 晃勢	トキ	1963
三輪 晃勢	朱いトキ	1977

栢森 義	夜の徘徊者と雪女	1977
脇田 和	あらそい	1955
福岡 奉彦	羽音	1993
不詳	デコイ(11点組)	不明
三輪 晃勢	滄海	1968
栢森 琢也	生動	1976
〈前期〉		
ジュール・シャデル	オーヴェルニュのガチョウの番人	1900
坂本 繁二郎	牛	1915
加山 又造	馬	1957
広川 操一	習志野の朝	1939
福岡 奉彦	海と鳥	1991
三芳 悌吉	川とさかなたち2	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち4	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち6	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち8	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち10	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち12	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち14	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち16	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち18	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち20	1983
〈後期〉		
ジャン・グーラット	赤いトチの木No.2	1927
佐藤 哲三	瓦焼場風景	1928
村山 径	月雲	1967
広川 操一	阿佛尼	1940
マックス・エルスト	喜びの鳥	1971
三芳 悌吉	川とさかなたち3	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち5	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち7	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち9	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち11	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち13	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち15	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち17	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち19	1983
三芳 悌吉	川とさかなたち21	1983

■ふしぎなアニマル 想像上の動物たち

津田 信夫	鍍銅鳳凰置物	1940
宮城 輝夫	好色の鳥	1965
田畔 司郎	はりこ	1964

ロビー

岩川 義雄	山羊	1951
明田川 孝	若き蒙古	1938

展示室3 前期

作家名	作品名	制作年
中谷 泰	晩秋	不明
K.コルヴィッツ	自画像	1904
	「現代ドイツ版画家集」 自画像	1920
	母と二人の子	1932-36
	インスピレーション	1905
	「戦争シリーズ」	1922-23
	1. 犠牲	
	2. 志願兵	
	3. 両親	
	4. 未亡人1	
	5. 未亡人2	
	6. 母親	
	7. 群衆	
	「農民戦争シリーズ」	1903-07
	2. 凌辱	
	3. 大鎌	
	4. 地下室で武器を取れ	
	7. 囚人	
P.ボナール	「パリ生活の諸相」	1895-99
	10. 劇場にて	
	11. 街路、夕暮れ、雨	
	12. 凱旋門	
	13. 上方から見た街角	
V.ゴッホ	長い棒を持つ農婦	1885
G.ルオー	晩秋 No.3	1943
	クラウン	不明 *
	「ミセレーレ」	1926 *
岡本 帰一	52. 法は過酷、されど法	1914
	「現代の洋画(版画号)」第23号 静物	1914
	「現代の洋画(版画号)」第23号 夕の街路	1914
	「現代の洋画(版画号)」第23号 風景	1914
亀倉 雄策	「現代の洋画(版画号)」第23号 N.Oの肖像	不明
亀倉 雄策	エイスチュウインガム	不明
M.ローランサン	スリーカメラヤチューインガム	1936
	マリイ・ロオランサン詩画集	

*印は個人蔵

展示室3 後期

作家名	作品名	制作年
亀倉雄策	東京オリンピックシンボルマーク	1961
	東京オリンピック・陸上	1962
	東京オリンピック・水泳	1963
	東京オリンピック公式ポスター	1964
	EXPO'70 日本の祭	1969
	ヒロシマアビーズ1983	1983
	フランス革命200年祭	1988
	NTTトレードマークロゴタイプ	1985
	NTTトレードマークロゴタイプ候補作	c1985
	万座スキー場	1967
	苗場スキー場	1967
	万座スキー場	1968
	苗場スキー場	1968
	札幌オリンピック・ジャンプ	196
	札幌オリンピック・フィギュアスケート	1970
	APPI	1995
	APPIスキー場'96	1995
	安比スキー場資料	c1982
	安比スキー場アメニティグッズ	c1982
	小賀坂スキー K&V	1974
	小賀坂スキー Unity	1978
	小賀坂スキー silica	1980
	ノエビアイメージポスター 1987年春	1987
	ノエビアイメージポスター 1987年夏	1987
	ノエビアイメージポスター 1987年秋	1987
	ノエビアイメージポスター 1987年冬	1987
	ノエビアイメージポスター 1996年春	1996
	ノエビアイメージポスター 1996年夏	1996
	ノエビアイメージポスター 1996年秋	1996
	ノエビアイメージポスター 1996年冬	1996
亀倉雄策没後10年記念展実行委員会	亀倉雄策没後10年記念展IN安比	2007
冬樹社	スキージャーナル創刊号	1966
企画：東芝EMI・ドリーミュージック	ノエビアCMヒット!	2003
発売：ドリーミュージック	コスメティッカルネッサンス	

第3期 2011年10月14日(金)～2012年1月9日(月)・祝(81日間)

前期：10月14日(金)～12月5日(月)

後期：12月8日(木)～2012年1月9日(月)・祝

展示室1・2 難波田龍起・史男展

展示室3 奇想の風景

難波田龍起・史男展

【趣旨】

戦後日本における抽象絵画の推進者であった難波田龍起は、1950年代にアンフォルメル的手法を取り入れ、やがて独自の抽象表現を確立、92歳で没した。次男・難波田史男は、即興的な線で自己の繊細な内面世界を描き、32歳の若さで事故死した。

質量ともに優れた難波田父子作品を所蔵していた相澤美術館は1989年開館、95年には別館を増設して海の見える3階に難波田史男記念室を開室したが、04年閉館となり、その収集品は当館に寄贈された。龍起作品は1950年代～晩年まで、史男作品は活躍した10数年間の初期～没年までを網羅している。本展では相澤コレクションの難波田父子作品の大半を展示し、それぞれが内面に秘めたイメージを抽象絵画にどう結実させたかをたどる内容とした。

【総括】

●評価すべき点

初めて相澤コレクションの難波田父子作品の大半をまとめて公開し、作品本位・作家本位の展示ができた。同時開催のアリエッティ展から常設展に入場した来館者割合は1割程度で、普段より極端に少なかったが、母数が17万人のため、結果的に多数の入場者に恵まれた。思いがけず常設展がよかったとの感想も少数ながら見られた。「この展覧会の楽しみ方」のパネルや作家の詩など、鑑賞の助けとなる必要最小限の文字情報を提供したが、アンケート結果によれば、作家の詩の掲示が好評であった。

●検討課題

アンケート結果では、常設展への無関心が目立ち、作品解説会も、アリエッティ展会期中10回の土曜日のうち6回が参加者ゼロであった。アリエッティ展来場者を当館リピーターにしていくなかを示している。企画展・常設展の組合せにも問題があり、抽象絵画というテーマやシンプルな展示方法にわかりにくさを感じた来場者も多かった。わかりやすい展示を目指しつつ、展示室を乱雑にしない工夫について、さらなる研究が必要である。

【関連記事】

●新聞

10月26日(水) 新潟日報 あーとびっくす／長嶋圭哉

担当 長嶋圭哉、伊澤明美

奇想の風景

【趣旨】

「奇想」にはなみなみでは思いつかない考えや奇抜な考えという意味がある。本展では所蔵作品の中から、「奇想」の観点で様々な分野から作品を紹介した。中でも素描や版画作品は、初めて展示する作品も含んでいる。また、全ての作品について、「奇想」の視線で作品解説を新たに制作し、通常の鑑賞ポイントとは異なる視点を提供し、所蔵作品の新たな魅力を提示する展示を心掛けた。

【総括】

●評価すべき点

当館の所蔵作品の中でも単独ではなかなか出ず機会の少ない作品を数多く展示することで、当館所蔵作品の幅の広さをアピールすることができた。また、アンケートでも総体的に評価が高く、新たに制作した作品解説も分かりやすいという感想が多かった。

●検討課題

本展は第3展示室で開催したためコンパクトに、わかり易くまとめることができたが、今後、大きな作品も加えて第2展示室で開催することも考えると、散漫にならず、また鑑賞し易い方法論が必要となる。

担当 藤田裕彦

【出品リスト】

展示室 1 難波田龍起		
作家名	作品名	制作年
【全会期】		
難波田龍起	森の詩	1960
	針金のコラージュ	1989
	鉄片のコラージュ	1990
【前期】		
難波田龍起	人と自然 9	1989
	線の遊び A	1954
	線の遊び B	1954
	線の遊び C	1954
	線の遊び D	1954
	線の遊び E	1954
	三角と円 B	1957
	流動する形象	1962
	心象的形象	1972
	空の時間 C	1978
	幽暗	1982
	原始形象 A	1982
	人	1983
	かたまり	1983
	街の印象	1983
	群像	1984
	蒼	1985
	夏の朝	1987
	幻想	1987
	秋	1987
	石窟のなかの時間	1988
	青い群像	1988
	人と自然 1	1989
	人と自然 2	1989
	人と自然 3	1989
	人と自然 4	1989
	海の時間	1983
	立像	1985
	怪奇な夢	1985
	線のプレリュード A	1994
【後期】		
難波田龍起	人と自然 10	1989
	線の遊び F	1954
	線の遊び G	1954
	線の遊び H	1954
	線の遊び I	1954
	丘の家々	1954
	三角と円 A	1957
	構成	1976
	空の時間 B	1978
	展開	1982
	原始形象 B	1982
	形象	1983
	凝集	1984
	明るい日	1984
	立像	1984
	生	1985
	風景	1985
	形象	1987
	かたち	1987
	水のある風景	1987
	静思	1989
	人と自然 5	1989
	人と自然 6	1989

	人と自然 7	1989
	人と自然 8	1989
	古代的幻想	1985
	集合体	1991
	生命体	1991
	線のプレリュード C	1994
	線のエチュード C	1994

展示室 2 難波田史男		
【前期】		
難波田史男	鳥	1961
	無題	1961
	レジスタンスの日々	1962
	無題	1962
	無題	1962
	無題	1963
	デッサン	1963
	デッサン	1963
	デッサン	1963
	デッサン	1963
	デッサン	1963
	デッサン	1964
	彩色画 いってまいります	1965
	彩色画	1965
	デッサン	1966
	海底電線	1967
	デッサン	1967
	デッサン	1967
	覚書	1967
	哲学者	1967
	無題	1967
	無題	1968
	花の精のおどり	1968
	デッサン	1968
	彩色画	1969
	無題	1970
	白い太陽	1970
	彩色画	1970
	デッサン	1970
	涙の湖	1971
	無題	1971
	無題	1971
	無題	1971
	無題	1971
	詩人の空	1971
	無題	1971
	デッサン	1971
	デッサン	1971
	無題	1972
	無題	1973
	無題	1973
	彩色画	1973
	無題	1973
	無題	1973
	無題	1974
	無題	1974
	ある日の幻想 作品 1	1963
	ある日の幻想 作品 2	1963
	ある日の幻想 作品 3	1963
	ある日の幻想 作品 4	1963
	ある日の幻想 作品 5	1963
	ある日の幻想 作品 6	1963
	ある日の幻想 作品 7	1969-70

	ある日の幻想 作品 8	1969-70
	ある日の幻想 作品 9	1969-70
	ある日の幻想 作品 10	1969-70
	ある日の幻想 作品 11	1969-70
	ある日の幻想 作品 12	1971-73
	ある日の幻想 作品 13	1971-72
	ある日の幻想 作品 14	1973
	ある日の幻想 作品 15	1973
	ある日の幻想 作品 16	1973
	ある日の幻想 作品 17	1973
	ある日の幻想 作品 18	1971-73

【後期】		
難波田史男	無題	1961
	デッサン	1961
	無題	1962
	無題	1962
	無題	1962
	無題	1962
	デッサン	1963
	デッサン	1963
	デッサン	1963
	デッサン	1963
	デッサン	1963
	彩色画	1965
	デッサン	1966
	デッサン	1966
	デッサン	1966
	夏の川とボート	1967
	少年と海の神話	1967
	無題	1967
	冬の日	1967
	無題	1968
	デッサン	1968
	桜の散る頃	1968
	デッサン	1968
	デッサン	1968
	無題	1969
	無題	1970
	湖底	1970
	デッサン	1970
	無題	1971
	無題	1971
	無題	1971
	無題	1971
	無題	1971
	彩色画	1971
	デッサン	1971
	無題	1972
	無題	1972
	無題	1972
	星空に立つ	1973
	無題	1973
	山なみ	1973
	海の朝	1973
	白い月	1973
	円と線	1973
	無題	1974
	ある日の幻想 作品 19	1971-73
	ある日の幻想 作品 20	1971-73
	ある日の幻想 作品 21	1971-73
	ある日の幻想 作品 22	1971-73
	ある日の幻想 作品 23	1971-73
	ある日の幻想 作品 24	1971-73

	ある日の幻想 作品 25	1973
	ある日の幻想 作品 26	1973
	ある日の幻想 作品 27	1973
	ある日の幻想 作品 28	1973
	ある日の幻想 作品 29	1971-73
	ある日の幻想 作品 30	1971-73
	ある日の幻想 作品 31	1971-73
	ある日の幻想 作品 32	1972
	ある日の幻想 作品 33	1971-73
	ある日の幻想 作品 34	1973
	ある日の幻想 作品 35	1973
	ある日の幻想 作品 36	1973

その他の展示室内作品

【全会期】			
市橋 敏雄	朱銅花器	森の詩	1982
明田川 孝	群像		1955
有元 利夫	無題		1984
有元 利夫	無題		1983

展示室3

作家名	作品名	制作年
〈全会期〉		
市橋太郎	M792	1979
金昌烈	水滴	1974
秋山さやか	あるく 私の生活基本形 千秋・長岡	2009
新保兵次郎	窓辺	不明
峰村リツ子	日本橋風景	1929
長谷川利行	風景	1931
三芳悌吉	オルガンの上	1977
伊藤豊	陶板画・雪山松籟	1973
八木一夫	環境の表裏	1967
高松次郎	カギ #223	1968
斎藤義重	"反対象"対角線	1967
〈前期〉		
萬鉄五郎	湖山遊舟図	1920s
牛島憲之	水門	不明
浜口陽三	レモンとさくらんぼ	1959
浜田知明	ボス	1980
河内成幸	桂XI	1984
加山又造	白菜と小鳥	1961
堺時雄	哲学	1920
堺時雄	修道院の壁	1920
蕪木研爾	流水〈オホーツク〉作品 1979-I	1979
	流水〈オホーツク〉作品 1979-II	1979
	流水〈オホーツク〉作品 1980-I	1980
	流水〈オホーツク〉作品 1980-II	1980
	流水〈オホーツク〉作品 1979-III	1979
	流水〈オホーツク〉作品 1979-IV	1979
横山操	MADO (窓)	1960
〈後期〉		
鍋木清方	海辺間鹿	1942
鍋木清方	曲亭翁像	1941
土田麦僊	鮭之図	1924
浜口陽三	ざくろ	1975
野見山既治	みんな嘘	1993
	誰も知らない	1993
	ホントのこと	1993
	ドジな約束	1993
	なかい日	1993
堺時雄	シルエット	1929
堺時雄	不詳・婦人像・横顔	1920
蕪木研爾	樹氷〈奥飛騨〉作品 1985	1985
	樹氷〈奥飛騨〉作品 1985-2	1985
	樹氷〈奥飛騨〉作品 1986-1	1985
	樹氷〈奥飛騨〉作品 1986-1 ver.2	1985
	樹氷〈奥飛騨〉作品 1986-1 ver.3	1985

ロビー等の館内展示

【全会期】		
上野省策	いすこえ	1975
上野省策	からすの群	1976
北村四海	すみれ	1920頃

第4期 2012年1月14日(土)～2月26日(日)(38日間)

展示室1 近代美術館の名品
展示室2 植物図鑑
展示室3 亀倉コレクションの古刊本と李朝民画

近代美術館の名品

【趣旨】

今年度より、常設展の会場内では必ず一部屋はいわゆる「名品」を展示する方針にした。これまでは何かテーマを設定してそれに沿った展示をしてきたが、その場合、常に新しい切り口で作品を見せられるメリットはあるものの、観光等で遠隔地から当館を訪問した観覧客に対しては、当館のコレクションの中の代表作を必ずしも鑑賞できないということにもなりかねなかった。そのため、当館のコレクションを代表する作品を、第1展示室にまとめて展示することにした。

【総括】

- 評価すべき点
当館のコレクションを代表する作品のみならず、前年度の新収蔵作品を披露する場ともなった。とりわけ、土田麦僊の「近熊次郎宛書簡」を解説とともにまとめて展示することができた。
- 検討課題
万代島美術館での「異国憧憬」展とかちあったため、日本洋画の代表作は満谷国四郎作品と藤田嗣治作品の2点しか展示することができなかった。

担当 高 晟俊

植物図鑑

【趣旨】

古来、人間の生活をさまざまな場面で彩ってきた植物に着眼して展示した。死者に花を手向けた歴史は人類の祖先にまでさかのぼり、絵画に描かれてきた歴史も古い。大きく「木・樹」「花・華」「実・種」の三部構成とし、植物の諸相のさまざまな表現を紹介する一方、竹工芸、木彫、漆など素材としての植物に着目したり、花の表現に見る東西の自然観の違いを比較したりするなど、植物と人間との関係に思いを至らせるコーナーを挿入した。見て美しく、また誰にも身近で親しみやすい植物の表現を通しながらも、科学の進歩により劇的に変化しつつある人間と自然との関係を再考する機会となるよう試みた。

【総括】

- 評価すべき点
主題となる植物を極力具体的に取り上げ、その植物の特性、栽培・用法の歴史や、図像学的意味など、辞書的な情報もパネル化して展示、また植物にまつわる慣用句などもちりばめて主題の文化的背景が知らず知らずに理解されるように工夫した。日頃美術に関心が低くても、園芸愛好家などにとって無理なく親しめる切り口となった。あわせてリングラフによる簡易チラシを市内の花屋などに配布して誘客を試みた。また展示の最後に亀倉雄策旧蔵の『フロアの神殿』を展示することにより、隣室の展示へとつなげた。
- 検討課題
木彫作品については材質が特定できていないものも多く、今後さらなる調査が求められる。
植物というテーマから、春・夏のうちにフィールドワークを通じた現実の植物の観察と、絵画での描かれ方を比較してみるワークショップを構想していたが、実現できなかった。同時期に企画展示室で開催のジュニア展来場者を呼び込めるよう、常設展のスタンプカードも試みたが、思うような効果があがらなかった。子どもをターゲットとした鑑賞の指導の工夫、アプローチについては、展覧会と並行して館を挙げて取り組む必要がある。

【関連記事】

- 新聞
2012年2月6日 新潟日報 文化欄／荒井直美

担当 荒井直美

亀倉コレクションの古刊本と 李朝民画

【趣 旨】

亀倉雄策は、新潟県西蒲原郡吉田町（現・燕市）出身のグラフィック・デザイナーで、昭和のデザイン界を代表する人物であった。亀倉はまさに国家の一大行事から我々の身近な暮らしのデザインまで幅広く手がけ、日本においてはまだその概念が希薄であったグラフィック・デザインの世界を確固たるものとした。

そのようなデザインの仕事の一方、亀倉は数多くの美術作品を収集していたことでも知られている。亀倉の没後、ご遺族から新潟県に寄贈され当館に収蔵されたこの「亀倉コレクション」は総数281件にもなる。今回の常設展では、これまで当館ではあまり紹介されてこなかった朝鮮民画や挿絵入り図鑑本、そしてロシア・アイコンの作品をまとめて紹介した。

【総 括】

●評価すべき点

これまで未整理で、作品タイトルすら確定していなかった、亀倉コレクションの李朝民画や図鑑本を、本展覧会をきっかけに調査することができ、所蔵品データベース等にも反映させることができた。また、やはり未整理であった亀倉による『李朝の民画』（講談社刊）のブックデザインのラフスケッチなどを、併せて紹介することができた。

さらに、ポスター制作にその写真家やイラストレーターを起用した意図を、亀倉や関係者の証言から紹介することもできた。

●検討課題

亀倉コレクションはいまだ未整理のものが多く、これからも継続して調査を進めていくべきことを、改めて感じた。

【関連記事】

●新聞

2012年1月17日(火) 新潟日報 文化欄/高 晟俊

担当 高 晟俊

【出品リスト】

展示室1

作家名	作品名	制作年
【全会期】		
中島 萬木	長岡悠久山の松林	1971
竹内 蘆風	佐藤忠信之図	c1905
横山 大観	早春	1924
川合 玉堂	春苑	1919
川合 玉堂	春の訪れ	1943
土田 麦僮	春宵舞妓図	1923
土田 麦僮・他	近熊次郎宛書簡	1918-30
三輪 晃勢	海女	1937
小林 古径	文珠	1931
溝谷 国四郎	裸婦	1923
藤田 嗣治	私の夢	1947
T.ルソー	ボートに乗る人のいる夏の風景	1845
C.コロー	ビプリ	1874-75
A.フォンタネージ	ブジェイ高原	1859-60
G.クールベ	エトルタ海岸 夕日	1869
C.モネ	コロンブの平原、霜	1873
J.デュプレ	羊飼い	c1883
J.E.ミレイ	アリス・グレイの肖像	1859
M.ドニ	夕映えの中のマルト	1892
J.アンソール	シノワズリー	1920
G.ルオー	晩秋 No.3	1943
横山 操	カザフスタンの女	1951
佐々木 象堂	鑄銅色絵鸚哥置物	1940

展示室2

作家名	作品名	制作年
木・樹		
林 潤一	緑韻苜々	1985
三輪 晃勢	樹	1965
工藤 甲人	夜	1963
星 襄一	夜明け	1975
星 襄一	赤い野	1972
星 襄一	木の風景(E)	1975
星 襄一	大樹	1974
星 襄一	樹	1975
本間 一秋	冬夏青々	1977
目黒 順三郎	彫漆小笹文箱	1988
牧野 廣園	洲崎義郎肖像	1991
瀧川 毘堂	親鸞	1970

花・華

川合 玉堂	春苑	1919
M.シャガール	作品	不明
安宅 安五郎	アネモネ(ルドン)模写	1921
安宅 安五郎	ばら	不明
熊岡 美彦	薔薇の花	1942
安宅 虎雄	椅上の花	1959
高橋 美則	三春滝桜	1990
須田 国太郎	水辺の草(杜若)	1947
H.リヴィエール	『エッフェル塔三十六景』装幀	1902
横尾 深林人	菖蒲	不明
大矢 紀	清韻	1994
三輪 晃勢	菖蒲	1980
渡辺 信喜	牡丹図	1989
畠中 光亨	散華IV	1996
平松 礼二	ノルマンディの夢の季	1998
安宅 安五郎	朝顔	不明
牧野 虎雄	朝顔	1946
番場 春雄	残雪の椿園	1972
川端 龍子	紅唇図	1941
島田 美晴	牙彫蓮置物	不明
宮田 藍堂(二代)	蛸型鏤銅ひねり「蓮の余情香炉」	1972

実・種

齋藤 三郎	色絵柚子香盒	不明
三輪 晃勢	草の上	1947
横山 操	秋	1963
佐藤 哲三	稲	1941
佐藤 哲三	柿	1952-53
C.トロワイヨン	りんごの取り入れ	不明

花尽くし 木の実あれこれ

安井 曾太郎	花	不明
安井 曾太郎	さるすべり	不明
安井 曾太郎	つばき	不明
三芳 悌吉	上野不忍池のはす	1985
三芳 悌吉	西洋おだまき	不明
三芳 悌吉	つるむらさき	不明
三芳 悌吉	グロリオサ	不明
三芳 悌吉	秋を飾る(やまごぼう)	不明
三芳 悌吉	柿・花梨	不明
三芳 悌吉	ブルーベリー	不明
三芳 悌吉	つるむらさき	不明
三芳 悌吉	種と実A	不明
三芳 悌吉	種と実B	不明
三芳 悌吉	種と実C	不明
三芳 悌吉	くまして おおづらふじ	不明
市橋 敏雄	黄銅ざくろ文花瓶	1982
浜口 陽三	ざくろ	1961
深澤 素一	菜	不明
深澤 素一	蕪	1929
深澤 素一	《HANGA》第十一輯 茄子の図	1926

植物図鑑

菊畑 茂久馬	植物図鑑(一)	1965
A.ウォーホル	花 10点組のうち4点	1970
R.ソートン	『フローラの神殿』	1812

そのほかの館内展示

李 禹煥	線より	1976
山口 長男	漢	1972

回廊

北村 四海	すみれ	1920
竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998

展示室3

作家名	作品名	制作年
(朝鮮民画)	飛鴨蓮花図	19世紀
(朝鮮民画)	蓮花魚影図	19世紀
(朝鮮民画)	群鳥図	19世紀
(朝鮮民画)	鶏頭花鳥図	19世紀
(朝鮮民画)	蓮花図	19世紀
(朝鮮民画)	草虫図	20世紀初頭

作家名	作品名	出版年
亀倉雄策	『李朝生活画展』ポスター	1989
亀倉雄策・志和池 昭一郎(編)	『李朝の民画』(全2巻)	1982
ロバート=ジョンソン	『フローラの神殿』	1812
ロリー父子	『ジュネガミラノまでのシプロン像を越えたいノスクス像』	1811
ウォルター・スコット	『ウェイヴァリーの珠玉スコット小説名場面集』	1848
ルネ=アルムグエル=レック	『フウチョウの自然誌』	1835
アサー=ガチオン=パトラー	『蝶・蛾の博物図 大英博物館の所蔵品より』	1877
ピーテル=クラマール	『異国の蝶 アジア、アフリカ、アメリカ』	1774
ドミカ=オホメスト=ルアラレ	『若者のための動物学』	1860
エリザベア=アルビン	『英国昆虫の自然史』	1724
ジョン=ウェストウッド 他	『英国の蝶類と変態』	1841
ハンナ=セラール	『聖地の野生草花』	1875
フランソワ=オランドル	『四足の胎生生物と鳥類の博物誌概説』	1790
マルティン=レーダー=ミューラー	『顕微鏡世界の歓び』	1760
ゼール=アルム=モグエル=ル	『スイス=ベルン州オー=バントの蝶類スナグ』	1823
アウグスト=ヴァルヘルム=クンツ	『戸外および牧場での狩猟器具使用についての試論』	1779
ヤコブ=ラドミラル2世	『昆虫の変態観察記』	1740
ヘルマン=カルステン	『ドイツの植物』	1880
ゴットヒルフ=シューベルト	『植物界の博物誌』『動物界の博物誌』	1872

作家名	作品名	制作年
(ロシア=アイコン)	キリストの復活と十二大祭	19世紀
(ロシア=アイコン)	聖ソフィア	18世紀
(ロシア=アイコン)	カザンの聖母	19世紀
(作者不詳)	ハウスクロイツ	19世紀

第5期 2012年3月1日(木)～4月22日(日)(46日間)

展示室1 近代美術館の名品
展示室2・3 ささやかな日々

近代美術館の名品

【趣旨】

今年度より、常設展の会場内では必ず一部屋はいわゆる「名品」を展示する方針にした。これまでは何かテーマを設定してそれに沿った展示をしてきたが、その場合、常に新しい切り口で作品を見せられるメリットはあるものの、観光等で遠隔地から当館を訪問した観覧客に対しては、当館のコレクションの中の代表作を必ずしも鑑賞できないということにもなりかねなかった。そのため、当館のコレクションを代表する作品を、第1展示室にまとめて展示することにした。

【総括】

●評価すべき点

当館のコレクションを代表する作品のみならず、先年度の新収蔵作品を披露する場ともなった。また、それに合わせて作品解説を新たに書き下ろすことができた。

●検討課題

万代島美術館との協議が充分ではなく、その結果、展示作品が当初の構想通りにはならなかった。今後は、充分な協議が必要である。

担当 高 晟俊

ささやかな日々

【趣旨】

我々が日々過ごす生活は、特に劇的で大きな出来事もなく、淡々と時間が過ぎていく。しかし特に何事もない生活の中に幸せが潜んでいることを、我々は、東日本大震災以降、気がつき、普通の、当たり前の日々を送るありがたさを感じている。

本展では、日々送る生活の中で見つけた些細な美や出来事を作品化している塚谷恵津子、野田哲也、江口草玄、中村忠二の4作家に注目し、展示した。

【総括】

●評価すべき点

針小棒大でない、身の回りの、普段の生活の中にある美について眼を向け、考える機会ができた。また相澤コレクションの作品を一部ではあるが、まとまった形で4作家をとりあげて紹介できた。

●検討課題

この常設展全般にわたる問題だが、どのように周知し、多くの県民が利用する状況を作るかということが大きな課題と考える。

【関連記事】

3月16日 新潟日報 生活の中に見つけた美／松矢国憲

担当 松矢国憲

【出品リスト】
展示室 1

作家名	作品名	制作年
中島 萬木	長岡悠久山の松林	1971
竹内 蘆風	春江待渡之図	1928
下村 観山	入日	1915
長井 亮之	砂丘	1936
川合 玉堂	雪無き国	1943-44
土田 麦僊	扇売美人の図	c1906
三輪 晁勢	鶴	c1926
小林 古径	飛鴨	1930
海谷 国四郎	裸婦	1923
藤田 嗣治	私の夢	1947
T.ルソー	ボートに乗る人のいる夏の風景	c1845
C.コロー	ビブリア	1874-75
A.フォンタネージ	ブジェイ高原	1859-60
G.クールベ	エトルタ海岸 夕日	1869
C.モネ	コロンブの平原、霜	1873
J.デュプレ	羊飼いの	c1883
J.E.ミレイ	アリス・グレイの肖像	1859
M.ドニ	夕映えの中のマルト	1892
J.アンソール	シノワズリー	1920
G.ルオー	晩秋 No.3	1943
横山 操	カザフスタンの女	1951
佐々木 象堂	鍔鍔色絵鬮哥置物	1940

〈回廊〉

北村 四海	すみれ	1920
竹田 康宏	Under the leaves	1994

〈エントランス・ロビー〉

竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998
山口 長男	漢	1972
李 禹煥	線より	1976

展示室 2

作品名	制作年
塚谷 恵津子	
静物 いす	1962
紙袋のある静物	1965
静物 買い物籠のある	1966
静物	1969
静物 赤い水差しのある	1971
静物 凍豆腐のある(2)	1972
静物	1973
静物	1976
静物 壺(青銅のある)	1980
静物 紙袋のある	1983
静物 のぐさ(毒だみ)のある	1985
静物 蛍草のある	1987
静物 茗荷のある	1989
静物 器のある	1991
静物 がまの穂のある	1992

野田 哲也	
Diary: Aug 11th '78	1978
Diary: March 5th '79 (a)	1979
Diary: Aug 10th '79	1979
Diary: Feb 2nd '80	1980
Diary: July 11th '80 to Narita	1980
Diary: Aug 10th '80 in Helsingborg, Denmark	1980
Diary: Aug 26th '80 in Osnabruck, Germany	1980
Diary: Feb 28th '94 (b)	1984
Diary: Feb 11th '95	1995
Diary: Feb 15th '95	1995
Diary: April 7th '96 in Boston	1996
Diary: April 11th '96 in San Jose	1996
Diary: April 14th '96 in San Francisco	1996
Diary: July 11th '97	1996
Diary: Jan 18th '98	1997
Diary: April 19th '98	1998
Diary: Nov 25th '98	1998
Diary: April 18th '99	1999
Diary: Sept 4th '99 in Seoul	1999
Diary: March 5th '00	2000

江口 草玄	
あんばいのよい朝日の空	1987
肩へかけると活る手ぬぐひ	1989
一人づつ子の戻る黄昏	1989
漸く解けた謎に大声	1991
筆をなめるが雫の癖	1988
銭をもためも長生きの相	1989
十文を隠す娘の足袋	1990
取揃姿々来て出にくがる嫁	1990
吉原を横に見てゆく終の道	1989
曇りの蝶はふり袖	1990
よその女房になるを見に出る	1990
ひとりに見せる髪に半日	1988
二つ重なるささやきの傘	1989
雨まで誓めて戻る仲人	1989
抱きつくまでが恋の道行	1990
裸でよいと伯母がまた来る	1991
不機嫌な日は音のない台所	1987
腹の立つ時大針に縫ふ	1987
隈取るようにうたたねを掃く	1990
ぬれずに戻る傘に疑ひ	1990
余って足らぬ女房の知恵	1991

展示室 3

作品名	制作年
中村 忠二	
運河	1956
運河	1956
港	1956
昼の昆虫	1959
悲しい争	1960
シリーズの内「歩く海草」	1965
漁シリーズ「海草海にかえる」	1965
シリーズの内「夜の廃船」	1965
打ち上げられしコンブ	1965
穴	1965
夜雨	1965
夜雨	1965
黄の中の黒	1965
崖シリーズNo.5「死」	1966
崖シリーズNo.13「カラス」	1966
崖シリーズ「カラス」	1966
崖シリーズ「三ツノ空洞」	1966
透明体	1967
メシ	1967
冬シリーズ「黒」	1968
冬のひと	1968
寒月と矢C	1968
ココロミA	1968
孤独なる紅B	1968
早春B	1968
3階の人	1968
秒刻	1968
秒刻	1968
かんざしの花	1968
ホテル、蝶飛び	1968
四ツの黒	1968
冬草	1969
冬日太陽	1970
ウエスキー	1971
おちぶれ者	1971
たばこ	1971
別れたなあ	1971

企画展



県内コレクターによる 秘蔵の日本画名品展

【趣旨】

駒形十吉記念美術館（長岡市）と大山治郎コレクション美術館（燕市）の所蔵品を中心として、県内の企業・個人収集家、および当館のコレクションから、近代日本画の名品を紹介した。駒形十吉記念美術館は、旧大光相互銀行やNSTの経営者として辣腕を発揮し、国内有数の美術コレクターとして知られた駒形十吉（1901～1999）が晩年に収集した日本画・工芸等のコレクションを所蔵し、平成6年に開館した。また、大山治郎コレクション美術館は、株式会社曙産業の創業者で多くのアイデア商品を開発している大山治郎氏（1932～）の美術コレクションを展示するスペースとして平成22年に開館した。

出品作家は、加山又造、小林古徑、土田麦僊、速水御舟、東山魁夷、平山郁夫、村上華岳、横山大観など各時代を代表する物故者を中心とし、近代日本画88点を花鳥画・人物画・風景画など主題・ジャンル別に紹介した。特別出品として、東洲斎写楽、喜多川歌麿、歌川広重の浮世絵7点を初公開した。

作品の見方について、初心者にもわかりやすい解説を附すことで、日本画への入門的な内容とした。通常まとめて眼にする機会の少ない作品群を一堂に鑑賞できる貴重な機会でもあり、県人たちの美術収集にける思いにも注目してもらう内容となった。

【総括】

●評価すべき点

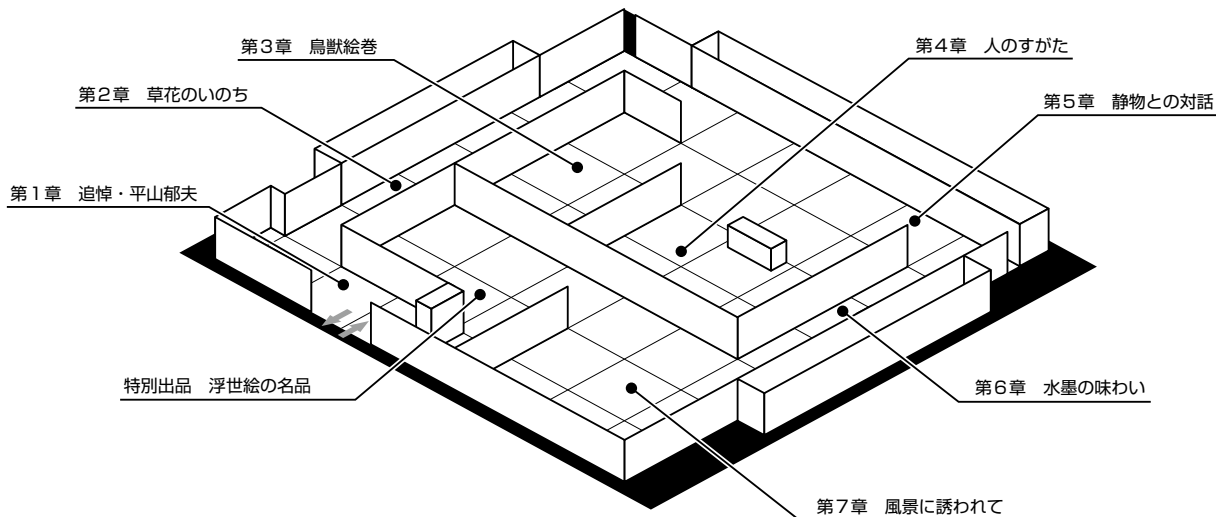
東日本大震災直後の開催となったが、入場者数は過去の春期展や日本画展と比較しても善戦したと言える。新潟日報、NSTによる広報が効果的であった。アンケートにおける満足率も9割超で、普段見られない作品を多く展示したことや、展示方法の工夫が評価されたと考えられる。とりわけ画題ごとの章立てとしたこと、キャプションに「鑑賞のポイント」を記したことが大好評であった。

また、関連イベントも、特に大山氏によるギャラリートークが盛況であり、掛軸の扱い方講座、美術鑑賞講座、日本画制作実演にも多数の参加者があった。来館者ニーズに合致したイベントの企画ができたのではないかと、画材展示も好評で、日本画の制作方法についての関心が高いことがわかった。

●検討課題

計画段階においてコンセプトの練り直しや出品選定に手間取り、展覧会のセールスポイントを明確化できなかったこと、出品交渉や図録執筆に多くの労力を注いだことなどが影響して、広報に関する新しい試み（より若年層の取り込みなど）を打ち出すことができなかった。また、新年度予算の通過まで広報が開始できない足かせもあった。年度当初企画展における広報や前売券販売のあり方について、整理し直す必要がある。

また今後、県内コレクターについての情報収集を継続的に行なっていくことも求められる。



【開催日・その他】

=2011年4月23日(土)～6月5日(日) (39日間) =

主催：秘蔵の日本画名品展実行委員会、新潟県立近代美術館、新潟日报社、NST

後援：長岡市、長岡市教育委員会、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、ケーブルテレビのエヌ・シー・ティ、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FMながおか80.7

協力：新潟日報美術振興財団、大山治郎コレクション美術館、駒形十吉記念美術館、BSN新潟放送

観覧料：一般……800円 (600円) (600円)

大学・高校生…600円 (400円)

※中学生以下無料

※ () 内は20名以上の団体料金

※ < > 内は前売券料金

・美術鑑賞講座

「日本画の見方～『秘蔵の日本画名品展』を10倍楽しむ」

日時：5月14日(土) 14:00～

講師：長嶋圭哉 (当館主任学芸員)

参加人数：40人

・日本画制作実演

日時：5月22日(日)、6月5日(日)
10:00～16:00

講師：田代 豪氏 (下越美術教育研究会会員、新潟市立早通中学校教諭)

参加人数：約510人/約420人

※当日入場者数から概算

・作品解説会

会期中の日曜日 14:00～ 企画展示室内

【関連行事】

・ギャラリートーク「コレクターの眼差し」

4月24日(日)、5月8日(日)、5月22日(日) 14:00～

語り手：大山治郎氏 (株式会社曙産業 代表取締役会長)

参加人数：65人/70人/70人

・関連講座「掛軸の扱い方講座」

日時：5月7日(土) 14:00～

講師：長嶋圭哉 (当館主任学芸員)、

宮下東子 (県立万代島美術館業務課長代理)

参加人数：15人



【その他】

- ・東日本大震災避難者の無料観覧
 県立の4施設（近代美術館、万代島美術館、自然科学館、歴史博物館）で、東日本大震災の県内避難者を観覧無料とした。
 利用者数：43名

【図録】

仕様：B5判 128頁
 編集：新潟県立近代美術館 長嶋圭哉、高晟俊、伊澤朋美
 発行：秘蔵の日本画名品展実行委員会
 内容：謝辞
 ごあいさつ
 「新潟県下の企業・個人コレクションについて—駒形十吉記念美術館と大山治郎コレクション美術館を中心に—」長嶋圭哉
 図版
 第1章 追悼・平山郁夫
 第2章 草花のいのち
 第3章 鳥獣絵巻
 第4章 人のすがた
 第5章 静物との対話
 第6章 水墨の味わい
 第7章 風景に誘われて
 特別出品 浮世絵の名品
 作家略歴
 出品目録
 駒形十吉記念美術館・大山治郎コレクション
 美術館紹介



【関連記事】

- 新聞
 5月7日(土) 新潟日報
 「芸術への高い意識象徴」／
 長嶋圭哉（当館主任学芸員）

その他 新潟日報
 (4/4月、4/8金、4/20(水)夕刊、4/21(木)夕刊、4/23(土)、4/30(土)、5/14(土)、5/18(水)、5/20(金)夕刊、5/21(土)、5/28(土)、5/30(月)夕刊)
 十日町タイムス (4/8金)
 十日町新聞 (4/15金)
 長岡新聞 (4/23(土)、6/4(土))
 北日本新聞 (4/28(木))

●雑誌

『Niigata』4月号、5月号、6月号
 『ウインド』4月号、5月号、6月号
 『JACKLAND』5月号
 『Komachi』6月号
 『WEEK』4/16～5/6号
 『キャレル』5月号
 『県民だより にいがた』春号
 『まるごと生活情報』4/23号
 『リビング郡山』5/21号
 『リビング福島』5/21号
 『長岡よみうり』4/27号、5/4号

●テレビ

NST
 4月23日(土) NSTスーパーニュース 開場式報道
 5月24日(火) NSTスーパーニュース 作品解説(1)
 5月25日(水) NSTスーパーニュース 作品解説(2)
 5月26日(木) NSTスーパーニュース 作品解説(3)
 5月27日(金) NSTスーパーニュース 1万人セレモニー報道
 展覧会紹介 4/10、4/15、4/16、4/17、4/22、4/24、5/1、5/15、5/25、6/3

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	8,951
	前売	1,343
無料観覧者数	無料	2,285
	免除	1,043
総観覧者数		13,622
有料率 (%)		75.6

担当 長嶋圭哉、高 晟俊、伊澤朋美

【出品リスト】
第1章 追悼・平山郁夫

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	形体	所蔵先
1	平山 郁夫	山の辺の道	昭和44年(1969)	紙本彩色	額装	駒形十吉記念美術館
2	平山 郁夫	浄瑠璃寺	昭和44年(1969)	紙本彩色	額装	駒形十吉記念美術館
3	平山 郁夫	新薬師寺	昭和46年(1971)	紙本彩色	額装	駒形十吉記念美術館
4	平山 郁夫	法隆寺煙雨	昭和49年(1974)	紙本彩色	額装	駒形十吉記念美術館
5	平山 郁夫	西都長安大街	昭和51年(1976)	紙本彩色	額装	駒形十吉記念美術館

第2章 草花のいのち

6	速水 御舟	豆之花	大正9年(1920)	紙本彩色	軸装	駒形十吉記念美術館
7	速水 御舟	袖	昭和2年(1927)	絹本彩色	軸装	駒形十吉記念美術館
8	小林 古径	紫苑	昭和8年(1933)	紙本彩色	軸装	当館
9	小林 古径	薊	昭和20年代	紙本彩色	扇面 額装	
10	土田 麦僊	芥子	大正15年(1926)	絹本彩色	軸装	当館
11	土田 麦僊	牽牛花	昭和4年(1929)頃	絹本彩色	軸装	当館
12	加山 又造	黒牡丹	昭和53年(1978)	紙本彩色	軸装	駒形十吉記念美術館
13	加山 又造	鉄絵金銀彩牡丹俎皿	制作年不明	陶器	額装	大山治郎コレクション美術館
14	中島 千波	黒牡丹	制作年不明	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
15	川端 龍子	芭蕉図	昭和初期	絹本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
16	堅山 南風	百花繚乱	制作年不明	絹本彩色	額装(2点組)	大山治郎コレクション美術館
17	徳岡 神泉	実る豆	昭和29年(1954)	紙本彩色	額装	駒形十吉記念美術館
18	徳岡 神泉	露	昭和30年代前半	絹本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
19	工藤 甲人	てっせん花	制作年不明	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
20	牧 進	春の雨	制作年不明	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
21	田淵 俊夫	韻	昭和50年(1975)	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館

第3章 鳥獣絵巻

22	横山 大観	黍と鷄	大正12年(1923)頃	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
23	杉山 寧	白兔茗花	昭和19~21年(1944~46)頃	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
24	川端 龍子	黒日本牛(梅)	制作年不明	絹本彩色	額装	三条信用金庫
25	加山 又造	猫	制作年不明	紙本彩色	額装	駒形十吉記念美術館
26	加山 又造	馬	昭和32年(1957)	紙本彩色	額装	当館
27	加山 又造	月と駱駝	昭和32年(1957)	紙本彩色	額装	当館
28	加山 又造	冬	昭和33年(1958)	紙本彩色	額装	BSN新潟放送(新潟市美術館寄託)
29	加山 又造	鳥	昭和36年(1961)頃	麻本彩色	額装	当館
30	中島 清之	鴨	制作年不明	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
31	川端 龍子	大陸の鷲	昭和15年(1940)	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
32	速水 御舟	鮒	大正11年(1922)	絹本墨画	軸装	駒形十吉記念美術館
33	杉山 寧	鯉	制作年不明	紙、パステル	額装	大山治郎コレクション美術館
34	川合 玉堂	春苑	大正8年(1919)	絹本彩色	六曲一双屏風	当館
35	福田平八郎	鴛鴦	昭和39年(1964)頃	紙本彩色	額装	佐山和弘氏(当館寄託)

第4章 人のすがた

36	上村 松園	春風	昭和13~14年(1938~39)頃	絹本彩色	額装	
37	前田 青邨	刺繍	制作年不明	絹本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
38	伊東 深水	初夏	制作年不明	絹本彩色	額装	三条信用金庫
39	伊東 深水	涼	制作年不明	紙本彩色	額装	
40	北沢 映月	女面	制作年不明	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
41	森田 曠平	美女	制作年不明	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
42	横山 操	金屏	昭和43年(1968)頃	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
43	片岡 球子	女の子(むすめ)	昭和52年(1977)	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
44	橋本 関雪	牛行図	制作年不明	絹本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
45	林 功	帰り道	制作年不明	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
46	朝井 観波	観音図	制作年不明	絹本彩色	額装	松澤良見氏
47	朝井 観波	寒山拾得	制作年不明	絹本彩色	軸装(双幅)	松澤良見氏
48	下村 観山	菅公幼児	大正中期	絹本彩色	軸装(三幅対)	当館寄託
49	加藤 晨明	少女	昭和42年(1967)	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館

第5章 静物との対話

50	徳岡 神泉	林檎	昭和34年(1959)	紙本彩色	額装	佐山和弘氏(当館寄託)
51	土田 麦僊	鮭之図	大正13年(1924)	紙本彩色	額装	当館
52	小林 古径	生果	大正10年(1921)頃	絹本彩色	額装	佐山和弘氏(当館寄託)
53	速水 御舟	甲貝図	昭和2年(1927)頃	紙本淡彩	額装	駒形十吉記念美術館
54	速水 御舟	柘榴	昭和6~7年(1931~32)	絹本彩色	軸装	駒形十吉記念美術館
55	杉山 寧	静物(三宝柑)	昭和33年(1958)	紙、パステル	額装	

第6章 水墨の味わい

56	村上 華岳	竹石宿鳥図	制作年不明	紙本淡彩	軸装	駒形十吉記念美術館
57	村上 華岳	竹陰澗流図	制作年不明	紙本淡彩	扇面 軸装	駒形十吉記念美術館
58	村上 華岳	夏冬	昭和5年(1930)頃	紙本淡彩	軸装(双幅)	駒形十吉記念美術館
59	村上 華岳	寒山松籟図	昭和8年(1933)	紙本淡彩	軸装	駒形十吉記念美術館
60	村上 華岳	夏峰雨露之図	昭和5年(1930)頃	紙本墨画	軸装	駒形十吉記念美術館
61	村上 華岳	壁嶂之図	制作年不明	紙本墨画	軸装	駒形十吉記念美術館
62	村上 華岳	務古山之図	昭和8年(1933)頃	紙本墨画	軸装	
63	横山 大観	松林山水	昭和10~13年(1935~38)頃	絹本墨画	軸装	
64	横山 大観	朝暉	昭和29年(1954)	絹本墨画	軸装	当館
65	小杉 未醒	風神雷神図	大正6年(1917)	紙本淡彩	軸装(双幅)	当館

第7章 風景に誘われて

66	菱田 春草	雨露	明治41年(1908)	紙本彩色	額装	
67	川合 玉堂	溪村麦秋	制作年不明	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
68	土田 麦僊	雨後	大正4年(1915)	絹本彩色	軸装	松澤良見氏
69	小野 竹喬	河口近く	大正7~9年(1918~20)頃	絹本彩色	軸装	松澤良見氏
70	池田 遙邨	宵の八坂神社	昭和2年(1927)頃	絹本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
71	千住 博	薬師寺月ノ出	制作年不明	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
72	横山 操	茜	昭和38年(1963)	紙本彩色	額装	BSN新潟放送(新潟市美術館寄託)
73	小野 竹喬	晴海	昭和40年代後半	紙本彩色	額装	
74	加藤 東一	霽れゆく海	昭和44年(1969)	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
75	片岡 球子	鳥のいる海	昭和34年(1959)頃	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
76	東山 魁夷	森の静寂	昭和39年(1964)	紙本彩色	額装	当館
77	東山 魁夷	富士ノ図襖絵	昭和37年(1962)	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
78	東山 魁夷	松ノ図襖絵	昭和37年(1962)	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
79	土田 麦僊	富嶽	大正初期	絹本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
80	安田 靱彦	不盡山	昭和30年代	紙本彩色	額装	佐山和弘氏(当館寄託)
81	加山 又造	桜島	昭和49年(1974)	紙本彩色	額装	駒形十吉記念美術館
82	山本 丘人	山河	制作年不明	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
83	山本 丘人	湖上嶺	昭和26年(1951)	絹本彩色	六曲一隻屏風	当館
84	村山 径	晨	昭和53年(1978)	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
85	岩澤 重夫	山気	昭和56年(1981)	紙本彩色	額装	大山治郎コレクション美術館
86	麻田 鷹司	赭那智	昭和35年(1960)	紙本彩色	額装	当館
87	麻田 鷹司	那智	制作年不明	紙本彩色	額装	駒形十吉記念美術館
88	千住 博	WATERFALL	平成12年(2000)	紙本彩色	額装	当館

特別出品 浮世絵の名品

89	東洲斎写楽	市川蝦蔵の竹村定之進	寛政6年(1794)	多色木版	額装	
90	喜多川歌麿	難波屋おきた	寛政4~5年(1792~3)	多色木版	額装	
91~95	歌川 広重	東海道五十三次 (日本橋・朝之景、箱根・湖水図、蒲原・夜之雪、庄野・白雨、京師・三條大橋)	天保4年(1833)頃	多色木版	額装	



いわさきちひろ展 ~子どものしあわせを願って~

【趣 旨】

東京・安曇野のちひろ美術館の協力を得て、いわさきちひろの画業を代表的な作品を通して振り返るとともに、アトリエの再現、遺愛の品々などの資料を展示することで、昭和という時代に生きたちひろのひととなりにも注目する内容とした。展覧会に先駆けてちひろ作品に寄せた一般の方からメッセージを募り、作品とともに展示することで、ちひろが何よりも大切にしていた、子どもたちへの思い、平和な未来への願いを共有することを目指した。また、ちひろの遺作・絵本『赤い蠟燭と人魚』の作者が小川未明であることから、ゆかりの作家の紹介にも努めた。

【総 括】

●評価すべき点

再現アトリエや遺品など立体的な展示に加え、公募メッセージも当初目標数を下回ったものの熱心な応募があり、多くの来館者にとって自らの子育てや人生を重ね合わせる契機となり作品への共感を呼んでいた。講演会、地元で活躍する演奏家、ボランティア団体によるコンサートや朗読会、絵本のおはなし会など多彩な関連イベントを通して、多様な来館者に向けてちひろの多面性を紹介することができた。展示室内に設けた絵本ライブラリーも好評であった。映画鑑賞会や常設展、さらにはレストランで提供するメニューまでちひろに関わるもので構成し、企画展を軸として展開することができた。アンケートでも特に高い満足度を示した

た(5段階評価の4・5の合計が93%、5(大変満足)だけでも7割以上)。

●検討課題

親子での対話を楽しんでもらうため、初の試みとして会場内の私語に対する注意をゆるやかにする「ちひろの日」を設けたが、特に混乱もなかった反面、目立った効果がなかった。定着には一定期間継続的に行う必要がある。一方、実現できなかった託児サービスは今後も模索の余地があるように思われる。また、関連イベントで培った外部との協力関係は一過的なものに終わらせないことが今後の課題となるだろう。

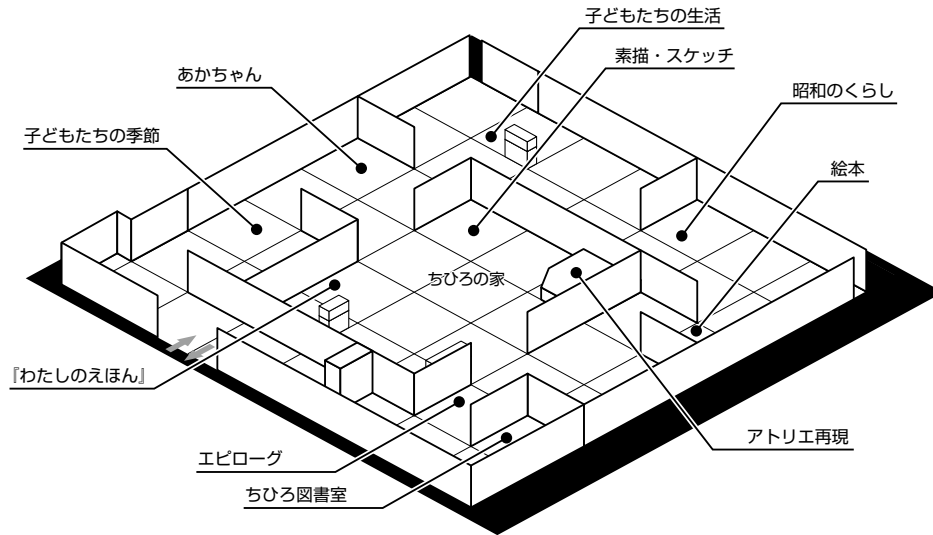
【開催日・その他】

=2011年7月23日(土)~8月28日(日)(37日間)=

主 催：いわさきちひろ新潟展実行委員会、新潟県立近代美術館、新潟日报社、BSN新潟放送、ちひろ美術館

共 催：新潟日報美術振興財団

後 援：長岡市、長岡市教育委員会、新潟県小中学校PTA連合会、新潟県小学校長会、新潟県小学校教育研究会、新潟県中学校長会、新潟県中学校教育研究会、新潟県図書館協議会、新潟県小学校図書館協議会、新潟県中学校図書館協議会、新潟県幼稚園連盟、新潟県保育連盟、新潟県美術教育連盟、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、ケーブルテレビのエヌ・シー・ティ、エフエムラジオ新潟、FM PORT



79.0、FM KENTO、ラジオチャット・
エフエム新津、FMながおか80.7、燕三条
エフエム放送

協力：小川未明文学館（上越市）

観覧料：一般……………1,000円(800円)<800円>

大学・高校生…800円(600円)<600円>

※中学生以下無料

※（ ）内は有料20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売り料金

【関連行事】

・記念講演会

「母、ちひろが絵に込めた願い」

7月23日(土) 13:00～14:00 講堂

講師：松本 猛氏（美術・絵本評論家、ちひろ
美術館顧問）

参加者数：160名

・朗読会

『赤い蠟燭と人魚』ほか

8月7日(日) 14:00～ 講堂

朗読：未明ボランティアネットワークのみなさん

参加者数：31名

・コンサート

「ちひろの愛した音楽」

8月14日(日) 14:00～ 講堂

演奏：遠藤吉比古氏(ピアノ/新潟大学非常勤講師)

遠藤彩香氏(フルート)

参加者数：184名

・ボランティアによるえほんのおはなし会

7月30日(土) 大雨により中止

8月20日(土) ①10:30～ ②14:00～

ギャラリー

出演：①金曜くるりんぱ ②のっぺ座

参加者数：①15名 ②36名

・映画鑑賞会「ちひろの愛した映画」

「芭里祭」

7月23日(土) ①10:00～ ②14:30～

「イースター・パレード」

8月20日(土) ③10:00～ ④14:00～

参加者数：①②82名 ③④49名

・ちひろの日「6のつく日はちひろの日」

7月26日(火)・8月6日(火)・8月16日(火)・8月
26日(金)

参加者数：160名

・学芸員による作品解説会

7月24日(日)/7月31日(日)/8月21日(日)/

8月28日(日) 各日14:00～

参加者数：20名/30名/60名/40名

・美術鑑賞講座

「ちひろの愛した画家たち」

7月16日(土) 14:00～ 講堂

参加者数：9名

- ・作品へのメッセージ募集
「わたしのお気に入り」
4月～5月31日(火)
参加者数：157名
- ・長岡市立上組小学校・こども学芸員による解説
会およびキャプション掲示
8月5日(金)～
- ・リリックあそびの国スタンプラリープレゼント
8月28日(日)
参加者数：51件
- ・「ちひろの愛したいちごのパパロア」
(2階レストラン「広告塔」にて提供 420円)
参加者数：741食
- ・ちびっこひろばちひろ展(複製画展示) [館外]
7月29日(金)～8月24日(水)

【図録】

制作部数：2000部
仕様：A5判 全28頁
監修：ちひろ美術館
協力：小川未明文学館(上越市)
編集：平石昌子、荒井直美、高晟俊、伊澤朋美
発行：いわさきちひろ新潟展実行委員会(新潟県立近代美術館、新潟日报社、BSN新潟放送)
印刷：株式会社第一印刷所
内容：子どもを描き続けて／お絵かき大好き／ちひろのおしゃれ／おいしいものいただきます／戦争を憎み平和を願って／アンデルセンの世界／赤い蠟燭と人魚／じっくり見てみよう子どもたちの表情／いわさきちひろのあゆみ／ちひろ美術館紹介



【関連記事】

- 新聞
新潟日報
7月19日(火) 新潟日報
「こどもたちに幸せを」／荒井直美(当館主任学芸員)
7月29日(金) 新潟日報
「作品貫く平和の祈り 長男・猛さん 母を語る」
8月8日(月) 新潟日報夕刊
「優しい母のまなざし」／竹迫祐子(安曇野ちひろ美術館副館長)
8月3日(水) 新潟日報〈日報抄〉

- その他 新潟日報
(7/23(土)、8/10(水)、8/20(土)、8/27(土)、9/15(木))
信濃毎日新聞(8/2(火))
毎日新聞(8/16(火))

〈連載〉

- ・新潟日報「いわさきちひろ展 作品紹介」
(執筆：荒井直美)
①《顔を洗う男の子》(8/9(火)) ②《子ども》(8/10(水)) ③《花の国の王子とおやゆび姫》(8/11(木)) ④《絵をかく女の子》(8/12(金)) ⑤《荒れる海と人魚》(8/13(土))

●テレビ

- 7月13日(水) BSN新潟放送
「Nスタ新潟」(ロケ)／ちひろ美術館・東京を訪ねて
7月25日(月)・26日(火)・27日(水)・28日(木)・
8月9日(火) BSN新潟放送
「Nスタ新潟」／学芸員による作品紹介
その他 BSN新潟放送
(7/22(金)、8/9(火)、8/19(金))

●ラジオ

- 7月28日(木) BSN新潟放送
「ゴゴラク！」／スナッピーによる会場生中継
8月12日(金) FM PORT
「BEAT COASTER～FRIDAY EDITION～
FRIDAY ART」 電話中継
その他 BSN新潟放送
7/21(木)、7/25(月)

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	16,446
	前売	8,948
無料観覧者数	無料	8,152
	免除	1,792
総観覧者数		35,338
有料率(%)		71.9

担当 荒井直美、平石昌子、高 晟俊

【出品リスト】

No.	作品タイトル	初出	出版社	制作年	素材・技法	寸法(縦×横cm)
1	おつむてん	「あかちゃんのうた」習作		1971年	水彩・鉛筆	洋紙 24.1×35.8
2	水着の女の子			1970年	パステル・水彩	洋紙 50.0×65.0

子どもたちの季節

3	羽子板を持つ和服の少女	カレンダー 1970年版 1月		1969年	水彩・鉛筆	洋紙 46.4×29.6
4	紙びなと和服の少女	カレンダー 1970年版 3月		1969年	水彩・鉛筆	洋紙 48.3×35.8
5	春の庭	カレンダー 1970年版 4月		1969年	水彩・鉛筆	洋紙 48.4×33.3
6	バラにかくれる子ども	「子どものしあわせ」1972年5月号	草土文化	1972年	水彩・鉛筆	洋紙 35.8×24.1
7	バラと少女	「こどものせかい」1967年4月号	至光社	1966年	水彩	洋紙 30.8×56.4
8	はなぐるま	「こどものせかい」1968年4月号	至光社	1967年	水彩・鉛筆	洋紙 36.5×28.5
9	緑の風のなかで	「子どものしあわせ」1973年5月号	草土文化	1973年	水彩・鉛筆	洋紙 38.6×26.5
10	黄色い傘の少女	「子どものしあわせ」1969年6月号	草土文化	1969年	水彩	洋紙 23.0×16.5
11	小犬と雨の日の子どもたち	「こどものせかい」1967年7月号	至光社	1967年	水彩・鉛筆・クレヨン	洋紙 34.3×35.7
12	貝がらと赤い帽子の少女	カレンダー 1968年版 7・8月		1967年	水彩	洋紙 72.6×34.6
13	麦わら帽子に蟹をのせた少年	「こどものせかい」1971年7月号	至光社	1971年	水彩	洋紙 36.0×32.3
14	緑の風のなかの少女	「こどものせかい」1972年7月号	至光社	1972年	水彩	洋紙 35.7×48.2
15	海辺の小鳥	「改訂標準国語五年下」	教育出版	1972年	水彩	洋紙 34.7×48.5
16	貝がらに耳をあてる少年	「こどものせかい」1970年7月号	至光社	1970年	水彩・鉛筆	洋紙 38.5×30.5
17	ぶどうを持つ少女	「こどものせかい」1973年10月号	至光社	1973年	水彩・鉛筆	洋紙 35.8×38.0
18	しゃぼん玉をふく少女	カレンダー 1970年版 9月		1969年	水彩・鉛筆	洋紙 48.3×35.8
19	秋草のなかの少女	カレンダー 1970年版 10月		1969年	水彩・鉛筆	洋紙 48.4×36.1
20	ストーブとふたりの子ども	「あゆみ」第10号	生活の友社	1960年代後半	水彩・鉛筆	洋紙 22.6×34.8
21	スキーをする子ども	「子どものしあわせ」1973年12月号	草土文化	1973年	水彩	洋紙 11.0×15.5
22	毛糸を編む少女	「子どものしあわせ」1972年12月号	草土文化	1972年	水彩	洋紙 31.0×23.8

あかちゃん

23	湯あがりのあかちゃん	広告		1971年	水彩・鉛筆	洋紙 24.5×23.9
24	ビーズの指輪をしたあかちゃん			1971年頃	水彩・鉛筆	洋紙 24.1×17.9

油彩画

25	母の絵を描く子ども	「キンダーブック」1957年5月号	フレーベル館	1957年	油彩	キャンパス 33.1×45.5
26	子ども			1962年	油彩	キャンパス 88.0×70.0

子どもたちの生活

27	布団をたたむ子ども	「ひとりのできるよ」	福音館書店	1956年	水彩	洋紙 35.5×48.0
28	顔を洗う男の子	「ひとりのできるよ」	福音館書店	1956年	水彩・鉛筆	洋紙 35.5×48.0
29	食事をする子ども	「ひとりのできるよ」	福音館書店	1956年	水彩	洋紙 35.4×48.3
30	手紙をポストにいれる男の子	「ひとりのできるよ」	福音館書店	1956年	水彩	洋紙 35.2×48.2
31	小犬を抱く子ども	「ひとりのできるよ」	福音館書店	1956年	水彩	洋紙 35.4×48.1
32	楽器を鳴らす子どもたち	「みんなでしようよ」	福音館書店	1957年	水彩・パステル	洋紙 35.7×48.7
33	入園式	「キンダーブック」1958年2月号	フレーベル館	1957年	水彩	洋紙 31.8×43.7
34	はないちもんめ	「キンダーブック」1958年5月号	フレーベル館	1958年	水彩・パステル・鉛筆	洋紙 31.5×43.0
35	お子さまランチ	「チャイルドブック」1959年10月号	チャイルド社	1959年	水彩・パステル	洋紙 36.7×48.4
36	「あかいせーたー」	「チャイルドブック」1959年12月号	チャイルド社	1959年	水彩	洋紙 20.6×21.2
37	ままごと	「キンダーブック」1960年4月号	フレーベル館	1959年	水彩・鉛筆	洋紙 32.0×22.0
38	5歳のお誕生会			1960年代前半	水彩	洋紙 35.3×48.3
39	先生にバッチをつけてもらう園児	「あいうえおブック3」	世界文化社	1965年	水彩・パステル・鉛筆	洋紙 33.8×48.2
40	歯みがきをする子ども	「あいうえおブック6」	世界文化社	1965年	水彩・鉛筆	洋紙 35.7×48.4
41	身体測定	「あいうえおブック13」	世界文化社	1966年	水彩・鉛筆	洋紙 35.7×48.4
42	「ことしのぼたん」	「あいうえおブック5」	世界文化社	1965年	水彩	洋紙 36.7×48.3
43	十五夜の月	「あいうえおブック6」	世界文化社	1965年	水彩・鉛筆	洋紙 35.7×48.3

昭和のくらし

44	本を読む少年とテレビを見る少年	「母と生活」1969年9月号	静岡教育出版社	1969年	インク	洋紙 18.0×12.1
45	おしくらまんじゅう	「母と生活」1969年2月号	静岡教育出版社	1969年	インク	洋紙 18.0×10.5
46	洗濯をする母親と少年	「母と生活」1968年11月号	静岡教育出版社	1968年	インク	洋紙 24.2×17.9
47	障子をはる少女	「母と生活」1968年12月号	静岡教育出版社	1968年	インク	洋紙 24.2×14.6
48	果物屋	「商店手帖」1965年9月号	埼玉銀行	1965年	水彩・鉛筆	洋紙 17.4×23.9
49	おもちゃ屋	「商店手帖」1965年12月号	埼玉銀行	1965年	水彩・鉛筆	洋紙 17.7×24.2
50	肉屋	「商店手帖」1966年2月号	埼玉銀行	1966年	水彩・鉛筆	洋紙 17.9×24.3
51	晴れ着の少女と初荷	「商店手帖」1969年1月号	埼玉銀行	1968年	水彩・鉛筆	洋紙 18.1×24.2
52	魚をさばく女性	広告		1960年代前半	インク	洋紙 18.2×11.3

53	椀によそう女性	広告	1960年代前半	インク	洋紙	17.9×11.0
54	わらびを煮る女性	広告	1960年代前半	インク	洋紙	17.9×11.2
55	母親とお手伝いをする子ども	広告	1962年	インク	洋紙	19.2×26.9
56	夏服の3人の女性	広告	1960年代後半	インク	洋紙	17.9×23.0
57	青い和服の女性と赤いスーツの女性	広告	1960年代後半	水彩・鉛筆	洋紙	32.5×24.2
58	ヒロードのドレスの女性	広告	1970年頃	水彩・鉛筆	洋紙	48.4×35.9
59	縞の和服の女性	広告	1970年頃	水彩・鉛筆	洋紙	48.2×35.7

素描・スケッチ

60	路地裏で遊ぶ男の子たち		1947年5月1日	インク	洋紙	17.6×12.9
61	屋根裏のアトリエで本を読む自画像		1947年頃	インク	洋紙	13.3×20.4
62	昼寝をする夫・善明		1950年5月11日	鉛筆	洋紙	24.8×35.5
63	長男・猛		1951年7月5日	鉛筆・水彩	洋紙	14.2×19.0
64	ヤギと猛		1952年8月2日	鉛筆	洋紙	15.1×21.1
65	少年2態		1956年	鉛筆	洋紙	17.6×25.0
66	すもうをとる子ども		1964年頃	鉛筆	洋紙	36.2×26.8
67	砂遊びをする子どもたち		1966年頃	鉛筆	洋紙	13.8×17.8

『わたしのえほん』

68	バラとふたりの子ども	『わたしのえほん』	みどり書房	1968年	水彩	洋紙	24.1×35.6
69	夕日と町並み	『わたしのえほん』	みどり書房	1968年	水彩・鉛筆	洋紙	24.2×36.0
70	クレヨンで絵を描く少女	『わたしのえほん』	みどり書房	1968年	鉛筆・墨	洋紙	24.2×25.8
71	焦土	『わたしのえほん』	みどり書房	1968年	水彩	洋紙(もみ紙)	18.3×26.0
72	花とふたつのウィングラス	『わたしのえほん』	みどり書房	1968年	水彩・鉛筆	洋紙	24.1×36.0
73	雪の上の人影	『わたしのえほん』	みどり書房	1968年	水彩	洋紙(もみ紙)	23.6×34.6
74	指輪をはめた手	『わたしのえほん』	みどり書房	1968年	水彩・鉛筆	洋紙	24.2×36.0
75	紫のワンピースの女の子と子どもたち	『わたしのえほん』	みどり書房	1968年	水彩・鉛筆	洋紙	24.1×21.8
76	ガラガラをもつあかちゃん	『わたしのえほん』	みどり書房	1968年	水彩・鉛筆	洋紙	24.0×14.1
77	アトリエの自画像	『わたしのえほん』	みどり書房	1968年	水彩・鉛筆	洋紙	24.1×17.8
78	絵の具とチューリップ	『わたしのえほん』	みどり書房	1968年	水彩・鉛筆	洋紙	24.1×20.6
79	「おじいさんのすることにまちがいはない」	『わたしのえほん』	みどり書房	1968年	水彩・鉛筆	洋紙	24.2×36.1

絵本

80	花びらの舟に乗るおやゆび姫	『おやゆび姫』	ひかりのくに昭和出版	1966年	水彩・鉛筆	洋紙	35.6×48.3
81	もぐらとけがをしたつばめを見つけたおやゆび姫	『おやゆび姫』	ひかりのくに昭和出版	1966年	水彩・鉛筆	洋紙	35.7×48.4
82	おひさまを見るおやゆび姫とつばめ	『おやゆび姫』	ひかりのくに昭和出版	1966年	水彩・鉛筆	洋紙	35.7×48.4
83	花の国の王子とおやゆび姫	『おやゆび姫』	ひかりのくに昭和出版	1966年	水彩・鉛筆	洋紙	35.8×48.4
84	思い出の国の入口に立つチルチルとミチル	『青い鳥』	世界文化社	1969年	水彩・鉛筆	洋紙	35.9×48.3
85	夜の国で青い鳥をつかまえるチルチルとミチル	『青い鳥』	世界文化社	1969年	水彩・鉛筆	洋紙	35.9×48.4
86	チルチルと話す未来の国の子どもたち	『青い鳥』	世界文化社	1969年	水彩・鉛筆	洋紙	36.0×48.3
87	緑の背景のなかの小鳥	『こたりのくるひ』	至光社	1971年	水彩	洋紙	35.7×48.2
88	椅子に座る少女とクマ	『こたりのくるひ』	至光社	1971年	水彩	洋紙	35.8×46.5
89	金魚ばち	『こたりのくるひ』	至光社	1971年	水彩	洋紙	35.8×36.1
90	小鳥を追う少年	『こたりのくるひ』	至光社	1971年	水彩・鉛筆	洋紙	33.2×43.9
91	小鳥と少女	『こたりのくるひ』	至光社	1971年	水彩	洋紙	35.0×38.0
92	鳥かごの小鳥	『こたりのくるひ』	至光社	1971年	水彩	洋紙	35.7×38.8
93	鳥かごとクマと少女	『こたりのくるひ』	至光社	1971年	鉛筆・墨	洋紙	33.7×54.5
94	羽ばたく小鳥(背景)	『こたりのくるひ』	至光社	1971年	水彩	洋紙(もみ紙)	35.1×41.4
95	羽ばたく小鳥(小鳥)	『こたりのくるひ』	至光社	1971年	水彩	洋紙	10.7×10.6
96	窓辺の小鳥と少女	『こたりのくるひ』	至光社	1971年	水彩・鉛筆	洋紙	3.5×3.5
97	見つめる少女	『わたしがちいさかったときに』	童心社	1967年	鉛筆	洋紙	26.0×20.9
98	そのときばかりは	『わたしがちいさかったときに』	童心社	1967年	鉛筆・墨	洋紙	27.2×38.0
99	トマトと少女	『わたしがちいさかったときに』	童心社	1967年	鉛筆・墨	洋紙	24.2×16.6
100	死んだ子どもを抱く目の見えなくなった母親	『わたしがちいさかったときに』	童心社	1967年	鉛筆・墨	洋紙	24.2×17.9
101	防空すきんにくるまるあかちゃん	『わたしがちいさかったときに』	童心社	1967年	鉛筆・墨	洋紙	24.2×18.0
102	広島から八里の道を歩いて帰ってきた少女	『わたしがちいさかったときに』	童心社	1967年	鉛筆・墨	洋紙	24.2×23.5
103	少年	『戦火のなかの子どもたち』	岩崎書店	1973年	鉛筆・水彩	洋紙	35.7×36.4
104	焼け跡の姉弟	『戦火のなかの子どもたち』	岩崎書店	1973年	鉛筆・墨	洋紙	36.0×48.0
105	たたずむ少年	『戦火のなかの子どもたち』	岩崎書店	1972年	鉛筆・水彩	洋紙	39.0×32.0
106	焔のなかの母と子	『戦火のなかの子どもたち』	岩崎書店	1973年	鉛筆・墨	洋紙	38.5×54.5
107	ものかげからのぞく少女	『戦火のなかの子どもたち』	岩崎書店	1973年	鉛筆	洋紙	45.0×36.0
108	冬の日本海	『赤い蠟燭と人魚』	童心社	1973年	墨・鉛筆	洋紙	36.0×46.0
109	荒れる海と人魚	『赤い蠟燭と人魚』	童心社	1973年	墨・鉛筆	洋紙	24.0×36.0
110	蠟燭に絵を描く少女	『赤い蠟燭と人魚』	童心社	1973年	鉛筆	洋紙	25.8×18.3

エピソード

111	「世界中の子どもみんなに平和とあわせを」	「ベトナムの子供を支援する会」反戦野外展ポスター		1970年	パステル	洋紙	103.5×73.0
112	立てひざの少年	「子どものあわせ」1974年6月号	草土文化	1970年	パステル・水彩	洋紙	48.3×35.7
113	どろんこの少年	「強い子を育てる」	童心社	1970年	パステル・水彩	洋紙	35.7×22.9
114	絵をかく女の子			1970年	パステル・水彩	洋紙	35.7×48.4
115	母の日	「こどものせかい」1972年5月号	至光社	1972年	水彩・鉛筆	洋紙	35.7×38.0

ピエゾグラフ

116	わらびを持つ少女	「あかまんまとうげ」	童心社	1972年	水彩・鉛筆	洋紙	36.0×24.0
117	赤い毛糸帽の女の子	「ゆきのひのたんじょうび」	至光社	1972年	水彩	洋紙	32.7×36.1
118	チューリップとあかちゃん	広告		1971年	水彩・鉛筆	洋紙	33.1×23.1
119	睡蓮の葉の上のおやゆび姫	「おやゆび姫」	ひかりの国昭和出版	1966年	水彩・鉛筆	洋紙	35.6×48.4
120	花のなかから生まれたおやゆび姫	「おやゆび姫」	ひかりの国昭和出版	1966年	水彩・鉛筆	洋紙	35.6×48.4
121	発明家になる未来の国の子どもたち	「青い鳥」	世界文化社	1969年	水彩・鉛筆	洋紙	36.0×48.4
122	人魚の少女	「赤い蠟燭と人魚」	童心社	1973年	鉛筆	洋紙	24.0×18.0
123	りんごと天使	「こどものせかい」1964年10月号	至光社	1964年	水彩・鉛筆	洋紙	11.3×11.0

*ピエゾグラフとは 高解像度・高階調のスキャナと、超微小インクドットによってインクジェットプリンタの組み合わせにより原画のタッチまで再現する高品質の複製技術です





美の軌跡

—デューラーから中村彝まで 前川誠郎の美学

【趣旨】

デューラー研究の権威として知られる前川誠郎(1920-2010)は、東京大学文学部教授、国立西洋美術館館長を歴任した日本を代表する美術史家の一人である。新潟県立近代美術館の初代館長として、シカゴ美術館展や2度にわたるエルミタージュ美術館展などの国際的な美術展を新潟の地で開催し、ジャポニズムの絵画や稀少な古版画の収集を行って国内に類例の少ない西洋美術コレクションの基礎を築いた。

本展では、美術館人としての理念に貫かれた前川誠郎の業績の顕彰を目的として、当館所蔵品に国内美術館の名品を加え、西洋と日本の近代美術に見られる相互影響の跡をたどることを試みた。また、生涯研究したデューラーの芸術について、代表作《黙示録》《メレンコリアⅠ》を中心に特別展示を行った。

【総括】

●評価すべき点

2011年はオルセー美術館初代館長のフランソワーズ・キャシャンが亡くなり、同年開催の「マネー近代の創造者」展が彼女に捧げられた年であった。また、ロンドンのナショナル・ギャラリーでは、初代館長イーストレイクの功績に焦点をあてた「国民のための美術 ナショナル・ギャラリーのチャールズ・イーストレイク卿」展が開催されている。日本においては、コレクターや美術評論家を兼ねる場合は別として、初代館長を取り上

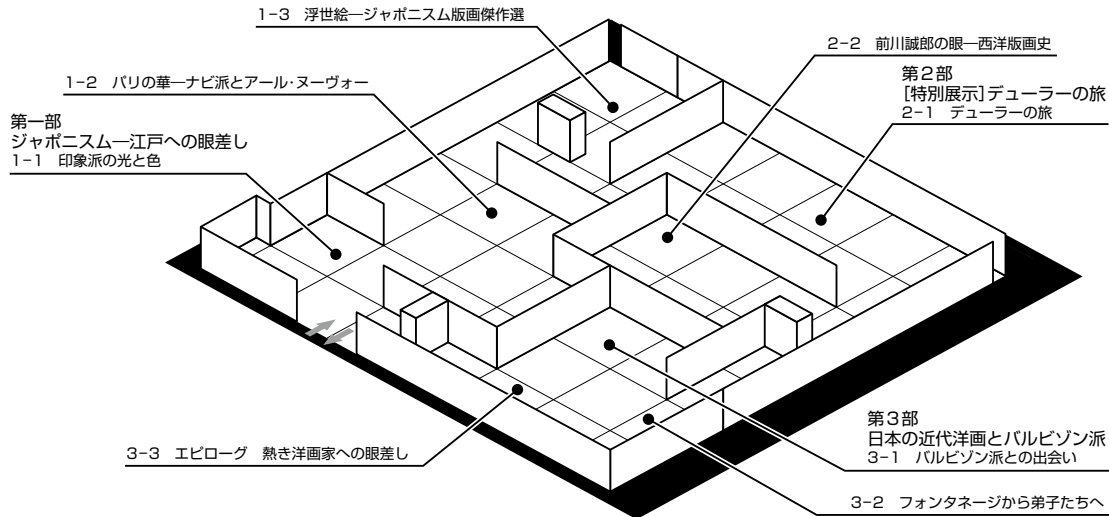
げた展覧会はいまだ稀な試みだったといえる。展覧会内容を紹介する図録を制作し、その意義を広く伝えることができたことには少なからぬ意味があった。また、首都圏主導が続く近年の日本の美術館事情を憂えて、前川氏が県立美術館の運営に取り組んだ10年間の仕事を振り返ったことは、2013年に開館20周年を迎える当館の将来的展望を得る意味でも、有意義だった。開館以来、当館の活動を長年支持してくれる美術愛好者からも好評を得た。

●検討課題

今回の展覧会は、平生から当館の活動を知る美術愛好家には十分アピールできたが、若年層の来館者の開拓が果たせたかどうかという点では課題が残った。初代館長の名前を知らない人に対しては、こちらの意図に反して垣根を作ってしまう、また出品作品のうち所蔵品の占める割合が高かったせいか、全体として来館者数はあまり伸びなかった。

【開催日・その他】

=2011年9月3日(土)~10月10日(月・祝)33日間)=
主 催：新潟県立近代美術館
後 援：長岡市、長岡市教育委員会、新潟県美術教育連盟、新潟日独協会、新潟・フランス協会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、ケーブルテレビのエヌ・シー・ティ、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FMながおか80.7



協力：国立西洋美術館、TeNYテレビ新潟
 観覧料：一般……600円（400円）〈400円〉
 大学・高校生…400円（200円）
 ＊中学生以下無料
 ＊（ ）内は有料20名以上の団体料金
 ＊〈 〉内は前売り料金

【関連行事】

・連続講座

「国家有用の美術ーフォンタネージと小山正太郎」
 9月3日(土) 14:00～
 講師：松矢国憲（当館専門学芸員）
 参加者数：16名

「デューラーの旅」
 9月11日(日) 14:00～
 講師：桐原 浩（県立万代島美術館業務課長）
 参加者数：25名

「モネとロダンー近代美術の革命者」
 9月17日(土) 14:00～
 講師：平石昌子（当館学芸課長代理）
 参加者数：40名

「ジャポニスムー江戸への眼差し」
 10月1日(土) 14:00～
 講師：藤田裕彦（当館学芸課長）
 参加者数：21名

・名作アンコール上映

前川誠郎出演・監修のシリーズ番組『芸術百話』
 （1996年TeNYテレビ新潟制作）をセレクト上映
 9月4日(日) 「桃李の門」／「日本への返事」
 9月18日(日) 「嵐と黙示録」／「パトロンの言葉」
 10月2日(日) 「ショパンとドラクロワ」／
 「モーツァルトとベートーヴェン」
 10月8日(日) 「版画の東西」浮世絵①／
 「歌麿・北斎・広重」浮世絵②
 参加者数：計46名

・コンサート

「アフタヌーン・ショパン」
 9月25日(日)
 華麗なる大円舞曲 Op.18
 マズルカ 第23番 Op.33の2
 マズルカ 第24番 Op.33の3
 ポロネーズ 第6番 変イ長調 Op.53《英雄》
 華麗なる円舞曲 Op.34の2
 演奏：高木明子氏（ピアノ）
 参加者数：62名

【図録】

仕様：B5判変型 186頁

編集／発行：新潟県立近代美術館

内容：謝辞

ごあいさつ

「前川誠郎先生の思い出」／勝國興

「前川誠郎先生の思い出－大学と美術館での15年」／馬淵明子

「学恩について－前川誠郎先生の思い出」／本江邦夫

「仏のような温かい掌の上で」／小佐野重利

「前川誠郎先生とヴェネツィア－ヤーコポ・デ・バルバリの鳥瞰図をめぐる」／越川倫明

第1部 ジャポニスム－江戸への眼差し
「ジャポニスムと新潟県立近代美術館」／藤田裕彦

第2部 [特別展示] デューラーの旅
「デューラーの旅」／桐原浩

第3部 日本の近代洋画とバルビゾン派
「小山正太郎とフォンタネージ、そして中村彝をめぐるコレクション」／松矢国憲

コラム「〈コロンブの平原、霜〉に描かれたもの」／平石昌子

「メンデルスゾーンは好き？」
／清原奈美子

前川誠郎 略年譜

前川誠郎 著作目録

文献再録

作家略歴

作品リスト

翻訳：高晟俊（独文和訳・和文英訳）



【関連記事】

●新聞

9月3日(土) 新潟日報
「初代館長をしのぶ」

9月7日(水) 新潟日報
「『美の軌跡－前川誠郎の美学』展に寄せて」／平石昌子

9月14日(水) 毎日新聞
「美・コレクション 西洋文化の神髄に迫る」／岸桂子

10月18日(火) 新潟日報
「あーとびっくす 5人の蔵書票と小品展」／渡辺和彦

●テレビ

9月11日(日) NHK 日曜美術館 アートシーン

●雑誌

CARREL 10月号
「美術館に展覧会を観に行く、という話」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	1,712
	前売	66
無料観覧者数	無料	1,130
	免除	166
総観覧者数		3,074
有料率 (%)		57.8

担当 平石昌子、藤田裕彦、松矢国憲、高 晟俊

【出品リスト】

第1部 ジャポニスムー江戸への眼差し

1-1 印象派の色と光					
No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵先
1	エドゥアール・マネ	花の中の子供(ジャック・オシュデ)	1876	油彩、キャンヴァス	国立西洋美術館
2	カミーユ・ピサロ	ルヴシエンヌの画家の家、雪	1871	油彩、キャンヴァス	寄託作品
3	アルフレッド・シスレー	ルヴシエンヌの風景	1873	油彩、キャンヴァス	国立西洋美術館
4	ポール・セザンヌ	水浴	1875	油彩、キャンヴァス	寄託作品
5	クロード・モネ	コロンブの平原、霜	1873	油彩、キャンヴァス	当館
6	クロード・モネ	しゃくやくの花園	1887	油彩、キャンヴァス	国立西洋美術館 松方コレクション

1-2 パリの華ー ナビ派とアール・ヌーヴォー					
7	モーリス・ドニ	夕映えの中のマルト	1892	油彩、キャンヴァス	当館
8	喜多川歌麿	難波屋おきた	1792-93	木版、紙	
9	ジークフリート・ピング発行	芸術の日本(全3巻・合本)	1888-91	書籍	当館
10	ポール＝エリー・ランソン	収穫する7人の女性	1895	膠絵、キャンヴァス	当館
11-1	モーリス・ドニ	アムール(愛):1 表紙	1892-99	リトグラフ、紙	当館
11-2	モーリス・ドニ	アムール(愛):5 それは敬虔な神秘さだった	1892-99	リトグラフ、紙	当館
11-3	モーリス・ドニ	アムール(愛):9 私たちの魂はゆっくりとした動作の中に	1892-99	リトグラフ、紙	当館
12-1	ビエール・ボナール	パリ生活の諸相:1 表紙	1895-99	リトグラフ、紙	当館
12-2	ビエール・ボナール	パリ生活の諸相:2 並木道	1895-99	リトグラフ、紙	当館
12-3	ビエール・ボナール	パリ生活の諸相:4 中庭に面した家	1895-99	リトグラフ、紙	当館
13	アンリ・ドトゥールズ＝ロートレック	ロイ・フラー嬢	1893	リトグラフ、紙	町田市立国際版画美術館
14-1	エドゥアール・ヴイヤール	風景と室内:1 表紙	1896-99	リトグラフ、紙	当館
14-2	エドゥアール・ヴイヤール	風景と室内:2 チェッカーの勝負	1896-99	リトグラフ、紙	当館
14-3	エドゥアール・ヴイヤール	風景と室内:7 バラ色の壁紙のある室内II	1896-99	リトグラフ、紙	当館
14-4	エドゥアール・ヴイヤール	風景と室内:8 バラ色の壁紙のある室内III	1896-99	リトグラフ、紙	当館
14-5	エドゥアール・ヴイヤール	風景と室内:10 ヨーロッパ橋で	1896-99	リトグラフ、紙	当館
14-6	エドゥアール・ヴイヤール	風景と室内:12 料理人	1896-99	リトグラフ、紙	当館
14-7	エドゥアール・ヴイヤール	風景と室内:13 義理の姉妹	1896-99	リトグラフ、紙	当館
15	フェリックス・ヴァロットン	ラ・ペニエール	1893	リトグラフ、紙	当館
16	フェリックス・ヴァロットン	エドガー・ポーの肖像	1894	木版、紙	当館
17	フェリックス・ヴァロットン	怠惰	1896	木版、紙	当館
18	エドゥアール・マネ	ベルト・モリゾの肖像	1872	リトグラフ、紙	当館
19	オーギュスト・ロダン	鼻のつぶれた男	1863-64	ブロンズ	国立西洋美術館 松方コレクション
20	オーギュスト・ロダン	考える人	1880	ブロンズ	当館
21	オーギュスト・ロダン	疲れ	1887頃	大理石	当館
22	オーギュスト・ロダン	ロダン夫人	1890-91	ブロンズ	清春白樺美術館
23	オーギュスト・ロダン	エスケレピオス	不明	ブロンズ	国立西洋美術館 松方コレクション
24	アルフレッド・ブーシェ	朝顔	1896頃	大理石	当館
25	エミール・ガレ	とんぼと水草文花瓶	不明	ガラス	上越市立総合博物館 有澤忠一コレクション
26	エミール・ガレ	エナメル彩野草文コップとカラフ	不明	ガラス	上越市立総合博物館 有澤忠一コレクション
45	エミール・ベルナール	青い肩かけのブルターニュ婦人	1887	水彩、紙	当館

1-3 浮世絵ージャポニスム版画傑作選					
27	ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ブラック・ライオン埠頭	1859	エッチング、紙	町田市立国際版画美術館
28	ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ロンドンのオールド・バターシー橋	1879	エッチング、紙	当館
29-1	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔36景:1 扉絵	1902	リトグラフ、紙	当館
29-2	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔36景:2 エッフェル塔の工事現場	1902	リトグラフ、紙	当館
29-3	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔36景:3 建築中のエッフェル塔、トロカデロからの眺め	1902	リトグラフ、紙	当館
29-4	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔36景:12 パリ祭	1902	リトグラフ、紙	当館
29-5	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔36景:23 コンコルド広場	1902	リトグラフ、紙	当館
29-6	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔36景:25 エッフェル塔の中で	1902	リトグラフ、紙	当館
30-1	葛飾北斎	富嶽三十六景:神奈川浪浪裏	1831-33頃	木版、紙	千葉市美術館 ※前期展示
30-2	葛飾北斎	富嶽三十六景:遠江山中	1831-33	木版、紙	当館
30-3	葛飾北斎	富嶽三十六景:隠田の水車	1831-33頃	木版、紙	千葉市美術館 ※後期展示
30-4	葛飾北斎	富嶽三十六景:相州仲原	1831-33頃	木版、紙	千葉市美術館 ※前期展示
30-5	葛飾北斎	富嶽三十六景:駿州大野新田	1831-33頃	木版、紙	千葉市美術館 ※後期展示
31	葛飾北斎	富嶽百景 (初編・二編・三編)	1834-36頃	墨摺絵本	千葉市美術館
32-1	歌川広重	保永堂版 東海道五十三次:浦原・夜之雪	1833頃	木版、紙	
32-2	歌川広重	保永堂版 東海道五十三次:庄野・白雨	1833頃	木版、紙	
33-1	フェリックス・ブラックモン	ブラックモンによる6枚の腐蝕銅版画:表紙	1887	リトグラフ、紙	当館
33-2	フェリックス・ブラックモン	ブラックモンによる6枚の腐蝕銅版画:つばめ	1887	エッチング、紙	当館
33-3	フェリックス・ブラックモン	ブラックモンによる6枚の腐蝕銅版画:雷雨	1887	エッチング、紙	当館

34	フェリックス・ビュオ	ジャポニスム:10のエッチングヒキガエル・ブロンズのインク壺	1875-90	エッチング・ドライポイント・アクアチント、紙	当館
35	フェリックス・ビュオ	断崖・サン・マロの入江	1886-90	エッチング・ドライポイント・アクアチント、紙	当館
36	アレクサンドル・シャルパンティエ	艫權船に乗った若い女性(トレーン)	1895	リトグラフ・空押し、紙	当館
37	アンリ・ラシュー	飾り絵	1893	リトグラフ、紙	当館
38	リチャルト・ランフト	洋装店の女性たち・「エスタンブ・オリジナル」誌より	1894	エッチング・アクアチント、紙	当館
39	ジェームズ・ティソ	夏の夕べ	1882	エッチング・ドライポイント、紙	当館
40	ジョルジュ・オリオール	最も高い木の上でナイチンゲールが歌った	1895	リトグラフ、紙	当館
41	アドルフ・ジラルドン	日本美術の友	1907	リトグラフ、紙	当館
42	ジョルジュ・レメン	版画	1908	リトグラフ、紙	当館
43	エミール・オルリク	日本の摺師	1900-1901	木版、紙	当館
44	アンリ・シャルル・ゲラルール	日本の装飾の研究	不明	エッチング・アクアチント、紙	当館

第2部 【特別展示】 デューラーの旅ー前川誠郎の美学

2-1 デューラーの旅

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵先
46-1	アルブレヒト・デューラー	黙示録:扉絵 聖母子を仰ぎ見るヨハネ	1511	木版、紙	当館
46-2	アルブレヒト・デューラー	黙示録:初版扉絵 ヨハネの殉教	1498(1511刊行)	木版、紙	当館
46-3	アルブレヒト・デューラー	黙示録:第1図 七つの燭台を見るヨハネ	1498(1511刊行)	木版、紙	当館
46-4	アルブレヒト・デューラー	黙示録:第2図 神の玉座を囲む二十四人の長老	1498(1511刊行)	木版、紙	当館
46-5	アルブレヒト・デューラー	黙示録:第3図 四人の騎者	1498(1511刊行)	木版、紙	当館
46-6	アルブレヒト・デューラー	黙示録:第4図 第五および第六の封印を切る	1498(1511刊行)	木版、紙	当館
46-7	アルブレヒト・デューラー	黙示録:第5図 風を止める四位の天使	1498(1511刊行)	木版、紙	当館
46-8	アルブレヒト・デューラー	黙示録:第6図 喇叭を吹く七位の天使	1498(1511刊行)	木版、紙	当館
46-9	アルブレヒト・デューラー	黙示録:第7図 エウフラテス河畔の四位の天使	1498(1511刊行)	木版、紙	当館
46-10	アルブレヒト・デューラー	黙示録:第8図 書物を食べるヨハネ	1498(1511刊行)	木版、紙	当館
46-11	アルブレヒト・デューラー	黙示録:第9図 太陽の女性と七頭の竜	1498(1511刊行)	木版、紙	当館
46-12	アルブレヒト・デューラー	黙示録:第10図 聖ミカエル、竜を倒す	1498(1511刊行)	木版、紙	当館
46-13	アルブレヒト・デューラー	黙示録:第11図 海から上る獣と仔羊の角をもつ獣	1498(1511刊行)	木版、紙	当館
46-14	アルブレヒト・デューラー	黙示録:第12図 仔羊の前の選ばれしものたち	1498(1511刊行)	木版、紙	当館
46-15	アルブレヒト・デューラー	黙示録:第13図 バビロンの娼婦	1498(1511刊行)	木版、紙	当館
46-16	アルブレヒト・デューラー	黙示録:第14図 深淵の鍵をもつ天使と新しきエルサレム	1498(1511刊行)	木版、紙	当館
47	ヤーコポ・デ・バルバリ	ヴェネツィア鳥瞰図(第3版)	1500 (16世紀後半の刷り)	木版、紙	当館
48	アルブレヒト・デューラー	6つの組紐文:第6葉7つの同じ網目文様のある組紐文	1505-07	木版、紙	当館
49-1	アルブレヒト・デューラー	大受難伝:第3葉 オリブ山上のキリスト	1497-1500 (1511刊行)	木版・手彩色、紙	当館
49-2	アルブレヒト・デューラー	大受難伝:第4葉 キリスト捕縛	1510(1511刊行)	木版・手彩色、紙	当館
50-1	アルブレヒト・デューラー	キリストの鞭打ち(『銅版受難伝』より)	1512	エングレーヴィング、紙	町田市立国際版画美術館
50-2	アルブレヒト・デューラー	十字架を担うキリスト(『銅版受難伝』より)	1512	エングレーヴィング、紙	町田市立国際版画美術館
51	アルブレヒト・デューラー	メレンコリアI	1514	エングレーヴィング、紙	当館
52	アルブレヒト・デューラー	パッタのいる聖家族	1495頃	エングレーヴィング、紙	国立西洋美術館
53	アルブレヒト・デューラー	聖母子と王冠を捧げる二人の天使	1518	エングレーヴィング、紙	町田市立国際版画美術館
54	アルブレヒト・デューラー	ウルリッヒ・ファルンビューラーの肖像	1522 (1620頃の刷り)	木版、紙	当館
55	アントン・コーベルガー刊行	聖書(ドイツ語) 3葉	1483	木版・手彩色、紙	町田市立国際版画美術館
56	ヴォールグムト/ブライテンブルフ	シェーデル著「年代記」(ラテン語)より「ヴェネツィア」	1493	木版、紙	町田市立国際版画美術館
57	マルティン・ショーンガウアー	ピラトの前のキリスト(『受難伝』より)	1475-85頃	エングレーヴィング、紙	町田市立国際版画美術館
58	ルーカス・ファン・レイデン	マグダラのマリアの踊り	1519	エングレーヴィング、紙	町田市立国際版画美術館
59	アンドレア・マンテーニャ	海神の闘い(左半図)	1475頃	エングレーヴィング、紙	国立西洋美術館
60	ジュリオ・カンパニョーラ	洗礼者ヨハネ	1505頃(?)	エングレーヴィング、スティプル・エングレーヴィング、紙	国立西洋美術館
61-1	アルブレヒト・アルトドルファー	人類の墮落と救済:聖母の戴冠	1513頃	木版、紙	町田市立国際版画美術館
61-2	アルブレヒト・アルトドルファー	人類の墮落と救済:人類の墮落	1513頃	木版、紙	町田市立国際版画美術館
61-3	アルブレヒト・アルトドルファー	人類の墮落と救済:楽園追放	1513頃	木版、紙	町田市立国際版画美術館
61-4	アルブレヒト・アルトドルファー	人類の墮落と救済:拒絶されるヨアヒムの捧げ物	1513頃	木版、紙	町田市立国際版画美術館
62	ハンス・バルドゥング・グリーン	天使たちに天上に運ばれるキリストの亡骸	1515-17頃	木版、紙	町田市立国際版画美術館
63	ハンス・ゼーバルト・ペーハム	笛吹とその恋人	1520	エッチング(鉄版)、紙	町田市立国際版画美術館

2-2 前川誠郎の眼ー西洋版画史

64	レンブラント・ハルメンスゾーン・ファン・レイン	柔らかい帽子と刺繍付きの外套をまとった自画像	1631	エッチング、紙	国立西洋美術館
65-1	ヘルクーレス・セーヘルス	ブルーデロー・デ城の廃址	*ファクシミリ版	エッチング	清春白樺美術館
65-2	ヘルクーレス・セーヘルス	樫の老木と川の遠景	*ファクシミリ版	エッチング	清春白樺美術館
65-3	ヘルクーレス・セーヘルス	林に沿った小道	*ファクシミリ版	エッチング	清春白樺美術館
65-4	ヘルクーレス・セーヘルス	谷間を繞って流れる川	*ファクシミリ版	エッチング	清春白樺美術館
65-5	ヘルクーレス・セーヘルス	四本の樹のある谷間	*ファクシミリ版	エッチング	清春白樺美術館

65-7	ヘルクーレス・セーヘルス	髑髏	*ファクシミリ版	エッチング	青春白樺美術館
65-8	ヘルクーレス・セーヘルス	三冊の本	*ファクシミリ版	エッチング、水彩、ニス	青春白樺美術館
65-9	ヘルクーレス・セーヘルス	二本の木	*ファクシミリ版	エッチング	青春白樺美術館
65-10	ヘルクーレス・セーヘルス	城門	*ファクシミリ版	エッチング、水彩	青春白樺美術館
65-11	ヘルクーレス・セーヘルス	自宅の窓からみたアムステルダム市街の景	*ファクシミリ版	エッチング	青春白樺美術館
65-12	ヘルクーレス・セーヘルス	トビアスと大天使ラファエル	*ファクシミリ版	エッチング	青春白樺美術館
65-13	ヘルクーレス・セーヘルス	小さな船	*ファクシミリ版	エッチング、灰色の顔料	青春白樺美術館
65-14	ヘルクーレス・セーヘルス	崖の上に轍の見える谷	*ファクシミリ版	エッチングドライポイント	青春白樺美術館
65-15	ヘルクーレス・セーヘルス	崖の上に轍の見える谷(カウンターブルー)	*ファクシミリ版	エッチング、油彩、灰白色の顔料	青春白樺美術館
65-16	ヘルクーレス・セーヘルス	滝のある谷(第1ヴァージョン)	*ファクシミリ版	エッチングドライポイント、水彩	青春白樺美術館
65-17	ヘルクーレス・セーヘルス	滝のある谷(第2ヴァージョン)	*ファクシミリ版	エッチング、ニス	青春白樺美術館
65-18	ヘルクーレス・セーヘルス	滝のある谷(第2ヴァージョン)	*ファクシミリ版	エッチングドライポイント、グアッシュ	青春白樺美術館
65-19	ヘルクーレス・セーヘルス	海の嵐	*ファクシミリ版	エッチング、ニス	青春白樺美術館
65-20	ヘルクーレス・セーヘルス	ラインスブルク修道院聖堂の廃址(小判)	*ファクシミリ版	エッチング、水彩	青春白樺美術館
65-20	ヘルクーレス・セーヘルス	ラインスブルク修道院聖堂の廃址(小判)	*ファクシミリ版	エッチング、水彩	青春白樺美術館
65-22	ヘルクーレス・セーヘルス	ラインスブルク修道院聖堂の廃址(大判)	*ファクシミリ版	エッチング	青春白樺美術館
65-23	ヘルクーレス・セーヘルス	巨きな樹	*ファクシミリ版	エッチング	青春白樺美術館
65-25	ヘルクーレス・セーヘルス	ホラティウス家とクリアティウス家の墓	*ファクシミリ版	エッチング、油彩	青春白樺美術館
65-26	ヘルクーレス・セーヘルス	道に見える渓流風景	*ファクシミリ版	エッチング、水彩、グアッシュ	青春白樺美術館
65-27	ヘルクーレス・セーヘルス	道に見える渓流風景	*ファクシミリ版	エッチング	青春白樺美術館
66	ジャック・カロ	狩猟図	1620頃	エッチング、紙	当館
67	ジャック・カロ	聖アントニウスの誘惑(第2ヴァージョン)	1635以前	エッチング、紙	当館
68-1	ジャック・カロ	戦争の惨禍(大): 1 扉絵	1633	エッチング、紙	当館
68-2	ジャック・カロ	戦争の惨禍(大): 2 軍籍登録	1633	エッチング、紙	当館
68-3	ジャック・カロ	戦争の惨禍(大): 3 戦闘	1633	エッチング、紙	当館
68-4	ジャック・カロ	戦争の惨禍(大): 4 掠奪	1633	エッチング、紙	当館
68-5	ジャック・カロ	戦争の惨禍(大): 11 絞首刑	1633	エッチング、紙	当館
68-6	ジャック・カロ	戦争の惨禍(大): 12 銃殺	1633	エッチング、紙	当館
68-7	ジャック・カロ	戦争の惨禍(大): 17 農民の復讐	1633	エッチング、紙	当館
68-8	ジャック・カロ	戦争の惨禍(大): 18 褒賞の授与	1633	エッチング、紙	当館
69	フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	カプリエーチョス: 43 理性の眠りは怪物を生む	1799刊行	エッチング・アクアチント、紙	当館
70	フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	戦争の惨禍: 1 来たるべきもへの悲しき予感	1810年代	エッチング・ビュラン、紙	当館
71	エドゥアール・マネ	マクシミリアンの処刑	1868	リトグラフ、紙	当館
72-1	ケーテ・コルヴィッツ	農民戦争: 蜂起	1902~1903	エッチング・アクアチント・ステンシル、紙	当館
72-2	ケーテ・コルヴィッツ	農民戦争: 戦場	1907	エッチング・ステンシル、紙	当館
73	エドヴァルト・ムンク	病める少女	1894	エッチングドライポイント、紙	当館
74	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	ドルリー	1917	木版、紙	当館
75	ヘルマン・マックス・ペヒシュタイン	われらの父よ(主の祈り): カヴァー用木版画	1921	木版、紙	当館
参考出品	16世紀フランドルの工房	サヴェーシゲーデン(オウデナルデのタペストリー)	1580頃	毛織物	当館
資料1	ルードヴィヒ・ハイデンライヒ	レオナルド・ダ・ヴィンチ (Leonardo da Vinci)	1953	書籍	東京大学文学部美術史学研究室蔵(前川誠郎日蔵)
資料2	フリードリヒ・ヴィンクラ	デューラー 人と作品 (Albrecht Dürer: Leben und Werk)	1957	書籍	東京大学文学部美術史学研究室蔵(前川誠郎日蔵)
資料3	カール・フリードリヒ・フォン・モール	調理術の精神 (Geist der Kochkunst)	1978	書籍	東京大学文学部美術史学研究室蔵(前川誠郎日蔵)
資料4	児島喜久雄	レオナルド研究寄与	1973	書籍	東京大学文学部美術史学研究室蔵(前川誠郎日蔵)
資料5	矢代幸雄	サンドロ・ボッティチェリ (Sandro Botticelli)	1925	書籍	公益財団法人吉野石青美術振興財団中山美術文庫蔵(前川誠郎日蔵)
資料6	佐藤通次	独和言林	1936	書籍	公益財団法人吉野石青美術振興財団中山美術文庫蔵(前川誠郎日蔵)
資料7	前川誠郎	デューラーと伊太利旅行	1947	書籍	個人蔵
資料8	前川誠郎	二つのデューラー問題 (Zwei Dürerprobleme)	1984	書籍	個人蔵
資料9	前川誠郎	西へのまなざし (Brick nach Westen)	1990	書籍	個人蔵
資料10	前川誠郎	『雪椿通信』第6号 原稿	1996	原稿	当館

第3部 日本の近代洋画とバルビゾン派

3-1 バルビゾン派との出会い

No.	作家名	作品名	制作年	技法	所蔵先
76	コンスタン・トロワイヨン	りんごの取り入れ	1840頃	油彩、キャンヴァス	当館
77	テオドール・ルソー	ボートに乗る人のいる夏の風景	1845頃	油彩、キャンヴァス	当館
78	ジャン＝フランソワ・ミレー	耕す人	1855~56	エッチング、紙	山梨県立美術館
79	ジャン＝フランソワ・ミレー	母親の心づかい	1862	ガラス版画、紙	山梨県立美術館
80	シャルル＝フランソワ・ドービニー	オワーズ河、イルド・ヴォーの夜明け	1869	油彩、キャンヴァス	当館
81	ギユスターヴ・クールベ	エトルタ海岸、夕日	1869	油彩、キャンヴァス	当館
82	カミーユ・コロー	ビプリ	1874-75	油彩、キャンヴァス	当館
83	カミーユ・コロー	ナポリ近郊の思い出	1860~65	油彩、キャンヴァス	千葉県立美術館
84	アンリ＝ジョゼフ・アルピニー	陽のあたる道	1875	油彩、キャンヴァス	山梨県立美術館
85	ジュリアン・デュプレ	羊飼	1883頃	油彩、キャンヴァス	当館

3-2 フォンタネージから弟子たちへ

86	アントニオ・フォンタネージ	ブジェイ高原	1858-60頃	油彩、キャンヴァス	当館
87	アントニオ・フォンタネージ	風景(不忍池)	1876-78	油彩、キャンヴァス	東京国立博物館
88	アントニオ・フォンタネージ	風景	1876-78	コンテ、紙	東京国立博物館
89	浅井 忠	農人	1890	油彩、キャンヴァス	当館
90	浅井 忠	フォンテンブローの夕景	1901	油彩、板	千葉県立美術館
91	小山正太郎	仙台の桜	1881	油彩、キャンヴァス	当館
92	小山正太郎	濁膠療湯黄葉村店	1889	油彩、キャンヴァス	ボロー美術館
93	小山正太郎	春日山より米山を望む	1889頃	油彩、キャンヴァス	JX日鉱日石エネルギー株式会社
94	小山正太郎	白菊	1900	油彩、キャンヴァス	東京藝術大学
95	青木 繁	妙義山	1902	油彩、板	当館
96	坂本繁二郎	牛	1915	油彩、キャンヴァス	当館

3-3 エピローグー熱き洋画家への眼差し

97	中村 彝	洲崎義郎氏の肖像	1919	油彩、キャンヴァス	当館
98	宮 芳平	カーテンに	1914	油彩、キャンヴァス	当館
99	宮 芳平	ドント・オープン	大正中期	パステル、紙	個人蔵
100-1	宮 芳平	聖地巡礼シリーズ: マリアの驚き	1966-70	油彩、キャンヴァス	当館
100-2	宮 芳平	聖地巡礼シリーズ: 降誕	1966-70	油彩、キャンヴァス	当館
100-3	宮 芳平	聖地巡礼シリーズ: 逃避	1966-70	油彩、キャンヴァス	当館
100-4	宮 芳平	聖地巡礼シリーズ: ユダの椅子	1966-70	油彩、キャンヴァス	当館
100-5	宮 芳平	聖地巡礼シリーズ: ニザンの月	1966-70	油彩、キャンヴァス	当館
100-6	宮 芳平	聖地巡礼シリーズ: ゴルゴダ	1966-70	油彩、キャンヴァス	当館
100-7	宮 芳平	聖地巡礼シリーズ: エフタとその娘	1966-70	油彩、キャンヴァス	当館
100-8	宮 芳平	聖地巡礼シリーズ: ルツとナオミ	1966-70	油彩、キャンヴァス	当館



借りぐらしのアリエッティ × 種田陽平展

【趣旨】

宮崎駿企画、米林宏昌監督の2010年夏に公開されたスタジオジブリのアニメーション映画「借りぐらしのアリエッティ」を映画美術監督・種田陽平が再現した巡回展を開催した。

種田氏は、「上海異人娼館」「キル・ビルVol.1」「ザ・マジックアワー」などの多数の話題作の美術を手がけ、今最も注目を浴びており、2011年秋、紫綬褒章を受章するなど評価も高い。

本展では、主人公である小人の視点から、人間の床下で暮らす彼らの生活空間を巡って体験する展示のほか、種田氏のこれまでの映画美術の制作資料などの貴重な素材を公開した。

【総括】

●評価すべき点

老若男女、多くの方が来館され、美術館の認知度が高まった。また、あまり接する機会のない映画美術について知る機会が設けられた。

●検討課題

一般の人たちは映画セットを美術作品として認識しているというより、アメューズメントの装飾という感覚であり、美術館の認知度は高まったものの、美術そのものへの意識が高められたかという疑問が残った。そうした意識が希薄の中、もっぱら楽しむばかりでなく、博物館としてのものへの意識をどのように高めるかという方策が求められた。

【開催日・その他】

＝2011年11月3日(休)～2012年1月15日(日)(70日間)＝
主 催：借りぐらしのアリエッティ × 種田陽平展
新潟展実行委員会、新潟県立近代美術館、
TeNYテレビ新潟

企画政策協力：スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館

新潟展特別協賛：ブルボン

協 力：A FACTORY、長岡造形大学

後 援：長岡市、長岡市教育委員会、新潟県小学校長会・中学校長会・特別支援学校長会、新潟県高等学校長協会、(財)長岡市芸術文化振興財団、新潟日報社、読売新聞新潟支局、エフェムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FMながおか80.7

観覧料：一般……………1,200円(1,000円)
大学・高校生……………1,000円(800円)
※中学生以下無料
※()内は前売券及び有料20名以上の団体料金

【関連行事】

・種田陽平 × 武重洋二トークセッション

日 時：11月5日(土) 午後2時～

会 場：当館講堂

参加人数：88名



- ・長岡少年少女合唱団ミニコンサート
日 時：11月20日(日) 午後1時15分～1時45分
会 場：エントランス
参加人数：200名
- ・室内楽コンサート
日 時：12月3日(土) 午前11時～11時45分
会 場：当館講堂
参加人数：153名
- ・絵手紙の展示
日 時：12月16日(金)～1月15日(日)
会 場：エントランス先スロープ壁面
参加数：43名51通

担当 松矢国憲、高 俊晟、長嶋圭哉

【図 録】

仕 様：A4変形 28×23cm
編 集：株式会社スタジオジブリ
発 行：日本テレビ放送網株式会社
内 容：はじめに

床下の世界へ

セットづくりに愛を込めて／種田陽平

床下の家ができるまで

種田陽平展と映画美術

日本映画の美術監督の系譜／金澤誠

「映画美術」に関する5つの言葉

映画美術

「スワロウテイル」と「花とアリス」の頃／岩井俊二

美術だと気づかれないのが、いちばんの美術／李相日

CF、PV、展示

イラストレーション

その他の仕事

展示のもととなったイメージボード、美術ボード集

床下の家のイメージボード

イメージボードから美術ボードへ

アリエッティができるまで

おわりに



【関連記事】

●新聞

読売新聞

(10/23(日)、11/4(金)、11/8(火)、12/3(土)、
12/10(土)、12/14(水))

新潟日報 (11/5(土)、11/9(水))

信濃毎日新聞 (12/22(木))

●雑誌

『Komachi』11月号、12月号「新潟アート通信」

『月刊にいがた』10月号、11月号

『CARREL』11月号

『DooS新潟情報マガジン』12月号

●テレビ

11月3日(木) TeNY 「夕方ワイド新潟一番」

●ラジオ

10月28日(金) FM PORT 「FRIDAY ART」

11月3日(木) FM NIIGATA 「FIGUEROA」

11月6日(日) FM NIIGATA

種田陽平ラジオ生出演

11月22日(火) FM PORT

借りぐらしのアリエッティ ×

種田陽平展、生レポート

●その他

『まるごと生活情報』11月12日(土)

「舞台裏見学ツアーレポート」

『暮らしの通信』vol.92

「観て、触れて、楽しむ小人の世界。」

「借りぐらしのアリエッティ × 種田陽平展」。

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	88,482
	前売	17,966
無料観覧者数	無料	66,613
	免除	2,568
総観覧者数		175,686
有料率 (%)		60.6

担当 松矢国憲、高 晟俊、長嶋圭哉

【出品リスト】

映画等作品名	展示物
借りぐらしのアリエッティ	東京会場模型
	スタンドグラス
	ドールハウス
	宮崎駿ドローイング
	アリエッティ原画
	セル画
米林宏昌イメージボード	
有頂天ホテル	小道具
	スチール写真パネル
	ホテル模型
	フロアプラン
	ポスター
キル・ビルVol.1	写真パネル
	ビル屋上装飾模型
	小道具
	セット構想図
	フロアプラン
	ポスター
マジックアワー	写真パネル
	模型
	ポスター
不夜城	写真パネル
	セット構想図
	イメージ画
	ポスター
ヴィヨンの妻	写真パネル
	ポスター
千年旅人	写真パネル
	写真パネル
ほとけ	写真パネル
フラガール	写真パネル
ステキな金縛り	写真パネル
	ポスター
悪人	装飾品
	手書き床板模様
	写真パネル
	ポスター
スワロウテイル	写真パネル
	イメージ画
	ポスター
イノセンス	写真パネル
ベッジ・バートン	模型
	写真パネル
「小さなルーヴル美術館」展	写真パネル
TANEDA'S COOL SINGLE CUBE	写真パネル
種田陽平チネッチタ2009ポスター	
チネッチタポスター写真パネル	



びじゅつのあそびば

【趣 旨】

遊びながら美術作品の鑑賞・美術館を楽しむ、当館収蔵作品による展覧会。会場内の各区画を“ひろば”(広場)としてテーマを設定、ひろばにはテーマに沿った様々な仕掛け(遊び)を用意した。「おしゃべりひろば」では、作中の人物や動物がどんなおしゃべりをしているか、何を思っているか、ふきだしに記入し会場内に掲示した。また「おとのひろば」では、作品から聞こえてくる音を想像して遊べるようにした。「なぞ?なぞ?ひろば」では、作品にまつわるなぞなぞをシートにして設置、「なりきりひろば」では作品になりきるための工作を行うスペースを設けた。来場者がこれらの遊びに参加することで、美術作品を見ること、更には美術館自体にも親しみを持ち、美術館が楽しい場所であると感じてもらうことをねらいとした。また、会場では当館監視員や展覧会ボランティアサポーターがコミュニケーターとなり、来場者と作品をつなぐ役割を果たした。

【総 括】

●評価すべき点

美術館で遊ぶというコンセプトのもと、子ども連れのグループを中心に良い反応を得ることができた。また、教職課程の学生を中心とした展覧会ボランティアサポーターや、中越地区の美術教員などを講師に招いてのワークショップを通し、地域と新たな協力関係を築くことができた意義は大きい。

●検討課題

多くの充実した関連イベントを行えた反面、それぞれの広報に手が行き届かなかった。外部講師を招いてのワークショップでは、何度も検討し合う過程で得ることは多かったが、広報も見込んだ準備が不十分だったことが反省点としてあげられる。また会期が年度末・年度初めだったこともあり、ターゲットとしていた小・中学校の集客が十分に図れなかった。

【開催日・その他】

=2012年2月28日(火)~4月15日(日)(42日間)=

主 催：新潟県立近代美術館

共 催：長岡造形大学

後 援：長岡市、長岡市教育委員会、新潟県美術教育連盟、新潟県小学校長会、新潟県中学校長会、新潟県特別支援学校長会、長岡市子ども会連絡協議会、新潟県子ども会連絡協議会、(財)長岡市芸術文化振興財団、新潟日報美術振興財団

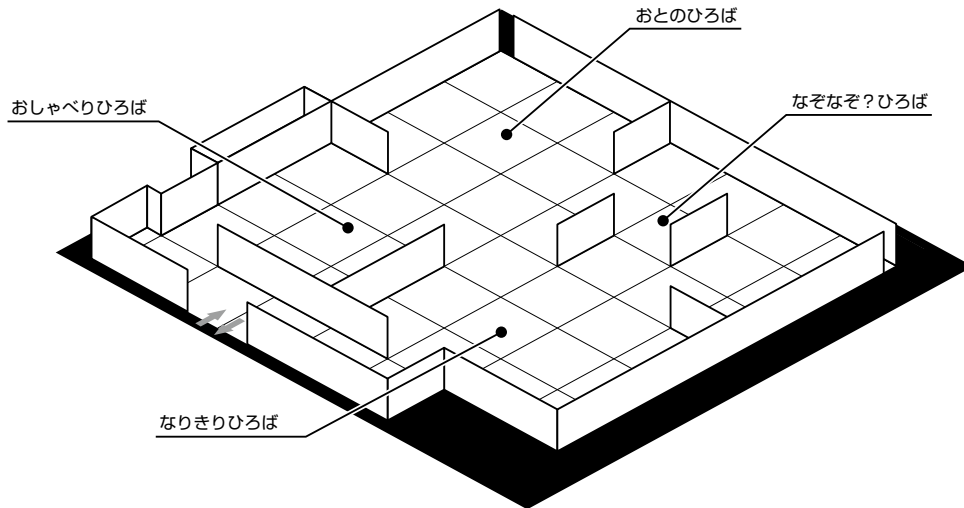
協 力：新潟県立美術館友の会、新潟県中越美術教育研究会、新潟県立近代美術館アートボランティア

観覧料：一般……………420円(340円)

大学・高校生……………200円(160円)

※中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金



【関連行事】

・ワークショップ《びじゅつ☆体験隊》

きんびのびじゅつであそぼう

日 時：3月11日(日) 14：00～

会 場：企画展示室、コレクション展示室

講 師：伊澤朋美（当館美術学芸員）

参加人数：15名

・ワークショップ びじゅつかんであそぼう！

「名画の謎を解け！クイズラリー」

日 時：3月4日(日) 14：00～

会 場：企画展示室

講 師：金澤健志氏（長岡市立上組小学校）、中越

美術教育研究会会員等、中越地区図工・

美術教員

参加人数：50名

「からだで表現、はいポーズ」

日 時：3月18日(日) 14：00～

会 場：企画展示室

講 師：大平良子氏（長岡市立与板幼稚園園長）

南波洋一氏（長岡市立与板幼稚園）

参加人数：14名

「からだで気持ちを表すと…!？」

日 時：3月25日(日) 14：00～

会 場：講座室、企画展示室

講 師：菊谷かおり氏（長岡市立東北中学校）

参加人数：16名

「わたしがモデル!? 「10人のインディアン」」

日 時：4月1日(日) 14：00～

会 場：企画展示室

講 師：吉本美晴氏、石森 慧氏（上越教育大学

大学院）

参加人数：14名

「「10人のインディアン」 アレンジ絵皿づくり」

日 時：4月8日(日) 14：00～

会 場：講座室、企画展示室

講 師：柴野ひさ子氏、小林たつ子氏（見附市

立葛巻小学校）

参加人数：14名



「おはなしをつくろう」

日 時：4月15日(日) 14:00～

会 場：講座室、企画展示室

講 師：広川佳予子氏（絵本ナビゲーター）

参加人数：18名

・おもいきりおえかき

日 時：会期中常時

会 場：企画展示室前ロビー

・講演会

「児童画の世界をさぐる一わが子のよさや可能性が見える」

日 時：3月3日(土) 14:00～

会 場：講座室

講 師：結城和廣氏（長岡造形大学教授）

参加人数：7名

担当：伊澤朋美、松矢国憲、野村弘毅、佐藤克己

【関連記事】

●新聞

新潟日報（3/17(土)）

長岡よみうり（3/28(水)）

信濃毎日新聞（4/4(水)）

●テレビ

2/29(水) NHK総合テレビ

「お昼はじよんのび 暮らし情報便」

●ラジオ

3/2(金) FM PORT

「FRIDAY ART」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	1,473
無料観覧者数	招待	939
	無料	1,029
総観覧者数		3,411
有料率 (%)		42.8

【出品リスト】
おしゃべりひろば

No.	分野	作家名	作品名	制作年	素材・技法
1	日本画	加山又造	月と駱駝	1957(昭和32)	紙本彩色
2	油彩	柏森琢也	海の幸	1978(昭和43)	油彩・キャンバス
3	日本画	三浦文治	浜	1973(昭和48)	紙本彩色
4	油彩	北川民次	大地	1939(昭和14)	油彩・キャンバス
5	日本画	尾竹越堂	渡し	大正初期	紙本彩色
6	油彩	阿部展也	太郎	1949(昭和24)	油彩・キャンバス
7	彫刻	ケーテ・コルヴィッツ	母と二人の子	1932～36	ブロンズ
8	彫刻	オーギュスト・ロダン	考える人	1881	ブロンズ

おとのひろば

9	日本画	千住博	WATERFALL	2000(平成12)	紙本彩色
10	日本画	横山操	炎炎桜島	1959(昭和34)	紙本彩色
11	油彩	高井貞二	MIDORITOUZU	1965(昭和40)	油彩・キャンバス
12	油彩	前田常作	人間誕生6	1963(昭和38)	油彩・キャンバス、アクリル絵具
13	油彩	元永定正	作品	1965(昭和40)	油性合成樹脂・キャンバス

なぞ?なぞ?ひろば

14	油彩	猪爪彦一	風景	1990(平成2)	油彩・キャンバス
15	油彩	猪熊弦一郎	犬とネクタイ	1991(平成3)	油彩・キャンバス
16	油彩	野間仁根	花園の友人	1936(昭和11)	油彩・キャンバス
17	油彩	岡本太郎	顔	1965(昭和40)	油彩・キャンバス
18	油彩	阿部展也	作品	1949(昭和24)	油彩・キャンバス
19	立体	ルーチョ・デル＝ベッツォ	足を持った偉大なる金	1966	油彩、金箔・木
20	日本画	三輪晁勢	游	1971(昭和46)	紙本彩色
21	油彩	ヨンダミノル	Just curve for Blue	1966(昭和41)	油彩・キャンバス(変形)

なりきりひろば

22	油彩	岡本信治郎	10人のインディアン1	1964(昭和39)	水彩・キャンバス
23	油彩	岡本信治郎	10人のインディアン2	1964(昭和39)	水彩・キャンバス
24	油彩	岡本信治郎	10人のインディアン3	1964(昭和39)	水彩・キャンバス
25	油彩	岡本信治郎	10人のインディアン4	1964(昭和39)	水彩・キャンバス
26	油彩	岡本信治郎	10人のインディアン5	1964(昭和39)	水彩・キャンバス
27	油彩	岡本信治郎	10人のインディアン6	1964(昭和39)	水彩・キャンバス
28	油彩	岡本信治郎	10人のインディアン7	1964(昭和39)	水彩・キャンバス
29	油彩	岡本信治郎	10人のインディアン8	1964(昭和39)	水彩・キャンバス
30	油彩	岡本信治郎	10人のインディアン9	1964(昭和39)	水彩・キャンバス
31	油彩	岡本信治郎	10人のインディアン10	1964(昭和39)	水彩・キャンバス

展示室入口

32	彫刻	チェスワフ・ズペール	V.I.P.	1993	ガラス・油絵具
----	----	------------	--------	------	---------

共 催 展

第66回新潟県美術 展覧会長岡展

JAGDA 新人賞展2011 大黒大悟・高田唯・天宅正

【趣旨及び総括】

県民の日頃の創作活動の発表の場を提供し、併せて新潟県の芸術文化の振興に寄与することを目的に開設され、66回展を迎えた。

日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真の7部門に3,004人4,289点の応募があり、入賞作品54点、入選作品1,022点が選ばれた。

長岡展では、7部門の県展賞、奨励賞、新潟日報美術振興賞の入賞作品、長岡市及び周辺地域の入選作品、並びに審査員、委員の作品、無鑑査作品を展示し、9日間で4,642名と多数の来館者があり、盛況であった。

【開催日・その他】

=2011年7月2日(土)～7月10日(日)=

主 催：新潟日报社、新潟県、新潟県教育委員会、新潟市、長岡市、上越市教育委員会、佐渡市教育委員会

後 援：新潟市教育委員会、長岡市教育委員会、上越市、佐渡市、(財)新潟日報美術振興財団

入場料：一般450円 大学生以下無料

審査員：日本画 河村 源三、宮北 千織
洋 画 生方 純一、山田 嘉彦
版 画 河内美榮子、サイトウ良
彫 刻 北郷 悟、多和 圭三
工 芸 唐澤 昌宏、服部 峻
書 道 關 正人、中村 伸夫
写 真 三輪 薫、米 美知子

長岡展作品解説会

7月2日(土) 浦上 義昭(日本画)
石丸 雨虹(書道)
中条 均紀(写真)
7月3日(日) 目黒 煌人(書道)
松本 保忠(彫刻)
7月4日(月) 関 登美恵(日本画)
7月5日(火) 小川 宏(版画)
池山 阿有(洋画)
7月6日(水) 今井 厚(洋画)
倉持 義隆(写真)
7月7日(木) 田辺 千勝(写真)
渡辺 寿(洋画)
7月8日(金) 菊地 美秋(日本画)
荒川 希伊(書道)
7月9日(土) 内山 玉延(書道)
平澤実知雄(写真)
7月10日(日) 河面 元(工芸)

担当 佐藤克己(趣旨及び総括)

JAGDA(社団法人日本グラフィックデザイナー協会)初代会長の故亀倉雄策のコレクションを所蔵する新潟県立近代美術館において、亀倉を讃えて創設された「亀倉雄策賞」の受賞作家作品展並びに「JAGDA新人賞」受賞作家作品展は継続的に開催してきた。

日本のグラフィックデザインの最新かつ最良の作品を展示し、多くの人にグラフィックデザインの創造性を感じてもらい、デザインへの理解と親近感を醸成することを目的とする。

今年度第13回目となる亀倉雄策賞は該当者がなかったため、新人賞のみの開催となったが、亀倉賞を展示しなかったことによるスペースで、本年3・11の東日本大震災を受けての東北支援のチャリティーワークショップ、並びにその成果物の展示を行うことができ、意義あるものとなった。展示、会期中の監視、ワークショップなど、長岡造形大学生の協力を得て、美術館と大学との連携を深めることにも寄与した。

また、会期中には長岡造形大学で出品作家によるトークイベントを開催したことで、デザインを学ぶ学生に大いに刺激を与えたとともに、JAGDA新潟支部の協力のもと、一線で活躍するデザイナーたちと、地域のデザイナー、デザイナーを志す若者たちとの交流を図ることができた。

【開催日・その他】

=2011年11月19日(土)～11月27日(日)(9日間)=

会 場：新潟県立近代美術館 ギャラリー

主 催：新潟県立近代美術館、長岡造形大学、社団法人日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)

協 賛：株式会社日本デザインセンター

協 力：クリエイションギャラリー G8、株式会社金羊社

入場無料

開催記念トークイベント@長岡造形大学

2011年11月23日(水) 祝13:30～16:30(開場13:00)

会 場：長岡造形大学 円型講義室/レストラン
(定員200名・参加費無料・申込不要)

PART1 13:30～15:00

JAGDA新人賞トークショー

(大黒大悟・高田唯・天宅正)

PART2 15:15～16:30

ティーパーティ

第42回新潟県ジュニア 美術展覧会長岡展

・同時開催

「JAGDA東北復興支援チャリティ やさしいハンカチ展」

2011年11月19日(土)～11月27日(日)(9日間)

会 場：新潟県立近代美術館 ギャラリー

開催記念ワークショップ

「やさしいハンカチをつくろう！」

2011年11月19日(土)・11月20日(日) 10:00～16:00

会 場：新潟県立近代美術館 ギャラリー

参加費：東北復興へのチャリティとして500円
(1人1枚につき)

担当 荒井直美

【趣旨及び総括】

園児、児童、生徒を対象とした全県規模のコンクール。今回で42回を迎えた。

県内732の幼稚園、小・中学校、特別支援学校などから36,679点の応募があり、県内外の審査員により選ばれた2,060点を新潟市、上越市、柏崎市、長岡市の4か所で巡回展示した。長岡展は当館で開催され、土・日曜日には親子連れの観覧者も多かった。

【開催日・その他】

新潟展 2011年11月26日(土)～12月8日(休)
(新潟県民会館ギャラリー)

上越展 2012年1月12日(休)～1月17日(火)
(上越市市民プラザ)

柏崎展 2012年1月21日(土)～1月26日(休)
(柏崎ソフィアセンター)

長岡展 2012年2月9日(休)～2月19日(日)
(新潟県立近代美術館)

主 催：新潟日報社・新潟県教育委員会・新潟県立近代美術館・新潟県美術教育連盟・新潟市教育委員会・長岡市教育委員会・上越市教育委員会・柏崎市教育委員会

後 援：新潟日報美術振興財団

入場無料

審査員

幼稚園・保育園(3～5歳)

戸潤幸夫(新潟県立大学教授)

小学校(1年)

降旗 孝(山形大学教授)

小学校(2年)

橋本光明(信州大学名誉教授)

小学校(3年)

辻 政博(前東京都図画工作研究会会長)

小学校(4年)

佐藤哲夫(新潟大学教授)

小学校(5年)

阿部靖子(上越教育大学教授)

小学校(6年)

小澤基弘(埼玉大学教授)

中学校(1年～3年)

大泉義一(横浜国立大学准教授)

特別支援学校

藤江 充(愛知教育大学教授)

担当 高 晟俊

第15回新潟県立美術館 友の会作品展

【趣旨及び総括】

友の会会員の制作した作品を募集し、会員の結束を図りながら、美術館の運営や活動に協力することを目的として、平成9年度に企画、以来開催を続けている。

第15回展では、会員20名による35点、及び近代美術館長を始めとする美術館職員4名による6点、長岡市美術協会の賛助作品8点を展示紹介した。

賛助作品については、平成16年度、発足10周年にあたる第8回展から、友の会発足当時ご尽力いただいた長岡市美術協会への感謝の意を表して、展示交流の機会としている。

【開催日・その他】

=2011年10月29日(土)～11月6日(日)=

会 場：新潟県立近代美術館ギャラリー

主 催：新潟県立美術館友の会、新潟県立近代美術館

入場無料

担当 佐藤和子（新潟県立美術館友の会事務局）

所蔵品展



画家のまなざし スケッチ、構想、そして作品

万代島美術館
所蔵品展
画家のまなざし

【趣旨】

新潟県立近代美術館及び万代島美術館では、県出身の日本画家である岩田正巳の天下絵、小島丹漾の小下絵、長井亮之の小下絵及びスケッチを多数所蔵している。また、抽象画に至る過程が見いだせる末松正樹の素描や早世の画家田畑あきら子や難波田史男のドローイングも多数所蔵しており、この所蔵品を生かし、画家たちの素顔により迫ろうとする展覧会である。

所蔵品展という位置づけの展覧会であるが、今回は特別出品として新潟市が所蔵する日本画家長井亮之の作品の中から当館所蔵のスケッチと関連するものを借用し、併せて展示した。

全体を二部構成とし、第1部は「スケッチから作品まで」と題し、推敲の痕跡が残る日本画を中心に、本画とともに小下絵や天下絵、関連スケッチなどを展示し、作品制作の過程とそこに表れてくる画家の意図を探ろうとした。第2部では「日々のスケッチ」として、画家たちが日頃の鍛錬や興味の対象として描いた具象物の素描と、スケッチがそのまま作品となったような心象風景のドローイング及び水彩画に分けて展示し、全体に画家の意図や個性、内面が際立つよう工夫した。

また、会場の構成を、入口から自由に各コーナーにも行くことができるよう工夫し、結果的に非常に開放的な構成となった。

【総括】

●評価すべき点

展示する機会の少ない素描類を作品と関連づけて展示することにより、制作の過程や作家の特徴、感性、考え方を提示することができた。

また県出身作家、特に岩田正巳の作品をまとめて展示する機会となり、地元の美術ファンに喜ばれた。

●検討課題

・会期が始まってまもなく震災が起こって来館者が途絶え、来館者数は目標に及ばなかった。

【開催日・その他】

＝2011年4月1日(金)～4月10日(日)(9日間)＝

※全体会期は3月5日(土)～4月10日(日)(32日間)

主催：新潟県立万代島美術館

後援：新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、

朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、

読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、

NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST、

TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、

NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、

FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオ

チャット・エフエム新津、エフエムしばた、

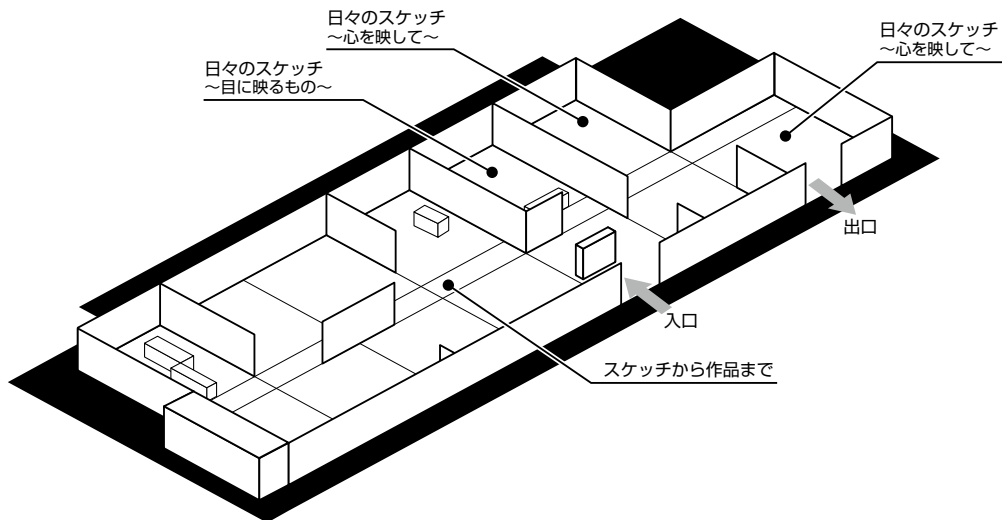
燕三条エフエム放送株式会社

観覧料：一般……………310円(250円)

大学・高校生……………150円(120円)

中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金



【関連行事】

・作品解説会

日 時：会期中の土・日・祝日（全4回）

14：00～

当館学芸員

参加者数：延べ29名

【観覧者数】 ※4/1～4/10

有料観覧者数	当日	332
	前売	—
無料観覧者数	無料	189
	免除	29
総観覧者数		550
有料率 (%)		60.3

担当 宮下東子、飯島沙耶子

【出品リスト】

スケッチから作品まで			
No	作家名	作品名	制作年
1	岩田 正巳	春日垂迹	1927年
2	〃	春日垂迹下絵	1927年
3	〃	秋好中宮	1952年
4	〃	秋好中宮下絵	1952年
5	〃	いかすち	1955年
6	〃	いかすち下絵	1955年
7	〃	群飛	1974年
8	〃	群飛下絵	1974年
9	〃	緑扇	1969年
10	〃	緑扇下絵	1969年
11	〃	母と子	不明
12	〃	母と子下絵	不明
13	〃	夢の姫君	1954年
14	〃	夢の姫君下絵	1954年
15	小林 古径	異端 (下絵)	1914年
16	小杉 放菴	春秋屏風下絵 (春)	1937年
17	小杉 放菴	春秋屏風	1937年
18	柴田 武次	香炉	不明
19	柴田 武次	スケッチ (4点)	不明
20	小島 丹漾	河口暮色小下絵 (4点)	1956年
21	〃	河口暮色	1956年
22	〃	待つ	1965年
23	〃	待つ小下絵 (6点)	1965年
24	〃	雪の駅路小下絵 (9点)	1954年
25	長井 亮之	青鷺	1986年
26	〃	フラミンゴ	1981年
27	〃	見学 (小下絵)	1969年
28	〃	見学	1969年
29	〃	鶴	1970年
30	〃	五位鷺	不明
31	〃	仏像	不明
32	〃	石切山	1960年
33	〃	小下絵・スケッチ (10点)	
34	岩田 正巳	手向けの花下絵	1924年
35	〃	十六夜日記下絵	1926年
36	〃	大和路の西行下絵	1934年
37	〃	忠盛下絵	1941年
38	〃	愛犬下絵	1947年
39	〃	第一歩下絵	1948年
40	〃	鶯下絵	1979年
41	〃	宵下絵	1977年
42	〃	幸若下絵	1954年
43	〃	黒い服の季さん下絵	1963年
44	〃	花と漢拓下絵	1976年
45	柳原 義達	坐る	1960年
46	〃	鳩	1973年
47	〃	鳩	1973年
48	〃	鳩	1973年
49	三芳 悌吉	鬼界ヶ島・硫黄岳	1989年
50	〃	鬼界ヶ島硫黄岳	1989年
51	〃	鳴らぬ手風琴 習作	1987年
52	〃	鳴らぬ手風琴	1987年
53	〃	川とさかなたち 1	1983年
54	〃	川とさかなたち ラフスケッチ 1	1983年
55	〃	川とさかなたち 2	1983年
56	〃	川とさかなたち ラフスケッチ 2	1983年
57	〃	川とさかなたち 4	1983年
58	〃	川とさかなたち ラフスケッチ 4	1983年
59	〃	川とさかなたち 17	1983年
60	〃	川とさかなたち ラフスケッチ 17	1983年
61	〃	川とさかなたち 19	1983年
62	〃	川とさかなたち ラフスケッチ 19	1983年
63	〃	川とさかなたち 構想スケッチ・動植物一覧表	1983年

日々のスケッチ			
～目に映るもの～			
64	長井 亮之	スケッチ	
65	安宅 安五郎	レンブラント作品の模写	1922年
66	〃	シャバンヌ模写 (春)	1921年
67	〃	シャバンヌ模写 (冬)	1921年
68	〃	アネモネ (ルドン) 模写	1921年
69	安井 曾太郎	人物	不明
70	〃	人物	不明
71	〃	人物	不明
72	〃	人物	不明
73	〃	人物	不明
74	〃	三面の鮭	不明
75	三芳 悌吉	白つめ草	不明
76	〃	西洋おだまき	不明
77	〃	つるむらさき	不明
78	〃	ブルーベリー	不明
79	〃	秋を飾る (やまごぼう)	不明
80	〃	柿・花梨	不明
81	〃	上野不忍池のはす	1985年
82	〃	種と実 A	不明
83	〃	種と実 B	不明
84	〃	種と実 C	不明
～心を映す～			
85	田畑 あきら子	作品 3	1964年
86	〃	作品 12	1966年
87	〃	作品 16	1966-67年
88	〃	作品 19	1967年
89	〃	作品 25	1968年
90	〃	作品 30	1968年
91	〃	作品 34	1969年
92	〃	作品	1966-67年
93	末松 正樹	自画像	1944年
94	〃	作品 (1944.10.18)	1944年
95	〃	作品 (1944.11.27)	1944年
96	〃	作品 (1945.1.17)	1945年
97	〃	作品 (1945.2.18)	1945年
98	〃	作品 (1945.2.26)	1945年
99	〃	作品 (1945.3.15)	1945年
100	〃	作品 (1945.6.13)	1945年
101	〃	作品 (1945.7.24)	1945年
102	〃	作品 (1945.9.22)	1945年
103	〃	作品 (1945.12.24)	1945年
104	〃	群青	1959年
105	〃	ボン・ボワイヤー・ジュ	1962年
106	難波田 龍起	線の遊び A	1954年
107	〃	空の時間と	1978年
108	〃	水のある風景	1987年
109	〃	展開	1982年
110	〃	群像	1984年
111	〃	森の詩	1960年
112	難波田 史男	デッサン	1963年
113	〃	デッサン	1966年
114	〃	デッサン	1966年
115	〃	デッサン	1967年
116	〃	哲学者	1967年
117	〃	鳥	1961年
118	〃	彩色画	1965年
119	〃	少年と海の神話	1967年
120	〃	花の精のおどり	1968年
121	〃	無題	1969年



異国憧憬～あこがれの風景～

【趣旨】

新潟県立近代美術館・万代島美術館の所蔵品から、外国の風景や人々の暮らしを表現した作品を取り上げた展覧会。洋画、日本画、工芸を含む約70点を、3つのコーナー（「ヨーロッパの風景と人々の暮らし」、「アジア、南米、アフリカの風景と人々の暮らし」、「まだ見ぬ地と過去へのあこがれ」）に分けて展示、異なる風土や文化に対する画家たちの憧れや驚き、そこから生み出された個性的な表現を紹介した。

【総括】

●評価すべき点

- ・「外国の風景」というテーマは、鑑賞者にとって親しみやすく、また、明治以降に日本の作家たちが、異なる風土や文化にどのような刺激を受け、どのように表現に生かしてきたかをたどる上でも意義のある展示となった。
- ・アンケートでは、「描かれた地域別の展示でわかりやすかった」という声や、「県出身作家の作品を多数見られてよかった」、「ゆったりした空間で見やすかった」というような感想が多く、おおむね好評であった。

●検討課題

- ・本展に限らず、所蔵品展においては、様々な視点から作品を捉えることのできるテーマの設定が重要となる。所蔵品の新たな魅力を来館者に提示できるよう、検討していきたい。

【開催日・その他】

＝2012年3月3日(土)～3月31日(土)(25日間)＝

※全体会期は3月3日(土)～4月15日(日)

主催：新潟県立万代島美術館

後援：新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエムしばた、燕三条エフエム放送株式会社

観覧料：一般……………310円(250円)

大学・高校生……………150円(120円)

中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

【関連行事】

・作品解説会

日時：土・日・祝日 14:00～

(ただし他のイベントがある日を除く。)

場所：万代島美術館展示室

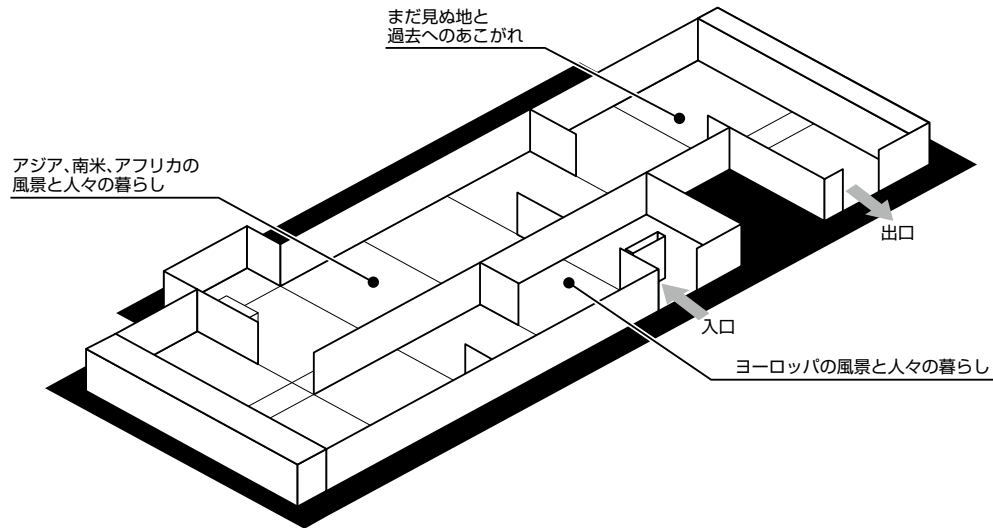
担当：当館学芸員

参加者数：のべ43人

・美術鑑賞講座

「来日した外国の美術家たち」

日時：2012年3月3日(土) 14:00～



場 所：NICO プラザ会議室
講 師：桐原 浩（当館業務課長）
参加者数：11名

「異国へ渡った日本人画家たち」
日 時：2012年3月17日(土) 14:00～
場 所：NICO プラザ会議室
講 師：宮下東子（当館業務課長代理）
参加者数：10名

【関連記事】

●新聞

3月27日(火) 新潟日報 文化欄
「東山魁夷らの旅路 追体験」／今井 有

●雑誌

「トツときガイド」2012年3・4月号／今井 有

【観覧者数】 ※3/31まで

有料観覧者数	当日	1,451
	前売	—
無料観覧者数	無料	201
	免除	75
総観覧者数		1,727
有料率 (%)		84

担当 今井 有、宮下東子

【出品リスト】

ヨーロッパの風景と人々の暮らし					
No.	作品名	作者	制作年	技法・素材	寸法(縦×横cm)
1	ラバクール村	高村真夫	1915年頃	油彩・キャンバス	45.5×53
2	パリ郊外	佐藤三郎	1927-28年	油彩・キャンバス	60.5×91.0
3	パリ郊外	佐藤三郎	1927-28年	油彩・キャンバス	60.5×91.0
4	フォントノワ	佐藤三郎	1929年	油彩・キャンバス	60.5×91.0
5	巴里郊外ムードン	安宅安五郎	1921年	油彩・キャンバス	44.5×53.5
6	伊太利亜アッシジ	安宅安五郎	1922年	油彩・キャンバス	27.5×40.0
7	フランス郊外	相馬其一	1931年	油彩・キャンバス	72.0×91.0
8	広告塔	佐伯祐三	1927年	油彩・キャンバス	80.5×53.0
9	バンテオン寺院	佐伯祐三	1928年	油彩・キャンバス	65.5×59.5
10	ホーレダム下絵	熊岡美彦	1927年	油彩・キャンバス	64.5×53.5
11	ベルリン風景	鳥海 青児	1930年頃	油彩・キャンバス	37.5×41.0
12	ベオグラード於	阿部展也	1957年	水彩・コンテ・紙	28.2×19.8
13	聖ヨヴァン・カネオ教会	阿部展也	1957年頃	水彩・コンテ・紙	16.8×21.5
14	ヨーロッパ風景より #51	阿部展也	1957年	水彩・鉛筆・紙	21.3×16.7
15	エッフェル塔	新保兵次郎	1955年	油彩・キャンバス	73.0×38.0
16	岩山(スペイン)	小野末	1959年	油彩・キャンバス	64.0×91.0
17	ビストロにて	三芳悌吉	1962年	油彩・キャンバス	72.0×54.0
18	歩道	三芳悌吉	1962年	油彩・キャンバス	72.0×50.0
19	門辺(母と子)	三芳悌吉	不詳	油彩・キャンバス	55.0×46.7
20	旧モンパルナス駅	三芳悌吉	1962年頃	油彩・キャンバス	50.0×72.0
21	サンマルタン	三芳悌吉	1967年	水彩・ボード	37.5×45.5
22	小さな御堂(スペイン・セゴビア)	三芳悌吉	不詳	水彩・紙	29.8×40.0
23	聖像売りの女	三芳悌吉	1965年	油彩・キャンバス	117.0×91.0
24	地図の前	三芳悌吉	1980年	アクリル絵具・キャンバス	72.3×92.0
25	風の日	三芳悌吉	1985年	アクリル絵具・キャンバス	16.2×23.0
26	モンマルトル・昼下り	竹谷富士雄	1978年	油彩・キャンバス	87.0×130.5
27	シノンの町の屋根	竹谷富士雄	1971年	油彩・キャンバス	73.0×91.0
28	朝の城	岡鹿之助	1970年	油彩・キャンバス	72.7×90.9
29	森の静寂	東山魁夷	1964年	紙本彩色	121.7×162.8
30	古都展望(トレド)	椿悦至	1975年	油彩・キャンバス	162.0×130.2
31	六月の風 トレド風景	大野五郎	1971年	油彩・キャンバス	60.8×91.2
32	ローマ、文化宮殿	渡辺義雄	1956年/2001年再プリント	モノクローム・プリント	27.0×40.3
33	ミラノ、ドゥオモ	渡辺義雄	1956年/2001年再プリント	モノクローム・プリント	27.0×40.4
34	フィレンツェ、アカデミア美術館	渡辺義雄	1956年/2001年再プリント	モノクローム・プリント	32.5×32.5
35	ヴァチカン市国、サンピエトロ大聖堂	渡辺義雄	1956年/2001年再プリント	モノクローム・プリント	32.5×32.5
36	信仰の島	大矢紀	1979年	紙本彩色	165.0×210.0
37	ノルマンディの夢の季	平松礼二	1998年	紙本彩色	112.1×162.1
38	ノルマンディ墨色(エトルタ)	平松礼二	1999年	絹本彩色	180×420
39	夜のカテドラル	八田哲	1989年	紙本彩色	207×230
40	中世の街(カンポ広場シエナ)	鈴木力	1989年	岩絵具・キャンバス	72.0×116.0
41	聖者の町 89 アッシジ	鈴木力	1989年	岩絵具・キャンバス	145.2×227.0

アジア、中南米、アフリカの風景と人々の暮らし					
No.	作品名	作者	制作年	技法・素材	寸法(縦×横cm)
42	闘牛場	小野末	1977年	油彩・キャンバス	96.0×162.2
43	闘牛場(潮騒B)	小野末	1977年	油彩・キャンバス	80.5×116.5
44	闘牛場(潮騒C)	小野末	1977年	油彩・キャンバス	90.0×116.8
45	炎天下に立つ乙女	中澤茂	1972年	油彩・キャンバス	130.0×162.0
46	タスコ白日	八田哲	1991年	紙本彩色	200.0×555.0
47	メクネスの城塞(モロッコ)	田中道久	1976年	油彩・キャンバス	111.1×114.5
48	夜空—マサイマラ	吉田志麻	1997年	紙・木版	166.5×198
49	青磁絵皿シルクロード	三浦小平二	1978年	青磁	40.0×6.5
50	青磁茜豆彩大皿「ラジャスタン」	三浦小平二	2003年	青磁	44.0×5.5
51	シンガポール風景写生(大陸 牛の荷車往来)	土田麦僊	1921年	紙・鉛筆	30.3×42.2
52	中国・インド風景(大陸 現地人老若)	土田麦僊	1921年	紙・顔料	32.2×43.9
53	中国・インド風景(大陸 舟にいこう現地人)	土田麦僊	1921年	紙・顔料	32.2×43.9
54	中国風景(竜甫)	土田麦僊	1921年	紙・顔料	30.2×41.8
55	中国風景(上海)	土田麦僊	1921年	紙・顔料	30.2×41.8
56	時鴻	土田麦僊	1921年	紙・顔料	31.8×30.2
57	インド旅行より #15	阿部展也	1953年頃	水彩・コンテ・紙	17.3×24.8
58	インド旅行より #97	阿部展也	1953年頃	水彩・クレヨン・紙	24.5×17.0
59	インド旅行より #76	阿部展也	1953年頃	水彩・インク・紙	16.4×24.1
60	フィリピン風景より #45	阿部展也	1946年	水彩・パステル・紙	19.4×14.7

61	紫禁城	梅原龍三郎	1942年	油彩・キャンバス	82.5×69.0
62	黄河流域	長崎真人	1980年	紙本彩色	161.0×335.3
63	夏のカシュガル	八田哲	1988年	紙本彩色	185×330
64	綱引き	林功	1998年	紙本彩色	170.0×340
65	懐い出	林功	1996年	絹本彩色	227.3×181.8
66	雲南讃歌	堀泰明	1988年	紙本彩色	180×224
67	雲南丘の村	村田茂樹	1986年	紙本彩色	170×230
68	同里の町よりII	村田茂樹	1984年	紙本彩色	130.3×162.2
69	北京・東山より	村田茂樹	1985年	紙本彩色	130.3×193.9

まだ見ぬ地と過去へのあこがれ

No	作品名	作者	制作年	技法・素材	寸法(縦×横cm)
70	阿蘭陀船	踏谷虹児	1969年	水彩・紙	32.1×41.1
71	春日野	高村真夫	1911年	油彩・キャンバス	121.5×152.0
72	大地円	尾竹竹坡	1925年	絹本彩色	左右206.0×143.0 中央206.0×173.0
73	スジャータ奉粥	畠中光亨	1988年	絹本彩色	165×340
74	秋景山水図	橋本雅邦	1892年頃	絹本墨画	124.3×70.5
75	林間秋興	富川大塊	不詳	絹本墨画	119.8×44.8
76	武陵桃源之図	竹内蘆風	1928年	紙本彩色	各175.0×352.0
77	蓬萊山	三輪晁勢	制作年不詳	絹本彩色	各133.0×42.0

ロビー展示

No	作品名	作者	制作年	技法・素材	寸法(縦×横cm)
78	走る童子	籾内佐斗司	1996年	ブロンズ	高さ 79.0

※ 全て新潟県立近代美術館・万代島美術館所蔵

企画展



いもとようこ絵本原画展

【趣旨】

お父さんも、お母さんも、そして子どもたちも、誰もが一度は見たことのある、あたたかくて優しい、いもとようこの絵本。着色した和紙を貼り合わせるという独特の技法によって生み出されたその柔らかな画風は、親から子へ、世代を超えて愛され続けている。

日本の昔話『ないた赤おに』『つるのおんがえし』や、世界の名作『青い鳥』『マッチウリの少女』、おなじみの『あかちゃんのためのえほん』シリーズなど、出版された絵本は300タイトルを超え、世界各国でも翻訳されている。また、NHK教育テレビ「いないいないばあっ!」の童謡アニメーションでも、その魅力は広く親しまれることとなった。

本展では242点の絵本原画を、「あかちゃんのためのえほん」、「どうよう」、「日本むかし話」、「世界の名作」、「日本の名作」、「創作絵本」の6つのコーナーに分けて紹介した。

【総括】

●評価すべき点

- ・来館者は未就学児や小学生を伴う家族連れが中心であった。普段から親しんでいる絵本をきっかけに、絵本原画の魅力を感じていただくことができた。
- ・いもとようこ氏の絵本を来館者が自由に読める「絵本コーナー」の設置（22冊）などにより、原画だけでなく絵本そのものにも触れてもらい、

美術のみならず絵本文化にも親んでもらうことができた。

- ・アンケートでは、展覧会の内容に対し、9割以上が「良かった」という回答で、満足度の高さがうかがわれた。「心があたたかくなった」「癒された」などの感想も多かった。

●検討課題

- ・未就学児の来館に配慮した展示方法については、より工夫すべき課題もあった。

【開催日・その他】

＝2011年4月22日(金)～6月19日(日)(54日間)＝
主 催：いもとようこ絵本原画展新潟展実行委員会、新潟県立万代島美術館、新潟日报社、NST

協 力：金の星社、講談社、岩崎書店

企画制作：東映

後 援：新潟市、新潟市教育委員会、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエムしばた、燕三条エフエム放送株式会社

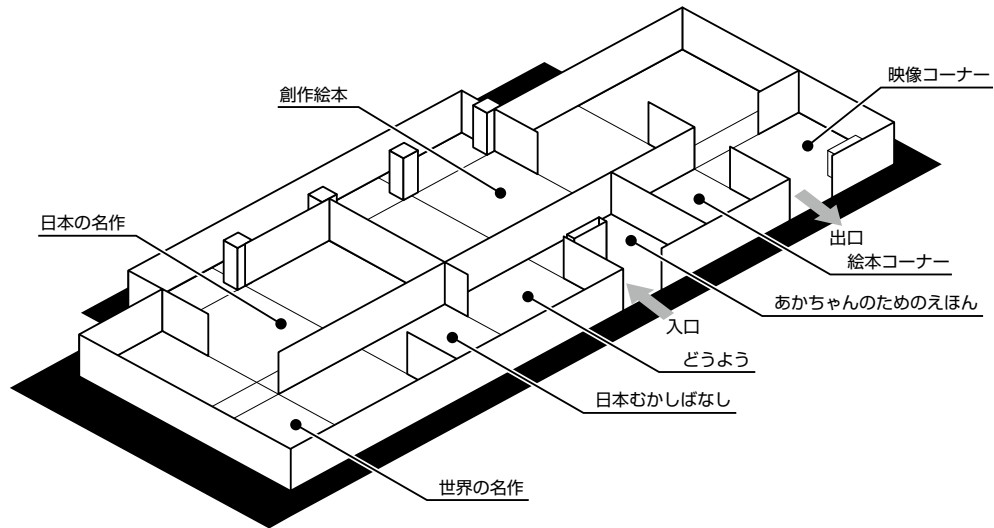
観覧料：一般……………800円（600円）〈600円〉

大学・高校生…600円（400円）

中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売券料金



【関連行事】

- ・いもとみよこサイン会

4月22日(金) 11:00～① / 14:00～②

4月23日(土) 11:00～③

参加者数：①111名 ②60名 ③120名

会場：万代島美術館ロビー

- ・美術鑑賞講座

美術家が描いた絵本

日時：6月4日(土) 14:00～15:15

場所：NICOプラザ会議室(万代島ビル11階)

講師：宮下東子(当館業務課長代理)

参加者数：10名

【その他】

- ・避難所への絵本寄贈

本展協力の3社(金の星社、講談社、岩崎書店)および東映の協力により、東日本大震災被災者の避難所(新潟市内)に、いもと氏の絵本を寄贈した。

場所および寄贈冊数：

新潟市体育館(10冊) / 豊栄総合体育館(14冊)

- ・東日本大震災義援金の募集

会期中、美術館受付にて募金箱を設置し、東日本大震災義援金を募集した。

義援金額：12,658円

振込先：東北地方太平洋沖地震県民募金

- ・東日本大震災避難者の無料観覧

県立の4施設(万代島美術館、近代美術館、自然科学館、歴史博物館)で、東日本大震災の県内避難者を観覧無料とした。

利用者数：16名

【関連記事】

- 新聞

5月21日(土) 新潟日報朝刊

「子の心育む絵本 いもとみよこさん 新潟で原画展」※いもとみよこ氏インタビュー

その他 新潟日報(4/22(金)夕刊、5/26(木))

- 雑誌

『トツときガイド』5・6月号 / 今井 有

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	8,483
	前売	2,367
無料観覧者数	無料	7,413
	免除	560
総観覧者数		18,823
有料率 (%)		57.64

担当 今井 有、宮下東子

【出品リスト】

あかちゃんのためのえほん			
No.	作品名	発表年	寸法(縦×横)cm
1	ないしょ	2004年	23.0×23.0
2	いないいない	1992年	21.5×34.8
3	ばあ!	1992年	21.5×34.8
4	ビスケット	1992年	20.9×34.3
5	バナナ・りんご	1992年	21.9×36.0
6	すいか	1992年	20.6×34.5
7	ちょうちょ・ちゅーりっぷ	1992年	20.8×34.4
8	にんぎょう・ぬいぐるみ	1992年	20.6×34.4
9	もっきん・ピアノ	1992年	20.6×34.3
10	えんぴつ・うさぎとにんじん	1992年	21.9×36.2
11	ロボット・かいじゅう	1992年	20.8×34.2
12	くつ・ながくつ	1992年	20.8×34.4
13	コップ・スプーン	1992年	20.6×34.3
14	いぬのおやこ	1992年	20.6×34.4
15	ぞうのおやこ	1992年	21.9×36.1
16	ねこのおやこ	1992年	20.6×34.3
17	コアラのおやこ	1992年	20.7×34.4
18	カンガルーのおやこ	1992年	21.8×36.2
19	ラッコのおやこ	1992年	20.9×34.4

どうよう

No.	作品名	発表年	寸法(縦×横)cm
20	おはなしゆびさん	2006年	29.0×45.0
21	おもちゃのチャチャチャ	2006年	29.0×45.0
22	おしょうがつ	2006年	29.0×45.0
23	ひなまつり	2006年	29.0×45.0
24	たなばた	2006年	29.0×45.0
25	うさぎのダンス	2006年	29.5×47.0
26	どんぐりころころ	2006年	29.0×45.0
27	ゆき	2006年	29.0×45.0
28	やぎさんゆうびん	2006年	29.0×45.0
29	おとけいさん	2006年	29.0×45.0
30	ないしょばなし	2006年	29.0×45.0
31	いぬのおまわりさん	2006年	29.0×45.0
32	あめふり	2006年	29.0×45.0
33	ふしぎなポケット	2006年	29.0×45.0
34	おみせやさん	2002年	29.9×44.6
35	ぶたぬきつねこ	2006年	29.0×45.0

日本むかし話

No.	作品名	発表年	寸法(縦×横)cm
36	おむすびころりん	2007年	29.0×45.0
37	〃	2007年	29.0×22.5
38	〃	2007年	29.0×45.0
39	〃	2007年	29.0×45.0
40	〃	2007年	29.0×45.0
41	〃	2007年	29.0×45.0
42	〃	2007年	28.0×45.0
43	〃	2007年	29.0×45.0
44	〃	2007年	29.0×45.0
45	〃	2007年	29.0×45.0
46	〃	2007年	29.0×45.0
47	〃	2007年	29.0×45.0
48	〃	2007年	29.0×45.0
49	〃	2007年	29.0×45.0
50	〃	2007年	29.0×45.0
51	〃	2007年	29.0×45.0
52	〃	2007年	29.0×22.7
53	しっぽのつり	2008年	29.0×44.0
54	かもとりごんべえ	2008年	29.0×45.0
55	〃	2008年	29.0×45.0
56	さるかにがっせん	2008年	29.0×45.0

57	さるかにがっせん	2008年	29.0×45.0
58	うらしまたろう	2009年	29.0×45.0
59	〃	2009年	29.0×45.0
60	はなさかじいさん	2008年	29.0×44.0
61	〃	2008年	29.0×44.0
62	ももたろう	2008年	29.0×45.0
63	〃	2008年	29.0×45.0
64	かぐやひめ	2008年	29.0×45.0
65	〃	2008年	28.5×44.6
66	〃	2008年	29.0×45.0
67	さるじぞう	2008年	29.0×44.9
68	〃	2008年	29.0×45.0
69	いっすんぼうし	2009年	29.0×45.0
70	〃	2009年	28.9×44.9
71	〃	2009年	29.0×44.9
72	ねずみのすもう	1996年	29.0×45.2
73	こぶとりじいさん	2009年	29.0×45.0
74	〃	2009年	28.9×45.0
75	つるのおんがえし	2009年	42.7×29.0
76	〃	2009年	28.4×44.6
77	〃	2009年	29.0×45.0
78	〃	2009年	29.0×45.0

世界の名作

No.	作品名	発表年	寸法(縦×横)cm
79	こびとのくつや	2006年	29.0×22.5
80	〃	2006年	29.0×22.5
81	〃	2006年	29.0×45.0
82	〃	2006年	29.0×45.0
83	〃	2006年	29.0×45.0
84	〃	2006年	29.0×45.0
85	〃	2006年	29.0×45.0
86	〃	2006年	29.0×45.0
87	〃	2006年	29.0×45.0
88	〃	2006年	29.0×45.0
89	〃	2006年	29.0×45.0
90	〃	2006年	29.0×45.0
91	〃	2006年	29.0×45.0
92	〃	2006年	29.0×45.0
93	〃	2006年	29.0×45.0
94	〃	2006年	29.0×45.0
95	〃	2006年	29.0×45.0
96	〃	2006年	29.0×22.6
97	あかずきんちゃん	2007年	29.0×45.0
98	〃	2007年	29.0×45.0
99	3びきのこぶた	2007年	29.0×22.5
100	〃	2007年	29.0×45.0
101	おおかみと7ひきのこやぎ	2007年	29.0×45.0
102	〃	2007年	29.0×45.0
103	まちのねずみいなかのねずみ	2006年	31.3×48.9
104	〃	2006年	29.0×45.0
105	〃	2006年	29.0×45.0
106	3びきのくま	2006年	31.0×24.1
107	〃	2006年	29.0×45.0
108	おおきなかぶ	2007年	29.0×45.0
109	〃	2007年	54.6×39.8
110	プレーメンのおんがくたい	1996年	28.4×44.6
111	おやゆびひめ	2006年	29.0×22.5
112	〃	2006年	29.0×45.0
113	〃	2006年	29.0×45.0
114	青い鳥	2007年	36.3×29.0
115	〃	2007年	29.0×45.0
116	〃	2007年	29.0×45.0
117	アリババと40人のとうそく	1996年	28.4×44.6
118	フランダーズの犬	2006年	30.0×23.4

119	＼	2006年	29.0×45.0
120	しあわせの王子	2007年	29.0×45.0
121	＼	2007年	29.0×45.0
122	マッチうりの少女	2005年	30.7×46.7
123	＼	2005年	29.0×45.1
124	＼	2005年	29.2×45.2

日本の名作

No	作品名	発表年	寸法(縦×横)cm
125	てぶくろをかいに	1993年	31.3×23.4
126	＼	1993年	31.0×45.2
127	＼	1993年	31.0×45.2
128	＼	1993年	31.0×45.2
129	＼	1993年	31.0×45.2
130	＼	1993年	31.0×45.2
131	＼	1993年	31.0×45.2
132	＼	1993年	31.0×45.7
133	＼	1993年	31.0×45.1
134	＼	1993年	31.0×45.2
135	＼	1993年	31.0×45.2
136	＼	1993年	31.0×45.2
137	＼	1993年	31.0×45.2
138	＼	1993年	31.0×45.2
139	＼	1993年	31.0×45.2
140	＼	1993年	23.7×19.0
141	ないた赤おに	1988年	40.1×51.5
142	＼	1988年	33.1×46.2
143	＼	1988年	33.1×46.2
144	きつねのきんた	1997年	32.0×45.5
145	セロひきのゴーシュ	1993年	34.5×26.5
146	よぶこどり	1998年	32.0×46.5
147	＼	1998年	32.0×46.5
148	きつねとぶどう	1989年	32.0×45.0
149	こりすのはつなめ	2005年	31.5×46.1
150	＼	2005年	36.4×51.5
151	ごんぎつね	1985年	31.3×46.0
152	＼	1985年	31.3×46.0
153	ゆきわたり	2003年	31.9×51.5
154	＼	2003年	31.9×46.0
155	むくどりのゆめ	1991年	32.1×46.3
156	＼	1991年	32.1×46.3
157	たぬきのちようちん	1996年	31.0×23.0
158	＼	1996年	31.0×45.5
159	こりすのおかあさん	2005年	32.0×46.6
160	＼	2005年	32.0×46.5

創作絵本

No	作品名	発表年	寸法(縦×横)cm
161	とんとんとんのごもりうた	1999年	25.2×51.3
162	＼	1999年	25.5×53.2
163	＼	1999年	25.5×53.2
164	＼	1999年	25.5×53.0
165	＼	1999年	25.2×53.0
166	＼	1999年	25.2×52.9
167	＼	1999年	25.1×52.9
168	＼	1999年	25.1×52.7
169	＼	1999年	25.3×52.9
170	＼	1999年	25.1×52.8
171	＼	1999年	25.4×72.5
172	＼	1999年	25.3×52.9
173	＼	1999年	25.4×51.3
174	＼	1999年	25.2×52.8
175	＼	1999年	25.3×51.3
176	ねこの絵本	1984年	25.2×27.3
177	＼	1984年	25.2×52.5
178	＼	1984年	25.3×35.9

179	ねこはともだち	1986年	26.7×27.3
180	＼	1986年	25.3×52.5
181	＼	1986年	25.3×52.5
182	しゅくだい	2003年	28.8×59.3
183	＼	2003年	26.0×50.1
184	くりのきえんのおともだち	1983年	25.7×37.6
185	＼	1983年	25.6×37.4
186	＼	1983年	25.7×82.7
187	ワニーさんのおまけつきレストラン	2004年	29.0×44.1
188	たんじょうびのおきゃくさま	2002年	29.6×45.0
189	おいもをどうぞ	2005年	30.2×45.6
190	ポカポカホテル	2000年	27.0×44.5
191	ぼくのたからもの	1987年	19.8×20.5
192	かえるのレストラン	2001年	27.7×43.2
193	すきになりそう	2000年	25.6×50.1
194	たけのこによきによき	2006年	72.7×24.6
195	うさぎのびこびこ	1993年	25.9×25.4
196	おひさまのたね	2003年	72.8×103.0
197	まいったなあ	2002年	26.0×50.5
198	＼	2002年	26.0×50.6
199	ノアのはこぶね	2004年	22.5×32.1
200	＼	2004年	22.5×61.0
201	＼	2004年	22.5×61.0
202	だいすきなグー	2005年	26.0×50.2
203	やさいのおしゃべり	2005年	24.0×24.0
204	だいすきなかあさん	2009年	24.5×49.5
205	＼	2009年	24.5×49.5
206	なんでやる	1988年	27.8×44.3
207	プーのみるゆめ	2009年	29.0×44.0
208	はりねずみのピククル	1988年	24.2×49.4
209	たんぼっぼ 内寸425×275	1986年	55.5×35.6
210	ぼくはきみがすき	1991年	26.1×51.2
211	おばけのがっこうへきてください	1985年	25.0×42.9
212	＼	1985年	27.6×47.2
213	にゃんのがみわんのがみ	2007年	26.0×25.5
214	花曜日	1983年	32.2×24.0
215	きのうのおひさま、どこにいったの?	2006年	23.4×45.4
216	きつねっ子先生	1981年	30.4×40.4
217	コンのともだち	1986年	50.6×35.5
218	ましるのあさ	1983年	26.9×51.4
219	＼	1983年	24.0×48.8
220	花のかみかざり	2008年	26.0×50.4
221	くまのこうちようせんせい	2004年	24.0×24.5
222	いつもいっしょに	2008年	24.5×49.5
223	＼	2008年	24.5×49.5
224	うたの絵本	1986年	26.0×53.7
225	＼	1986年	25.7×53.6
226	＼	1986年	26.0×53.6
227	そばのはなさいたひ	1985年	24.7×52.9
228	きつねとつきみそう	1981年	25.8×54.0
229	しろいおじさん	1991年	22.1×43.2
230	いちばんはじめのおくりもの	1983年	24.0×48.5
231	きつねいろのじてんしゃ	1983年	24.1×43.2
232	みんなおやすみ	2008年	24.5×49.5
233	つきのよるに	2004年	27.8×26.6
234	＼	2004年	26.5×51.5
235	とうさんのあしのうえて	2008年	25.0×26.3
236	トキのキンちゃん	2006年	25.6×49.7
237	＼	2006年	25.3×51.5
238	ずっとそばに…	2007年	26.0×50.5
239	さんしょっ子	1989年	37.9×36.4
240	＼	1989年	37.8×36.3
241	よふけ	1985年	31.3×44.0
242	あした花になる	2002年	28.2×72.7



藤城清治 光と影のシンフォニー

【趣旨】

日本における影絵の第一人者であり、現在も精力的に創作活動を続けている藤城清治氏（1924～）の展覧会を、新潟県内では4年ぶりに開催した。藤城氏は『暮しの手帖』や朝日新聞への連載、NHK「みんなのうた」の背景画の制作など幅広い分野で活動してきた。そして光と影が織りなすその幻想的な影絵の世界は、多くの人々に夢や希望、感動を与え続け、幅広い年代に親しまれている。本展では、藤城氏の代表的な影絵作品のほか、油彩画やスケッチなど約250点の作品を展示した。

本展では、作品の裏に蛍光灯を設置したり、水や鏡を使った演出により、通常の展示では見られない手法がとられ、新鮮な展覧会となった。

また、今回の展覧会にあわせて藤城氏が佐渡で取材して制作した最新作や、爆笑問題・太田光が原作を手がけた最新の影絵絵本『マボロシの鳥』の原画を展示するなど、話題性のある展示内容となった。

【総括】

●評価すべき点

- ・蛍光灯や鏡、水を使った演出など、普段と違った展示方法を取り、様々な年代の人が楽しめる内容であった。
- ・サイン会やトークショーを開催し、来館者が作家と直接触れ合える機会を設けることができた。

●検討課題

- ・展示室の一部に狭い部分があり、混雑してくると身動きが取り辛い状況であった。
- ・長期にわたる展覧会であったため、会期前半の来館者数が伸び悩んだ。
- ・イベント開催日に開館時間前から来館者が予想以上に多く集まり、事前の準備不足から混乱を招いた。

【開催日・その他】

=2011年7月2日(土)～10月10日(月・祝)(90日間)=
主 催：藤城清治展新潟展実行委員会、新潟県立万代島美術館、新潟日报社、UX新潟テレビ21

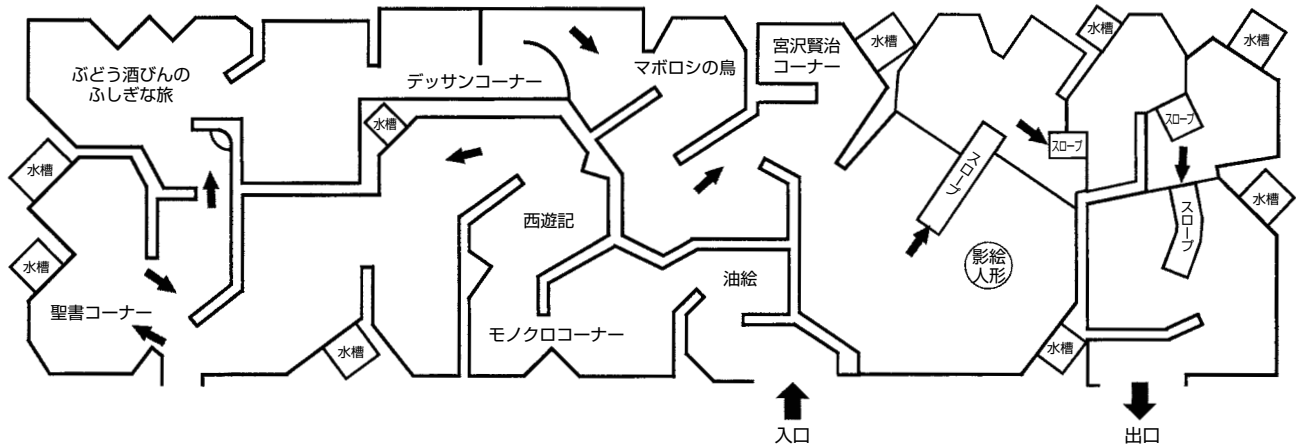
協 力：藤城清治事務所、ヤマハ、HORIPRO、アートプリントジャパン

後 援：新潟市、新潟市教育委員会、エフエムラジオ新潟、FM PORT79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエムしばた、燕三条エフエム放送株式会社

観覧料：一般…1,200円(1,000円)〈1,000円〉
大学・高校生…1,000円(800円)
中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売券料金



【関連行事】

- ・藤城清治サイン会
日 時：7月24日(日)、8月13日(土)、8月14日(日)、
8月28日(日)、9月19日(月・祝)、10月
8日(土)、10月9日(日)、10月10日(月・祝)
各日 13:30～
会 場：万代島美術館ロビー
参加者数：のべ1397人
- ・藤城清治ミニトークショー
日 時・参加者数：
8月13日(土) 13:00～／65名
8月14日(日) 13:00～／80名
8月28日(日) 13:00～／80名
会 場：万代島美術館ロビー
参加者数：のべ225名
- ・藤城清治トークショー
日 時：9月19日(月・祝) 11:00～
会 場：NICOプラザ会議室
参加者数：200名
- ・ワークショップ
「みんなで描こう 光にかがやく^な希いの水玉」
日 時：8月6日(土) 11:00～15:00
8月7日(日) 11:00～15:00
会 場：朱鷺メッセ2階エスプラナード
参加者数：のべ144名

【図録】

- 仕 様：A4判変形 304頁
編 集：藤城清治事務所
内 容：
・光と影は出会いから生まれる(藤城清治)
・人形劇に夢中だったころ
・藤城清治の光影世界(瀬木慎一)
・世の中を楽しく癒して下さいますよ
うに(八千草薫)
・再び新潟から 生きるよろこびと幸せ
と夢を(藤城清治)
・藤城清治略歴
・藤城清治著書一覧
・藤城清治の影絵を展示しているミュー
ジウム
・影絵のある空間・店
・作品解説…藤城清治





【関連記事】

●新聞

7月1日(金) 新潟日報

「懐かしく温かな世界」／飯島沙耶子

8月25日(木) 新潟日報

「特集 影絵に込めた夢と幸せ」

連載「作品紹介」

9月6日(火)～10日(土)、13日(火)～17日(土)、21日(火)～23日(金)、27日(火)～10月1日(土)、10月4日～8日(土)【全23回】

その他

新潟日報朝刊

(5/31(火)、7/2(土)、7/25(月)、8/6(土)、8/14(月)、9/16(金)、9/20(火)、9/25(日)、10/7(金))

新潟日報夕刊 (6/30(木))

●雑誌

『月刊にいがたタウン情報』7月号

『トツときガイド』7・8月号

／飯島沙耶子

●テレビ

・UX新潟テレビ21「全力LIVE第2部」
ニュース報道
7/1(金)、8/5(金)、9/15(木)、10/6(木)

・8月13日(土) 9:30～
UX新潟テレビ21「まるどりっ！」
生中継 出演：藤城清治氏

・9月10日(土)
NHK「NHKニュース おはよう日本」
6:55～、7:55～ 展覧会紹介

・9月12日(月)
NHK「新潟ニュース610」
18:10～19:00 出演：藤城清治氏

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	35,553
	前売	9,148
無料観覧者数	無料	12,312
	免除	2,509
総観覧者数		59,522
有料率 (%)		75.1

担当 飯島沙耶子、桐原 浩

【出品リスト】

No	作品名	制作年	種類			
1	おんぶ	1943	油彩画			
2	少女	1946	油彩画			
3	千代像	1949	油彩画			
4	ギニョールの楽屋	1950	油彩画			
5	日の出の踊り	1953	影絵			
6	こびとのせんたく日	1953	影絵			
7	小鬼のしゃしんや	1954	影絵			
8	銀鈴の砂	1996	影絵			
9	笛ふき島	1954	影絵			
10	花火	1958	影絵			
11	旅をした鬼のはなし 1	1951	影絵			
12	旅をした鬼のはなし 2	1951	影絵			
13	旅をした鬼のはなし 3	1951	影絵			
14	旅をした鬼のはなし 4	1951	影絵			
15	旅をした鬼のはなし 5	1951	影絵			
16	旅をした鬼のはなし 6	1951	影絵			
17	玉ねぎと子うさぎとねこ 1	1955	影絵			
18	玉ねぎと子うさぎとねこ 2	1955	影絵			
19	玉ねぎと子うさぎとねこ 3	1955	影絵			
20	玉ねぎと子うさぎとねこ 4	1955	影絵			
21	玉ねぎと子うさぎとねこ 5	1955	影絵			
22	玉ねぎと子うさぎとねこ 6	1955	影絵			
23	玉ねぎと子うさぎとねこ 7	1955	影絵			
24	トンチキプー	1955	影絵			
25	浦島太郎—竜宮城の魚のダンス	1952	影絵			
26	西遊記 女の顔(大)	1958	影絵			
27	西遊記 孫悟空の顔	1958	影絵			
28	西遊記 九頭駝馬	1958	影絵			
29	西遊記 吊るされた八戒 くさりにつながれた悟空	1959	影絵			
30	西遊記 雷将たちと悟空の戦い	1958	影絵			
31	西遊記 いかだに乗る悟空	1958	影絵			
32	西遊記 羅刹女悟空を吹きとばす	1958	影絵			
33	西遊記 悟空 虎を打つ	1958	影絵			
34	たばことこびと	1960	影絵			
35	眠りの森のお姫さま	1979	影絵			
36	つりのこびと	1997	影絵			
37	月光の響	1981	影絵			
38	きん色の窓	1980	影絵			
39	角笛と少年	2005	影絵			
40	こびとと靴や	1974	影絵			
41	花と少女	1979	影絵			
42	こびとの帽子	1982	影絵			
43	猫ずもう	2003	影絵			
44	ぼくの目は猫の目	1987	影絵			
45	猫たちのパーティー	1988	影絵			
46	真夜中の工場	1980	影絵			
47	こたつと猫	1980	影絵			
48	かねこのルミちゃん	1997	影絵			
49	幸せをよぶネコ	2002	影絵			
50	猫曜日	1987	影絵			
51	みんなで乾杯ニャオー!	2009	影絵			
52	ねこの衛兵		影絵			
53	ワンワン共和国	2005	影絵			
54	ねむの木の子守歌	2001	影絵			
55	つり橋はぼくのハーブ	1988	影絵			
56	睡蓮と妖精	1982	影絵			
57	こもり傘と少女	1979	影絵			
58	ぼくの窓	1982	影絵			
59	光のプレリュード	1984	影絵			
60	木馬の夢	1998	影絵			
61	たんぽぽ	1982	影絵			
62	悲しきピエロ	1973	影絵			
63	ジャンピングラビット	1998	影絵			
64	ぼくのアクアリウム	1984	影絵			
65	ピエロの夢	1985	影絵			
68	ひなぎく 1			1990	影絵	
68	ひなぎく 2			1990	影絵	
68	ひなぎく 3			1990	影絵	
69	ひなぎく 4			1990	影絵	
70	ひなぎく 5			1990	影絵	
71	森のこびと			1982	影絵	
72	生きるよろこび			1995	影絵	
73	グラスの中のこびと			1990	影絵	
74	地球讃歌			1992	影絵	
75	はじめに光あれ			1991	影絵	
76	蒼穹			1991	影絵	
77	天地創造			1991	影絵	
78	魚と鳥			1991	影絵	
79	獣と人間			1991	影絵	
80	エデンの園			1991	影絵	
81	カインとアベル			1991	影絵	
82	箱舟に乗る動物たち			1991	影絵	
83	ノアの箱舟に帰ってきた鳩			2003	影絵	
84	バベルの塔			1991	影絵	
85	海を渡るモーゼ			1986	影絵	
86	山上の説教			1981	影絵	
87	エルサレム入城			1980	影絵	
88	ゲッセマネの祈り			1980	影絵	
89	最後の晩餐			1980	影絵	
90	十字架のイエス			1995	影絵	
91	ムネアカドリのおはなし 1			1986	影絵	
92	ムネアカドリのおはなし 2			1986	影絵	
93	ムネアカドリのおはなし 3			1986	影絵	
94	ムネアカドリのおはなし 4			2008	影絵	
95	ムネアカドリのおはなし 5			2008	影絵	
96	ぶどう酒ビンのふしぎな旅 表紙絵			2010	影絵	
97	ぶどう酒ビンのふしぎな旅 中扉絵			2010	影絵	
98	ぶどう酒ビンのふしぎな旅1(はじまりの家)			2010	影絵	
99	ぶどう酒ビンのふしぎな旅2(鳥かごのアップ)			2010	影絵	
100	ぶどう酒ビンのふしぎな旅3(びん工場)			2010	影絵	
101	ぶどう酒ビンのふしぎな旅4(ぶどう酒の歌)			2010	影絵	
102	ぶどう酒ビンのふしぎな旅5(お嬢さん)			2010	影絵	
103	ぶどう酒ビンのふしぎな旅6(緑の中の馬車)			2010	影絵	
104	ぶどう酒ビンのふしぎな旅7(森から飛んでいく)			2010	影絵	
105	ぶどう酒ビンのふしぎな旅8(船に乗る)			2010	影絵	
106	ぶどう酒ビンのふしぎな旅9(嵐に遭遇)			2010	影絵	
107	ぶどう酒ビンのふしぎな旅10(マストが折れる)			2010	影絵	
108	ぶどう酒ビンのふしぎな旅11(波間の朝日)			2010	影絵	
109	ぶどう酒ビンのふしぎな旅12(屋根裏のびん)			2010	影絵	
110	ぶどう酒ビンのふしぎな旅13(地下の酒蔵)			2010	影絵	
111	ぶどう酒ビンのふしぎな旅14(踊る人々)			2010	影絵	
112	ぶどう酒ビンのふしぎな旅15(おばあさんとびんの灯り)			2010	影絵	
113	ぶどう酒びんのふしぎな旅16(樽とびん)			2010	影絵	
114	ぶどう酒ビンのふしぎな旅17(気球のセレモニー)			2010	影絵	
115	ぶどう酒ビンのふしぎな旅18(気球のなかめ)			2010	影絵	
116	ぶどう酒ビンのふしぎな旅19(割れるびん)			2010	影絵	
117	ぶどう酒びんのふしぎな旅20(吊るされたびんの口)			2010	影絵	
118	ぶどう酒ビンのふしぎな旅21(鳥かごと羽ばたく小鳥)			2010	影絵	
119	ぶどう酒ビンのふしぎな旅22(おわりの家)			2010	影絵	
120	夜空に星が			2006	影絵	
121	鶴の織物			1986	影絵	
122	鶴の幻想			1985	影絵	
123	スイカ割り			1999	影絵	
124	クリスマスの鐘			1979	影絵	
125	プレーメンの音楽隊			2003	影絵	
126	海の中のピアノ			1997	影絵	
127	海の中の幻想			1989	影絵	
128	海に落ちたピアノ			1987	影絵	
129	夕日の樹			1999	影絵	
130	夢見る樹			1999	影絵	
131	シャボン玉と少女			1997	影絵	

132	月のなかの兎	2006	影絵
133	ぼくの青春は仔馬にのって	2007	影絵
134	雪の中の温室	1995	影絵
135	本当の雨がやんだら音楽の雨をふらせよう	2002	影絵
136	ひまわりとこびと	2003	影絵
137	マボロシの鳥 表紙	2011	影絵
138	マボロシの鳥1-1 (劇場前の人ばかり)	2011	影絵
139	マボロシの鳥1-2 (満席の劇場内)	2011	影絵
140	マボロシの鳥1-3 (窓を開ける)	2011	影絵
141	マボロシの鳥1-4 (チカブー登場)	2011	影絵
142	マボロシの鳥1-5 (現れる鳥)	2011	影絵
143	マボロシの鳥1-6 (「飛ぶんだ」)	2011	影絵
144	マボロシの鳥1-7 (窓から去る鳥)	2011	影絵
145	マボロシの鳥2-1 (神々の山脈)	2011	影絵
146	マボロシの鳥2-2 (青年タンガタ)	2011	影絵
147	マボロシの鳥2-3 (鳥の寝顔)	2011	影絵
148	マボロシの鳥2-4 (目覚めた鳥)	2011	影絵
149	マボロシの鳥2-5 (見つめ合う瞳)	2011	影絵
150	マボロシの鳥3-1 (寂れた劇場)	2011	影絵
151	マボロシの鳥3-2 (酒場の出会い)	2011	影絵
152	マボロシの鳥3-3 (グラスもキラキラ輝いて見えた)	2011	影絵
153	マボロシの鳥3-4 (もう一度舞台上に…)	2011	影絵
154	マボロシの鳥4-1 (王タンガタ)	2011	影絵
155	マボロシの鳥4-2 (鳥への想い鳥かごと王)	2011	影絵
156	マボロシの鳥4-3 (持ち過ぎた王)	2011	影絵
157	マボロシの鳥4-4 (カゴを開ける)	2011	影絵
158	マボロシの鳥5-1 (ホームレスチカブー)	2011	影絵
159	マボロシの鳥5-2 (チカブー感涙)	2011	影絵
160	マボロシの鳥5-3 (絵の中の鳥)	2011	影絵
161	マボロシの鳥5-4 (鳥との再会 絵描きとチカブー)	2011	影絵
162	マボロシの鳥5-5 (世界はつながっている)	2011	影絵
163	宮沢賢治童話 オツベルと象	1997	影絵
164	宮沢賢治童話 カムパネルラ	1985	影絵
165	宮沢賢治童話 やまなし	1982	影絵
166	宮沢賢治童話 蛙のゴム靴	1984	影絵
167	宮沢賢治童話 注文の多い料理店	1996	影絵
168	宮沢賢治童話 ポラーノの広場	1985	影絵
169	宮沢賢治童話 鹿踊り	1998	影絵
170	宮沢賢治童話 グスコープドリの伝記	1997	影絵
171	宮沢賢治童話 風の又三郎	1983	影絵
172	宮沢賢治 なめとこ山の熊 (レプリカ)	1987	影絵
173	宮沢賢治童話 雁の童子	1998	影絵
174	宮沢賢治童話 ふたごの星	2008	影絵
175	宮沢賢治童話 セロひきのゴーシュ	2008	影絵
176	宮沢賢治童話 銀河鉄道の夜	2010	影絵
177	宮沢賢治童話 雪渡り (レプリカ)	1997	影絵
178	ねずみの海賊船	2007	影絵
179	新しい世界を求めて	2003	影絵
180	三台のピアノスタルジア	2007	影絵
181	夏 魚しました	1990	影絵
182	アリスのハート (レプリカ)	2005	影絵
183	夕陽の中の愛の奇跡	2004	影絵
184	愛を永遠に	2005	影絵
185	愛のメロディー	2006	影絵
186	夕日のサクソフォンは地球をまわる	2007	影絵
187	笛吹く少女	2011	影絵
188	たくさんのこびとくんと一緒	2006	影絵
189	こびとくんこの指とまれ	2006	影絵
190	こびとの楽園(レプリカ)	2005	影絵
191	人は皆こびとを一人もっている	2003	影絵
192	曼珠沙華ともしび	2003	影絵
193	窓の中の少女	2008	影絵
194	森へ入るときは鈴をならそう	2007	影絵
195	サクスを吹く少年	2005	影絵
196	虹	2005	影絵
197	水玉の中のメルヘン	2005	影絵
199	ブラテローと私	1995	影絵

199	ブラテローの死	2007	影絵
200	ボール紙のブラテロー		影絵
201	憂愁	2007	影絵
202	天国のアラメ	2007	影絵
203	木の葉のシンフォニー	2008	影絵
204	日輪	2007	影絵
205	桜島	2010	影絵
206	コスモスは詩う	2003	影絵
207	夢を運ぶ橋(萬代橋)	2004	影絵
208	不死鳥	2011	影絵
209	天使のおくりもの	2001	影絵
210	清水寺(水槽)	2009	影絵
211	軍艦島	2009	影絵
212	足摺岬と椿のトンネル	2010	影絵
213	夢生まれる	2006	影絵
214	大野亀のカンゾウ	2011	影絵
215	佐渡の金山 道遊の割戸	2011	影絵
216	佐渡の能舞台	2011	影絵
217	佐渡の清水寺	2011	影絵
218	四季のよるこび	2007	影絵
219	夕日のぶらんこ	2002	影絵
220	長崎山王神社の一本足の鳥居と生き続ける大クス	2009	影絵
221	悲しくも美しい平和への遺産	2005	影絵
222	広島赤十字病院の曲がった窓枠	2006	影絵
223	天使のともしび	1999	影絵
224	三春のデコ屋敷	2009	影絵
225	光と影の室戸岬	2010	影絵
226	愛のカクテル	2004	影絵
227	かわいいウエンディ	2010	デッサン
228	ワライカワセミのカクン	2010	デッサン
229	チビ	1991	デッサン
230	ラビ	2010	デッサン
231	Eジブジャン・マウ アラメ	1990	デッサン
232	ネロ少年とバトラッシュ	1995	デッサン
233	ポルポイ犬 クレア	2003	デッサン
234	ボーセ	2003	デッサン
235	自画像2009	2009	デッサン
236	自画像2011	2011	デッサン
237	軍艦島第2壱坑	2009	デッサン
238	雨の中はりまや橋をデッサンする	2010	デッサン
239	長崎丸山町交番	2010	デッサン
240	桜島	2010	デッサン
241	五島列島の天主堂 頭ヶ島教会	2009	デッサン
242	東尋坊から雄山をのぞむ	2010	デッサン
243	永平寺の法堂から	2010	デッサン
244	東尋坊	2010	デッサン
245	室戸岬 海上より	2010	デッサン
246	島根 皆美館を望む	2010	デッサン
247	万代橋	2011	デッサン
248	旧新潟税関庁舎	2011	デッサン
249	佐渡 のろまん形	2011	デッサン
250	佐渡 説教人形A	2011	デッサン
251	佐渡 説教人形B	2011	デッサン
252	B.B.キング・ブルースクラブ	2007	デッサン
253	サン・スタジオ	2007	デッサン
254	マボロシの鳥 オリオン劇場模型	2011	
255	マボロシの鳥 王タンガタの粘土像	2011	
256	金のリンゴ賞 トロフィー		
257	モグちゃん		
258	ケロヨン		
259	ギロバチ		
260	展示映像		
261	影絵人形9体		
262	こびと(粘土)		
263	こびとボックス 6台		



宮城県美術館・宇都宮美術館所蔵作品による クレーとカンディンスキーの時代 20世紀ドイツ語圏の絵画とデザイン

【趣 旨】

「芸術は、眼に見えるものを再現するのではなく、見えるようにする」と記したパウル・クレー（1879－1940）。『芸術における精神的なもの』を著し、抽象絵画を開拓したヴァシリー・カンディンスキー（1866－1944）。20世紀前半の美術に重要な貢献をした二人の偉大な画家の作品を中心に、ユーゲントシュティールから表現主義、そしてバウハウスまで、19世紀末から20世紀前半にかけてのドイツ語圏の美術の諸動向を紹介した。

この分野で国内でも有数の収集実績を誇る宮城県美術館（今年度開館30周年）と宇都宮美術館（来年度開館15周年）の周年企画として実現した展覧会である。

両館に収蔵されているクレーとカンディンスキーの全作品を会期中展示替えなしで公開したことは特筆すべきことで、そのほか総点数約260点に及ぶ作品を一堂に展示した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・当館にも所蔵されている西洋版画のドイツ表現主義と密に関わるドイツ語圏の近代美術について、宮城・宇都宮両館の所蔵品により網羅的に紹介することができた。
- ・当館収蔵作品や資料等を補足で展示し、宮城会場とは異なる独自の展示構成を試みることもできた。
- ・講演会1回、関連講座2回、コンサート1回と

多彩な教育普及プログラムを用意できた。

- ・企画案段階から参加し、図録編集にも関わることで、地方館同士の連携協力を深められ、今後の美術館活動にも資する要素を得られた。

●検討課題

準備時間が足りず、作品の理解を助ける懇切丁寧な解説を用意するまでに至らず、学校との連携もワークシートのデータを希望校へ提供するのみにとどまった。しかしながら、当館の職員体制の現状を考慮すると、致し方なくもある。予算や作業時間の制限の中で、いかに内容を的確に伝えて、多くの方に来館していただけるのか、さらに検討していきたい。

【開催日・その他】

＝2011年10月22日(土)～12月11日(日)(47日間)＝

主 催：新潟県立万代島美術館、宮城県美術館、宇都宮美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、TeNY テレビ新潟

後 援：新潟市、新潟市教育委員会、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエムしばた、燕三条エフエム放送株式会社

協 賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン

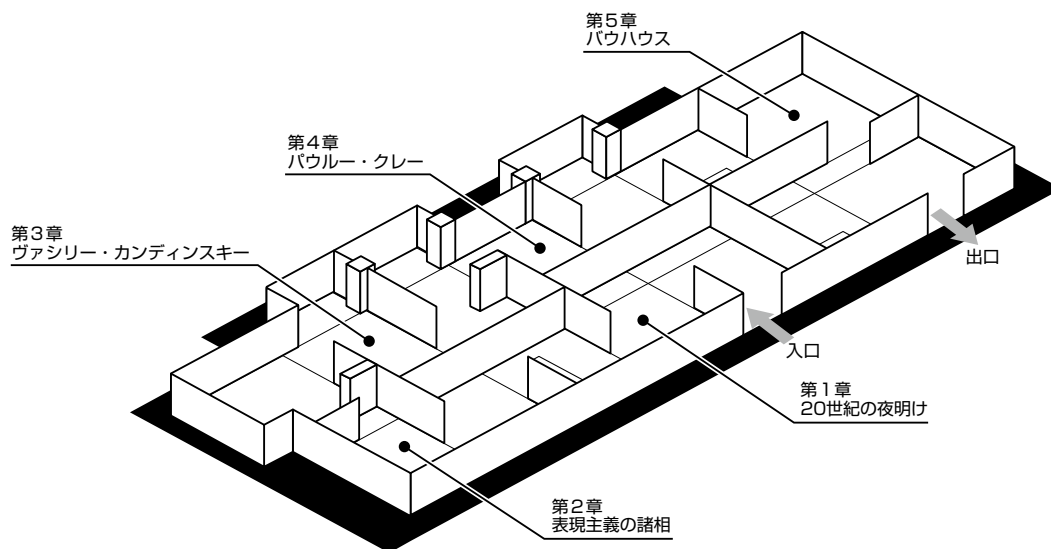
観覧料：一般……900円（700円）〈700円〉

大学・高校生…700円（500円）

中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売券の料金



【関連行事】

・講演会

「クレーとカンディンスキーの時代」

日 時：10月23日(日) 14:00～15:30

会 場：NICOプラザ会議室

講 師：西村勇晴氏（北九州市立美術館館長・
前宮城県美術館副館長）

参加者数：22名

・コンサート&トーク

「クレーとカンディンスキーに因んで」

日 時：11月23日(水・祝) 14:00～14:40

会 場：新潟県立万代島美術館ロビー

演 奏：新潟交響楽団メンバーによるストリング
カルテット／松村牧子氏（第1ヴァイオ
リン）、田中聖子氏（第2ヴァイオリン）、
高橋美也子氏（ヴィオラ）、牧野純子氏
（チェロ）

参加者数：125名

・美術鑑賞講座

「世紀末のウィーン、ミュンヘン、ベルリン」

日 時：11月5日(土) 14:00～15:30

会 場：NICOプラザ会議室

講 師：桐原 浩（当館業務課長）

参加者数：34名

「バウハウス入門」

日 時：11月19日(土) 14:00～15:30

会 場：NICOプラザ会議室

講 師：今井 有（当館主任学芸員）

参加者数：27名

・作品解説会

日 時：会期中の土・日・祝日 14:00～
（ただし他のイベントがある日を除く）

場 所：美術館展示室

担 当：当館学芸員

参加者数：のべ151名



【図録】

仕様：B5版、168頁

編集：宮城県美術館、宇都宮美術館、新潟県立万代島美術館

制作：印象社

発行：美術館連絡協議会

内容：「本展開催にあたって」／和田浩一

図版

「ミュンヘンのカンディンスキーとクレーー分離派と芸術誌の時代の中で」／桐原 浩

「宮城県美術館・宇都宮美術館のクレー／カンディンスキー・コレクションの特色」

／小檜山祐幹

「『機械の椅子』と『椅子の動物』ーパウハウス史の断面から」／石川潤

クレーとカンディンスキーの時代 関連

略年表

出品目録



【関連記事】

●新聞

11月18日 新潟日報 文化欄
「クレーとカンディンスキーの時代」／桐原 浩

11月30日 朝日新聞 夕刊（東京版）
「美の履歴書」第230回 「カンディンスキー《鎮められたコントラスト》」

11月6日(日) 下野新聞
「きたかんアート散歩」第13回

その他 読売新聞（10/22(金)）
新潟日報（10/22(金)話かご）

〈連載〉

・読売新聞「作品解説」
上：カンディンスキー《商人たちの到着》／桐原 浩（11/8(月)）
中：クレー《3人のアラビア人》／桐原 浩（11/10(水)）
下：プロイヤー《クラブチェア第2版》／今井 有（11/12(金)）

●雑誌

『CARREL』11月号
「クレーとカンディンスキーと3つの美術館」

●ラジオ

10月24日(月) FM KENTO
番組出演 18:30～18:35
12月5日(月) FM PORT
番組出演「モーニング・ゲート」
9:25～9:40

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	3,343
	前売	350
無料観覧者数	無料	1,301
	免除	296
総観覧者数		5,290
有料率 (%)		69.9

担当 桐原 浩、今井 有

【出品リスト】

第1章 20世紀の夜明け

No.	作者名	作品名	上位題	制作年	材質・技法	所蔵先
1-1			『パン』第1年第1号(表紙デザイン:フランツ・フォン・シュトゥック)	1895刊	雑誌	★
1-2			『パン』第2年第1号	1896刊	雑誌	★
1-3	ゲオルク・リュウリヒ	デーメルルの酒の歌のための縁飾り	『パン』 第1年第1号	1895頃	紙、多色石版	★
1-4	フェリックス・ヴァロトソン	シューマンに捧げる	『パン』 第1年第1号	1893	紙、木版	★
1-5	マックス・リーパーマン	ローゼンハイムのワイン酒場の庭	『パン』 第1年第1号	1895	紙、エッチング	★
1-6	モーリス・デュモン	ザッフォー	『パン』 第1年第1号	1895頃	紙、グリフトグラフィー	★
1-7	マックス・クリンガー	哲学者	『パン』 第1年第2号	1895	紙、エッチング・アクアチント	★
1-8	アンリドゥトゥールーズ＝ロートレック	マルセル・ランデ嬢(胸像)	『パン』 第1年第3号	1895	紙、多色石版	★
1-9	ヴィルヘルム・フォルツ	サロメ	『パン』 第2年第3号	1896頃	紙、多色石版	★
1-10	オットー・エックマン	五位鷲	『パン』 第2年第3号	1896頃	紙、多色木版	★
1-11	ウィリアム・ニコルソン	老女	『パン』 第3年第3号	1897頃	紙、多色木版	★
1-12	モーリス・ドニ	母と子	『パン』 第3年第3号	1897頃	紙、石版	★
1-13	ルートヴィヒ・フォン・ホフマン	うららかな日	『パン』 第3年第4号	1898頃	紙、多色石版	★
1-14	ポール・シニャック	夕べ	『パン』 第4年第1号	1898	紙、多色石版	★
1-15	ヴァルター・ライスティコウ	鶴	『パン』 第4年第2号	1898頃	紙、多色石版	★
1-16	アルベルト・クリューガー	ベックリンの自画像と死	『パン』 第4年第4号	1899頃	紙、木口木版	★
1-17	ハンス・オルデ	フリードリヒ・ニーチェ	『パン』 第5年第4号	1900頃	紙、エッチング	★
1-18	トーマス・テオドール・ハイネに基づく	ベルリン分離派秋季展・絵画・彫刻(ポスター)		1915頃	紙、石版	◇
1-19	ルートヴィヒ・フォン・ツムブッシュ	ミュンヘンの絵入り週刊生活美術雑誌「ユゲント(青春)」(ポスター)		1896	紙、多色石版	◇
1-20	フランツ・フォン・シュトゥック	第9回ミュンヘン国際美術展・レーンパッハ展(ポスター)		1905	紙、多色石版	◇
1-21	フランツ・フォン・シュトゥック	ミュンヘン造形芸術家協会(分離派)美術展(ポスター)		1905	紙、多色石版	◇
1-22		『ジンプリチムス』第7年(1902年4月-1903年3月)合本(表紙デザイン:トーマス・テオドール・ハイネ)		1903刊	雑誌	★
1-23		『ジンプリチムス』第8年(1903年4月-1904年3月)合本		1904刊	雑誌	★
1-24	トーマス・テオドール・ハイネ	『ジンプリチムス』はプロイセンで唯一、鉄道警察が禁止する大人気の滑稽雑誌です(ポスター)		1898	紙、石版	◇
1-25	トーマス・テオドール・ハイネ	絵入り週刊誌「ジンプリチムス」(ポスター)		1901	紙、多色石版	◇
1-26	ペーター・ベーレンス	無題(接吻)	『パン』 第4年第2号	1898頃	紙、多色木版	★
1-27	ペーター・ベーレンス	冬景色	『パン』 第5年第4号	1900頃	紙、木版	★
1-28	アンリ・ヴァンド・ヴェルド	トロポンの広告	『パン』 第4年第1号	1898	紙、多色石版	★
1-29	パウル・ビュルク	雑誌「ドイツの芸術と装飾」(ポスター)		1903	紙、多色石版	◇
1-30	ペーター・ベーレンス	ディナープレート		1900	磁器、釉薬	◇
1-31	アンリ・ヴァンド・ヴェルド	エスカルゴ用フォーク		1902-1903	銀	◇
1-32	アンリ・ヴァンド・ヴェルド	牡蠣用フォーク		1902-1903	銀	◇
1-33	アンリ・ヴァンド・ヴェルド	キャビア用ナイフ		1902-1903	銀	◇
1-34	ペーター・ベーレンス	蓋物		1903	炉器、釉薬	◇
1-35	パウル・ハウシュタイン	菓子容器		1904	銀、ガラス	◇
1-36	ブルーノ・パウル	燭台		1901	真鍮	◇
1-37		『ヴェル・サクルム』合本用表紙	『ヴェル・サクルム』第1年	1898	雑誌	★
1-38	マクシミリアン・レンツ	素描	『ヴェル・サクルム』第1年第1号	1898	紙、石版	★
1-39	グスタフ・クリムト	魚の一族	『ヴェル・サクルム』第1年第3号	1898	紙、石版	★
1-40		『ヴェル・サクルム』第1年第10号表紙(デザイン:カール・ミュラー)		1898	紙、石版	★
1-41		『ヴェル・サクルム』第2年第4号表紙(デザイン:コマン・モーザー)		1899	紙、石版	★
1-42		『ヴェル・サクルム』第2年第6号表紙(デザイン:アドルフ・ベーム)		1899	紙、石版	★
1-43		『ヴェル・サクルム』第2年第8号表紙(デザイン:オットー・ヴァーグナー)		1899	紙、石版	★
1-44	ヴィルヘルム・リスト	収穫	『ヴェル・サクルム』第4年第1号	1901	紙、石版	★
1-45	グスタフ・クリムト	(失題)		不明	紙、鉛筆・色鉛筆	★
1-46	グスタフ・クリムト	第1回オーストリア造形芸術家協会(ウィーン分離派)展(ポスター)		1898	紙、多色石版	◇
1-47	アルフレート・ロラー	第9回オーストリア造形芸術家協会(ウィーン分離派)展(ポスター)		1901	紙、多色石版	★
1-48	フェルディナント・アンドリ	第10回オーストリア造形芸術家協会(ウィーン分離派)展(ポスター)		1901	紙、多色石版	★
1-49	アルフレート・ロラー	第14回オーストリア造形芸術家協会(ウィーン分離派)展(ポスター)		1902	紙、多色石版	◇
1-50	エゴン・シーレ	第49回オーストリア造形芸術家協会(ウィーン分離派)展(ポスター)		1918	紙、多色石版	★
1-51	オスカー・ココシュカ	版画集「夢見る少年たち」表紙		1908刊	冊子体	★
1-52	オスカー・ココシュカ	眠る女	版画集「夢見る少年たち」	1908	紙、多色石版	★
1-53	オスカー・ココシュカ	帆船	版画集「夢見る少年たち」	1908	紙、多色石版	★
1-54	オスカー・ココシュカ	船乗りは叫ぶ	版画集「夢見る少年たち」	1908	紙、多色石版	★
1-55	オスカー・ココシュカ	遠い島	版画集「夢見る少年たち」	1908	紙、多色石版	★
1-56	オスカー・ココシュカ	会話をかわす男女	版画集「夢見る少年たち」	1908	紙、多色石版	★
1-57	オスカー・ココシュカ	眠るひとびと	版画集「夢見る少年たち」	1908	紙、多色石版	★
1-58	オスカー・ココシュカ	目覚め	版画集「夢見る少年たち」	1908	紙、多色石版	★
1-59	オスカー・ココシュカ	少女リーと私	版画集「夢見る少年たち」	1908	紙、多色石版	★
1-60	オットー・ブルツチャー	花鉢		1908	ガラス、七宝、金彩	◇
1-61	ヨーゼフ・フランツ・マリア・ホフマン	蓋物		1909	銀	◇
1-62	ヨーゼフ・フランツ・マリア・ホフマン	蓋物		1914	クリスタルガラス	◇

1-63	ヨーゼフ・フランツ・マリア・ホフマン	ジッツマシーネ		1905頃	ブナ材	★
1参考出品		『パン』1895、1896、1897年 内容見本・会員一覧			書籍	
1参考出品		『ベルリン分離派展カタログ』(第1-4回展)		1899-1902	書籍	
1参考出品		『ミュンヘン分離派国際展公式カタログ』		1894	書籍	
1参考出品		『第7回ミュンヘン国際美術展公式カタログ』 (表紙デザイン:フランツ・フォン・シュトゥック)		1897	書籍	
1参考出品		『ユージェント』第2年-第3年		1897-1898	雑誌	
1参考出品		『ジンプリチシムス』			雑誌	
1参考出品		『ウィーン分離派第4回展カタログ』		1899	書籍	

第2章 表現主義の諸相

No	作者名	作品名	上位題	制作年	材質・技法	所蔵先
2-1		『ブリュッケ展覧会カタログ』		1912刊	冊子体(木版による作品10点所収)	★
2-2	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	カール・シュテルンハイムの肖像		1916	紙、石版	★
2-3	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	ターフィット・ムーラーの肖像	『新ヨーロッパ版画集 第5集』	1919	紙、木版	★
2-4		ゲオルク・ハイム著『生の影』		1924刊	書籍(キルヒナーによる木版挿絵47点所収)	★
2-5	カール・シュミット＝ロットルフ	女性頭部	『新ヨーロッパ版画集 第5集』	1915	紙、木版	★
2-6	エーリヒ・ヘッケル	少女の頭部	『ゲニウス』第2年	1913	紙、木版	★
2-7	エーリヒ・ヘッケル	馬鹿	『新ヨーロッパ版画集 第5集』	1917	紙、木版	★
2-8	エミール・ノルデ	奇妙な生き物		1922	紙、エッチング	★
2-9	ヘルマン・マックス・ベヒシュタイン	パイプ煙草を吸う漁師		1909	麻布、油彩	★
2-10	ヘルマン・マックス・ベヒシュタイン	われらの父	版画集『われらの父』	1921	紙、木版・手彩色	★
2-11	ヘルマン・マックス・ベヒシュタイン	御名があがめられますように	版画集『われらの父』	1921	紙、木版・手彩色	★
2-12	ヴァシリー・カンディンスキー	第1回ファーランクス展(ポスター)		1901	紙、多色石版	◇
2-13		『青騎士編集部主催第1回展覧会カタログ』		1911刊	書籍(表紙絵はカンディンスキーによる)	★
2-14		『青騎士編集部主催第2回展覧会カタログ』		1912刊	書籍(表紙絵はカンディンスキーによる)	★
2-15		『青騎士年鑑』		1912刊	書籍(表紙絵はカンディンスキーによる)	★
2-16		ヴァシリー・カンディンスキー著『芸術における精神的なもの』(第3版)		1912刊	書籍(表紙絵はカンディンスキーによる)	★
2-17		『デア・シュトゥルム』誌 1912年10月号		1912刊	雑誌	★
2-18	ヴァシリー・カンディンスキー	詩版画集『響き』		1913刊	書籍(木版による作品56点所収)	★◇
2-19	ヴァシリー・カンディンスキー	抒情的なるもの	詩版画集『響き』	1911	紙、木版	◇
2-20	フランツ・マルク	動物伝説	『ゲニウス』第1年	1912	紙、木版	★
2-21	フランツ・マルク	創世記 I	『新ヨーロッパ版画集 第3集』	1914	紙、木版	★
2-22	アウグスト・マッケ	あいさつ	『新ヨーロッパ版画集 第3集』	1912	紙、リノカット	★
2-23	アルフレート・クビーネ	逃亡者	版画集『ゼマ』	1912	紙、石版	★
2-24	ハインリヒ・カンペンドンク	郊外の農民		1918頃	麻布、油彩	★
2-25	アレクセイ・フォン・ヤヴレンスキー	頭部	『新ヨーロッパ版画集 第4集』	1922	紙、石版	★
2-26	パウル・クレー	競馬 I		1911	紙、インク・ペン	★
2-27	パウル・クレー	川の眺め	版画集『ゼマ』	1912	紙、石版	★
2-28	クリスチャン・ロープス	踊る二人	『新ヨーロッパ版画集 第5集』	1913頃	紙、リノカット	★
2-29	ジョージ・グロス	街の情景	『新ヨーロッパ版画集 第5集』	1919/20	紙、石版	★
2-30	コンラート・フェリクス・ミュラー	死せる同志	『ダス・ケストナーブーフ』	1919	紙、石版	★
2-31	エルンスト・バルラハ	善きサマリア人	『ダス・ケストナーブーフ』	1919	紙、木版	★
2-32	ケーテ・コルヴィッツ	自画像	『ドイツ書籍博物館のための芸術家義勇版画集』	1922	紙、石版	★
2-33	オスカー・ココシュカ	女性頭部	『ドイツ書籍博物館のための芸術家義勇版画集』	1922	紙、石版	★
2-34	オスカー・ココシュカ	イブのリンゴ	版画集『縛られたコロンプス』	1916	紙、石版	★
2-35	エゴン・シーレ	妊婦		1910頃	紙、水彩	★
2-36	エゴン・シーレ	男性裸像(自画像)I	版画集『ゼマ』	1912	紙、石版	★
2-37	エゴン・シーレ	黄色の女		1914	紙、テンペラ・鉛筆	★
2-38	エゴン・シーレ	アルトゥール・レスラーの肖像	『エゴン・シーレ版画集』	1914	紙、エッチング	★
2-39	エゴン・シーレ	少女	『エゴン・シーレ版画集』	1918	紙、石版	★
2参考出品		『デア・シュトゥルム』誌 1910年7月14日号(ココシュカの戯曲(殺人者、女たちの希望)図版とシナリオ掲載)		1910	雑誌	
2参考出品	オスカー・ココシュカ	自画像—製図用鉛筆を持つ胸像	版画集『おのおの永遠、それは雲の言葉』(1916出版)	1914	リトグラフ	◎
2参考出品	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	アブサロムとその忠告者	連作版画集『アブサロム物語』	1918	木版画	◎
2参考出品		『第1回「ブリュッケ」展覧会カタログ』		1910	木版画(表紙:ヘッケルによるキルヒナーの油彩画の模刻)	◎
2参考出品	アルフレート・クビーネ	作品集『サンサーラ 終りなき連作 作品選40点による』		1911	オフセット印刷(1909-10年のベネチアの複製)	

第3章 ヴァシリー・カンディンスキー

No	作者名	作品名	上位題	制作年	材質・技法	所蔵先
3-1	ヴァシリー・カンディンスキー	水門		1902	麻布、油彩	★
3-2	ヴァシリー・カンディンスキー	夕暮		1904	紙、ガッシュ	★
3-3	ヴァシリー・カンディンスキー	版画集『言葉なき詩』		1903刊	冊子体(木版による作品15点)	◇
3-4	ヴァシリー・カンディンスキー	騎士	版画集『木版画集』	1906	紙、エリオグラビュール(写真凹版)	★
3-5	ヴァシリー・カンディンスキー	鳥	版画集『木版画集』	1906	紙、エリオグラビュール(写真凹版)	★
3-6	ヴァシリー・カンディンスキー	教会	版画集『木版画集』	1906	紙、エリオグラビュール(写真凹版)	★

3-7	ヴァシリー・カンディンスキー	白樺	版画集「木版画集」	1906	紙、エリオグラビュール(写真凹版)	★
3-8	ヴァシリー・カンディンスキー	森の女たち	版画集「木版画集」	1906	紙、エリオグラビュール(写真凹版)	★
3-9	ヴァシリー・カンディンスキー	商人たちの到着		1905	麻布、テンペラ	★
3-10	ヴァシリー・カンディンスキー	国際美術展「第2回サロン展」(ポスター)		1910	紙、多色石版	◇
3-11	ヴァシリー・カンディンスキー	[E. R. キャンベルのための壁画No. 4]の習作(カーニバル冬)		1914	厚紙、油彩	★
3-12	ヴァシリー・カンディンスキー	素描		1915	紙、墨	★
3-13	ヴァシリー・カンディンスキー	素描		1915	紙、墨	★
3-14-3-25	ヴァシリー・カンディンスキー	小さな世界(12点組)	版画集「小さな世界」	1922	多色石版、多色木版	★
3-26	ヴァシリー・カンディンスキー	素描		1923	紙、インク・ペン	★
3-27	ヴァシリー・カンディンスキー	灰、緑、茶		1924	紙、水彩・インク	◇
3-28	ヴァシリー・カンディンスキー	リトグラフィーNo. 1		1925	紙、リトグラフ	★
3-29	ヴァシリー・カンディンスキー	素描 8		1932	紙、墨	★
3-30	ヴァシリー・カンディンスキー	素描 13		1933	紙、墨	★
3-31	ヴァシリー・カンディンスキー	素描 8		1934	紙、墨	★
3-32	ヴァシリー・カンディンスキー	素描 11		1939	紙、墨・ペン	★
3-33	ヴァシリー・カンディンスキー	素描 14		1941	紙、インク・ペン	★
3-34	ヴァシリー・カンディンスキー	素描 24		1941	紙、インク・ペン	★
3-35	ヴァシリー・カンディンスキー	素描		1941	紙、インク・ペン	★
3-36	ヴァシリー・カンディンスキー	素描 5		1941	紙、インク・ペン	★
3-37	ヴァシリー・カンディンスキー	素描 35		1941	紙、インク・ペン	★
3-38	ヴァシリー・カンディンスキー	素描		1942	紙、インク・ペン	★
3-39	ヴァシリー・カンディンスキー	素描		1942	紙、インク・ペン	★
3-40	ヴァシリー・カンディンスキー	活気ある安定		1937	麻布、混合技法	★
3-41	ヴァシリー・カンディンスキー	鎮められたコントラスト		1941	麻布、油彩	◇
3-42	ヴァシリー・カンディンスキー	三つの星		1942	カードボード、油彩	◇
3参考出品		『ベルリン分離派第11回展カタログ』		1906	書籍	
3参考出品		『ビーバー社版画販売部 近代版画家作品第1回カタログ』		1904	書籍	

第4章 パウル・クレー

No.	作者名	作品名	上位題	制作年	材質・技法	所蔵先
4-1	パウル・クレー	樹上の処女		1903	紙、エッチング	★
4-2	パウル・クレー	老いたる不死鳥		1905	紙、亜鉛板エッチング	★
4-3	パウル・クレー	おりたたみ椅子の子供 I		1908	紙、黒の水彩、厚紙に貼付	★
4-4	パウル・クレー	若い婦人(光のフォルム)		1910	紙、インク・ペン、厚紙に添付	★
4-5	パウル・クレー	情熱の園	版画集「モデルナー・プラント」第2巻	1913	紙、亜鉛板エッチング	★
4-6	パウル・クレー	小さな世界		1914	紙、ジंक版	★
4-7	パウル・クレー	無題(反射する窓)		1915	紙、エッチング	★
4-8	パウル・クレー	アフロディテの解剖学		1915	紙、白亜の下地に水彩、厚紙に貼付	★
4-9	パウル・クレー	三人のアラビア人		1915	紙、水彩、厚紙に貼付	◇
4-10	パウル・クレー	金色の縁のあるミニアチュール		1916	紙、水彩・インク、厚紙に貼付	★
4-11	パウル・クレー	紫と黄色の運命の響きと二つの球		1916	紙、水彩・インク、厚紙に貼付	★
4-12	パウル・クレー	世界劇場(寄席)		1918	紙、インク・ペン、厚紙に貼付	★
4-13	パウル・クレー	数字の木のある風景	『ミュンヒナー・プラター』第1年第9号	1919	紙、石版	★
4-14	パウル・クレー	瞑想	『ミュンヒナー・プラター』第1年第9号	1919	紙、石版	★
4-15	パウル・クレー	消えゆく光	『ダス・ケストナー・ブーフ』	1919	紙、石版	★
4-16	パウル・クレー	櫛をさした魔女	『ドイツ書籍博物館のための芸術家義捐版画集』	1922	紙、石版	★
4-17		クルト・コリント著「ポツダム広場、もしくは新しき救世主の夜 法学的幻視」		1920刊	書籍(クレーによる挿絵10点所収)	★
4-18		ヴォルテール著「カンディードあるいは最善説」		1920刊	書籍(クレーによる挿絵26点所収)	★
4-19	パウル・クレー	内なる光の聖女	『新ヨーロッパ版画集 第1集』	1921	紙、多色石版	★
4-20	パウル・クレー	大衆喜劇		1922	紙、石版	★
4-21	パウル・クレー	橋の傍らの三軒の家		1922	紙、水彩、厚紙に貼付	★
4-22	パウル・クレー	中国風の絵		1923	厚紙、水彩・油彩、厚紙に貼付	★
4-23	パウル・クレー	上昇		1925	紙、水彩・油彩転写、厚紙に貼付	◇
4-24	パウル・クレー	舞台稽古		1925	紙、水彩・インク、厚紙に貼付	◇
4-25	パウル・クレー	都市の境界		1926	紙、水彩、厚紙に貼付	◇
4-26	パウル・クレー	緑の中庭		1927	厚紙、油彩・水彩・ペン	★
4-27	パウル・クレー	グラジオラスの静物		1932	紙、水彩、インク、厚紙に貼付	★
4-28	パウル・クレー	腰かける子ども		1933	紙、水彩、厚紙に貼付	◇
4-29	パウル・クレー	パレッシオ・ヌア		1933	木綿、白の下地、水彩	★
4-30	パウル・クレー	赤い鳥の話		1935	紙、水彩、厚紙に貼付	★
4-31	パウル・クレー	力学値のつりあい		1935	厚紙、油彩	★
4-32	パウル・クレー	スポーツ・競技		1937	紙、糊絵具、厚紙に貼付	★
4-33	パウル・クレー	ラトミー		1939	紙、糊による下地、水彩、厚紙に貼付	★
4参考出品		『ミュンヘン分離派国際展公式カタログ』		1906	書籍	

第5章 バウハウス

No	作者名	作品名	上位題	制作年	材質・技法	所蔵先
5-1	ペーター・ペーレンス	ドイツ作連盟(ケルン)手工芸産業・商業美術・建築(ポスター)		1914	紙、多色石版	◇
5-2	ペーター・ペーレンス	電気時計「シンクロン」		1907-1908	真鍮、板金	◇
5-3	ペーター・ペーレンス	電気ケトル		1908頃	真鍮(内部ニッケルメッキ)、鞣皮	◇
5-4	ペーター・ペーレンス	電気ケトル		1908	真鍮(内部ニッケルメッキ)、鞣皮	◇
5-5		バウハウス設立綱領(表紙部分)リオネル・ファイニンガー(カテドラル)		1919	印刷(カテドラル)はジノグラフィー技法)	★
5-7	ヨハネス・イッテン	若い女	版画集「ヨハネス・イッテン」	1919	紙、多色石版	◇
5-8	ヨハネス・イッテン	男	版画集「ヨハネス・イッテン」	1919	紙、多色石版	◇
5-9	ヨハネス・イッテン	コンポジション	版画集「ヨハネス・イッテン」	1919	紙、多色石版	◇
5-10	オスカー・シュレンマー	パンフレット「新ヨーロッパ版画集」		1921	紙、石版	◇
5-11	リオネル・ファイニンガー	散歩する人々	「新ヨーロッパ版画集 第1集」	1918	紙、木版	★
5-12	リオネル・ファイニンガー	海辺の別荘 4	「新ヨーロッパ版画集 第1集」	1920	紙、木版	★
5-13	ヨハネス・イッテン	箴言	「新ヨーロッパ版画集 第1集」	1921	紙、多色石版	★
5-14	ヨハネス・イッテン	白人の家	「新ヨーロッパ版画集 第1集」	1921	紙、多色石版	★
5-15	ゲルハルト・マルクス	猫	「新ヨーロッパ版画集 第1集」	1921	紙、木版	★
5-16	ゲオルク・ムッハ	手一心	「新ヨーロッパ版画集 第1集」	1921	紙、エッチング	★
5-17	ゲオルク・ムッハ	動物の頭部	「新ヨーロッパ版画集 第1集」	1921	紙、エッチング	★
5-18	パウル・クレー	ホフマン風の情景	「新ヨーロッパ版画集 第1集」	1921	紙、多色石版	★
5-19	ローター・シュライヤー	舞台劇<子供の死>から 配色 6	「新ヨーロッパ版画集 第1集」	1921	紙、石版・手彩色	★
5-20	ローター・シュライヤー	舞台劇<子供の死>から 配色 2	「新ヨーロッパ版画集 第1集」	1921	紙、石版・手彩色	★
5-21	オスカー・シュレンマー	人物 H2	「新ヨーロッパ版画集 第1集」	1921	ピンクの紙、石版	★
5-22	オスカー・シュレンマー	人物案 K1	「新ヨーロッパ版画集 第1集」	1921	黄色の紙、石版	★
5-23	ヴァシリー・カンディンスキー	コンポジション	「新ヨーロッパ版画集 第4集」	1922	紙、多色石版	★
5-24	オスカー・シュレンマー	パンフレット「バウハウス展」(ワイマール)		1923	紙、凸版	◇
5-25	ヘルベルト・バイヤー	「ワイマール国立バウハウス1919-1923カタログ」		1923	紙、凸版	◇
5-26	ルードルフ・バシャント	絵葉書「バウハウス展」(ワイマール)		1923	紙、多色石版	◇
5-27	リオネル・ファイニンガー	絵葉書「バウハウス展」(ワイマール)		1923	紙、多色石版	◇
5-28	リオネル・ファイニンガー	絵葉書「バウハウス展」(ワイマール)		1923	紙、多色石版	◇
5-29	ルートヴィヒ・ヒルシュフェルト＝マック	絵葉書「バウハウス展」(ワイマール)		1923	紙、多色石版	◇
5-30	ヴァシリー・カンディンスキー	絵葉書「バウハウス展」(ワイマール)		1923	紙、多色石版	◇
5-31	パウル・クレー	絵葉書「バウハウス展」(ワイマール)		1923	紙、多色石版	◇
5-32	ゲルハルト・マルクス	絵葉書「バウハウス展」(ワイマール)		1923	紙、多色石版	◇
5-33	オスカー・シュレンマー	絵葉書「バウハウス展」(ワイマール)		1923	紙、多色石版	◇
5-34	クルト・シュミット	絵葉書「バウハウス展」(ワイマール)		1923	紙、多色石版	◇
5-35	ヴァシリー・カンディンスキー	楽しき飛翔	「バウハウス・マイスター版画作品集」	1923	紙、多色石版	◇
5-36	パウル・クレー	恋する男	「バウハウス・マイスター版画作品集」	1923	紙、多色石版	◇
5-37	ローター・シュライヤー	無題	「バウハウス・マイスター版画作品集」	1923	紙、木版	◇
5-38	オスカー・シュレンマー	脚を組んだ抽象的人像	「バウハウス・マイスター版画作品集」	1923	紙、エッチング	◇
5-39	リオネル・ファイニンガー	ゲルメローダ	「バウハウス・マイスター版画作品集」	1923	紙、木版	◇
5-40	ゲルハルト・マルクス	炉端(家族)	「バウハウス・マイスター版画作品集」	1923	紙、木版	◇
5-41	ゲオルク・ムッハ	テーブルの上	「バウハウス・マイスター版画作品集」	1923	紙、エッチング	◇
5-42	ラスロ・モホリ＝ナギ	コンポジション	「バウハウス・マイスター版画作品集」	1923	紙、多色石版	◇
5-47	クルト・シュミット	「メカニック・パレエ」舞台デザイン(原画)		1923	紙、インク	◇
5-48	クルト・シュミット	「バウハウス劇場」(ポスター原画)		1924	紙、水彩・インク・鉛筆	◇
5-49	マルセル・ブロイヤール	「バウハウス劇場」(ポスター原画)		1923	紙、グアッシュ	◇
5-50	オスカー・シュレンマー	明るい群像		1928	紙、水彩・鉛筆	◇
5-51	ラスロ・モホリ＝ナギ	「バウハウス叢書」出版案内(表紙)		1926	紙、凸版	◇
5-52		「バウハウス叢書」パンフレット		1927	紙、凸版	◇
5-53		ヴァルター・グロピウス著 バウハウス叢書第1巻 「国際建築」(装丁:ファルカス・モルナール)		1925刊	紙、印刷	◇
5-54		パウル・クレー著 バウハウス叢書第2巻 「教育スケッチブック」(装丁:ラスロ・モホリ＝ナギ)		1925刊	紙、印刷	◇
5-55		オスカー・シュレンマー著 バウハウス叢書第4巻 「バウハウスの舞台」(装丁:オスカー・シュレンマー)		1925刊	紙、印刷	◇
5-56		ラスロ・モホリ＝ナギ著 バウハウス叢書第8巻 「絵画・写真・映画」(第2版)(装丁:ラスロ・モホリ＝ナギ)		1927刊	紙、印刷	◇
5-57		ヴァシリー・カンディンスキー著 バウハウス叢書第9巻 「点と線から画へ」(装丁:ヴァシリー・カンディンスキー)		1926刊	紙、印刷	◇
5-58		ヴァルター・グロピウス著 バウハウス叢書第12巻 「テッサウのバウハウス建築」(装丁:ラスロ・モホリ＝ナギ)		1930刊	紙、印刷	◇
5-59		ラスロ・モホリ＝ナギ著 バウハウス叢書第14巻 「材料から建築へ」(装丁:ラスロ・モホリ＝ナギ)		1929刊	紙、印刷	◇
5-60		パウル・クレー著 新バウハウス叢書 「教育スケッチブック」(装丁:ヘルベルト・バイヤー)		1964刊	紙、印刷	◇

5-61	ヨーゼフ・アルバース	ティーグラス(マドラー、受皿付き)	1926	ガラス、スチール、黒檀、磁器	◇
5-62	マリアンネ・ブランド	ティーメーカー(保温台付き)	1928-30	真鍮、黒檀	◇
5-63	ゲルハルト・マルクス	ティーポット「ティーアガルテン」(プロトタイプ)	1932	磁器、銅	◇
5-64	マルセル・ブロイヤー	クラブチェア 第2版	1925-26	スチールパイプ(クロームメッキ)、布	◇
5-65	マルセル・ブロイヤー	サイドチェア B6	1925-26	スチールパイプ(クロームメッキ)、木	◇
5-66	マルセル・ブロイヤー	ネストテーブル B9-B9c	1925-26	スチールパイプ(クロームメッキ)、木	◇
5-67	マルセル・ブロイヤー	ラウンジチェア B25 「ジッツマシーネ」	1928-29	スチールパイプ(クロームメッキ)、木、藤	◇
5-68	マルセル・ブロイヤー	デスク B91	1930頃	スチールパイプ(クロームメッキ)、木	◇
5-69	ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ	チェア MR10	1927	スチールパイプ(クロームメッキ)、鉄製タボとネジ、革、紡績紐	◇
5-70	ヘルベルト・バイヤー	パウハウス(デッサウ)カリキュラム	1925	紙、凸版	◇
5-71	デザイナー不詳	パウハウス(デッサウ)工房製品宣伝カード	1929	紙、凸版	◇
5-72	デザイナー不詳	パウハウス(ベルリン)仮装パーティチケット	1933	紙、凸版	◇
5-73	パウル・クレー	Ph博士の診察室装置	1922	小包用紙、白亜下地、水彩・油性絵具、厚紙に貼付	★
5-74	パウル・クレー	綱渡り師	1923	紙、多色石版	★
5-75	パウル・クレー	ロバ	1925	紙、石版	◇
5-76	パウル・クレー	尊大	1926	紙、水彩・インク、厚紙に貼付	◇
5-77	ヴァシリー・カンディンスキー	素描	1927	紙、墨	★
5-78	ヴァシリー・カンディンスキー	浮遊	1927	カードボード、油彩	◇
5-79	ヴァシリー・カンディンスキー	素描 10	1930	紙、インク・ペン	★
5-80	ヴァシリー・カンディンスキー	白いガッシュ	1930	紙、ガッシュ	★
5-81	ヴァシリー・カンディンスキー	横切る赤	1931	カードボード、ミクストメディア	◇

所蔵先

★…宮城県美術館所蔵

◇…宇都宮美術館所蔵

◎…新潟県立近代美術館・万代島美術館

無印…個人蔵



新潟の画家たち 色と形を紡いで ~そして、希望へ~

【趣旨】

新潟県出身・ゆかりの作家を紹介する展覧会シリーズ。この展覧会では、分野を〈絵画〉に限定し、新潟県出身で活躍の顕著な画家10名の作品を紹介した。一言で絵画といっても画家によってその特徴は様々である。日本画、油彩画といった手法の違いだけでなく、題材やその捉え方、制作の作法や考え方、心のありようなど、それぞれの作品からは、各々の強烈な個性が立ち上がってくる。10名の作品をそれぞれまとまった点数で展示することによって、具象から抽象まで、また描写的な作品から素材を活かしたものまで、個性の際立つ展示とした。

また、開催の1年ほど前に東日本大震災が起こったこともあり、出品作家に〈希望〉をテーマにした新作1点を依頼した。

会期中はすべての出品作家にイベントへの参加をお願いし、画家の想いや技法と直に触れる機会を作った。

【総括】

●評価すべき点

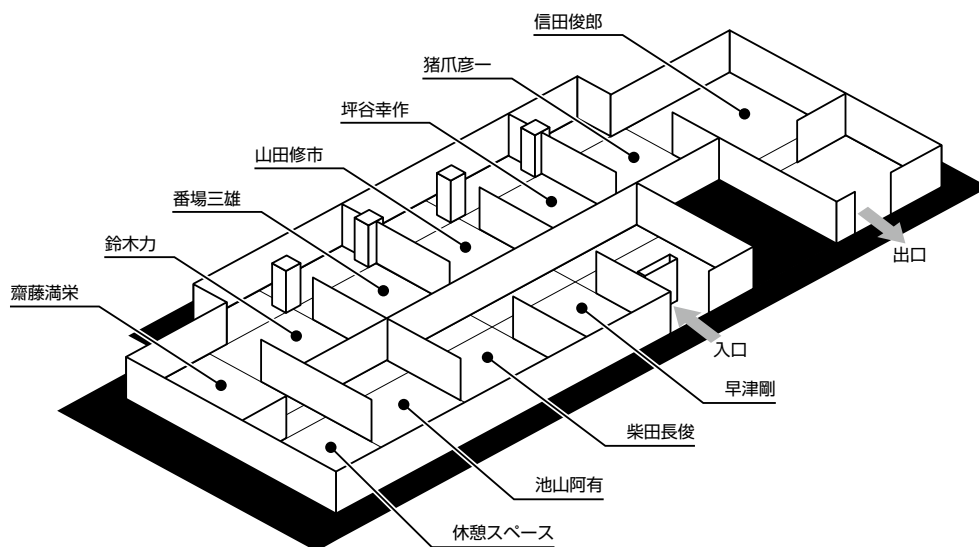
さまざまなタイプの画家を選定したため、それぞれの個性が際立ち、楽しめる展示となった。

また、作家本人によるアーティスト・トークやワークショップは、県民と作家とが直に触れ合える場の提供となり、人気であった。

●検討課題

作家それぞれの個性と事情により、等しい条件で新作を制作していただくことができなかった。

既に活動歴が豊富な作家を選定したが、今後は若い作家の発掘も視野に入れていく必要もあるかもしれない。冬期に開催した展覧会でもあり、来館者は伸びなかった。



【開催日・その他】

=2011年12月23日(金・祝)~

2012年2月19日(日)(45日間)=

主催：新潟県立万代島美術館、新潟日报社

協力：新潟日報美術振興財団

後援：新潟市、新潟市教育委員会、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエムしばた、燕三条エフエム放送株式会社

観覧料：一般……………700円(500円)<500円>

大学・高校生……………500円(300円)

中学生以下無料

※ () 内は20名以上の団体料金

※ < > 内は前売券の料金

【関連行事】

・アーティスト・トーク

場 所：万代島美術館展示室

日 時：1月7日(土) 14:00~

トーク：番場三雄氏(出品作家/東北芸術工科大学准教授)

参加者数：20名

日 時：1月9日(月・祝) 14:00~

トーク：早津 剛氏(出品作家)

参加者数：40名

日 時：1月14日(土) 14:00~

トーク：鈴木 力(出品作家)

参加者数：49名

日 時：1月28日(土) 14:00~

トーク：池山阿有氏(出品作家)

参加者数：45名

日 時：1月29日(日) 14:00~

トーク：猪爪彦一氏(出品作家)

参加者数：40名

日 時：2月12日(日) 14:00~

トーク：坪谷幸作氏(出品作家)

参加者数：22名

・講演会「色との対話」

日 時：1月8日(日) 14:00~

場 所：NICOプラザ会議室

講 師：山田修市氏(出品作家/東北芸術工科大学教授)

参加者数：68名

・トーク「絵具考」

1月15日(日) 13:00～ 美術館ロビーにて

トーク：柴田長俊氏（出品作家）

参加者数：18名

・ワークショップ

「スタンドグラスのブローチを作ろう」

1月15日(日) 14:00～ 美術館ロビーにて

講師：加藤智之氏（KIZIL DOS工房長）

参加者数：21名

・日本画実演

1月22日(日) 14:00～ 美術館ロビーにて

実演：斎藤満栄氏（出品作家）

参加者数：150名

・ワークショップ「色を織る」

—オイルバステルを使って

2月5日(日) 13:00～ 美術館ロビーにて

講師：信田俊郎氏（出品作家）

参加者数：19名

【図録】

仕様：A4版変形(W210×H257mm)、76ページ

編集：新潟県立万代島美術館

発行：新潟県立万代島美術館

内容：作品解説

出品作品図版

作家略歴

出品リスト



【関連記事】

●新聞

2012年1月1日・11日合併号

新美術新聞 No.1268

「個性の競演 新潟の画家たち」／宮下東子

2012年2月2日(休) 新潟日報

「新潟の画家たち」展〈上〉／宮下東子

2012年2月3日(金) 新潟日報

「新潟の画家たち展」〈下〉／宮下東子

その他 新潟日報

(12/23(金)、1/8(日)、1/10(火)、1/23(月))

●雑誌

トツときガイド 2012年1・2月号

キャレル 2012年2月号(1月20日発行)

「新潟の画家たち その獨創性溢れる世界に浸りたい」※山田修市氏・信田俊郎氏インタビュー

●ラジオ

12月23日(金) FM PORT

BEAT COASTER FRIDAY EDITION

(宮下東子出演)

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	1,838
	前売	627
無料観覧者数	無料	1,102
	免除	165
総観覧者数		3,732
有料率 (%)		66.1

担当 宮下東子、桐原 浩

【出品リスト】

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(縦×横cm)	初出展覧会、他	所蔵先
1	池山 阿有	休けい	1985年	油彩、キャンバス	112.0×145.5	第71回光風会展	個人蔵
2		炉ばた	1987年	油彩、キャンバス	130.3×162.0	第19回日展	//
3		炉ばた	1989年	油彩、キャンバス	130.3×162.0	第21回日展	//
4		炉ばた	1990年	油彩、キャンバス	130.3×162.0	第22回日展	//
5		炉ばた	1991年	油彩、キャンバス	162.0×130.3	第77回光風会展	//
6		炉ばた	1997年	油彩、キャンバス	130.3×162.0	第29回日展特選	//
7		炉ばた	2001年	油彩、キャンバス	162.0×194.0	第33回日展	//
8		朝茶	2006年	油彩、キャンバス	194.0×162.0	第38回日展会員賞	//
9		朝刊	2007年	油彩、キャンバス	194.0×162.0	第39回日展	//
10	猪爪 彦一	星空	2005年	油彩、キャンバス	162.1×339.4	個展	//
11		そよ風	2007年	油彩、キャンバス	116.7×80.3	文化村さかいわ風展	//
12		夜のテント	2006年	油彩、キャンバス	65.2×90.9	個展	//
13		夜のオブジェ	2008年	油彩、キャンバス	227.3×181.8	第63回行動展	//
14		繭のある風景	2010年	油彩、キャンバス	181.8×227.3	第65回行動展	//
15		夜のトルソI	2011年	油彩、キャンバス	116.7×90.9	文化村さかいわ風展	//
16		夜のトルソII	2011年	油彩、キャンバス	116.7×90.9	新作	//
17		流れ	2011年	油彩、キャンバス	181.8×454.6	新作	//
18	齋藤 満栄	秋草	1993年	紙、岩絵具	181.8×227.3	第78回院展	//
19		秋草デッサン	1993年	紙、鉛筆、色鉛筆(まくり)	163.8×212.4		//
20		途	2003年	紙、岩絵具	175.0×225.0	第88回院展	//
21		風渡る	2004年	紙、岩絵具	181.8×227.3	第89回院展	//
22		橋(カレル)	2008年	紙、岩絵具	181.8×227.3	第93回院展	当館
23		鳩	2009年	紙、岩絵具	182.0×272.0	第94回院展	個人蔵
24		音	2010年	紙、岩絵具	162.0×130.3	第95回院展	//
25		廬山	2011年	紙、岩絵具	116.7×90.9	新作	//
26	信田 俊郎	光の影・光の場所	2006年	油彩、キャンバス	231.0×480cm	個展	//
27		絵画 No.5	2011年	油彩、キャンバス	162.0×227.0cm	個展	//
28		絵画 No.7	2011年	油彩、キャンバス	195.0×259.0cm	新作	//
29		絵画 No.8	2011年	油彩、キャンバス	227.0×486cm	新作	//
30		絵画 No.9	2011年	油彩、キャンバス	240.0×178.0cm	新作	//
31		ドローイング類	2011年				//
32	柴田長俊	夕闇残照	2000年	楮紙、グラヴァス、桐、膠彩、漆	194.0×304.0	第27回創画展	雪梁舎美術館寄託
33		胎動	2005年	桐、グラヴァス、膠彩、漆	218.0×269.0	第32回創画展	個人蔵
34		太古の地	2008年	楮紙、グラヴァス、桐、膠彩	243.0×318.0	第35回創画展	//
35		玻璃の天	2009年	桐、グラヴァス、膠彩	242.5×145.5	第36回創画展	//
36		豊饒の島	2010年	桐、グラヴァス、膠彩	130.0×162.0	第37回創画展	NST
37		光往く	2011年	桐、グラヴァス、膠彩	80.3×91.0	良寛の風景展	高助合名会社
38		山の沈黙	2011年	桐、杉、膠彩、コラーージュ	162.0×145.5	第38回創画展	個人蔵
39		旭日蒼天	2011年	石膏下地、膠彩、コラーージュ	116.7×80.5	新作	//
40	鈴木 力	虹立っオリーブの谷(COR TONA)	2003年	パネル、麻、テンペラ	181.8×227.3	第49回一陽展	//
41		丘のオリーブ(ASSISI)	2004年	パネル、麻、テンペラ	181.8×227.3	第50回記念一陽展	//
42		雲涌く松島	2009年	パネル、麻、テンペラ	218.2×291.0	第55回一陽展	//
43		花咲くオリーブの園(ASSISI)	2010年	パネル、麻、テンペラ	197.0×291.0	第56回一陽展	//
44		中世の市場とブブリコ宮殿(SIENA)	2010年	パネル、麻、テンペラ	91.0×200.0	新潟一陽会展	//
45		中世の市場とブブリコ宮殿(SIENA) 現地写生	1995年	紙、鉛筆、色鉛筆、クレパス	61.0×120.0		//
46		サン・タンジェロ教会(PERUGIA)	2010年	パネル、麻、テンペラ	72.7×90.9	新潟一陽会展	//
47		サン・タンジェロ教会(PERUGIA) 現地写生	1997年	紙、鉛筆、色鉛筆、クレパス	54.0×73.0	「イタリアに魅せられて 鈴木力展」 弥彦の丘美術館/2008年	//
48	坪谷 幸作	降りる闇	1995年	紙、岩絵具	181.8×227.3	第22回創画展	//
49		時雨れる日	1997年	紙、岩絵具	96.0×116.7	第23回創画会春季展春季展賞	雪梁舎美術館寄託
50		秋ゆく日	2000年	紙、岩絵具	181.8×227.3	第27回創画展	個人蔵
51		地・白秋へ	2001年	紙、岩絵具	116.7×72.7	県展委員出品	//
52		森・冬へ	2004年	紙、岩絵具	96.0×116.7	第30回創画会春季展春季展賞	長禅寺
53		蒼き夜	2009年	紙、岩絵具	227.3×181.8	第36回創画展	個人蔵
54		白鷺	2010年	紙、岩絵具	162.0×130.0	第37回創画展	//
55		暮れる海峡	2011年	紙、岩絵具	96.0×116.7	第37回創画会春季展春季展賞	//
56		その影にしまめて	2011年	紙、岩絵具	72.7×116.7	県展委員出品	//
57	早津 剛	荻ノ島の家 柏崎市高柳町	2003年	油彩、キャンバス	89.4×145.5		//
58		大赤沢の家 中魚津南町	2008年	油彩、キャンバス	91.0×116.7		//
59		上青柳の家 茨城県石岡市	2010年	油彩、キャンバス	130.3×162.0		//
60		郡上八幡の家 岐阜県郡上八幡市	2011年	油彩、キャンバス	91.0×116.7		//
61		中野邸 新潟市秋葉区金津	2011年	油彩、キャンバス	130.3×162.0		//
62		牛ヶ鼻の家 上越市大島区牛ヶ鼻	2011年	油彩、キャンバス	130.3×162.0		//
63		荻野の家 山形県西置賜郡白鷹町	2011年	油彩、キャンバス	130.3×162.0		//
64		2011気仙沼 宮城県気仙沼市	2011年	紙、墨	174.0×295.0	新作	//

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(縦×横cm)	初出展覧会、他	所蔵先
65	早津 剛	希望 宮城県気仙沼市	2011年	油彩、キャンバス	89.4×145.5	新作	個人蔵
66	番場 三雄	タルバール広場	2000年	紙、岩絵具	225.0×180.0	再興第85回院展	//
67		寧日	2002年	紙本、岩絵具	180.0×225.0	再興第87回院展	//
68		臥す	2003年	紙本、岩絵具	180.0×225.0	再興第88回院展	//
69		カトマンズ晩照	2004年	紙本、岩絵具	180.0×225.0	再興第89回院展	//
70		パタン暮色	2006年	紙本、岩絵具	106.0×106.0	第61回春の院展	//
71		越えて	2006年	紙本、岩絵具	225.0×180.0	再興第91回院展	//
72		火焰山追想	2006年	紙本、岩絵具	91.0×116.7	個展	//
73		三面川	2007年	紙本、岩絵具	150.0×75.0	第62回春の院展	//
74		峠、暮色	2009年	紙本、岩絵具	225.0×180.0	再興第94回院展	//
75		静日	2011年	紙本、岩絵具	91.0×116.7	新作	//
76	山田 修市	春の池(赤)	2007年	アクリル、油彩、キャンバス	227.2×363.6	「生まれるイメージ」山形県立美術館/2007年	//
77		秋の池(青)	2007年	アクリル、油彩、キャンバス	227.2×545.4	「生まれるイメージ」山形県立美術館/2007年	//
78		冬の池(白)	2007年	アクリル、油彩、キャンバス	162.8×521.2	個展	//
79		華…1	2010年	アクリル、墨、油彩、キャンバス	53.0×33.3	CROSS+COUNTER VOL.2 / 2011年	//
80		華…2	2010年	アクリル、墨、油彩、キャンバス	72.7×50.0	CROSS+COUNTER VOL.2 / 2011年	//
81		夏の池(緑)	2011年	アクリル、油彩、キャンバス	213.0×274.5	CROSS+COUNTER VOL.2 / 2011年	//
82		キバナコスモスの風景(希望)	2011年	油彩、キャンバス	80.4×116.6	新作	//

巡回ミュージアム

【趣旨及び総括】

巡回ミュージアムは、所蔵作品の中から作品を選定し、県内を巡回展示するもので、広く県民に美術鑑賞の機会を提供し、文化振興を図ることを目的としている。

本年度は「遠隔地の県民に広く鑑賞機会を提供する」ことで施設1館と、昨年度の課題とされた「子どもたちが鑑賞しやすい場の提供」ということから学校2校での開催を行った。それぞれの地域性を生かした作品選定を行い、会場の規模や学校での指導希望に対応した展示を実施した。

施設の扉が通常のガラス戸であったりし、夜間警備の不安があったりし、選定段階での巡回施設の下見、確認の必要性を改めて感じた。また、学校では小規模校と大規模校で運営の仕方の違いを経験でき、貴重な試みであった。

【開催地・開催期日・その他】

・村上会場 村上歴史文化館

9月9日(金)～9月25日(日) 月曜日休館

主催：新潟県立近代美術館、村上市、村上市教育委員会

後援：新潟日報社、NHK新潟放送局、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0

作品解説会：9月18日(日) 14：00～

出品点数：30点

入場者数：2,182人

・上越会場 上越市立八千浦中学校

9月28日(水)

主催：新潟県立近代美術館、上越市立八千浦中学校

後援：新潟日報社、NHK新潟放送局、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0

作品解説会：各学年、一般に向け計4回実施

出品点数：10点

入場者数：184人

・南魚沼会場 南魚沼市立塩沢中学校

10月3日(月)

主催：新潟県立近代美術館、南魚沼市立塩沢中学校

後援：新潟日報社、NHK新潟放送局、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0

作品解説会：各学年2回、一般向け計7回実施

出品点数：10点

入場者数：626人

担当 松矢国憲、高 晟俊、伊澤朋美

【出品リスト】

作家名	作品名	制作年	村上	八千浦	塩沢中
1 小野末	タイの僧	1965	○		
2 矢部友衛	習作	1920	○		
3 峰村リツ子	桜井浜江像	1930	○		
4 棟方志功	二菩薩釈迦十大弟子の内二菩薩	1948	○	○	○
5 大野五郎	六月の風 トレド風景	1971	○		
6 佐伯祐三	バンテオン寺院	1928	○		○
7 梅原龍三郎	紫禁城	1942	○	○	○
8 里見勝蔵	赤と緑の静物	1928	○		○
9 鳥海青児	ベルリン風景	c1930	○		
10 P.ピカソ	テーブルの上のギターと楽譜	1920	○	○	○
11 M.シャガール	作品	不明	○		
12 L.フォンタナ	空間概念 期待	1962	○		○
13 E.カステラーニ	作品	1964	○		
14 佐藤哲三	残雪	1952	○		○
15 富岡惣一郎	雪国シリーズ 北海道雷電海岸	1974	○	○	
16 前田常作	人間波動粒子・日輪	1970-72	○		○
17 横山操	燈台	1959	○		○
18 横山操	春近し	1969	○		
19 加山又造	馬	1957	○		○
20 長崎莫人	赤い海	1954	○		
21 佐々木象堂	鍍銀馬置物	1933	○		
22 三浦小平二	青磁鉢	1978	○		
21 三浦小平二	青磁飾り壺「インド虎」	2003	○		
22 山本自炉	鍍銅花瓶	不明	○		
23 山本自炉	飛躍	不明	○		
24 五代伊藤赤水	無名異線上鉢	1988	○		
25 羽下修三	鮭遊上	1953	○		
26 島田美晴	牙彫運置物	1942以前	○		
27 福岡奉彦	海と鳥	1991		○	
28 高松次郎	影「カギ」	1972	○		
29 三芳梯吉	地図の前	1980	○		
30 土田麦履	鮭とねぎ	不明	○		
31 齋藤三郎	色絵椿文面取壺	昭和50年代		○	
32 三代宮田監堂	世阿弥の流人箱	1993		○	

イベント

講演会

開催日	時間	関連展覧会名	演題等	講師	内容	参加者数
7月23日(土)	13:00~14:00	いわさきちひろ展	母、ちひろが絵に込めた願い	松本猛氏 (美術評論家、ちひろ美術館顧問)	母・いわさきちひろの思い出と、ちひろ作品の魅力を紹介	150
8月20日(土)	14:00~15:00	借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	種田陽平×武重洋二 トークセッション	種田陽平氏(美術監督) 武重洋二氏 (「アリエッティ」美術監督)	種田氏と武重氏による映画美術のトーク	88
3月3日(土)	14:00~15:40	びじゅつのおそびば	児童画の世界をさぐる一わが子のよさや可能性が見えるー	結城和廣氏 (長岡造形大学教授)	3歳児~小学校6年生までの児童画を紹介し、そこから読み取れることや褒めるポイントを紹介	7
3月24日(土)	14:00~15:40		アッシジの光ーイタリア絵画のルーツを求めてー	石原宏氏 (長岡造形大学教授)	イタリア・アッシジのサン・フランチェスコ聖堂に描かれた壁画手がかりに、光の表現を紹介(友の会主催事業)	46

計291名

講座

開催日	時間	関連展覧会名	演題等	講師	内容	参加者数
5月7日(土)	14:00~16:00	県内コレクターによる秘蔵の日本画名品展	掛軸の扱い方講座	宮下東子 (万代島美術館業務課長代理) 長嶋圭哉 (当館主任学芸員)	掛軸の安全な扱い方について、説明と実演を実施	15
5月14日(土)	14:00~15:30	県内コレクターによる秘蔵の日本画名品展	日本画の見方~「秘蔵の日本画名品展」を10倍楽しむ	長嶋圭哉 (当館主任学芸員)	企画展の主要作品について、解説を実施	40
5月28日(土)	14:00~15:30		新潟の洋画と彫刻(戦前を中心に)	高 晟峻 (当館主任学芸員)	新潟県ゆかりの洋画家及び彫刻家を紹介	17
7月9日(土)	14:00~15:30	Animal! Animal! Animal!	描かれたAnimalー花鳥画・動物画の世界	伊澤朋美 (当館美術学芸員)	花鳥画・動物画の世界を紹介	10
7月16日(土)	14:00~15:30	ちひろの愛した画家たち	ちひろを愛した画家たち	荒井直美 (当館主任学芸員)	いわさきちひろに影響を与えた画家たちを紹介	9
9月3日(土)	14:00~15:15	美の軌跡ーデューラーから中村彝まで 前川誠郎の美学	国家有用の美術ーフォンタネージと小山正太郎	松矢国憲 (当館専門学芸員)	明治初期洋画の移植について、フォンタネージと小山を中心に説明	16
9月11日(日)	14:00~15:30	美の軌跡ーデューラーから中村彝まで 前川誠郎の美学	デューラーの旅	桐原浩 (万代島美術館業務課長)	デューラーの主要作品を紹介	25
9月18日(土)	14:00~15:30	美の軌跡ーデューラーから中村彝まで 前川誠郎の美学	モネとロダンー近代美術の革命者	平石昌子 (当館学芸課長代理)	モネとロダンが絵画と彫刻の分野で切り開いた新しい芸術について紹介	40
10月1日(土)	14:00~15:30	美の軌跡ーデューラーから中村彝まで 前川誠郎の美学	ジャポニスムー江戸への眼差し	藤田裕彦 (当館学芸課長)	ジャポネズリからジャポニスム、そしてアル・ヌーヴォーまでの流れを紹介	21

計193名

ワークショップ

開催日	時間	関連展覧会名	ワークショップ名	講師	内容	参加者数
4月24日(日)	14:00~15:00	県内コレクターによる秘蔵の日本画名品展	ギャラリートーク①	大山治郎氏 (曙産業 会長)	「秘蔵の日本画名品展」出品者である大山治郎氏による、出品作品の解説を実施	65
4月29日(金)	14:00~15:00		美術館の舞台裏探検①	野村宏毅 (当館学芸課長代理)	美術館のバックヤードを巡るツアーを実施	11
5月5日(木)	14:00~15:00		美術館の舞台裏探検②	伊澤朋美 (当館美術学芸員)	美術館のバックヤードを巡るツアーを実施	10
5月8日(日)	14:00~15:00	県内コレクターによる秘蔵の日本画名品展	ギャラリートーク②	大山治郎氏 (曙産業 会長)	「秘蔵の日本画名品展」出品者である大山治郎氏による、出品作品の解説を実施	70
5月22日(日)	14:00~15:00	県内コレクターによる秘蔵の日本画名品展	ギャラリートーク③	大山治郎氏 (曙産業 会長)	「秘蔵の日本画名品展」出品者である大山治郎氏による、出品作品の解説を実施	70
7月31日(日)	14:00~15:30		楽しく描こう石ころアート	伊澤朋美 (当館美術学芸員)	石ころにアクリル絵の具等でペイントし、石ころアートを制作	12
8月7日(日)	14:00~15:30		まわれ! ペットボトル風見鶏	野村宏毅 (当館学芸課長代理)	ペットボトルを利用して、よくまわる風見鶏を制作	19
8月14日(日)	14:00~14:45		美術館の野外展示探検	伊澤朋美 (当館美術学芸員)	野外彫刻を回り、その魅力を探るツアーを実施	10
8月21日(日)	14:00~15:30	いわさきちひろ展	にじみの美 ゆらり水彩の世界	野村宏毅 (当館学芸課長代理)	透明水彩絵の具を使用して、ちひろの技法に挑戦	11
9月4日(日)	14:00~15:00		美術館の舞台裏探検②	佐藤克己 (当館副参事)	美術館のバックヤードを巡るツアーを実施	4
9月11日(日)	14:00~15:00		美術館の名探偵	佐藤克己 (当館副参事)	常設展示室の作品をクイズと対話型鑑賞で紹介	3
10月2日(日)	14:00~15:30		落ち葉のブローチ	野村宏毅 (当館学芸課長代理)	落ち葉に銀粘土を添付して焼成し、ブローチを制作	8
11月6日(日)	14:00~14:30	借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	クイズで探検小人の世界	伊澤朋美 (当館美術学芸員)	映像でアリエッティ展を探検し、人間世界から借りているものをクイズで紹介	7
1月22日(日) 2月5日(日) 2月12日(日)	14:00~15:30		張り子でだるま	野村宏毅 (当館学芸課長代理)	和紙を重ねて貼り、アクリル絵の具等で彩色しただるまを制作	6

3月4日(日)	14:00~15:30	びじゅつのあそびば	名画の謎を解け!クイズラリー	金澤健志氏 (上組小学校教諭)	企画展示室に潜むクイズマンを探し出して、出題されるクイズに挑戦	50
3月11日(日)	14:00~15:00	びじゅつのあそびば	きんぴのびじゅつであそぼう	伊澤朋美 (当館美術学芸員)	当館の作品で遊びながら、作品を鑑賞	15
3月18日(日)	14:00~15:00	びじゅつのあそびば	体で表現 はい、ポーズ	大平良子氏 (与板幼稚園園長) 南波洋一氏 (与板幼稚園教諭)	企画展示室内にある作品を、体全体でポーズをとって表現	14
3月25日(日)	14:00~16:10	びじゅつのあそびば	からだで気持ちを表すと…?	菊谷かおり氏 (東北中学校教諭)	作品から読み取った気持ちを、いろいろな材料を使って前身で表現	16

計401名

コンサート

開催日	時間	関連展覧会名	ワークショップ名	イベント名	内容	参加者数
8月14日(日)	14:00~15:30	いわさきちひろ展	ちひろの愛した音楽	遠藤吉比古氏 (新潟大学非常勤講師) 遠藤彩香氏	いわさきちひろの愛した音楽をピアノとフルートで演奏	184
9月25日(日)	14:00~14:40	美の軌跡—デューラーから中村彝まで 前川誠郎の美学	アフタヌーン・ショパン	高木明子氏 (ピアニスト)	音楽に造詣が深かった前川誠郎・初代鑑賞に因んだコンサート	62
11月20日(日)	13:15~13:45	借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	長岡少年少女合唱団ミニコンサート	指揮/中村美智子氏 ピアノ/箕輪美帆氏 振付/佐藤幸子氏	勸長岡市芸術文化振興財団との連携事業として、「塵の上のボッコ」等ジブリ映画の主題歌8曲を合唱	200
12月3日(日)	11:00~11:45	借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	室内楽ミニコンサート	アンサンブル・オビリー	勸長岡市芸術文化振興財団との連携事業として、「アリエッティソング」「白鳥」等9曲の室内楽ミニコンサートを実施	153

計599名

映画鑑賞会

開催日	時間	関連展覧会名	タイトル	内容	参加者数
4月30日(土)	10:00~14:00	県内コレクターによる秘蔵の日本画名品展	続・映画でみる昭和30年代の日本・家族の幸福「夫婦編」	2006年 記録映画社・桜映画社・日本映画新社「今どきの嫁」昭和31年/47分、「妻と夫がけんかした話」昭和32年/34分、「愛情屋台」昭和35年/55分	22
5月21日(土)	10:00~14:00	県内コレクターによる秘蔵の日本画名品展	続・映画でみる昭和30年代の日本・家族の幸福「家族編」	2006年 記録映画社・桜映画社・日本映画新社「お母さんの幸福」昭和33年/48分、「おじいさんはがんこ者」昭和33年/30分、「長男」昭和36年/56分	41
7月23日(土)	10:00~14:00	いわさきちひろ展	巴里祭	1933年 制作国：フランス 監督：ルネ・クレール 上映時間：86分	82
8月20日(土)	10:00~12:00	いわさきちひろ展	イースターパレード	1948年 制作国：アメリカ 監督：チャールズ・ウォルターズ 上映時間：103分	49
9月4日(日)	13:00~13:30	美の軌跡—デューラーから中村彝まで 前川誠郎の美学	「芸術百話」 「桃李の門」 「日本への返事」	1986年にテレビ新潟制作により放映された芸術シリーズ番組「芸術百話」(全30回、前川誠郎監修)の中より、今展にまつわるものや興味深いものを上映。(1話10分)	5
9月18日(日)	13:00~13:30	美の軌跡—デューラーから中村彝まで 前川誠郎の美学	「芸術百話」 「嵐と黙示録」 「パトロンの言葉」	1986年にテレビ新潟制作により放映された芸術シリーズ番組「芸術百話」(全30回、前川誠郎監修)の中より、今展にまつわるものや興味深いものを上映。(1話10分)	11
10月2日(日)	13:00~13:30	美の軌跡—デューラーから中村彝まで 前川誠郎の美学	「芸術百話」 「ショパンとドラクロワ」 「モーツァルトとベートーベン」	1986年にテレビ新潟制作により放映された芸術シリーズ番組「芸術百話」(全30回、前川誠郎監修)の中より、今展にまつわるものや興味深いものを上映(1話10分)	10
10月8日(土)	13:00~13:30	美の軌跡—デューラーから中村彝まで 前川誠郎の美学	「芸術百話」 「版画の東西」浮世絵① 「歌麿・北斎・広重」浮世絵②	1986年にテレビ新潟制作により放映された芸術シリーズ番組「芸術百話」(全30回、前川誠郎監修)の中より、今展にまつわるものや興味深いものを上映(1話10分)	20

計240名

その他のイベント

開催日	時間	関連展覧会名	イベント名	講師	内容	参加者数
6月5日(日)	10:00~16:00	県内コレクターによる秘蔵の日本画名品展	日本画制作実演	下越美術教育研究会会員 田代豪氏 (新潟市立早通中学校教諭)	日本画制作の実演	150
8月7日(日)	14:00~15:30	いわさきちひろ展	朗読会「赤い蠟燭と人魚」ほか	未明ボランティアネットワーク	「赤い蠟燭と人魚」、「おやゆびひめ」、「月夜と眼鏡」の朗読公演を実施	31
8月20日(土)	10:30~14:00	いわさきちひろ展	えほんのおはなし会	金曜くるりんぱのっぺ座	午前は金曜くるりんぱによる手遊び、午後のはのっぺ座による紙芝居を実施	51
8月28日(日)			リリックあそびの国2001 スタンプラリープレゼント		リリックホール主催のイベントに参加。スタンプラリーの景品としていわさきちひろ展のグッズをプレゼント	51
9月16日(金)	18:00~20:00		キャンドルナイト		約1,200個のキャンドルを当館脇の公園に並べ点火。ミニコンサートも実施	900

計1,183名

出前講座

開催日	時間	団体名	講座名	担当者	参加者数
6月16日(休)	13:45~ 15:00	魚沼市立湯之谷中学校 3年生	デザインて何?	藤田裕彦 (当館学芸課長)	66
6月18日(土)	9:40~ 11:30	上川西コミュニティセンター ジュニア体験教室	つんでならべて 美術館の舞台裏探検	野村宏毅 (当館学芸課長代理)	27
6月22日(水)	14:00~ 14:50	長岡市立石坂小学校 2年生	マチスの切り絵に迫る	野村宏毅 (当館学芸課長代理)	15
6月28日(火)	9:10~ 11:30	新発田市立七葉小学校 3年生、4年生	つんでならべて(3年生) 動物をえがく(4年生)	伊澤朋美 (当館美術学芸員)	23
7月13日(水)	10:30~ 12:00	上越市門前にこここ保育園 年長児	つんでならべて	伊澤朋美 (当館美術学芸員)	76
7月15日(金)	13:15~ 14:45	はまなす特別支援学校 高等部	マチスの切り絵に迫る	野村宏毅 (当館学芸課長代理)	27
7月24日(日)	10:00~ 12:00	塩沢金城わかば児童館	つんでならべて にじみで光のアート	野村宏毅 (当館学芸課長代理) 伊澤朋美 (当館美術学芸員)	40
8月7日(日)	10:30~ 12:00	長岡市立北地域図書館	にじみで光のアート	野村宏毅 (当館学芸課長代理)	15
8月24日(水)	14:30~ 16:00	胎内市教育研究会図工部	つんでならべて	野村宏毅 (当館学芸課長代理)	10
8月28日(日)	10:30~ 11:30	長岡市 ちびっこひろば	にじみで光のアート	野村宏毅 (当館学芸課長代理)	24
9月6日(火)	10:30~ 11:30	長岡市立大島小学校 特別支援学級	つんでならべて	野村宏毅 (当館学芸課長代理)	19
9月11日(日)	14:00~ 15:30	長岡市立北地域図書館	戦後日本写真史	野村宏毅 (当館学芸課長代理) 伊澤朋美 (当館美術学芸員)	18
9月12日(月)	13:25~ 14:55	小出特別支援学校ふれあいの丘分校 高等部	マチスの切り絵に迫る	長嶋圭哉 (当館主任学芸員)	27
9月16日(金)	10:50~ 12:35	南魚沼市立五十沢中学校 3年生	デザインて何?	藤田裕彦 (当館学芸課長)	39
9月22日(水)	10:00~ 11:39	新潟県立長岡聾学校 小学部	にじみで光のアート	伊澤朋美 (当館美術学芸員)	3
10月23日(日)	13:15~ 14:45	十日町市立橋小学校	マチスの切り絵に迫る にじみで光のアート	野村宏毅 (当館学芸課長代理)	60

 計489名
 総計3,396名

刊行物

刊行物

刊行物名	概要	仕様	発行部数	発行日	内容
平成23年度年間スケジュール	平成23年度の企画展とコレクション展の日程及び内容、年間のイベント予定などをまとめたもの	A4版 観音4つ折り 4色×4色	40,000部	2011年 4月1日	
新潟県立近代美術館だより「雪椿通信」36号	美術館からの情報発信として一般来場者向けに編集したもの	A3二つ折り (A4版) 4頁	10,000部	2011年 5月10日	特集 美術館の“裏事情”!? : ①美術館の舞台裏ツアー ②気の毒な彫刻 / 幸福な彫刻 ③いまどきの収集 ④平成22年度バージョン「近代美術館の再生(雑感)」 / いわさきちひろ展、近美で開催決定! / キンビのおすすめ / 編集後記
新潟県立近代美術館だより「雪椿通信」37号	美術館からの情報発信として一般来場者向けに編集したもの	A3二つ折り (A4版) 4頁	10,000部	2011年 11月1日	特集 近代美術館の楽しみ方 : ①「借り暮らしのアリエッティ×種田陽平展」に行こう! ②めざせ! キンビマスターへの道すごろく / キンビのこの一枚 / キンビのBOOK GUIDE / キンビのおすすめ / 編集後記
県内コレクターによる秘蔵の日本画名品展図録	自主企画展 図録	B5版 127頁	1,000部	2011年 4月23日	展覧会ページ参照
美の軌跡—デューラーから中村彝まで 前川誠郎の美学図録	自主企画展 図録	B5版 186頁	800部	2011年 9月3日	展覧会ページ参照
いわさきちひろ展～子どものしあわせを願って～ブックレット	企画展「いわさきちひろ展～子どものしあわせを願って～」の内容及び作家・作品についてわかりやすく記したもの	A5版 24頁	2,000部	2011年 7月23日	展覧会ページ参照
かたちから見る日本画	企画展「県内コレクターによる秘蔵の日本画名品展」のセルフガイド	A3版二つ折り (4頁) 1色		4月21日 より配布	日本画の特徴的な形態や画材について図説 日本画ってなんだろう / 日本画のかたち / 屏風、掛軸、額装 / 日本画ごぼればなし
かくれた動物たちをさがせ	常設展第2期「Animal! Animal! Animal!」のためのワークシート	A4版 (1頁) 1色		7月7日 より配布	作品をじっくり見るきっかけとして、描かれた動物たちを探すクイズを解いていく
巡回ミュージアム鑑賞の手引き (村上歴史文化館)		A3版二つ折り (4頁) 1色		9月9日 より配布	
巡回ミュージアム八千浦中セルフガイド	「巡回ミュージアム」のためのセルフガイド	A4版三枚綴じ (6頁) 1色		9月28日	巡回ミュージアム展示作品を中学生向けに解説
巡回ミュージアム塩沢中セルフガイド		A4版三枚綴じ (6頁) 1色		10月3日	巡回ミュージアム展示作品を中学生向けに解説
デューラー版画作品への旅	企画展「美の軌跡 前川誠郎の眼」展第2部 デューラーへの旅セルフガイド	A4版二つ折り 挟込み (8頁) 1色		9月3日 より配布	この作品をじっくり見てみましょう(アルブレヒト・デューラー《連作 黙示録 第3図 四人の騎者》) / デューラーってどんなひと? / 謎が謎をよぶメレンコリアI

作品解説会

来館者サービスの一環として、展覧会への理解を深め、より充実した鑑賞の機会となるように、学芸員による作品解説会を行った。

常設展は毎週土曜日の午前11時から、企画展は毎週日曜日の午後2時から、それぞれの会場で行った。参加者がなかった解説会については、記録から除いた。

企画展（日曜日 14:00～）

常設展（土曜日 11:00～）

企画展

展覧会名

期日（曜） 人数

秘蔵の日本画名品展

5月 1日 25

5月15日 20

5月29日 20

小 計 65

いわさきちひろ展

7月24日 20

7月31日 30

8月21日 60

8月28日 40

小 計 150

美の軌跡

9月 4日 15

9月18日 8

10月 2日 20

10月 9日 20

小 計 63

企画展合計 278

常設展

個人コレクターたちの肖像

4月 9日 5

小 計 5

新潟洋画事始め／子、娘、そして女

4月16日 2

4月30日 15

5月 7日 3

5月14日 10

5月21日 15

5月28日 10

6月 4日 20

6月11日 3

6月18日 1

6月25日 29

7月 2日 9

小 計 117

Animal! Animal! Animal!

ちひろの愛した画家たち／

グラフィックデザイナー亀倉雄策

7月 9日 4

7月16日 2

7月23日 6

8月 6日 12

8月20日 7

9月 3日 7

9月10日 1

9月17日 6

9月24日 5

10月 1日 7

10月 8日 8

小 計 65

難波田龍起・史男展／奇想の風景

10月15日 38

10月22日 2

11月 5日 10

11月12日 7

12月17日 4

1月 7日 1

小 計 62

近代美術館の名品／植物図鑑／亀倉

コレクションの古刊本と李朝民画

1月21日 3

1月28日 2

2月11日 2

2月18日 2

2月25日 2

3月15日 4

小 計 15

近代美術館の名品／ささやかな日々

3月10日 5

3月17日 3

3月24日 4

3月31日 4

小 計 16

常設展合計 280

団体への解説

希望団体に対し、作品解説や施設紹介等を行った。

県内コレクターによる秘蔵の日本画名品展

5月10日(火)	小千谷市教育委員会適応指導教室	7名
5月20日(金)	胎内市生涯学習課	16名
5月24日(火)	大島コミュニティセンター	32名
6月 2日(木)	フカミ美術大学前ギャラリー	20名
計4回	小 計	75名

常設展第2期

7月10日(日)	長岡造形大学こどものづくり講座	74名
計1回	小 計	74名

いわさきちひろ展

7月27日(水)	福島県猪苗代町教育委員会	9名
8月 2日(火)	佐渡北親会	28名
8月 7日(日)	NIC直江津	38名
8月 8日(月)	新潟教弘	59名
8月 9日(火)	新潟教弘	54名
8月10日(水)	長岡市社会福祉協議会	23名
8月17日(水)	サンスマイル	19名
計7回	小 計	230名

美の軌跡

9月 8日(木)	長野県信州新町美術館友の会	24名
9月27日(火)	新潟市中央公民館	44名
9月27日(火)	三条市生涯学習課	28名
9月28日(水)	三条市立保内小学校職員	26名
計4回	小 計	122名

借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展

11月 5日(土)	つばさ工房	24名
11月 8日(火)	明幸幼稚園	44名
11月 9日(水)	フレンドリーミルはまなす	23名
11月 9日(水)	阪之上コミュニティセンター	23名
11月11日(金)	青松ワークス	10名
11月11日(金)	のぞみ工房	53名
11月11日(金)	歴史館	17名
11月13日(日)	北魚沼図工サークル	14名
11月15日(火)	長生保育園	96名
11月15日(火)	恵和保育園	76名
11月15日(火)	くびき観光	36名
11月16日(水)	恵和保育園	88名
11月16日(水)	サンスマイル	26名
11月17日(木)	長岡市教育研究会	38名
11月24日(木)	第2いずみの里	18名
11月29日(火)	三島コミュニティセンター	21名
12月 2日(金)	栖吉保育園	12名
12月 9日(金)	中島幼稚園	43名
12月 9日(金)	中島幼稚園	52名
12月11日(日)	みのわの里 工房ゆきわり	17名
12月11日(日)	育英センター	38名
12月13日(火)	和光幼稚園	40名
12月14日(水)	三島コミュニティセンター	16名
12月14日(水)	長生幼稚園	148名
12月16日(金)	曾根保育園	24名
12月16日(金)	明幸幼稚園	54名
1月4日(水)	みのわの里 工房みつけ	16名
1月6日(金)	撰田屋保育園	14名
1月11日(水)	撰田屋保育園	48名
1月12日(木)	撰田屋保育園	45名
1月12日(木)	撰田屋保育園	38名
1月12日(木)	みのわの里 工房みつけ	9名
1月13日(金)	長岡市三島郡小中校長会	90名
1月13日(金)	コスモス活動所	21名
計34回	小 計	1,332名

びじゅつのおそびば

2月28日(火)	長岡市立脇野町小学校職員	4名
3月16日(金)	みどり保育園	24名
3月29日(木)	みのわの里 工房みつけ	17名
計3回	小 計	45名

合計53回	人数合計	1,878名
-------	------	--------

学校教育との連携

●図工・美術の授業 及び部活動での利用—展覧会の鑑賞
 学校のカリキュラム等で来館した学校団体に展覧会の鑑賞の機会を提供した。特に希望のあった学校団体に関しては、学芸員による解説を行った。

【学芸員による解説】 合計 1,863名

・展覧会の解説
 秘蔵の日本画名品展
 4月30日(土) 上越市立城西中学校 (1～3年) 39名
 5月21日(土) 国際情報工科大学校 31名

新潟洋画事始め／子、娘、そして女
 6月 7日(火) 長岡市立江陽中学校 27名
 6月 7日(火) 長岡市立東中学校 (1年) 63名
 6月22日(水) 長岡市立石坂小学校 15名
 7月 5日(火) 長岡市立上組小学校 (6年) 68名

Animal.Animal.Animal／ちひろの愛した画家たち
 7月15日(金) 新潟県立はまなす特別支援学校 (高等部3年) 11名

いわさきちひろ展
 7月25日(月) 新潟県立上越総合技術高等学校 (1年) 82名
 7月27日(水) 柏崎市立第三中学校 (2・3年) 13名
 8月 4日(木) 新潟市立岡方中学校 (2・3年) 17名
 8月 8日(月) 五泉市立五泉中学校 (1～3年) 31名
 8月 9日(火) 柏崎市立第一中学校 (1～3年) 15名
 8月23日(火) 長岡市立南中学校 (1・2年) 11名
 8月26日(金) 新潟県立長岡工業高等学校 (1～3年) 15名

美の軌跡 前川誠郎展
 9月 3日(土) 東北芸術工科大学 33名

借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展
 11月 4日(金) 小千谷市立小千谷小学校・刺小(5年) 74名
 11月 7日(月) 長岡市立上通小学校 (3年) 30名
 11月 9日(水) 長岡市立日越小学校 (5・6年) 169名
 11月10日(木) 小千谷市立千田小学校 (5年) 28名
 11月16日(水) 小千谷市立片貝小学校 (5年) 28名
 11月17日(木) 長岡市立東谷小学校 (5年) 38名
 11月18日(金) 小千谷市立吉谷小学校・和泉小学校 (5年) 38名
 11月24日(木) 小千谷市立小千谷小学校 (5年) 82名
 11月25日(金) 小千谷市立小千谷小学校 (5年) 83名
 11月29日(火) 小千谷市立岩沢小学校、塩殿小学校、川井小学校、真人小学校 (5年) 39名
 11月30日(水) 新潟県立長岡聾学校 16名
 11月30日(水) 長岡市立大島中学校 12名
 12月 5日(月) 長岡市立脇野町小学校 (6年) 58名
 12月 6日(火) 新潟県立長岡工業高等学校 (1～3年) 24名
 12月 8日(木) 長岡市立和島小学校 (6年) 30名
 12月 9日(金) 長岡市立和島小学校 (5年) 21名
 12月13日(火) 新潟県立長岡商業高等学校 (2年) 39名
 12月14日(水) 長岡市立和島小学校 (1年) 35名

12月14日(水) 新潟県立長岡商業高等学校 (2年) 41名
 12月14日(水) 新潟県立長岡商業高等学校 (2年) 41名
 12月15日(木) 新潟市立鑑郷小学校 (5年) 52名
 12月15日(木) 新潟県立長岡商業高等学校 (2年) 41名
 12月16日(金) 新潟県立長岡商業高等学校 (2年) 41名
 12月16日(金) 長岡市立和島小学校 (5年) 22名
 12月19日(月) 新潟県立長岡商業高等学校 (2年) 41名
 12月20日(火) 柏崎市立北条小学校 (6年) 22名
 12月21日(水) 長岡市立脇野町小学校 (2年) 79名
 1月13日(金) 見附市立新潟小学校 (4年) 25名

近代美術館の名品／植物図鑑／亀倉コレクションの古刊本と李朝民画
 2月16日(木) 長岡市立山谷沢小学校 (3年) 19名

びじゅつのあそびば展
 3月 9日(金) 長岡市立脇野町小学校 (5年) 62名
 3月15日(木) 長岡市立脇野町小学校 (6年) 62名

【展覧会鑑賞のみ】 合計 1,304名

秘蔵の日本画名品展
 5月 6日(金) 三条市立三条南小学校 (5年) 60名
 5月10日(火) 新潟市立月潟中学校 (2年) 19名
 5月11日(水) 新潟市立大形中学校 (1～3年) 12名
 6月 4日(土) 長岡市立東中学校 (1～3年) 24名

新潟洋画事始め／子、娘、そして女
 4月21日(木) 新潟市立大鷲小学校 (6年) 32名
 6月25日(土) 新潟市立五十嵐中学校 (1～3年) 30名
 7月 2日(土) 長岡市立堤岡中学校 (1年) 7名

いわさきちひろ展
 7月23日(土) 長岡市立堤岡中学校 (1年) 10名
 7月23日(土) 上越市立大潟町中学校 (1～3年) 13名
 7月26日(火) 魚沼市立湯之谷中学校 (1～3年) 16名
 8月 2日(火) 長岡市立東中学校 22名
 8月 4日(木) 長岡市立旭岡中学校 (1～3年) 15名
 8月 7日(日) 湯沢町立湯沢中学校 (1～3年) 16名
 8月 9日(火) 新潟市立関屋中学校 12名
 8月 9日(火) 阿賀野市立京ヶ瀬中学校 12名
 8月12日(金) 長岡市立東中学校 (1～3年) 43名

美の軌跡 前川誠郎展
 9月25日(日) 小千谷市立小千谷中学校 (1～3年) 24名
 10月 5日(水) 新潟大学附属長岡中学校 (1～2年) 17名
 10月 6日(木) 長岡市立東北中学校 15名
 10月 7日(金) 新潟大学附属長岡中学校 (3年) 120名

借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展
 11月 4日(金) 魚沼市立小出中学校 (3年) 135名
 11月 6日(日) 新潟市立巻西中学校 (1・2年) 24名
 11月 9日(水) 長岡造形大学 17名
 11月12日(土) 長岡市立秋葉中学校 (1～3年) 17名

11月12日(土)	長岡市立青葉台中学校 (1~3年)	14名
11月12日(土)	長岡市立大島中学校 (1~3年)	12名
11月12日(土)	新潟大学附属新潟中学校 (1・2年)	8名
11月12日(土)	長岡市立山古志中学校 (1年)	3名
11月13日(日)	長岡市立大島中学校 (1年)	2名
11月13日(日)	長岡市立秋葉中学校	11名
11月18日(金)	長岡市立秋葉中学校 (1年)	3名
11月29日(火)	十日町市立水沢小学校 (5年)	48名
12月 3日(土)	柏崎市立第一中学校 (1~3年)	16名
12月 3日(土)	阿賀町立津川中学校	8名
12月 4日(日)	上越市立城西中学校 (1~3年)	29名
12月11日(日)	上越市立頸城中学校 (1・2年)	19名
12月17日(土)	新潟県立加茂高等学校 (1~3年)	13名
12月26日(月)	長岡市立小国中学校 (3年)	7名
12月27日(火)	上越市立柿崎中学校 (1~3年)	19名
12月28日(水)	湯沢町立湯沢中学校 (1・2年)	10名
1月 4日(水)	魚沼市立広神中学校 (1・2年)	14名
1月 6日(金)	長岡市立小国中学校 (1年)	48名
1月12日(木)	長岡市立小国中学校 (2年)	56名
1月13日(金)	長岡市立大島小学校	7名
1月13日(金)	長岡市立南中学校	13名
1月14日(土)	魚沼市立堀之内中学校 (1・2年)	16名

近代美術館の名品／植物図鑑／亀倉コレクションの古刊本と李朝民画
 2月 9日(木) 新潟市立松野尾小学校 (6年) 23名
 2月22日(水) 長岡市立上組小学校 (3年) 105名
 2月24日(金) 長岡市立養護学校 (高等部2年) 11名

びじゅつのおそびば展
 2月28日(火) 長岡市立希望ヶ丘小学校 (5年) 77名

●校外学習・総合学習

学校教育における校外学習及び総合学習での利用に供した。希望のあった場合は、目的に応じて、施設等に関する質問への対応や案内を行った。

【学芸員による対応】 合計 421名
 秘蔵の日本画名品展
 4月28日(木) 新潟県立新潟北高等学校 (1年) 232名
 4月28日(木) 新潟県立長岡聾学校 (中学部1・2年) 20名

新潟洋画事始め／子、娘、そして女
 7月 6日(水) 長岡市立下小国小学校 17名

Animal.Animal.Animal／ちひろの愛した画家たち
 7月20日(水) 新潟県立長岡明德高等学校 16名

いわさきちひろ展
 8月 5日(金) 新潟市立葛巻小学校 21名

借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展
 11月18日(金) 長岡市立秋葉中学校 (1年) 3名
 12月 8日(木) 長岡市立上組小学校 (6年) 100名
 12月 8日(木) 三条市立下田中学校 (1~3年) 12名

【展覧会鑑賞・自由見学】 合計 881名
 秘蔵の日本画名品展
 4月28日(木) 新潟県立新井高等学校 (3年) 206名

いわさきちひろ展
 8月26日(金) 長岡市立北中学校 (1~3年) 7名

美の軌跡 前川誠郎展
 9月27日(火) 長岡市立中之島中学校 27名

難波田龍起・史男展／奇想の風景
 10月14日(金) 新潟県立新潟高等学校 (3年) 81名
 10月21日(金) 新潟県立松代高等学校 73名
 10月22日(土) 私立新潟明訓中学校 (2年) 87名
 10月26日(水) 見附市立見附特別支援学校 (中学部1・2年) 8名

借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展
 11月 4日(金) 見附市立見附特別支援学校 (中学部2・3年) 11名
 11月 5日(土) 上越市立中郷中学校 (1・2年) 10名
 11月 8日(火) 見附市立見附特別支援学校 (中学部1・2年) 10名
 11月11日(金) 新潟市立荻川小学校 (6年) 70名
 11月17日(木) 長岡市立江陽中学校 (1~3年) 7名
 11月22日(火) 長岡市立養護学校 (高等部3年) 18名
 11月22日(火) 見附市立南中学校 (1・2年) 10名
 11月24日(木) 十日町市立十日町中学校 9名
 11月29日(火) 五泉市立五泉小学校 (3年) 114名
 11月29日(火) 柏崎市立半田小学校 65名
 11月30日(水) 長岡市立宮内小学校 5名
 12月 6日(火) 新潟大学附属特別支援学校 (小学部3・4年) 10名
 12月 9日(金) 長岡市立脇野町小学校 14名
 12月15日(木) 新潟県立小出特別支援学校 (高等部1~3年) 3名
 ふれあいの丘分校
 1月11日(水) 長岡市立青葉台小学校 6名

●子ども学芸員作品解説

長岡市立上組小学校6年生の「総合的な学習の時間」への取組として、児童が当館で作品鑑賞の成果を来館者に披露する「子ども学芸員」に、学校と美術館が連携して取り組んだ。

4月27日(水) オリエンテーション、作品紹介
 6月22日(水) 宮内地区公開授業 ～いわさきちひろを語ろう～
 7月26日(火) 第1回子ども学芸員作品解説会
 8月 5日(金) 第2回子ども学芸員作品解説会
 2月11日(土) 第3回子ども学芸員作品解説会

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第13条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の生徒及び小中学校・特別支援学校・高等学校の引率者、心身障がい者及びその介助者等に対し、観覧料を免除した。

また、学校からの要請があった場合、その内容に応じて解説・案内・レクチャーなどを行った。

月	期 間	日数	開催企画展名称	企 画 展							常 設 展							月 計		
				学 校 等					障がい者	介助	合計	学 校 等					障がい者		介助	合計
				小中・特		高 校						小中・特		高 校						
				校数	引率	校数	生徒	引率				校数	引率	校数	生徒	引率				
4	1~10	9								0			0	0	0	15	5	20	584	
4	14~22	8							0			1	2	0	0	10	5	17		
4	23~30	7	秘蔵の日本画名品展	2	10	2	416	22	72	26	546			0	0	1	0	1		
5	1~31	27	秘蔵の日本画名品展	3	19		0	0	273	113	405			0	0	0	0	0	405	
6	1~5	5	秘蔵の日本画名品展	1	1		0	0	64	27	92			0	0	0	0	0	148	
6	7~30	21									0	4	6	0	0	34	16	56		
7	1~3	3									0	1	1	0	0	12	1	14	379	
7	7~22	14									0	3	26	1	15	1	20	8		70
7	23~31	9	いわさきちひろ展	4	24	1	79	4	142	46	295			0	0	0	0	0		
8	1~28	28	いわさきちひろ展	13	30	1	12	3	719	263	1,027			0	0	6	1	7	1,035	
8	30~31	2									0			0	0	1	0	1		
9	1~2	2									0			0	0	1	1	2	103	
9	3~30	24	美の軌跡 デューラーから中村彝まで	2	3		0	0	76	21	100			0	0	1	0	1		
10	1~10	9	美の軌跡 デューラーから中村彝まで	2	4		0	0	47	15	66			0	0	1	0	1	252	
10	14~30	15									0	2	7	2	144	10	19	5		185
11	1~2	2									0			0	0	3	0	3	1,008	
11	3~30	28	借りぐらしのアリエッティ	39	113		0	0	649	246	1,008			0	0	0	0	0		
12	1~28	28	借りぐらしのアリエッティ	19	83	9	263	18	328	156	848			0	0	2	1	3	851	
1	2~15	14	借りぐらしのアリエッティ	8	31		0	0	504	177	712			0	0	0	0	0	724	
1	17~31	13									0			0	0	9	3	12		
2	1~26	23									0	3	15	1	9	2	14	4	44	53
2	28~29	2	びじゅつのあそびば								0	1	3		0	0	5	1	9	
3	1~31	27	びじゅつのあそびば								0	3	17		0	0	84	17	118	18
合 計		320		93	318	13	770	47	2,874	1,090	5,099	18	77	4	168	13	238	68	564	5,560

夏休み期間 観覧料免除者数

月	期 間	日数	開催企画展名称	高校生	月計	合計
7	23~31	9	常設展 (Animal!Animal!Animal!)	0	42	470
	23~31	9	いわさきちひろ展	42		
8	1~28	28	常設展 (Animal!Animal!Animal!)		428	
	1~28	28	いわさきちひろ展	428		

アートボランティア（新潟県立近代美術館ボランティア組織）

1 アートボランティア活動の目的

来館者（お客様）に対する生涯学習機会の増大とサービスの向上を図るため、アートボランティアを募集し、活動を推進する。

2 アートボランティア登録人数

年度当初18名が登録

年度途中登録1名

3 主な活動内容

- (1) 当館で行った展覧会やワークショップ等のポスター・チラシ発送作業や、各地域でのポスター掲示やチラシ配布を行った。
- (2) 年間スケジュールに基づいて、ワークショップや講演会・美術鑑賞講座・映画鑑賞会等の補助をした。
- (3) 当館所蔵作品や未整理作品の整理・写真撮影を行った。
- (4) キャプション・展示ケース等の清掃・整備を行った。
- (5) 当館所蔵作品の作品フォルダ及び作品基本カードの整理、新規作成を行った。
- (6) 9月16日（金）実施のキャンドルナイトの企画運営を行った。

4 活動方法

基本的にはアートボランティアの都合のつく日、都合のつく時間に活動を行った。

展覧会やワークショップ等のポスター・チラシ発送作業やキャンドルナイトの打合せは、特別に日時を設定して活動を行った

5 成果

- アートボランティアの皆さんが意欲的に活動に取り組み、自分たちの活動に充実感・満足感を感じていた。
- 展覧会やワークショップのポスター・チラシ発送作業は、友の会会員とも協力して、効率的に行うことができた。また、ポスターの掲示・チラシの配布も、より幅広い地域まで可能となった。
- ポスター・チラシの振り分け作業やキャプションの整理にもお手伝いいただいたことで、学芸課職員がそれ以外の業務に振り向けられる時間を確保できるようになった。
- 当館所蔵の全作品の作品フォルダ及び作品基本カードが整備された。
- 未整理作品の整理、特に「亀倉雄策関連資料」の整理が大いに進んだ。また、整理の成果を、常設展第2期に展示することができた。
- キャンドルナイトは3年目となり、地域や学校関係者に恒例行事として定着してきた。当初7月30日（土）を予定していたが当日の豪雨のため9月16日（金）に実施した。平日の夜にもかかわらず、大勢の参加者があった。
- 「びじゅつのおそびば」展の展覧会ボランティアサポーターで9名の協力を得ることができた。

6 次年度の課題

- アートボランティアが全員集まる機会があまりなく、ボランティア同士の情報交換を積極的に実施できなかった。情報交換の場を積極的に設けていく。
- 「亀倉雄策関連資料」の整理した成果を今後も定期的に発表できるようにしていく。
- 学校団体への対応や作品解説会へのアートボランティアの参加に向けて、館内で検討していく。

担当：佐藤克己

博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生等のための博物館実習を実施し、13名の実習生を受け入れた。美術館学芸員の諸業務に関する講義の他、各分野の作品の取扱いについて実習を行った。さらに当館所蔵品のなかから約10点の作品を実際に展示したり、常設展の作品解説会を行ったりするなど、学芸業務を実際に体験させることに重点をおいた。

実習期間 7月25日(月)～29日(金)、
8月1日(月)～5日(金)、9日(火)

実習生の所属および受入人数

新潟大学	3名
長岡造形大学	3名
共立女子大学	1名
東京学芸大学	1名
信州大学	1名
金沢美術工芸大学	1名
東京農業大学	1名
松本大学	1名
弥彦村教育委員会	1名
合計	13名

担当：長嶋圭哉、伊澤朋美、荒井直美

実習カリキュラム

月日	時限	内 容
7月25日(月)	1	開講式・オリエンテーション
	2	館内見学
	3	講 義：博物館運営に関わる法律・現在の博物館を取り巻く状況
	4	講 義：作品の収集・分類・保管
7月26日(火)	1	講 義：学芸課の業務／展覧会の企画から礼状まで
	2	講 義：美術館の教育・普及
	3	実 習：作品の取り扱い・展示・点検(平面作品)
	4	
7月27日(水)	1	講 義：作品の保存・修復
	2	展覧会鑑賞(企画展／常設展)
	3	実 習：作品の取り扱い・展示(軸・屏風)
	4	
7月28日(木)	1	講 義：作品の調査・研究
	2	講 義：学校教育と美術館教育
	3	実 習：作品の取り扱い・展示(彫刻)
	4	
7月29日(金)	1	講 義：美術館の広報
	2	講 義：美術館のサービスと来館者の視点
	3	他館見学 (駒形十吉記念美術館、長岡市立科学博物館)
	4	
8月1日(月)	1	講 義：総務課の業務／施設管理・安全対策
	2	講 義：美術館の地域連携(ボランティアと友の会)
	3	実 習：作品の取り扱い・展示(工芸)
	4	実 習：図書整理
8月2日(火)	1	実 習：作品フォルダ作成、ポジフィルムデジタル化作業、発送準備作業
	2	
	3	実 習：常設展作品解説準備
	4	
8月3日(水)	1	実 習：常設展作品解説準備
	2	実 習：作品解説会・相互検討
	3	実 習：作品解説会・講評
	4	実 習：展覧会計画①(テーマ・作品選定)
8月4日(木)	1	実 習：展覧会計画② (リスト・図面・開催要項・挨拶パネル作成)
	2	
	3	
	4	実 習：展示作業(造形教育研究大会準備)
8月5日(金)	1	実 習：展覧会計画③(キャプション作成)
	2	
	3	
	4	実 習：展示作品準備
8月9日(火)	1	実 習：作品搬入、展示室パネル立て、展示
	2	
	3	展示講評・撤収
	4	実習のまとめ・閉講式

イベント

講演会

開催日	時間	関連展覧会名	演題等	講師	内容	対象等	会場	参加者数
9月19日 (月・祝)	11:00~	藤城清治 光と影のシン フォニー	藤城清治トークショー	藤城清治氏 (影絵作家) UXアナウンサー	藤城清治氏とUXテレビ新潟アナ ウンサーの対談形式によるトーク ショー	一般 参加無料	NICOプラザ会議室(万代島ビル11階)	200
10月23日(日)	14:00~ 15:45	クレーとカン ディンスキー の時代	クレーとカンディンスキー の時代	西村勇晴氏 (北九州市立美術館長・ 前宮城県美術館副館長)	20世紀初頭のドイツ近代美術の画家 たちのイメージの源泉をたどる。こ とに日本美術(浮世絵等)がドイツ 美術に与えた影響を中心にするとら える			22
1月8日(日)	14:00~ 15:15	新潟の画家たち	出品作家による講演会 「色との対話」	山田修市氏 (洋画家・東北芸術工 科大学芸術学部長)	色について触れながら、作家自身の これまでの作品について、背景のエピ ソードや着想、考え方について解説			68

計290名

美術鑑賞講座

開催日	時間	関連展覧会名	演題等	講師	内容	対象等	会場	参加者数
6月4日(土)	14:00~ 15:15	いもようこ絵 本原画展	美術家が描いた絵本	宮下東子 (当館業務課長代理)	絵本作家ではなく美術家がつくった絵 本を、その作品とともに紹介し、絵本 についての新たな概念を知ってもらう	一般 参加無料	NICOプラザ会議室(万代島ビル11階)	10
11月5日(土)	14:00~ 15:30	クレーとカン ディンスキーの 時代	世紀末のウィーン、 ミュンヘン、ベルリン	桐原 浩 (当館業務課長)	ウィーン分離派を中心に、分離派運動 や美術雑誌などを紹介			34
11月19日(土)	14:00~ 15:30	クレーとカン ディンスキーの 時代	バウハウス入門	今井 有 (当館主任学芸員)	バウハウス入門編として、その理念と 歴史を出品作に触れながら紹介			27
1月21日(土)	14:00~ 15:30		所蔵品に親しむ① 亀倉雄策 1960年代の仕事	今井 有 (当館主任学芸員)	「東京オリンピック公式ポスター」 や「日本万国博覧会ポスター」など、 代表的な業績を残した1950年代~ 1960年代の仕事振り返る			14
2月4日(土)	14:00~ 15:45		所蔵品に親しむ② ギャラリートークの手法	宮下東子 (当館業務課長代理)	所蔵品を、対話型鑑賞法を実践しな がら鑑賞			5
2月18日(土)	14:00~ 15:30		所蔵品に親しむ③ 描かれた風景	今井 有 (当館主任学芸員)	前半は西洋美術史における風景画の 成立について、後半は「異国憧憬」出 品作のうち、佐伯、梅原、東山の作品 をとりあげ、その風景画の特質を解説			5
3月3日(土)	14:00~ 15:25	異国憧憬	来日した外国の美術家たち	桐原 浩 (当館業務課長)	明治期から大正期にかけて来日した 美術家を数名取り上げ、その人と作品 をパワーポイントにより紹介			11
3月17日(土)	14:00~ 15:30	異国憧憬	異国へ渡った日本人画家たち	宮下東子 (当館業務課長代理)	4人の画家について、渡欧中の作品やそ の前後の作品をみることにより、渡欧で 何を吸収し、その後いかに日本人として の表現を追求したと振り返る			10

計116名

ワークショップ

開催日	時間	関連展覧会名	演題等	講師	内容	対象等	会場	参加者数
7月7日(休)~ 26日(火)		藤城清治 光と影 のシンフォニー	みんなで描こう 光にかがやく希いの水玉 (館外ワークショップ) ※p.95参照	宮下東子 (当館業務課長代理) 万代島美術館サポ ーターメンバー	透明シートを貼った丸い窓のある黒 い紙でスタンドグラス風の作品を作 り、たくさん並べて藤城作品《水玉 の中のメルヘン》のイメージを作る	高齢者、 小学生、 他	エス プレッ テッド	174
8月6日(土)	11:00~ 15:00	藤城清治 光と影 のシンフォニー	みんなで描こう			一般 参加無料		68
8月7日(日)	11:00~ 15:40	藤城清治 光と影 のシンフォニー	光にかがやく希いの水玉			一般 参加無料		76
1月15日(日)	14:00~	新潟の画家たち	ワークショップ「ステンド グラスのプローチを作ろう」	加藤智之氏 (ステンドグラス工房代表)	初心者用のキットを使用したステ ンドグラスの手法によるプローチ作 り 一般定員15名	参加無料	万代島 美術館	21
1月29日(日)	14:00~ 15:00	新潟の画家たち	ワークショップ「色を織る」	信田俊郎氏 (洋画家)	信田俊郎氏が、ドローイング等によ く用いるオイルパステルを使用し、色 の重なりを利用した作品づくりを指導	一般 参加無料		19

計358名

その他のイベント

開催日	時間	関連展覧会名	演題等	講師等	内容	対象・定員他	会場	参加者数	
4月22日(金)	11:00~14:00~	いもとようこ 絵本原画展	いもとようこサイン会	いもとようこ氏 (絵本作家)	作家のいもと氏によるサイン会	一般	万代島美術館ロビー	111	
4月23日(土)	11:00~							60	
7月24日(日)	13:30~15:00	藤城清治 光と影のシン フォニー	藤城清治サイン会	藤城清治氏 (影絵作家)	作家の藤城清治氏によるサイン会	一般		200	
8月13日(土)	12:30~		藤城清治ミニトークショー		作家の藤城清治氏によるトークショー	一般 参加無料		65	
	13:30~		藤城清治サイン会		作家の藤城清治氏によるサイン会	一般		91	
8月14日(日)	13:00~		藤城清治ミニトークショー		作家の藤城清治氏によるトークショー	一般 参加無料		80	
	13:30~		藤城清治サイン会		作家の藤城清治氏によるサイン会	一般		136	
8月28日(日)	13:00~		藤城清治ミニトークショー		作家の藤城清治氏によるトークショー	一般 参加無料		80	
	13:30~							162	
9月19日 (月・祝)	13:30~								208
10月8日(土)	13:30~15:00				藤城清治サイン会		作家の藤城清治氏によるサイン会	一般	200
10月9日(日)	13:30~16:00								300
10月10日 (月・祝)	13:30~15:00						100		
11月23日(水)	14:00~14:45	クレアとカン ディンスキー の時代	コンサート&トーク クレアとカンディンスキー にちなんで	松村牧子(第一ヴァイオリン) 田中聖子(第二ヴァイオリン) 高橋美也子(ヴィオラ) 牧野純子(チェロ)	新潟交響楽団メンバーのストリング カルテットによるコンサート	一般 聴講無料		125	
1月7日(土)	14:00~15:15	新潟の画家たち	アーティスト・トーク	番場三雄氏 (日本画家)	作家の番場三雄氏によるアーティスト・ トーク	一般 要観覧券		20	
1月9日 (月・祝)	14:00~15:00			早津剛氏 (洋画家)	作家の早津剛氏によるアーティスト・ トーク			40	
1月14日(土)	14:00~15:30			鈴木力氏 (洋画家)	作家の鈴木力氏によるアーティスト・ トーク			49	
1月15日(日)	13:00~			柴田長俊氏 (日本画家)	作家の柴田長俊氏によるトーク			18	
1月22日(土)	14:00~			齋藤満栄氏 (日本画家)	参加者の要望に応じて即興で草花の 絵を描く。		一般	150	
1月28日(土)	14:00~15:30			池山阿有氏 (洋画家)	作家の池山阿有氏によるアーティスト・ トーク		一般 要観覧券		45
1月29日(日)	14:00~15:00			猪爪彦一氏 (洋画家)	作家の猪爪彦一氏によるアーティスト・ トーク				40
2月12日(日)	14:00~15:00			坪谷幸作氏 (日本画家)	作家の坪谷幸作氏によるアーティスト・ トーク				22

計2,422名
総合計3,186名

刊行物

刊行物名	概要	仕様	発行部数	発行日	内容
平成23年度 年間スケジュール	平成23年度の展覧会の日程及び内容、年間のイベント予定などをまとめたもの。	A4版 観音4つ折り 日英2カ国語表記	45,000部	平成23年 3月31日	・展覧会予定・美術鑑賞講座案内／観覧料免除／乳幼児・障害者向け施設案内・友の会案内／市内美術館紹介・駐車場案内／交通案内
新潟県立万代 島美術館便り 「B-island」No.10	美術館からの情報発信として一般来館者向けに編集したもの。	A4版 4頁	5,000部	平成23年 3月31日	・展覧会予定 ・アンケートの声紹介／イベント報告／駐車場無料／小中学生観覧無料／所蔵品紹介／サポートメンバーの活動紹介／近代美術館の企画展
「新潟の画家たち」 展図録	自主企画展の図録	A4版変形 本文76頁	1,000部	平成23年 12月	ごあいさつ 池山阿有／猪爪彦一／齋藤光栄／信田俊郎／柴田長俊／鈴木 力 ／坪谷幸作／早津 剛／番場三雄／山田修市 作家略歴 出品リスト
新潟県立近代美術館 研究紀要 第11号	学芸員による研究報告書	A4版 本文46頁	400部	平成24年 3月31日	【研究】 高 晟俊「亀倉コレクションの朝鮮民画と古典図鑑本について」 高 晟俊「旧李家東京廷内の武石弘三郎作大理石浮彫について」 濱田真由美「ビデオ・アーティスト 久保田成子についての調査ノート」 【事例報告】 野村宏毅「美術館と学校教育の連携～子ども学芸員の取組～」 【英文要旨】

作品解説会

来館者サービスの一環として、展覧会期中の土・日・祝日には学芸員による作品解説会等を行っている。いずれも美術館に興味と親しみを感じていただくためのもので、来館者に興味をもって参加していただいた。

画家のまなざし

作品解説会	人数
4月 2日(土)	8
4月 3日(日)	12
4月 9日(土)	4
4月10日(日)	5
(4回)	
小計	29

クレーとカンディンスキーの時代

作品解説会	人数
10月22日(土)	12
10月29日(土)	8
10月30日(日)	5
11月 3日(木)	4
11月 6日(日)	10
11月12日(土)	11
11月13日(日)	13
11月20日(日)	15
11月26日(土)	12
11月27日(日)	5
12月 3日(土)	9
12月 4日(日)	12
12月10日(土)	15
12月11日(日)	20
(14回)	
小計	151

異国憧憬～あこがれの風景

作品解説会	人数
3月 4日(日)	4
3月10日(土)	6
3月11日(日)	10
3月18日(日)	9
3月20日(火)	5
3月24日(土)	1
3月25日(日)	8
(7回)	
小計	43

総合計 25回
223名

団体への解説

団体来館のうち希望があった場合、必要に応じて作品解説や施設紹介等を行った。

いもようこ絵本原画展

5月11日(水)	新潟デザイン専門学校	70名
6月1日(水)	てのひらの会	22名
6月7日(火)	日本アニメ・マンガ専門学校	22名
6月10日(金)	日本アニメ・マンガ専門学校	22名
6月11日(土)	社会福祉法人更生会地域活動センターII型かりん	18名
6月14日(火)	日本アニメ・マンガ専門学校	27名
6月17日(金)	日本アニメ・マンガ専門学校	24名

藤城清治 光と影のシンフォニー

7月9日(土)	喜多方観光バス 婦人会	45名
7月9日(土)	すすまり	16名
7月12日(水)	国際ビューティー専門学校	25名
7月26日(火)	いさすみ学園	50名
7月29日(金)	三条市大島公民館	20名
8月19日(金)	板倉区高齢者大学	31名
8月21日(日)	松代きらく会	35名
9月4日(日)	焙煎コーヒー 温	12名
9月7日(水)	市小研図画工作部	30名
9月14日(水)	新潟市立めいせいディサポーターセンター	10名
9月16日(金)	胎内市中央公民館	26名
9月22日(木)	石山地区ふれあいティールーム	12名
9月24日(土)	台町1丁目子供会	28名
10月5日(水)	第一中学校研究推進部	30名
10月8日(土)	見附市今町公民館	20名

クレーとカンディンスキーの時代

10月26日(水)	日本アニメ・マンガ専門学校	25名
11月11日(金)	友江荘	17名
11月14日(月)	国際こども福祉カレッジ専門学校	30名
11月17日(木)	日本アニメ・マンガ専門学校	24名
11月18日(金)	日本アニメ・マンガ専門学校	23名
11月24日(木)	日本アニメ・マンガ専門学校	23名
11月25日(金)	燕第2地区町づくり協議会	50名
12月1日(木)	村上市中教研美術部会	5名
12月7日(水)	三条テクノスクール	32名
12月10日(土)	新潟医療福祉大学	40名

合計864名

学校教育との連携

●図工・美術の授業 及び 部活動での利用—展覧会の鑑賞
学校のカリキュラム等で来館した学校団体に展覧会の鑑賞の機会を提供した。特に希望のあった学校団体に関しては、学芸員による作品解説を行った。

【学芸員による作品解説】 合計 41名

クレーとカンディンスキーの時代展	
10月26日(水)	新潟市立木山小学校 (6年・特別支援学級) 19名
12月4日(日)	長岡市立東中学校 (1・2・3年) 22名

【展覧会鑑賞のみ】 合計 1,552名

いもようこ絵本原画展	
5月10日(火)	香徳幼稚園 (3~5歳児) 15名
5月19日(木)	YOUなかの保育園 (年中・年長) 50名
5月28日(土)	阿賀町立阿賀津川中学校 6名
5月31日(火)	栄光幼稚園 97名
5月31日(火)	新潟市立山潟中学校 (1・2・3年) 19名
5月31日(火)	新潟市立関屋中学校 (1・2・3年) 20名
6月1日(水)	新潟市立白新中学校 (1・2・3年) 13名
6月2日(木)	はじめ保育園 (年長) 77名
6月4日(土)	魚沼市立広神中学校 (1・2・3年) 20名
6月7日(火)	新潟市立下山中学校 (1・2・3年) 40名
6月10日(金)	新潟市立曾根小学校 (2年) 46名
6月10日(金)	流作場保育園 36名
6月11日(土)	上越市立城西中学校 (2年) 23名
6月13日(月)	新潟市立曾根小学校 (1年) 36名
6月15日(水)	万代保育園 15名
6月15日(水)	新潟東工業高校 6名

藤城清治 光と影のシンフォニー展

7月2日(土)	上越市立柏崎中学校 (1・2・3年) 18名
7月2日(土)	上越市立頸城中学校 (1・2・3年) 25名
7月5日(火)	新潟市立下山中学校 (1・2・3年) 40名
7月6日(水)	新潟市立味方中学校 (2年) 2名
7月9日(土)	村上市立第一中学校 (1・2・3年) 29名
7月14日(木)	新潟市立笹口小学校 (2年) 34名
7月28日(木)	上越市立直江津東中学校 (1・2・3年) 21名
7月31日(日)	新潟市立新津第二中学校 (1・2・3年) 17名
8月2日(火)	小千谷市立東小千谷中学校 (1・2・3年) 23名
8月2日(火)	上越市立直江津中学校 (1・2・3年) 27名
8月3日(水)	三条市立第一中学校 (1・2・3年) 13名
8月4日(木)	村上市立朝日中学校 (1・2・3年) 12名
8月5日(金)	新発田市立豊浦中学校 (1・2・3年) 7名
8月7日(日)	湯沢町立湯沢中学校 (1・2・3年) 15名
8月10日(水)	新潟市立山潟中学校 (1・2・3年) 18名
8月10日(水)	村上市立村上東中学校 (1・2年) 9名
8月11日(木)	新潟市立東新潟中学校 (1・2・3年) 29名
8月20日(土)	新潟市立龜田中学校 (1・2・3年) 17名
9月1日(金)	新潟市立上所小学校 (4年) 64名
9月2日(木)	新潟市立上所小学校 (4年) 70名
9月2日(金)	見附市立新潟小学校 (3・4年) 37名
9月20日(火)	新潟市立盤台長峰小学校 (特別支援学級1・3・4・5・6年) 10名
9月27日(火)	みどり幼稚園 29名
9月29日(木)	長岡市立養護学校高等部 10名

10月 1日(土)	五泉市立五泉北中学校 (1・2・3年)	18名
10月 1日(土)	柏崎市立第一中学校 (1・2年)	11名
10月 4日(火)	万代保育園	44名
10月 7日(金)	新潟市立八千代保育園 (年長)	17名
10月 7日(金)	新潟市立桜が丘小学校 (6年)	79名
10月 7日(金)	石礎保育園	17名

クレーとカンディンスキーの時代展

10月27日(木)	新発田市立本丸中学校 (1年)	71名
10月27日(木)	新潟県立十日町高校	8名
10月27日(木)	新潟県立高田高校	14名
10月27日(木)	上越総合技術高校	14名
10月27日(木)	県立高田北城高校	10名
10月27日(木)	新潟市立高志高校	9名
10月27日(木)	新潟県立三条高校	16名
10月28日(金)	新発田市立本丸中学校 (1年)	99名
12月 3日(土)	新発田市立東中学校 (1・2・3年)	7名
12月 3日(土)	長岡市立堤岡中学校 (1・2年)	8名
12月10日(土)	阿賀野市立京ヶ瀬中学校 (1・2年)	4名

新潟の画家たち展

1月 6日(金)	弥彦村立弥彦中学校 (1・2・3年)	11名
----------	--------------------	-----

●校外学習・総合学習

学校教育、特に中学校の校外学習及び総合学習での利用に供した。希望のあった場合は目的に応じて、施設や職業に関する質問への対応や案内を行った。

【学芸員による対応】 合計 62名

いもようこ絵本原画展

5月10日(火)	燕市立燕中学校 (2年)	12名
5月18日(水)	長岡市立北中学校 (2年)	5名
5月20日(金)	新潟市立新津第一中学校 (2年)	22名
5月26日(木)	新発田市立川東豊小学校 (特別支援学級1・2・4・5・6年)	8名
6月 3日(金)	小国町立小国小学校 (6年)	4名
6月13日(月)	新潟市立高志高等学校 (2・3年)	6名

クレーとカンディンスキーの時代展

11月 8日(火)	新潟市立木戸中学校 (2年)	5名
-----------	----------------	----

【展覧会鑑賞・自由見学】 合計 739名

いもようこ絵本原画展

4月22日(金)	福島県那麻郡猪苗代町立東中学校 (2年)	6名
4月26日(火)	阿賀町立三川中学校 (2年)	4名
4月28日(木)	新潟市立関屋中学校 (2年)	5名
5月10日(火)	燕市立分水中学校 (2年)	6名
5月11日(水)	聖籠町立聖籠中学校 (2年)	4名
5月11日(水)	新潟市立大形中学校 (2年)	4名
5月12日(木)	福島県会津若松市立第二中学校 (2年)	6名
5月18日(水)	胎内市立中条中学校 (2年)	18名
5月19日(木)	新潟市立赤塚中学校 (2年)	19名

5月19日(木)	小千谷市立片貝中学校 (2年)	4名
5月20日(金)	福島県天栄村立天栄中学校 (2年)	5名
5月20日(金)	新潟市立石山中学校 (2年)	39名
5月20日(金)	長岡市立江陽中学校 (2年)	38名
5月25日(水)	新潟市立内野小学校希望が丘分校 (4・5年)	
	新潟市立内野中学校希望が丘分校 (中2)	計8名
5月26日(木)	会津若松市立謹教小学校 (6年)	23名
5月31日(火)	新潟市立内野中学校 (特別支援学級)	7名
5月31日(火)	新潟市立舟栄中学校 (1・2・3年)	12名
6月 8日(水)	佐渡市立赤泊小学校 (6年)	5名
6月 9日(木)	佐渡市立小木小学校 (6年)	23名
6月10日(金)	新潟市立丸山小学校 (3年)	39名
6月14日(火)	加茂市立加茂中学校 (2年)	4名
6月15日(水)	新潟市立南万代小学校 (特別支援学級1~5年)	9名
6月16日(木)	山形県鶴岡市立西郷小学校 (6年)	5名
6月16日(木)	佐渡市立河原田小学校 (6年)	35名

藤城清治 光と影のシンフォニー展

7月 2日(土)	新発田市立第一中学校 (1・3年)	9名
7月 5日(火)	新潟市立南万代小学校 (2年)	62名
7月 6日(水)	長岡市立南中学校 (特別支援学級1・2・3年)	10名
7月 6日(水)	新潟市立白根北中学校 (3年)	4名
7月12日(火)	胎内市適応指導教室さわやかルーム (3年)	7名
7月20日(水)	新潟県立江南高等学校特別支援学校 (1年)	10名
7月22日(金)	新潟県高田南城高等学校 (1年)	63名
8月 5日(金)	新潟市立大形中学校 (1・2・3年)	27名
9月16日(金)	五泉市立五泉東中学校 (3年)	43名
9月29日(木)	酒田市立広野小学校 (6年)	15名
9月29日(木)	新潟第一中学校 (2年)	114名
10月 7日(金)	山形県酒田市立内郷小学校 (6年)	17名

クレーとカンディンスキーの時代展

11月10日(水)	新潟市立西川中学校 (2年)	6名
11月10日(水)	新潟市立岡方中学校 (2年)	6名
12月 1日(木)	新潟市立岩室中学校 (1・3年)	2名
1月26日(木)	三条市立大島小学校 (5年)	16名

●授業用ワークシートの提案・出張授業

企画展「クレーとカンディンスキーの時代」の作品鑑賞を学校の授業に生かしてもらうため、授業で使用できるワークシートを6種類作成し、小・中学校に提案した。このシートを、希望する学校にデータ提供し、また要請があった場合は学芸員が出張授業をおこなった。(担当：宮下東子)

【ワークシート】

- 「お話が、みえてくるかな？」 小学校下学年向け
- 「なんだかワクワクしてこない？」 小学校下学年向け
- 「へんてこりんな人がいるね」 小学校中～高学年向け
- 「なんだろう？」 小学校上～中学生向け
- 「どの絵がすき？」 小学校上～中学生向け
- 「違うところ 似ているところ」 中学生向け

【データ希望校】

新潟市立南中野山小学校	ワークシートデータ
新潟市立葛塚東小学校	ワークシートデータ
新潟市立上所小学校	画像データ
新潟市立藤見中学校	ワークシートデータ
新潟市立小須戸中学校	ワークシートデータ
新潟市立大形中学校	ワークシートデータ+画像データ
阿賀野市立京ヶ瀬中学校	ワークシートデータ+画像データ

サポートスクール

- ・新潟市立山の下小学校
- ・新潟市立沼垂小学校
- ・新潟市立笹口小学校
- ・新潟市立入舟小学校
- ・新潟市立栄小学校
- ・新潟市立白山小学校
- ・新潟市立宮浦中学校
- ・新潟市立万代長嶺小学校
- ・新潟市立南万代小学校
- ・新潟市立豊照小学校
- ・新潟市立新潟小学校
- ・新潟市立湊小学校
- ・新潟大学附属新潟小学校
- ・新潟市立東新潟中学校

【出張授業】

12月 7日(水)	新潟市立太夫浜小学校（3年）	35名
12月 7日(水)	新潟市立太夫浜小学校（5年）	33名

●サポートスクールからの依頼による出張授業

サポートスクールからの依頼により、特別授業参観日に学芸員が出張して美術の衣鑑賞授業をおこなった。

（授業者：宮下東子）

4月23日(土) 新潟市立万代長嶺小学校（3学年）
34名+33名

●サポートスクール

近隣の小中学校12校を「サポートスクール」と位置づけ、各展覧会の開場式に代表者を招き理解を促す、展覧会チラシの全校配布など、相互に協力をおこなった。

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第13条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の生徒及び小中学校・特別支援学校・高等学校の引率者、心身障がい者及びその介助者等に対し、観覧料を免除した。

また、学校からの要請があった場合、その内容に応じて解説・案内・レクチャーなどを行った。

展 覧 会 名	会 期	日数	学 校 等					障がい者	介助	震災	合計
			小中・特		高校						
			校数	引率	校数	生徒	引率				
画家のまなざし	平成23年4月1日～4月10日	9	0	0	0	0	0	24	5		29
いもとようこ絵本原画展	4月22日～6月19日	54	38	67	2	12	3	341	121	16	560
藤城清治 光と影のシンフォニー	7月2日～10月10日	90	36	126	3	83	14	1,245	571		2,039
クレーとカンディンスキーの時代	10月22日～12月11日	47	11	19	6	71	8	163	35		296
新潟の画家たち～色と形を紡いで～	12月23日～平成24年2月19日	45	2	3	0	0	0	136	26		165
異国憧憬～あこがれの風景～	3月3日～3月31日	25	0	0	0	0	0	65	10		75
合 計		270	87	215	11	166	25	1,974	768	16	3,164

夏休み期間 観覧料免除者数

展 覧 会 名	期 間	日数	校数	生徒数
藤城清治 光と影のシンフォニー	7月16日～8月31日	42	83	470

サポートメンバー（新潟県立万代島美術館ボランティア組織）

1. 活動の目的

新潟県立万代島美術館では、美術館と県民とをより親しく結びつけることを目的として、活動を行った。

- 1 来館者に生涯学習の機会と場を提供する。
- 2 美術館の活動を共有し、美術館への関心と関わりを深めることにより、美術館の愛好者を増大する。

2. 登録人数（H24年3月現在）

4名

3. 主な活動内容と成果

展覧会に付随するイベントへの協力、万代島美術館の活動や展覧会業務に必要な活動への協力。

本年度は「藤城清治 光と影のシンフォニー」展に関連するワークショップ「みんなで描こう 光に輝く希いの水玉」企画・運営を中心に据えて活動を行った。

- ・「みんなで描こう 光にかがやく希いの水玉」企画・運営
- ・「新潟の画家たち」展ワークショップ「ステンドグラスのプローチを作るう」への協力
- ・「新潟の画家たち」展関連イベント「日本画実演」への協力
- ・「新潟の画家たち」展ワークショップ「色を織る」への協力
- ・各展覧会広報活動（ポスター、チラシ発送）への協力
- ・図書、資料等整理

4. 課題

- ・ワークショップ「みんなで描こう 光に輝く希いの水玉」では、準備段階から打ち合わせを行い、計画的な活動を行うことができた。
- ・各メンバーの活動時間帯が異なるため、メンバー同士が顔を合わせ、交流を深めることが難しかった。

担当：宮下東子

・「みんなで描こう 光にかがやく希いの水玉」実施報告

趣旨：企画展「藤城清治 光と影のシンフォニー」での出品作品《水玉の中のメルヘン》に関連させ、館外（主に学外保育及び高齢者ティールームサービス）でのワークショップおこない、万代島美術館が居住している朱鷺メッセでの展示及びその場でのワークショップも行った。結果的に、普段美術館に縁の薄い人たちへのアピールとなり、来館者増につながった。



館外ワークショップ実施一覧（担当：宮下）

	期 日	時 間	種 別	地 区	団 体 名	参加人数
1	7月 7日(木)	10:30~	ティールーム	東区石山	シルバーピア石山 ティールーム(木曜)	9
2	7月11日(月)	13:00~	ティールーム	東区中	大山台ホーム ティールーム(月曜)	11
3	7月13日(水)	13:00~	ティールーム	中央区東	総合福祉会館 ティールーム(水曜)	6
4	7月13日(水)	15:00~	ひまわりクラブ		沼垂ひまわりクラブ	44
5	7月15日(金)	13:00~	ティールーム	中央区南	南地域保健福祉センター ティールーム(金曜)	16
6	7月19日(火)	13:00~	ティールーム	東区中	大山台ホーム ティールーム(火曜)	13
7	7月21日(木)	13:00~	ティールーム	中央区中央	寄居コミュニティハウス ティールーム(木曜)	8
8	7月25日(月)	11:00~	ひまわりクラブ		南万代ひまわりクラブ	29
9	7月26日(火)	11:00~	ひまわりクラブ		万代長瀬ひまわりクラブ	38
小計						174

新潟日報社依頼分

	団 体 名	参加人数
1	特別老人ホーム黒崎の里	14
2	なじみの家きなせや黒崎	5
3	ケアセンターそよ風	20
4	ケイキフラ教室	7
5	えほん館	51
6	その他 3+3+11+43	115
小計		212

【当日ワークショップ参加者】

8月6日(土) 68名 (担当：小柳、小菅)

8月7日(日) 76名 (担当：星野、今井)

参加者総合計 530名

博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生のための博物館実習を実施し、8名の実習生を受け入れた。各分野についての講義の他、作品の点検・取扱いの指導、他館見学も行った。最終日には各自に所蔵品展を使った展覧会企画を発表してもらい、学芸員の仕事について学んだ実習の総まとめとした。

実習期間 7月25日(月)～8月4日(木)

実習生の所属および受入人数

新潟大学	2名
実践女子大学	1名
京都橘大学	1名
都留文科大学	1名
桜美林大学	1名
信州大学	1名
長岡造形大学	1名
合計	8名

担当者：飯島沙耶子

実習カリキュラム

月日	時限	内 容
7月25日(月)	1	開校式・館長講話・オリエンテーション
	2	施設案内(朱鷺メッセ・万代島ビル/企画展見学)
	3	博物館法/美術館の課題
	4	研究課題(課題説明、資料収集)
7月26日(火)	1	展覧会の企画運営・美術館の課題
	2	広報活動/資料整理
	3	作品の点検・取扱い(日本画)
	4	研究課題(テーマ決定、構成検討)
7月27日(水)	1	教育普及活動
	2	美術館教育
	3	作品の点検・取扱い(工芸)
	4	研究課題(リスト・図面作成)
7月28日(木)	1	所蔵品管理/情報管理/刊行物作成
	2	作品収集/保存・修復/著作権
	3	作品の点検・取扱い(平面)
	4	研究課題(発表資料作成)
8月2日(火)	1	受付・監視の仕事
	2	美術館サービスと来館者の視点
	3	作品の点検・取扱い(写真)
	4	研究課題(発表資料の作成)
8月3日(水)	1	他館見学
	2	新潟市歴史博物館
	3	新潟市美術館
	4	研究課題(発表資料作成)
8月4日(木)	1	発表準備(機材準備、資料コピー、配布)
	2	発表・講評
	3	
	4	閉校式

新潟県立近代美術館

【調査】

- 高 晟 俊 美術館連絡協議会「朝鮮を愛した美術家たち」研究集会 第5回(4/18-20) / 第6回(5/12) / 第7回(10/1-2)
- 高 晟 俊・藤田裕彦・松矢国憲 「GUN-新潟に前衛(アバンギャルド)があった頃」及び日本美術オーラル・ヒストリー・アーカイブの為の前山忠氏、堀川紀夫氏へのインタビュー 2011年6月29日~30日
※藤田・松矢は29日のみ
- 藤田裕彦・長嶋圭哉・飯島沙耶子 県内作品調査 2011年5月12日~13日
※長嶋は13日のみ、飯島は12日のみ
- 長嶋圭哉・松矢国憲 竹内蘆風作品調査 2011年5月21日・6月16日・7月15日・8月23日 ※松矢は6月16日のみ
- 平石昌子・藤田裕彦 柏崎市内作品調査 2011年5月27日・6月22日
※藤田は6月22日のみ
- 藤田裕彦 長岡市内作品調査 2011年11月22日
- 長嶋圭哉 堅山南風作品調査 2011年1月25日

【展覧会図録】

- 長嶋圭哉 「新潟県下の企業個人コレクションについて」『秘蔵の日本画名品展』(新潟県立近代美術館)
- 長嶋圭哉・高 晟 俊・伊澤朋美 作品解説『秘蔵の日本画名品展』(新潟県立近代美術館)
- 荒井直美・高 晟 俊・伊澤朋美 『いわさきちひろ展ガイドブック』(新潟県立近代美術館)
- 藤田裕彦 「ジャポニスム-江戸への眼差し ジャポニスムと新潟県立近代美術館」『美の軌跡 前川誠郎の美学』(新潟県立近代美術館)
- 松矢国憲 「小山正太郎とフォンタネージ、そして中村彝をめぐるコレクション」『美の軌跡 前川誠郎の美学』(新潟県立近代美術館)
- 平石昌子 「《コロンブの平原、霜》に描かれたもの」『美の軌跡 前川誠郎の美学』(新潟県立近代美術館)
- 高 晟 俊 「前川誠郎著作目録」・独文翻訳・前川誠郎著「ドイツとの出会い」『美の軌跡 前川誠郎の美学』(新潟県立近代美術館)

【紀要】

- 高 晟 俊 「旧李王家東京邸内の武石弘三郎作大理石浮彫について」
- 高 晟 俊 「亀倉コレクションの朝鮮民画と図鑑本について」
- 野村宏毅 「美術館と学校教育の連携-子ども学芸員の取組」

【著述活動】

- 長嶋圭哉 「尾竹三兄弟作品展」『新潟日報』あーとびっくす 2011年4月5日
- 藤田裕彦 「生活共有 "用の美" 体現 東日本伝統工芸展に寄せて」『新潟日報』文化欄 2011年5月9日
- 荒井直美 「自然への畏敬・結晶 高田洋一個展に寄せて」『新潟日報』文化欄 2011年6月2日
- 藤田裕彦 「素材の美・親しみやすく 原益夫の世界展に寄せて」『新潟日報』文化欄 2011年6月4日
- 長嶋圭哉 「浦上義昭日本画展」『新潟日報』あーとびっくす 2011年6月14日
- 高 晟俊 「新潟洋画事始め」『新潟日報』あーとびっくす 2011年6月15日
- 荒井直美 「子どもたちに幸せをーいわさきちろ展」『新潟日報』特集記事 2011年7月19日
- 平石昌子 「"美の軌跡 前川誠郎の美学展" に寄せて」『新潟日報』文化欄 2011年9月7日
- 長嶋圭哉 「難波田龍起・史男展」『新潟日報』あーとびっくす 2011年10月26日
- 長嶋圭哉 「花鳥の名画と工芸展・敦井美術館」『新潟日報』あーとびっくす 2011年11月24日
- 長嶋圭哉 「大矢十四彦展」『新潟日報』あーとびっくす 2012年1月9日
- 高 晟俊 「亀倉雄策コレクション展—斬新デザインの源泉」『新潟日報』文化欄 2012年1月17日
- 荒井直美 「近美コレクション展 "植物図鑑" 館内を巡る世界の花々」『新潟日報』文化欄 2012年2月6日
- 高 晟俊 共訳『西洋中世史事典』ウンベルト・エーコ監修、伊文翻訳柘風舎（近刊）
- 平石昌子 「ドガと日本人画家」『美術フォーラム21』23号 醍醐書房
- 高 晟俊 書評「金英那『韓国近代美術の100年』」『美術フォーラム21』24号 醍醐書房
- 松矢国憲 「生活の中みつた美」『新潟日報』2012年3月16日

【講演・講義等】

- 高 晟俊 「美術史概説A」非常勤講師 新潟大学文学部
「2.古代ギリシャ・ローマの美術」2011年10月15日
「3.西洋中世の美術」2011年10月21日
「13.中国の美術と美術史」2012年1月18日
「14.朝鮮半島の美術と美術史」2012年1月25日
- 平石昌子 「美術史概説A」非常勤講師 新潟大学文学部
「8.西欧近代美術 新古典主義・ロマン美術」2011年11月30日
「9.西欧近代美術 19世紀美術」2011年12月7日
「10.西欧近代美術 世紀末美術」2011年12月14日
- 高 晟俊 国際シンポジウムパネラー「芸術とプロパガンダ」首都大学東京 2012年3月23日~25日
- 高 晟俊 公開講座「中世ギリシャのモザイク壁画」朝日カルチャーセンター・新宿 2011年8月23日
- 荒井直美 講師「コミュニケーション論B：アートに出会う 美術館学芸員という仕事」新潟薬科大学応用生命科学部 2011年11月4日
- 長嶋圭哉 作品解説「新潟日報主催・近代日本画名品展」新潟三越 2013年1月4日
- 長嶋圭哉 作品解説「岩田正巳展」弥彦の丘美術館2103年2月12日3月10日
- 高 晟俊 公開講座「中世グルジアの協会堂壁画」朝日カルチャーセンター・新宿 2012年3月8日

新潟県立万代島美術館

【研 修】

今井 有 「平成23年度著作権セミナー」 8月
23日(火) 県立生涯学習推進センター
(文化庁・新潟県教育庁主催)

【展覧会図録】

桐原 浩 「デューラーの旅」『美の軌跡—デュー
ラーから中村彝まで 前川誠郎の美
学』展図録

桐原 浩 「ミュンヘンのカンディンスキーとクレ
ー—分離派と芸術誌の時代の中で—」
『クレーとカンディンスキーの時代』
展図録

桐原 浩 「池山阿有」『新潟の画家たち』展図録

宮下東子 「齋藤満栄」、「柴田長俊」、「坪谷幸作」、
「山田修市」、『新潟の画家たち』展図録

今井 有 「信田俊郎」、「早津剛」『新潟の画家
たち』展図録

飯島沙耶子 「猪爪彦一」、「鈴木力」、「番場三雄」『新
潟の画家たち』展図録

【著述活動】

今井 有 「信田俊郎展」『新潟日報』あーとびっ
くす 2011年4月13日

宮下東子 「柴田長俊展」『新潟日報』あーとびっ
くす 2011年4月23日

飯島沙耶子 「猪爪彦一」『NOTE BOOK展』『新
潟日報』あーとびっくす 2011年
5月13日

桐原 浩 「麻績勝広展 砂浜画題 瞑想的な詩
情運ぶ」『新潟日報』あーとびっくす
2011年5月28日

宮下東子 「坪谷幸作展」『新潟日報』あーとびっ
くす 2011年7月9日

桐原 浩 「二代陶齋 齋藤尚明作陶展」『新潟
日報』あーとびっくす 2011年7月
19日

今井 有 「うちのDEアートによせて」 in:
『アートクロッシングにいがた2011
うちのDEアート—このゆびとまれ』
うちのDEアート実行委員会、2012
年3月

【講演・講義等】

桐原 浩 「美術史概説A」非常勤講師 新潟大学
人文学部

・「4.ルネサンス イタリア美術」
2011年10月26日

・「5.ルネサンス 北方美術」2011年
11月2日

・「6.バロック スペイン・イタリア
美術」2011年11月9日

・「7.バロック オランダ・フランドル
美術」2011年11月16日

今井 有 新潟デザイン専門学校卒業修了制作展
審査員 2012年2月3日

美術品の収集

平成 23 年度収集作品一覧

分野	各 領 域 点 数	合計点数
新潟の美術	油彩画他1 版画11 資料1	13
日本の美術	油彩画他1 版画4	5
世界の美術	版画1	1
総合計	油彩画他2 版画16 資料1	19

新潟の美術

分野	作家名(生歿年)	作 品 名	制 作 年	寸 法 (cm)	素材・技法・形状	購入・寄贈
油彩画他	宮芳平 (みや・よしへい) 1893-1971	ドント・オープン	大正中期	134.8×171.8	パステル、紙 四曲一隻屏風	個人寄贈
版画	品川工 (しながわ・たくみ) 1908-2009	飛ぶ鳥	1950年	画寸：38.0×44.2	木版、紙 まくり	作家遺族寄贈
		真昼の夢	1952年	画寸：52.0×37.0	紙版、紙 まくり	
		パントマイム1	1952年	画寸：56.4×39.0	紙版、紙 まくり	
		パントマイム2	1952年	画寸：56.4×38.5	紙版、紙 まくり	
		仮面劇	1953年	画寸：51.5×36.3	木版、紙 まくり	
		囁み合い交差する色面 No.4	1968年	画寸：37.3×52.5	木版、紙 まくり	
		囁み合い交差する色面	1969年	画寸88.3×39.3	木版、紙 まくり	
		ネガとポジ No.19	1968年	画寸：36.5×27.7	木版、紙 まくり	
		ネガとポジ No.6	1972年	画寸：80.6×55.7	木版、紙 まくり	
		ネガとポジ No.8	1973年	画寸：80.5×55.7	木版、紙 まくり	
ネガとポジ No.20	1974年	画寸：30.5×40.5	木版、紙 まくり			
資料	竹内蘆風 (たけうち・ろふう) 1874-1939	秋景山水図	大正初期	158.0×420.0	紙本彩色 八曲一隻屏風	個人寄贈

日本の美術

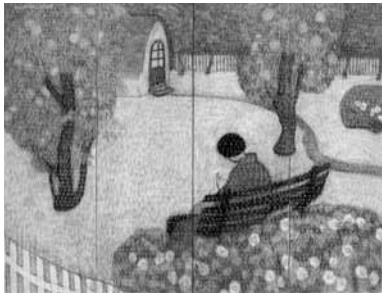
分野	作家名(生歿年)	作 品 名	制 作 年	寸 法 (cm)	素材・技法・形状	購入・寄贈
油彩画他	國領経郎 (こくりょう・つねろう) 1919-1999	女医さん	1947年	116.5×91.0	油彩、カンヴァス 額装	個人寄贈
版画	白木ゆり (しらき・ゆり) 1966-	Sonic (A)	1998年	画寸：84.4×120.5	エッチング・ドライポイント、 紙(まくり)	作家寄贈
		Sonic (B)	1998年	画寸：84.4×120.5	エッチング・ドライポイント、 紙(まくり)	
		Sonic (C)	1998年	画寸：84.4×120.5	エッチング・ドライポイント、 紙(まくり)	
		Sound-40	2001年	画寸：172.0×120.5	エッチング・ドライポイント、 額装	

日本の美術

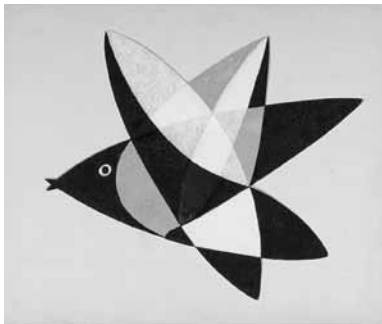
分野	作家名(生歿年)	作 品 名	制 作 年	寸 法 (cm)	素材・技法・形状	購入・寄贈
版画	ジョルジュ・ルオー 1871-1958	銅版画集『ミセレーレ』より 52. 法は過酷、されど法	1926年 (1948年出版)	画寸：57.0×43.2	エリオグラヴィール、紙、 額装	個人寄贈

新収蔵品

新潟の美術



油彩画他
宮芳平《ドント・オープン》



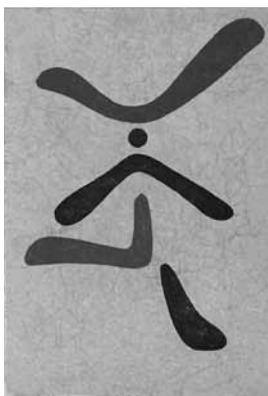
版画
品川工《飛ぶ鳥》



版画
品川工《真昼の夢》



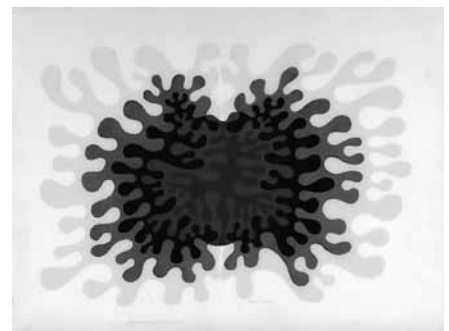
版画
品川工《パントマイム1》



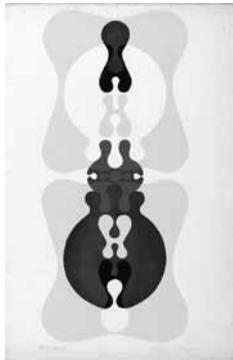
版画
品川工《パントマイム2》



版画
品川工《仮面劇》



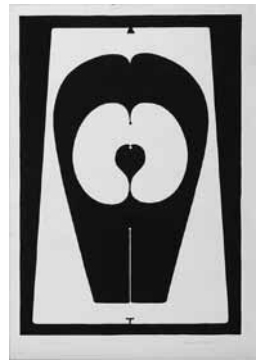
版画
品川工《噛み合い交差する色面 No.4》



版画
品川工《噛み合い交差する色面》



版画
品川工《ネガとポジ No.19》



版画
品川工《ネガとポジ No.6》



版画
品川工《ネガとポジ No.8》



版画
品川工《ネガとポジ No.20》



資料
竹内蘆風《秋景山水図》

日本の美術



油彩画他
國領經郎《女医さん》



版画
白木ゆり《Sonic(A)》



版画
白木ゆり《Sonic(B)》



版画
白木ゆり《Sonic(C)》



版画
白木ゆり《Sound-40》

世界の美術



版画
ジョルジュ・ルオー
銅版画集『ミゼレーレ』より
《52. 法は過酷、されど法》

美術品の修復

平成 23 年度 修復作品一覧

分野	作家名	作品名	制作年	修復内容	修復者	修復期間
日本画	小林古径	紫苑	1933年	剥落止め、クリーニング	株式会社半田九清堂 (東京都)	平成23年12月1日～ 平成24年3月31日 ※2ヵ年継続
版画	白木ゆり	Sonic (A)	1998年	額装	小林額縁製作所 (東京都目黒区)	平成24年2月20日～ 3月13日
		Sonic (B)	1998年	額装	小林額縁製作所 (東京都目黒区)	平成24年2月20日～ 3月13日
		Sonic (C)	1998年	額装	小林額縁製作所 (東京都目黒区)	平成24年2月20日～ 3月13日
		Sound-40	2001年	額装	作家本人 (東京都世田谷区)	平成24年2月20日～ 3月13日
シート(4枚)合わせ直し	小林額縁製作所 (東京都目黒区)	平成24年2月20日～ 3月13日				
彫刻	山脇敏男	蕊	1970年	脚部割損の接合・漬れの 補修及び補彩	仏像文化財修復工房 (新潟県)	平成23年11月14日～ 平成24年3月27日
彫刻 (屋外)	竹田康宏	Under the leaves 94D Nagaoka "Do You Love Me?"	1997年	傷補修及び全面再塗装	有限会社アイム塗装 (新潟県)	平成24年3月1日～ 4月30日

美術品の貸出

平成 23 年度 作品貸与一覧 (近代美術館所管作品)

展覧会名	貸出先	会期	作家名	作品名
梅原龍三郎 須田国太郎展	駒形十吉記念美術館	平成23年 3月15日～ 8月28日	梅原龍三郎	紫禁城
			須田国太郎	三輪附近 水辺の草(杜若)
戦争と美術	新潟大学旭町学術 展示資料館	平成23年 4月13日～ 6月30日	石井柏亭	出雲雄姿(下図)
新発田モンパルナス—画家たちの青春—	新発田市生涯学習 センター	平成23年11月 3日～11月13日	佐藤哲三	瓦焼場風景 郵便脚夫宮下君
			佐藤三郎	フォントノワ
			相馬其一	フランス郊外
			末松正樹	大工 高野氏の像 自画像 題不詳
日本画家 岩田正巳展	弥彦の丘美術館	平成24年 1月24日～ 3月25日	岩田正巳	花さす人
				鏡
				夢
				婦人抱琴図
				浜名を渡る源九郎義経
				春日垂迹
				秋好中宮
				群飛
				春日垂迹下絵
				群飛下絵
				秋好中宮下絵
				鏡下絵
				いかすち
				緑扇
				母と子
				夢の姫君
夢の姫君下絵				
いかすち下絵				
緑扇下絵				
母と子下絵				
夢下絵				

展覧会名	貸出先	会期	作家名	作品名
レオナルド・フジター私のバリ、私のアトリエ	ポーラ美術館	平成23年 6月15日～ 9月 4日	藤田嗣治	私の夢
菊畑茂久馬回顧展	長崎県美術館	平成23年 7月16日～ 8月31日	菊畑茂久馬	植物図鑑(一) ※寄託作品
伊藤彰耳の世界	奈良県立万葉文化館	平成23年 8月20日～ 9月25日	伊藤彰耳	出会・二ヶ月
没後100年 菱田春草展	長野県信濃美術館	平成23年 9月10日～10月16日	菱田春草	放鶴
生誕120周年記念 岸田劉生展	大阪市立美術館	平成23年 9月17日～11月23日	岸田劉生	冬枯れの道路(原宿附近写生)
日本近代洋画にみる 自然と人間	群馬県立館林美術館	平成23年 9月17日～11月27日	萬鉄五郎	木の間風景
			北川民次	大地
			安井曾太郎	読書
メタポリズムの未来都市展	森美術館	平成23年9月17日～平成24年1月15日	山口勝弘	作品 ※寄託作品
渋谷ユートピア 1900-1945	渋谷区立松濤美術館	平成23年12月6日～平成24年1月29日	岸田劉生	冬枯れの道路(原宿附近写生)
石子順造の世界—美術発・マンガ経由・キッチン行	府中市美術館	平成23年12月10日～平成24年2月26日	高松次郎	カーテンをあげた女の影 ※寄託作品
			中西夏之	作品 ※寄託作品
桜島百景—画家たちが見つめた桜島—	鹿児島市立美術館	平成23年12月20日～平成24年2月15日	横山操	炎々桜島
			横山操	炎々桜島(小)
難波田史男展	東京オペラシティ アートギャラリー	平成24年 1月14日～ 3月25日	難波田史男	鳥
				無題
				無題
				彩色画
				デッサン
				覚書
				デッサン
				花の精のおどり
				無題
				彩色画
				デッサン
				白い太陽
				デッサン
				デッサン
				彩色画
				無題
無題				
無題				
無題				
無題				
無題				
無題				
無題				
正岡子規と美術	横須賀美術館	平成24年 2月11日～ 4月15日	小山正太郎	仙台の桜
ファン・ゴッホ《農婦》と近代日本絵画展	ウッドワン美術館		浅井忠	農人
カミーユ・ピサロと印象派 永遠の近代	宇都宮美術館	平成24年 3月24日～ 5月27日	フィンセント・ファン・ゴッホ	長い棒を持つ農婦 ※寄託作品
			カミーユ・ピサロ	ルヴシエンヌの画家の家、雪 ※寄託作品

管理・運営



新潟県立近代美術館

常設展観覧者数(常設展のみの観覧者)

期 間 (企画展名)	第1期				第2期				第3期		第4期		びじゅつの あそびば	第5期	合計 (年間320日)	
	H23年4/1~7/3(80日間)				H23年7/7~10/10 (88日間)				H23年10/14~ 1/9(81日間)		H24年1/14~2/26 (38日間)					H24年3/1~ 3/31(27日間)
	4/1~ 4/10 9日間 (常設展のみ)	4/14~ 4/22 8日間 (常設展のみ)	4/23~ 6/5 39日間 (秘蔵の日本画 名品展)	6/7~ 7/3 24日間 (常設展のみ)	7/7~ 7/22 14日間 (常設展のみ)	7/23~ 8/28 37日間 (いわさき ちひろ展)	8/30~ 9/2 4日間 (常設展のみ)	9/3~ 10/10 33日間 (美の軌跡 前川誠郎展)	10/14~ 11/2 17日間 (常設展のみ)	11/3~ 1/9 64日間 (借りぐらしの アリエッティ展)	1/14~ 1/15 2日間 (借りぐらしの アリエッティ展)	1/17~ 2/26 36日間 (常設展のみ)	2/28~ 2/29 2日間	3/1~ 3/31 27日間 (びじゅつの あそびば)		
個 人	一 般	116	109	55	368	241	128	47	37	233	112	1	381	10	958	2,796
	大学・高校生	3	10	2	9	12	24	0	0	5	2	0	29	2	53	151
小 計	119	119	57	377	253	152	47	37	238	114	1	410	12	1,011	2,947	
団 体	一 般	0	0	0	27	0	0	0	0	71	41	0	0	0	0	139
	大学・高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計	0	0	0	27	0	0	0	0	71	41	0	0	0	0	139	
無 料	47	49	36	203	240	32	21	13	149	44	2	272	84	1,128	2,320	
免 除	20	17	1	70	70	7	3	2	188	3	0	56	9	118	564	
合 計	186	185	94	677	563	191	71	52	646	202	3	738	105	2,257	5,970	
				1,142 (14,764)				877 (39,289)		848 (14,312)		741 (162,963)	105 (105)	2,257 (2,257)	5,970 (233,690)	

*企画展開催中は、その観覧者数が常設展観覧者と重複する。
 *()内は企画展観覧者数をあわせた人数。
 *無料には友の会会員を含む。

企画展観覧者数

企画展名	期 間	区 分	県内コレクターによる 「秘蔵の日本画名品展」 4/23~6/5(39日間)	いわさきちひろ展 ~子どものしあわせを願って~ 7/23~8/28(37日間)	美の軌跡 ーデューラーから中村彝まで 前川誠郎の美学ー 9/3~10/10(33日間)	借りぐらしのアリエッティ ×種田陽平展 11/3~1/15(70日間)	合 計
個 人	一 般		8,401	15,367	1,370	81,690	106,828
	大学・高校生		165	470	122	6,196	6,953
小 計		8,566	15,837	1,492	87,886	113,781	
団 体	一 般		358	609	189	592	1,748
	大学・高校生		27		31	4	62
小 計		385	609	220	596	1,810	
前 売		1,343	8,948	66	18,023	28,380	
無 料		2,285	8,152	1,130	66,613	78,180	
免 除		1,043	1,792	166	2,568	5,569	
合 計		13,622	35,338	3,074	175,686	227,720	

企画展名	秘蔵の日本画名品展	いわさきちひろ展	前川誠郎展	借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	合 計
図録販売数(冊)	561	1,371	120	1,114	3,166
音声ガイド使用数(台)				8,208	8,208

特別展（共催）

展覧会名	会期	日数	観覧者数
第66回県展「長岡展」	7/2~7/10	9	4,642
関東甲信越静岡地区造形 研究大会	8/5	1	93
第15回友の会作品展	10/29~11/6	8	779
第15回長岡市中学校美術部作品展	11/12~11/13	2	873
JAGDA 新人賞展 2011 & やさしいハンカチ展	11/19~11/27	8	1,372
第3回長岡造形大 POPコンクール展	12/17~12/18	2	400
県ジュニア展「長岡展」	2/9~2/19	10	3,189
こどもものづくり大学校	3/2~3/11	9	691
計		49	12,039

展覧会名	会期	日数	合計
こどもアートミュージアム	8/12~8/18	7	691

巡回ミュージアム

開催地	会場名	会期	日数	観覧者数
村上市	村上郷土文化館	9/9~9/25	19	2,182
上越市	八千浦中学校	9/28	1	184
南魚沼市	塩沢中学校	10/3	1	626
計			21	2,992

総観覧者数

	常設展	企画展	共催展	合計	こどもアートミュージアム	合計
観覧者数	5,970	227,720	12,039	245,729	691	246,420

新潟県立万代島美術館

所蔵品展・企画展 観覧者数

展覧会名	画家のまなざし	いもとようこ 絵本原画展	藤城清治光と影の シンフォニー	クレールとカンディ ンスキーの時代	新潟の画家たち	異国憧憬	合計	
期間	4/1~4/10 (9日間)	4/22~6/19 (54日間)	7/2~10/10 (90日間)	10/22~12/11 (47日間)	11/23~2/19 (45日間)	3/3~3/31 (25日間)		
個人	一般	299	7,900	33,372	2,662	1,625	1,268	47,126
	大高生	20	324	1,342	307	99	108	2,200
	小計	319	8,224	34,714	2,969	1,724	1,376	49,326
団体	一般	13	160	805	171	109	74	1,332
	大高生	0	99	34	203	5	1	342
	小計	13	259	839	374	114	75	1,674
前売（一般のみ）	0	2,367	9,148	350	627	0	12,492	
無料	189	7,413	12,312	1,301	1,102	201	22,518	
免除	29	560	2,509	296	165	75	3,634	
合計	550	18,823	59,522	5,290	3,732	1,727	89,644	

*団体の数には「友の会」も含まれる。

**小中学生は無料に含む

講堂・ギャラリーの貸出 新潟県立近代美術館

県民の文化活動の促進に資するため、新潟県立近代美術館講堂及びギャラリー使用要項に則り、講堂は1日につき26,400円、ギャラリーは1日につき17,300円で貸し出した。

講堂使用状況

使用日	日数	展示会名	内容	利用者人数
4/3	1	おさらい会	ピアノ発表会	130
4/13	半日	音楽研究会	研修	56
4/16	1	演奏会のゲネプロ	演奏会本番練習	
4/17	半日	ピアノ発表会	ピアノ発表会	120
4/23	1	音楽会	チャリティコンサート	131
4/24	1	演奏会のゲネプロ	演奏会本番練習	
4/28	半日	音楽研究会	研修	56
4/29	1	ピアノ発表会	ピアノ発表会	200
5/1	1	翼の会発表会	音楽発表会	120
5/15	半日	ピアノ発表会	ピアノ発表会	60
6/5	半日	ピアノ発表会	ピアノ発表会	120
6/11	1	食の講演会	講演会	100
7/3	1	新潟県母親大会	シンポジウム	112
7/17	1	ピアノ発表会	ピアノ発表会	100
7/18	1	メヌエットの会発表会	ピアノ発表会	90
8/20	1	城所ピアノ教室	ピアノ発表会	20
8/21	1	2011 Piano Concert	ピアノ発表会	40
8/27	半日	ピアノ発表会	ピアノ発表会	100
8/28	1	ミュージックオブウイング	音楽教室発表会	50
9/10	半日	ピアノ発表会	ピアノ発表会	50
9/23	1	ピアノ発表会	ピアノ発表会	50
9/24	1	ピアノ発表会	ピアノ発表会	77
9/28	半日	音楽研究会	研修	65
10/9	1	ラルゴコンサート	ピアノ発表会	80
10/15	1	たかがき音楽教室	音楽発表会	200
10/16	1	新潟県競書大会	表彰式	240
10/28	半日	ピアノ研修	ピアノ研修	60
10/29	1	ピアノ発表会	ピアノ発表会	160
10/30	1	ピアノ発表会	ピアノ発表会	60
11/3	1	津軽三味線 和太鼓 FKB	ライブ	230
11/13	半日	みしま音楽教室	発表会	50
11/20	1	ピアノ発表会	ピアノ発表会	120
11/23	1	ロンドピアノ発表会	ピアノ発表会	80
11/26	1	トリオ・ベルガルモ室内楽シリーズ	室内楽演奏会	80
11/27	1	ピアノ発表会	ピアノ発表会	23
11/30	半日	ピアノ発表会	ピアノ発表会	60
12/4	1	女性文化大学	十二単衣の着装実演 着物ショー	183
12/11	1	ピアノ発表会	ピアノ発表会	170
12/18	1	遠山宏ピアノリサイタル	ピアノリサイタル	70
12/23	1	ファミリージャム・コンサート	コンサート	125
12/24	1	2011クリスマスコンサート	コンサート	40
12/25	1	権藤ピアノ教室発表会	ピアノ発表会	150
1/8	1	ピアノスタジオ アンダンテ	ピアノ発表会	180
1/13	半日	長岡市三島小中・養護学校校長会	講演会	90
2/19	1	新潟県書き染め大会	表彰式	450
3/17	1	動物愛護セミナー	動物愛護精神の普及啓発	40
3/18	1	ファミリーコンサート	ピアノ発表会	150
3/31	1	ティンカーベルの会	ピアノ発表会	160

以上48件(延べ日数…42日)

5,098

ギャラリー使用状況

使用日	日数	展示会名	内容	利用者人数
7/29~8/3	5日半	村山雨景 染め絵展	染色画の発表	132
8/6~8	3	第26回 弥彦山写真展	写真展	280
9/27~10/5	8	よみがえる和紙の命 かみのみぞ展	作品と越後の和紙の展示	631
10/15~16	2	新潟県競書大会	優秀作品の展示	3,166
12/4	1	女性文化大学	きものショー	58
2/18~19	2	新潟県書き染め大会	優秀作品の展示	5,469

以上6件(延べ日数…21.5日)

9,736

講座室使用状況

使用日	日数	展示会名	内容	利用者人数
4/12	半日	健康講座	講演会	16
4/17	半日	ピアノ発表会	控え室	10
5/12	半日	健康講座	講演会	16
5/17	半日	母親大会打ち合わせ会	打ち合わせ会議	20
6/11	半日	夏の健康管理	講演会	15
7/3	1	新潟県母親大会	シンポジウム	9
7/12	半日	健康講座	講演会	15
7/20~21	2	会議	会議	10
7/24	半日	平和と子どものしあわせをちひろ展を通して考える	学童との学習会	24
8/11	半日	皮膚病・水虫の予防と改善	講演会	15
8/20	1	城所ピアノ教室	発表会	20
9/16~19	3日半	秋焼・森繁徹・作陶展	秋焼個展	98
10/1	半日	よみがえる和紙のいのち・かみのみぞ展	作品と越後の生紙の展示	44
10/5	1	あすなる会	会議	7
10/15	1	たかがき音楽教室	音楽発表会	30
11/3	1	津軽三味線 和太鼓 FKB	ライブ	23
11/13	半日	みしま音楽教室	発表会	4
11/9	半日	会議	会議	5
11/15	半日	健康セミナー	研修	26
11/23	1	ロンドピアノ発表会	ピアノ発表会	6
12/4	1	女性文化大学	きものショー	15
12/5~6	2	会議	会議	10
1/8	1	ピアノスタジオ アンダンテ	ピアノ発表会	30
1/26	半日	健康セミナー	研修	18
2/1	半日	健康について	勉強会	10
2/18	1	生活習慣予防について	勉強会	23
2/22	半日	ミーティング	ミーティング	5
3/10	1	月例会議	会議	10
3/17	1	生活習慣予防の講座	講座	25
3/18	1	ファミリーコンサート	ピアノ発表会	10
3/21	半日	NPセミナー	講演会	10
3/22	半日	地域支援環境施術	会議	17

以上32件(延べ日数…28日)

596

新潟県立近代美術館

展覧会名	展覧会開催期間	入場者数	回答者	回収率
秘蔵の日本画名品展	2011年4月23日～6月5日	13,622	104	0.76%
いわさきちひろ展	2011年7月23日～8月28日	35,338	316	0.89%
美の軌跡 前川誠郎の美学	2011年9月3日～10月10日	3,074	40	1.30%
借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	2011年11月3日～2012年1月15日	175,686	564	0.32%
びじゅつのおそびば	2012年3月1日～4月15日	3,441	26	0.76%
合計		231,161	1,050	0.45%

I 企画展覧会の感想

展覧会名	大変満足	まあまあ満足	やや不満	かなり不満	無回答	合計
秘蔵の日本画名品展	58%	34%	3%	2%	3%	100%
いわさきちひろ展	71%	22%	4%	2%	1%	100%
美の軌跡 前川誠郎の美学	58%	30%	5%	5%	3%	100%
借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	57%	30%	5%	5%	3%	100%
びじゅつのおそびば	50%	42%	4%	0%	4%	100%
平均	59%	32%	4%	3%	3%	100%

II 企画展覧会のきっかけ

展覧会名	新聞	テレビ	ラジオ	街頭ポスター	雑誌	インターネット	友の会だより	知人	たまたま来て	その他	無回答	合計
秘蔵の日本画名品展	29%	22%	1%	2%	6%	6%	1%	9%	5%	15%	4%	100%
いわさきちひろ展	19%	24%	2%	17%	4%	3%	1%	11%	3%	15%	2%	100%
美の軌跡 前川誠郎の美学	8%	10%	2%	15%	0%	6%	6%	10%	8%	27%	6%	100%
借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	5%	53%	2%	10%	4%	3%	1%	7%	3%	10%	2%	100%
びじゅつのおそびば	10%	3%	3%	17%	0%	14%	7%	14%	7%	14%	10%	100%
平均	12%	38%	2%	12%	4%	4%	1%	9%	3%	13%	2%	100%

III 常設展の感想

展覧会名	大変満足	まあまあ満足	やや不満	かなり不満	無回答	合計
秘蔵の日本画名品展	30%	35%	3%	1%	32%	100%
いわさきちひろ展	32%	33%	3%	1%	30%	100%
美の軌跡 前川誠郎の美学	28%	38%	8%	3%	25%	100%
借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	35%	28%	5%	3%	28%	100%
びじゅつのおそびば	19%	46%	8%	0%	27%	100%
平均	29%	36%	5%	1%	28%	100%

IV 普段の情報源

展覧会名	新聞	テレビ	ラジオ	街頭ポスター	雑誌	インターネット	友の会だより	知人	たまたま来て	その他	合計
秘蔵の日本画名品展	28%	27%	10%	9%	7%	12%	0%	3%	1%	3%	100%
いわさきちひろ展	23%	32%	6%	9%	8%	12%	1%	5%	1%	3%	100%
美の軌跡 前川誠郎の美学	21%	25%	7%	9%	10%	12%	3%	1%	4%	6%	100%
借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	12%	42%	5%	8%	7%	15%	1%	5%	2%	2%	100%
びじゅつのおそびば	23%	23%	15%	5%	5%	21%	3%	0%	0%	5%	100%
平均	18%	36%	6%	8%	7%	14%	1%	5%	2%	3%	100%

V 当館への来館回数

展覧会名	初めて	2回以上	5回以上	10回以上	無回答	合計
秘蔵の日本画名品展	16%	14%	23%	43%	3%	100%
いわさきちひろ展	27%	30%	18%	22%	3%	100%
美の軌跡 前川誠郎の美学	23%	23%	13%	33%	10%	100%
借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	49%	24%	11%	10%	5%	100%
びじゅつのおそびば	15%	31%	12%	27%	15%	100%
平均	26%	24%	15%	27%	7%	100%

VI 展覧会ジャンルの希望

展覧会名	日本画	洋画 (日本)	西洋 絵画	彫刻	版画	工芸	書	写真	デザイン	現代美術	その他	無回答	合計
秘蔵の日本画名品展	22%	15%	12%	6%	7%	8%	5%	6%	5%	7%	2%	4%	100%
いわさきちひろ展	13%	11%	11%	7%	7%	5%	6%	12%	11%	10%	4%	3%	100%
美の軌跡 前川誠郎の美学	14%	12%	16%	10%	3%	7%	3%	8%	7%	7%	8%	7%	100%
借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	11%	7%	9%	5%	5%	8%	4%	11%	15%	10%	8%	8%	100%
びじゅつのおそびば	8%	6%	8%	6%	10%	2%	4%	12%	14%	10%	8%	12%	100%
平均	13%	10%	10%	6%	6%	7%	5%	10%	12%	10%	6%	6%	100%

VII ボランティア

展覧会名	参加 しない	参加したい					合計
		展示作業	作品解説	ポスター掲示 チラシ配り	ワークショップ の手伝い	その他	
秘蔵の日本画名品展	83%	6%	1%	5%	5%	1%	100%
いわさきちひろ展	75%	6%	2%	8%	6%	2%	100%
美の軌跡 前川誠郎の美学	76%	9%	3%	5%	5%	1%	100%
借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	76%	9%	3%	5%	5%	1%	100%
びじゅつのおそびば	77%	8%	4%	8%	4%	0%	100%
平均	77%	8%	3%	6%	6%	1%	100%

〔性別〕

展覧会名	男性	女性	無回答	合計
秘蔵の日本画名品展	42%	50%	8%	100%
いわさきちひろ展	26%	68%	6%	100%
美の軌跡 前川誠郎の美学	30%	58%	13%	100%
借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	28%	59%	13%	100%
びじゅつのおそびば	26%	52%	22%	100%
平均	30%	57%	12%	100%

〔お住まい〕

展覧会名	長岡市	新潟市	県内	県外	無回答	合計
秘蔵の日本画名品展	21%	35%	33%	6%	6%	100%
いわさきちひろ展	37%	20%	30%	7%	6%	100%
美の軌跡 前川誠郎の美学	50%	3%	23%	18%	8%	100%
借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	21%	26%	31%	6%	16%	100%
びじゅつのおそびば	31%	23%	19%	0%	27%	100%
平均	32%	21%	27%	7%	12%	100%

〔年代〕

展覧会名	小中学生	高校大学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	無回答	合計
秘蔵の日本画名品展	4%	11%	0%	7%	9%	9%	9%	29%	16%	8%	100%
いわさきちひろ展	32%	5%	0%	4%	10%	13%	12%	12%	6%	5%	100%
美の軌跡 前川誠郎の美学	23%	3%	0%	8%	10%	10%	20%	13%	5%	10%	100%
借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展	53%	4%	1%	7%	8%	9%	4%	2%	1%	12%	100%
びじゅつのおそびば	37%	4%	0%	11%	4%	11%	7%	4%	0%	22%	100%
平均	30%	5%	0%	7%	8%	10%	11%	12%	6%	11%	100%

新潟県立万代島美術館

展覧会名	会期	入館者数	アンケート回収数	アンケート回収率
画家のまなざし	平成23年4月1日～4月10日	550	68	12.4%
いもとようこ絵本原画展	平成23年4月22日～6月19日	18,823	1,104	5.9%
藤城清治 光と影のシンフォニー	平成23年7月2日～10月10日	59,522	884	1.5%
クレーとカンディンスキーの時代	平成23年10月22日～12月11日	5,290	466	8.8%
新潟の画家たち 色と形を紡いで	平成23年12月23日～平成24年2月19日	3,732	362	9.7%
異国憧憬 ～あこがれの風景～	平成24年3月3日～3月31日(4月15日)	1,727	179	10.4%
合計		89,644	3,063	3.4%

I 展覧会の感想

展覧会名	良かった	まあまあ良かった	どちらともいえない	良くなかった	無回答	合計
画家のまなざし	56.9%	35.3%	0.0%	0.0%	7.8%	100.0%
いもとようこ絵本原画展	90.4%	5.3%	1.3%	0.5%	2.5%	100.0%
藤城清治 光と影のシンフォニー	91.5%	5.5%	0.7%	0.5%	1.8%	100.0%
クレーとカンディンスキーの時代	57.9%	32.4%	4.1%	1.7%	3.9%	100.0%
新潟の画家たち 色と形を紡いで	61.2%	32.8%	2.2%	0.0%	3.9%	100.0%
異国憧憬 ～あこがれの風景～	64.8%	31.8%	1.7%	0.6%	1.1%	100.0%
平均	70.4%	23.9%	1.7%	0.5%	3.5%	100.0%

II 作品や作家についての解説

展覧会名	適度な量である	量が多い	量が少ない	その他	無回答	合計
画家のまなざし	74.5%	9.8%	0.0%	2.0%	13.7%	100.0%
いもとようこ絵本原画展	69.1%	3.6%	7.0%	0.3%	20.0%	100.0%
藤城清治 光と影のシンフォニー	58.2%	15.4%	2.8%	0.2%	23.4%	100.0%
クレーとカンディンスキーの時代	62.4%	5.8%	12.4%	0.6%	18.7%	100.0%
新潟の画家たち 色と形を紡いで	55.9%	0.8%	11.9%	1.1%	30.2%	100.0%
異国憧憬 ～あこがれの風景～	67.0%	1.1%	8.4%	0.0%	23.5%	100.0%
平均	64.5%	6.1%	7.1%	0.7%	21.6%	100.0%

展覧会名	わかりやすい	難しい	簡単すぎる	無回答	合計
画家のまなざし					
いもとようこ絵本原画展	89.3%	1.5%	1.7%	7.4%	100.0%
藤城清治 光と影のシンフォニー	82.6%	8.9%	0.4%	8.0%	100.0%
クレーとカンディンスキーの時代	59.5%	25.9%	1.3%	13.4%	100.0%
新潟の画家たち 色と形を紡いで	58.8%	12.7%	8.6%	19.9%	100.0%
異国憧憬 ～あこがれの風景～	81.0%	4.5%	1.7%	12.8%	100.0%
平均	74.2%	10.7%	2.7%	12.3%	100.0%

III 展覧会についてどのようにお知りになりましたか

展覧会名	ポスター	チラシ	新聞	テレビ	ラジオ	雑誌	知人	県民だより	HP	フリーペーパー	インターネット	その他	無回答	計
画家のまなざし	31.1%	31.1%	10.7%	2.9%	1.0%	1.0%	8.7%	2.9%	3.9%	0.0%	1.0%	5.8%	0.0%	100%
いもとようこ絵本原画展	19.9%	13.6%	13.6%	31.2%	0.8%	2.3%	6.5%	1.5%	1.6%	1.4%	1.3%	4.5%	1.8%	100%
藤城清治 光と影のシンフォニー	16.9%	10.5%	22.0%	26.1%	1.0%	0.8%	13.6%	2.0%	2.3%	0.6%	1.9%	0.0%	2.2%	100%
クレーとカンディンスキーの時代	25.4%	17.6%	11.4%	7.6%	0.2%	2.5%	13.2%	2.2%	5.4%	1.6%	4.0%	6.5%	2.5%	100%
新潟の画家たち 色と形を紡いで	15.7%	12.6%	29.1%	4.7%	1.1%	2.0%	19.1%	3.6%	4.9%	1.3%	2.5%	0.0%	3.4%	100%
異国憧憬 ～あこがれの風景～	26.1%	19.3%	8.7%	3.2%	0.5%	3.7%	6.0%	1.8%	9.2%	2.3%	4.1%	13.3%	1.8%	100%
平均	22.5%	17.4%	15.9%	12.9%	0.8%	2.0%	11.2%	2.3%	4.5%	1.2%	2.5%	5.0%	2.0%	100.0%

お客様ご自身について

(1) 性別

	男	女	(不明)	計
画家のまなざし	47.0%	50.0%	3.0%	100.0%
いもとようこ絵本原画展	15.7%	66.1%	18.2%	100.0%
藤城清治 光と影のシンフォニー	14.8%	63.3%	21.9%	100.0%
クレーとカンディンスキーの時代	25.8%	54.3%	20.0%	100.0%
新潟の画家たち 色と形を紡いで	28.8%	52.4%	18.8%	100.0%
異国憧憬 ～あこがれの風景～	31.8%	54.5%	13.6%	100.0%
平均	27%	57%	16%	100.0%

(2) 年代

	小学生以下	中学・高校生	左記以外の10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	(無回答)	計
画家のまなざし	3.8%	3.5%	3.8%	5.2%	10.1%	14.7%	8.4%	0.6%	50.0%	0.0%	100.0%
いもとようこ絵本原画展	11.8%	7.1%	4.2%	13.7%	15.6%	13.7%	12.4%	6.9%	1.4%	13.1%	100.0%
藤城清治 光と影のシンフォニー	19.5%	12.2%	5.1%	9.5%	10.1%	9.0%	7.5%	6.4%	4.2%	16.5%	100.0%
クレーとカンディンスキーの時代	2.8%	3.0%	6.3%	13.6%	10.8%	18.4%	14.1%	13.4%	8.4%	9.1%	100.0%
新潟の画家たち 色と形を紡いで	1.7%	3.0%	1.1%	8.0%	7.2%	9.1%	15.2%	27.3%	15.4%	12.1%	100.0%
異国憧憬 ～あこがれの風景～	0.6%	3.9%	1.1%	20.8%	7.3%	10.7%	16.9%	20.2%	10.1%	8.4%	100.0%
平均	6.7%	5.5%	3.6%	11.8%	10.2%	12.6%	12.4%	12.5%	14.9%	9.9%	100.0%

(3) お住まい

	新潟市内	新潟市以外 の下越地区	佐渡地区	中越地区	上越地区	県外・海外	(無回答)	計
画家のまなざし	60.8%	7.8%	2.0%	13.7%	0.0%	15.7%	0.0%	100.0%
いもとようこ絵本原画展	44.5%	15.0%	1.8%	18.9%	2.5%	3.3%	13.9%	100.0%
藤城清治 光と影のシンフォニー	39.6%	14.1%	1.7%	13.0%	4.3%	8.7%	18.7%	100.0%
クレーとカンディンスキーの時代	52.9%	11.3%	0.2%	14.8%	2.1%	9.6%	9.0%	100.0%
新潟の画家たち 色と形を紡いで	55.0%	12.7%	0.8%	11.3%	1.7%	8.6%	9.9%	100.0%
異国憧憬 ～あこがれの風景～	53.3%	8.9%	2.8%	6.1%	1.7%	18.3%	8.9%	100.0%
平均	51.0%	11.6%	1.5%	13.0%	2.0%	10.7%	10.1%	100.0%

(4) 当館へは主としてどんな交通手段でおいでになりますか。すべてお答えください。

	自家用車	徒歩・自転車	バス	タクシー	貸切バス	電車	その他	(無回答)	計
画家のまなざし	44.6%	24.1%	15.7%	3.6%	1.2%	8.4%	2.4%	0.0%	100.0%
いもとようこ絵本原画展	62.7%	8.8%	17.2%	1.9%	0.5%	6.1%	1.1%	1.8%	100.0%
藤城清治 光と影のシンフォニー	62.4%	10.2%	15.4%	2.6%	1.1%	4.5%	1.4%	2.5%	100.0%
クレーとカンディンスキーの時代	48.1%	15.1%	19.9%	4.2%	0.2%	10.5%	0.8%	1.2%	100.0%
新潟の画家たち 色と形を紡いで	47.0%	8.2%	25.9%	3.7%	0.8%	12.9%	0.5%	1.1%	100.0%
異国憧憬 ～あこがれの風景～	45.6%	17.4%	18.5%	4.1%	0.5%	12.3%	1.0%	0.5%	100.0%
平均	51.7%	14.0%	18.7%	3.4%	0.7%	9.1%	1.2%	1.2%	100.0%

(5) 当館へ来たのは何回目ですか。

	初めて	2～4回目	5回以上	回答なし	計
画家のまなざし	51.9%	22.8%	20.3%	5.1%	100.0%
いもとようこ絵本原画展	36.7%	40.6%	20.1%	2.7%	100.0%
藤城清治 光と影のシンフォニー	44.0%	35.3%	17.0%	3.7%	100.0%
クレーとカンディンスキーの時代	23.6%	29.0%	46.1%	1.3%	100.0%
新潟の画家たち 色と形を紡いで	19.8%	31.9%	46.6%	1.7%	100.0%
異国憧憬 ～あこがれの風景～	28.3%	23.9%	46.7%	1.1%	100.0%
平均	34.0%	30.6%	32.8%	2.6%	100.0%

組織及び業務

新潟県立美術館の業務【20年4月現在】

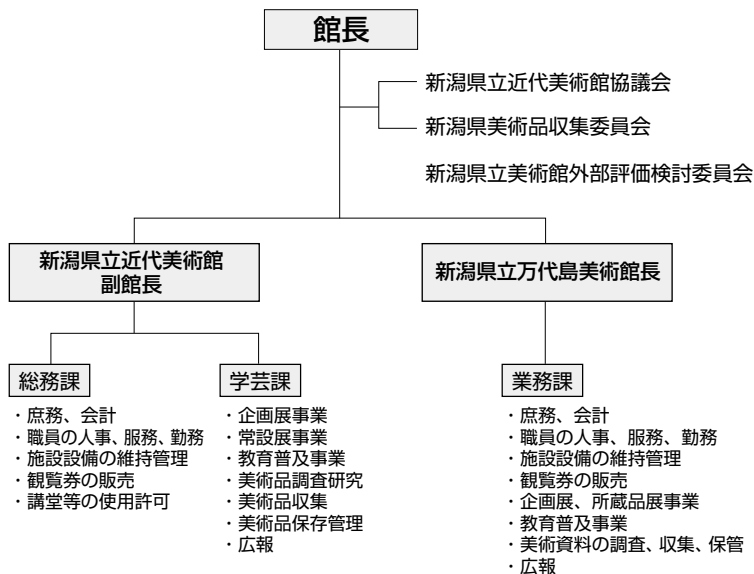
■新潟県立近代美術館条例（平成5年3月31日 新潟県条例第24号）（抜粋）

（設置）第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第18条の規定に基づき、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、新潟県立美術館（以下「美術館」という）を長岡市千秋3丁目に設置する。

2 前項に規定する美術館には、教育委員会の定めるところにより、分館として新潟県立万代島美術館（以下「万代島美術館」という。）を設置する。

（事業）第2条 美術館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術品、美術に関する資料等（以下「美術品等」という）の収集、保管及び展示
- (2) 美術品等の利用に関し必要な説明、助言、指導等
- (3) 美術品等の調査及び研究
- (4) 美術品等に関する講演会、講習会、映画会、研究会等の主催及びその開催の援助
- (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の目的を達成するために必要な事業



職員

新潟県立近代美術館

館長	徳永 健一
副館長	浅井 俊一
●総務課	総務課長 永井 泰雄
	主任 三津田美香
	主事 星野 豊彰
	主事 加瀬真奈美
	臨時的任用職員 加茂谷直子
	非常勤職員 深井 尚子
●学芸課	学芸課長 藤田 裕彦
	学芸課長代理 野村 宏毅
	専門学芸員 松矢 国憲
	副参事 佐藤 克己
	学芸課長代理 平石 昌子
	主任学芸員 荒井 直美
	主任学芸員 高 晟竣
	主任学芸員 長嶋 圭哉
	美術学芸員 伊澤 朋美
	嘱託員 池乗 進
	嘱託員 林 美穂子
	嘱託員 岩崎 聡子（～H24.1.31）
	嘱託員 本多 五月
	嘱託員 堀井つかさ
	嘱託員 中島 結衣
	嘱託員 関 沙織
	嘱託員 今井ひとみ
	嘱託員 島田菜穂子（H24.2.1～3.31）

新潟県立万代島美術館

近代美術館万代島美術館長	宮下 祐一
●業務課	業務課長 桐原 浩
	課長代理 篠田 洋子
	課長代理 宮下 東子
	主任学芸員 今井 有
	主任学芸員 池田 珠緒
	主事 高橋 奈緒
	美術学芸員 飯島沙耶子
	臨時的任用職員 荒木 美郷（～H23.12.28）
	臨時的任用職員 飯島 千秋（H23.12.6～）
	臨時的任用職員 石亀あすか（H24.1.17～）
	嘱託員 岡 有子（～H23.5.22）
	嘱託員 相馬 幸絵
	嘱託員 三浦 華林
	嘱託員 糸川 佳子
	嘱託員 五十嵐 茜
	嘱託員 宮本由紀恵
	嘱託員 五十嵐綾子（H23.5.25～）

新潟県立近代美術館

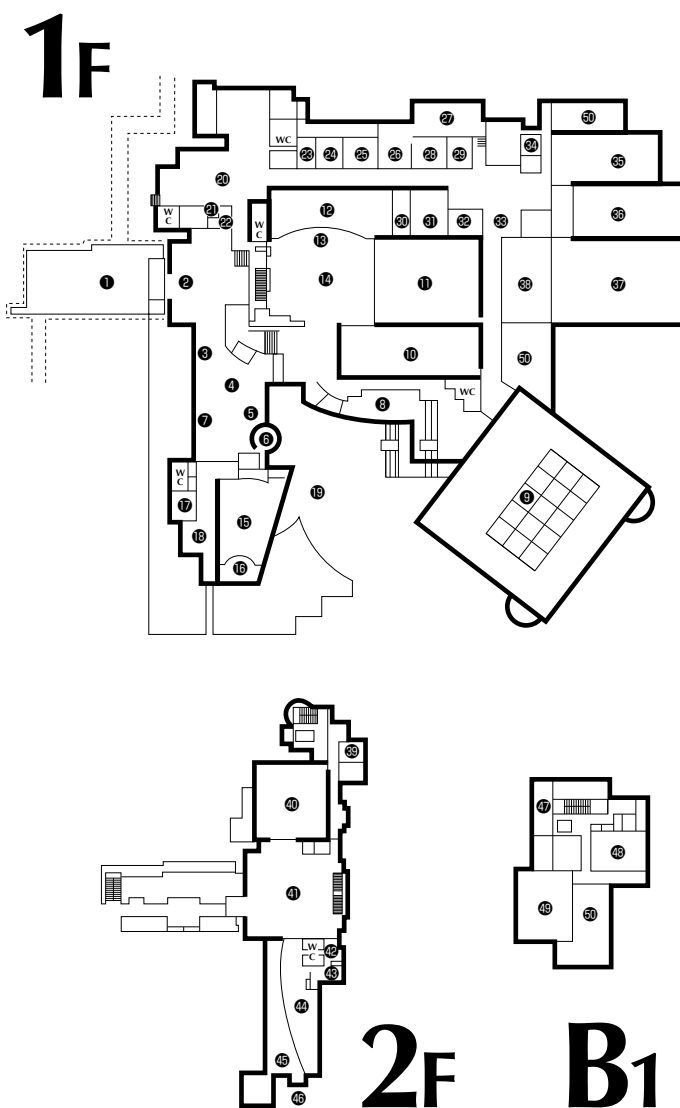
【施設概要】

〈名 称〉新潟県立近代美術館
 〈所 在 地〉新潟県長岡市千秋3丁目278-14
 〈設 計〉(株)日本設計
 造園設計 (株)日本設計・(株)日本造園
 設計期間 1990年9月～1991年2月
 〈監 理〉新潟県土木部都市整備局営繕課
 (株)日本設計
 〈施 工〉大成・吉原・小杉特定共同企業体
 電気工事 六興・大原・長岡特定共同企業体
 空調工事 三建・日立・越後特定共同企業体
 衛生工事 ナカムラ・北陸特定共同企業体
 ガス工事 北陸瓦斯(株)
 昇降機工事 日本オーチスエレベーター
 備品工事 (株)高島屋
 植栽工事 北陸緑化、ニューガーデン、
 長生園、宮川苑、吉茂造園、
 鈴木造園、新潟造園土木、
 長岡ガーデン、川崎農園、
 グリーン産業、松本造園
 工事期間 1991年7月29日～1993年5月31日
 〈総工事費〉 9,859,851千円
 支出内訳
 建築工事費 7,442,809千円
 造園工事費 1,216,187千円
 電気工事費 79,654千円
 展示工事費 1,121,201千円
 〈主体構造〉 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、
 プレストレストコンクリート梁
 基礎・地業 PHC抗
 〈規 模〉 地下1階、地上2階、塔屋1階
 軒高 13.0m
 最高高 19.250m
 主なスパン 3.9m
 階高 5.7m
 〈面 積〉 敷地面積 33,800㎡
 建築面積 9,133㎡
 延床面積 10,723㎡
 地下-機械室・電気室 716㎡
 1階-展示室・収蔵庫・講堂・
 事務室・他 8,873㎡
 2階-レストラン・県民ギャラリー
 1,064㎡
 屋階-E L V 機械室
 地域地区 市街化調整区域
 〈面積配分〉
 導入部門 1,356㎡
 (エントランスホール636㎡、
 ロビー576㎡、ほか)
 展示部門 2,674㎡
 (常設展示室391㎡+472㎡+265㎡、
 企画展示室1,332㎡、ほか)
 教育普及部門 384㎡
 (講堂234㎡、講座室53㎡、
 ハイビジョン67㎡、ほか)
 収蔵部門 1,746㎡
 (収蔵庫第一292㎡、第二575㎡、
 第三267㎡、作業室49㎡、ほか)
 調査研究部門 272㎡
 (研究室83㎡、資料保管室61㎡、
 書庫128㎡)
 管理事務部門 416㎡
 (事務室133㎡、会議室70㎡、
 館長室55㎡、ほか)
 設備・機械 1,017㎡
 (熱源機械室、電気室、空調機械室、ほか)
 他共用部門 2,858㎡
 (廊下、階段、ほか)

〈展示室の環境〉
 室の明るさ 70～150lux+局部照明
 照明方法 全体照明(ダウンライト・間接)
 スポットライトによる局部照明
 光源の種類 ハロゲンランプ(熱線カット)
 美術館用蛍光灯
 温度・湿度 夏季/26℃・50%
 冬季/22℃・55%
 〈主な設備〉
 空調方法 個別式(単一ダクト方式・FCU方式)
 熱源:ガス・電気
 熱源機器/ガス冷温水発生機2台
 冷房能力/240USRT
 暖房能力/52,000kCal/h
 冷却塔/2,810,000kCal/h
 空調機器/全空気方式 空冷ヒート
 ポンプエアコンファン
 給排水衛生 給 水/上水直結
 給 湯/中央式(ガス)、
 個別式(電気)
 排 水/屋内台流、屋外下水道放流
 給排水 B1F床上受水槽(FRP40㎡)
 排水槽/有効0.76㎡
 電 気 受 電/3相3線 50Hz 6.6kV
 660kW
 発電機/3φ3W 50Hz 6.6kV
 375kVA
 非常保安動力/300kVA
 非常保安電灯(スコット)/50kVA
 変圧器/1,400kVA7台
 防 災 消火/屋内消火栓、屋外消火栓、
 ハロゲン化物消失
 排煙/自然排煙
 屋内消火栓 粉末消火器 ハロン
 消火設備 ハロン消火器 連結散
 水設備 屋外消火栓
 昇降機 乗用E L V/750kg積
 (30m/分)1台
 人荷用E L V/3,000kg積
 (30m/分)1台
 駐車場 屋内2台、屋外165台
 〈主な外部仕上〉
 屋 根 アルミクラッド鋼板立ハゼ葺
 外 壁 四丁掛精妬器質タイル(割肌)
 二丁掛精妬器質タイル
 建 具 アルミサッシュ電解二次着色
 ステンレスサッシュH.L.仕上
 外 構 御影石ブロック+陶製ブロック舗装
 〈主な内部仕上〉
 エントランスホール
 天井/コンクリート打放し
 壁/御影石こぶ出し仕上
 床/御影石ジェットバーナー仕上
 展示室 天井/P.B.E.P.
 壁/ガラスクロスE.P.
 床/タイルカーペット
 収蔵庫 天井/壁/スプルス
 床/ナラ縁甲板張
 講 堂 天井/
 壁/四丁掛精妬器質タイル+P.B.E.P
 床/カーペット
 研究室・事務室
 天井/岩綿吸音板
 壁/ビニールクロス貼
 床/タイルカーペット

【施設の配置】

- | | |
|---------------|-------------|
| ① キャンピー | ②⑥ 研究室 |
| ② エントランスホール | ②⑦ 書庫 |
| ③ ロビー | ②⑧ 資料保管室 |
| ④ ミュージアムショップ | ②⑨ 倉庫 |
| ⑤ データベース室 | ②⑩ フィルム保管室 |
| ⑥ ハイビジョンギャラリー | ②⑪ 撮影室 |
| ⑦ レファレンス | ②⑫ 作業室 |
| ⑧ 企画展示室ロビー | ②⑬ 荷解室 |
| ⑨ 企画展示室 | ②⑭ 燻蒸室 |
| ⑩ 展示室 1 | ②⑮ 収蔵室 1 |
| ⑪ 展示室 2 | ②⑯ 収蔵室 3 |
| ⑫ 展示室 3 | ②⑰ 収蔵室 2 |
| ⑬ 常設展示室ロビー | ②⑱ 展示備品倉庫 |
| ⑭ 中庭 | ②⑲ ガラリー控室 |
| ⑮ 講堂 | ②⑳ ガラリー |
| ⑯ ステージ | ②㉑ アトリウム上部 |
| ⑰ 講座室 | ②㉒ レストラン事務室 |
| ⑱ 講堂ロビー | ②㉓ 厨房 |
| ⑲ 屋外展示スペース | ②㉔ レストラン |
| ⑳ 事務室 | ②㉕ 吹抜 |
| ㉑ 乳児室 | ②㉖ テラス |
| ㉒ ロッカー室 | ②㉗ ドライエリア |
| ㉓ 応接室 | ②㉘ 電気室 |
| ㉔ 館長室 | ②㉙ 熱源機械室 |
| ㉕ 会議室 | ②㉚ 空調機械室 |



新潟県立万代島美術館

【施設概要】

〈機能別延床面積〉

	内 訳	用 途 等	面 積
展示 1,400㎡	第一展示室	美術館所蔵の美術品等の展示	420㎡
	第二展示室	国内外の美術品等の企画展示	980㎡
収蔵 134㎡	収蔵庫	美術品等の保管	106㎡
	収蔵庫前室	収蔵庫の温室度を安定させる	28㎡
専用エレベーター	29㎡	地下1階より美術品を搬入	29㎡
管理 559㎡	事務室	学芸員、一般事務の執務室	63㎡
	資料倉庫	文書・書籍カタログ等の収納	33㎡
	準備室	展示作業用の作品移動ケース置場等	95㎡
	荷解室	美術品の開梱・点検場所	93㎡
	救護室	来館者の救護、職員の休憩等	22㎡
	給湯室	給水、湯沸かし等	3㎡
	トイレ	職員・来館者用	84㎡
	空調機械室	美術館専用の空調機械設置	120㎡
共通 649㎡	ポンペ庫	ハロン消化設備用ポンペ庫(予)	46㎡
	ロビー	来館者の導入、休憩及びインフォメーション等	271㎡
	廊下等	来館者の通路、避難経路など	359㎡
	乳児室	乳児のために使用	6㎡
その他 159㎡	ロッカー・ルーム	来館者の利便のために手荷物を保管	13㎡
	専用エレベーター(B1F)	美術品の搬入用	25㎡
	専用エレベーター機械室	専用エレベーター用の機械設置	14㎡
専用荷捌スペース	美術品の荷捌スペース	120㎡	
合 計			2,930㎡

〈建築概要〉

1. 全体概要

種 別／複合ビル内包型 公立美術館

所 在 地／新潟県新潟市万代島5番1号

工事期間／平成12年10月3日～

平成15年3月30日

敷地面積／103,128.93㎡

(万代島一団地認定敷地全体)

建築面積／6,017.37㎡

延床面積／52,585.54㎡

(うち、美術館2930.00㎡)

構造種別／鉄骨鉄筋コンクリート造

階 高／美術館フロア6.3m

2. 建築主体

設 計／鹿島建設株式会社一級建築士事務所

監 理／鹿島建設株式会社一級建築士事務所

施 工／鹿島・大成・福田・五洋・本間・東
亜共同企業体

3. 仕上げ(美術館部分のみ)

屋 根／鉄筋コンクリート下地断熱アスファ
ルト防水押え、コンクリート鋼製根
太組天然スレート敷

外 壁／プレキャストコンクリート下地アル
ミスパンドレル張り、アルミカーテ
ンウォールふっ素樹脂焼付塗装、プ
レキャストコンクリートカーテン
ウォールふっ素樹脂常乾塗装

内 装／(設備概要を参照のこと)

4. 電気設備

電力引込／3相3線6.6Kv50Hz、2回線受電、
地中引込

受 変 電／1階サブ変電所。

キュービクル式受変電設備

非常用電源／発電機1台、ディーゼル1000KVA、
蓄電池400AH

電話設備／電話配管(機器、配線は別)

放送設備／非常放送兼用アンブ 1160W、130回線。

美術館業務用アンブ 80W、5回線

5. 空調設備

熱 源／全体熱源：冷温水発生器(ガス焚)
240RT×2台

収 蔵 庫：空冷ヒートポンプ

空 調 機／コンパクトエアハンド

単一ダクト

換 気／個別換気

給気ファン1台、排気ファン15台

制御機構／24時間中央温度管理システム

6. 昇降機

乗 用／ロープ式 210m/分 定員20名

1,350kg 4基(うち、車椅子仕様1基)

荷 物 用／油圧式

15m/分 3,000kg 1基

テーブルリフター／

リフト 0.9m

テーブル 2.0m×2.0m 3,000kg

〈設備概要〉

1. 展示室概要

壁 仕 上／不燃プラスチックボード、ガラスクロス
表面仕上げ。

床 仕 上／フローリング

可 動 壁／不燃プラスチックボード、ガラスクロス
表面仕上げ。L4.0m×H4.5m：30枚、
L2.0m×H4.5m：26枚、L2.4m×
H4.5m：4枚

固定展示ケース／2箇所

(外側) スチール製・高透過ガラス・スチール製・
アクリル焼付塗装、高透過ガラス・重量
キャスター・アジャスター付、シリンダー
錠付

(内側) 低ホルマリン合板、クロス張り、エアタイト、
寸法D18.0m、W1.2m、H4.5m

照 明／全て美術館用UV/IRカットフィルター付
ベース照明：ハロゲンウォール
ウォッシャー200W

展示照明：ローボルトハロゲン
(12V50W)、

ケース内照明：高効率照明器具
(32W) およびローボルトハロゲン
(12V50W)

設定温湿度／春・夏期：23℃、60%
 秋・冬期：20℃、50%
 (変動率±3℃、±10%以内)

2. 収蔵庫概要

床 仕 上 / フローリング
 壁 仕 上 / ゼオライトパネル (天井共)
 内部寸法 / L11.5m、W7.5m、天井H3.5m
 入口寸法 / H3.0m、W3.0m
 収蔵庫内作品固定方法 / 収蔵棚
 収蔵庫扉の構造及び仕様 / スチール製
 耐火2時間扉
 照 明 / 高効率照明器具 (32W)。美術館用
 UV / IRカットフィルター付。
 空 調 / 恒温恒湿パッケージ2台 単一ダクト
 (VAV)
 設定温湿度 / 春・夏期：22℃、55%
 秋・冬期：22℃、55%
 (変動率±2℃、±5%以内)

3. 搬入口関連概要

専用搬入口寸法 / H3.8m、W5.0m
 高位置の接岸ドック / 地上からの高さ0.7m
 可動接岸ドック / 0~0.9mレベルまで
 油圧式リフト / 最大重量3,000kg
 クレーン / 最大重量3,000kg
 搬入可能なクレーンの最大サイズ /
 H3.0m、W3.0m、D3.0m
 セキュリティ / 画像センサー機械警備

荷解室への立入管理 / カードリーダー方式電気錠
 昇降機内部寸法 / L3.6m、W3.0m、天井H3.0m

4. 防災設備

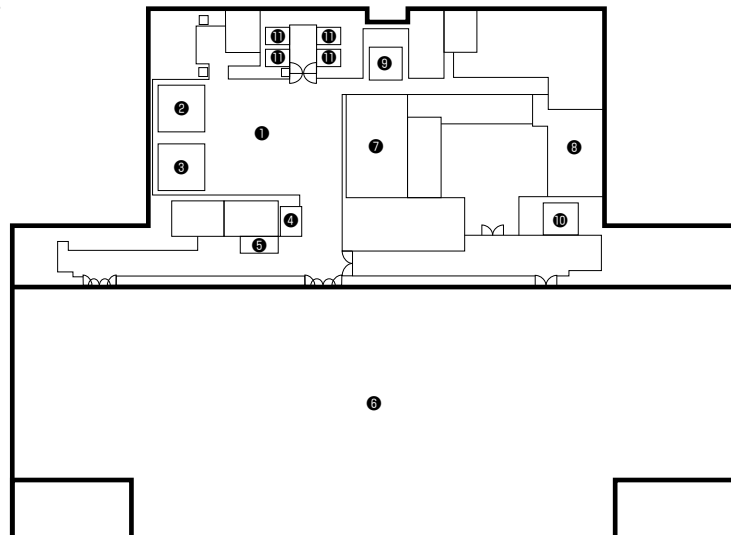
消火設備 / 湿式スプリンクラー (全体)
 展示室、準備室、荷解室及び収蔵庫
 はハロン消火
 感知器の種類 / 自動煙感知
 火災警報への伝達 / 発信機、非常電話
 補助消火栓 / 搬入場所1基、その他4基
 連結送水管 / その他2基
 消 火 器 / 搬入場所：粉末ABC
 展 示 室：ハロンガス
 そ の 他：粉末ABC及びハロンガス

5. 防犯設備

監視設備 / ITVモニター、ITVカメラ15台
 (美術館14台、EV1台)
 機械警備設備 / 画像センサー+スピーカ
 警備会社 / SECOM株式会社
 使用警報機の種類 / 画像センサー及び
 水銀スイッチ
 警報入電場所 / 館内中央監視盤及び
 美術館事務室
 盗難防止ケースの種類 /
 ガラス・ケース及び壁面固定
 ケース全てにシリンダー錠付

【施設の配置】

- ① エントランスホール
- ② ミュージアムショップ
- ③ ハイビジョンギャラリー
- ④ 情報検索コーナー
- ⑤ 授乳室
- ⑥ 展示室
- ⑦ 収蔵庫
- ⑧ 事務室
- ⑨ ロッカー・自販機
- ⑩ 作品専用エレベーター
- ⑪ エレベーター



新潟県立近代美術館協議会

【委員】

(平成22年6月1日から平成24年5月31日まで)

●学識経験者

◎近藤フチエ (新潟大学教育学部教授)

松本 健義 (上越教育大学大学院学校教育研究科教授)

丸山 結香

(有限会社 マックス・ゼンパフォーマンス・コンサルタンツ代表取締役)

○雪山 行二 (和歌山県立近代美術館長)

渡辺 富栄 (新潟県美術家連盟会員)

●社会教育関係者

丸田 洋一

(元新潟県文化振興財団事業課長)

●学校教育関係者

須佐 尚子

(新潟県高等学校教育研究会美術・工芸・書道部会部長)

日諸 博美

(新潟県美術教育連盟理事)

●一般公募

上原みゆき (主婦)

高橋健太郎 (株式会社アール・イー代表取締役)

※◎は委員長 ○は副委員長

【日程及び内容】

第1回新潟県立近代美術館協議会

日程：平成23年5月21日(土)

内容：(1)平成22年度「美術館の自己評価に対する委員評価」の作成について

①近代美術館・万代島美術館の自己評価について

②今後の作業予定について

(2)平成23年度事業について

第2回新潟県立近代美術館協議会

日程：平成23年9月17日(土)

内容：(1)平成22年度「美術館の自己評価に対する委員評価」について

(2)平成23年度の評価の方法について

第3回新潟県立近代美術館協議会

日程：平成24年2月19日(日)

内容：(1)平成23年度評価シートおよび評価分担について

(2)平成23年度美術館事業の途中報告について

【自己評価に対する委員評価】

はじめに

昨年度に引き続き、自己評価と委員評価のいずれも、「展覧会」、「教育普及等関連事業」、「調査・研究、収集・保存、発信」、「環境・設備」、「協働組織」についてそれぞれ目標を定め、反省点を挙げつつも、目標の達成に一定の成果を上げたという結果となっています。設定された目標に対し、様々な工夫を行って、目標の達成を目指してきたことがわかります。この数年間の評価を振り返ると、一定の目標に対して継続的に活動してきているので、具体的な成果が数値や顕著な傾向となって現れてきています。ただし、このような評価が実際の美術館の活動の大きな改善につながっているとは一概に言うことはできず、ここで言う評価が対象としていない問題も別に存在することを指摘しておくべきでしょう。

美術館を訪れる多くの人々は、日ごろから企画展自体や美術一般に対して関心を持っています。一方で、そうでない人たちが美術館を訪れるには、何らかの理由があります。アンケートにもあるように、マスメディアなどを通じて企画展の情報に接し、それによって美術館を訪れるのです。観客は、訪れる前に企画展のある程度判断していると言っていいでしょう。しかしながら、この評価においては常設展の企画を除いて、最も重要な企画展の企画性そのものを評価することができません。美術館に対する評価においては、与えられた条件の中で美術館が最善を尽くしているというだけでは、十分ではないはずです。優れた活動に対してもさらなる改善のために評価は正當に活用されなくてはなりません。

毎年予算が縮小され、企画展が見劣りしたものになっていく時、美術館関係者の地道な努力は県民にはなかなか見えてきません。美術館の自己評価と外部評価は行っていればよいという性質のものではなく、次年度以降の予算や目標に反映されるべきものです。また企画展や作品の購入についても、予算的に裏付けを得られないなら、美術館の基本的な活動は、日常的業務の範囲内の改善に留まり、より高次の芸術文化を渴望する来館者を満足させることはできないでしょう。

そのような状態を脱するためには、県民が自分たちの税金で作った美術館が地域と世界の芸術文化への理解を育み、発展に寄与する人材の育成につながる場となるように、改めて県民のための美術館を作り上げて行くという意識を認識することが必要であり、そのような声なき声が今後美術館の運営に反映されることを大いに期待したいものです。

平成24年10月

新潟県立近代美術館協議会
会長 近藤 フチエ

第1章 県立近代美術館の自己評価に対する総括的所見

1 平成23年度における美術館運営の全般について

平成23年度は、東日本大震災直後で全国的に活動が停滞化していた中でありながらも、当該地域の美術館への協力人員の派遣や避難者の美術館利用などもあり、美術館の運営は順調に行われたと言える。展覧会企画会社が企画した展覧会についても、美術館が独自の工夫を凝らしながら、特に大勢の観客を得た県立近代美術館の「借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展」、県立万代島美術館の「藤城清治展」では、絵画を壁に飾るこれまでの展覧方式とは異なり、美術館の空間を活用した一種の環境アートであって、美術館が万国博覧会のテーマパークのような雰囲気包まれた。鑑賞者も従来の美術愛好者とは異なり、より自由に主体的に、楽しい見世物、映画や物語の世界に引き込まれるなど、アートの新境地を提供することができたと言える。近年のアートの広がりに対応して、美術館の企画も変化して行くのは当然であり、日常的な感覚でアートを楽しむ若者や大衆の要請に応じていかなければならない。

教育普及等関連事業については、学芸員による美術鑑賞講座の継続をはじめ、ワークショップによる参加型講座、また出前講座や巡回ミュージアムによる鑑賞と体験、ワークシートの作成など、教育機関と積極的に連携した取組に多様な工夫が見られたが、さらなる改善が期待される。

調査・研究、収集・保存、発信については、次年度以降の企画展のための聞き取り調査や各種研究会への参加、企画展に関わるテーマの論文執筆等がなされており、これらは美術館運営に欠くことができない。美術鑑賞講座、展覧会図録の刊行、広報活動も、そのような調査研究等の基本的な活動を踏まえて質的な高さが保証されるものである。

また、美術館の環境・設備については、地域住民の誇れるものとして、また建物の老朽化や美術館の業務に差し支えのあるような事態を未然に防ぐためにも、職員は常に配慮する必要があり、不測の事態に備えて、通常枠以外の予算を認めてもらえるよう努めることが大切である。

協働組織については、長岡造形大学との連携が実現し、さらに周辺施設と連携が進められた。県立万代島美術館のサポートスクールの試みは、美術館と教育機関の連携を継続的に進めることで教育プログラムの作成が可能になる。タクシー会社との連携もすぐには効果が無くとも、県内外の訪問者の誘導のための地道な取組として評価される。

2 目標設定のあり方について

各分野で設定された目標は、これまで試行に留まっていたものを重点的に、達成をめざして活動の在り方を検証しつつ、改善の方向性を示すものであった。しかしながら、すべての目標が適切であったのかという疑問や、当初の計画通りに行かなかった項目もある。職員全員が目標達成のために方法や成果の検証などについて、意思を共有することが重要である。

中期目標の「④新潟県の芸術文化の発掘・保存・発信の場となる」については、物故作家のコレクションを中心とした常設展のほか、地域の作家の企画展が中心となっている。ただし、よく取り上げる作家たちだけでなく、より多様な地域や表現領域にも目を向けて新たな人材を発掘し、支援することが望まれる。地域の芸術文化の育成は、美術館事業の多様な分野に波及することから、その成果を判定するためには、個別的な取組についてその質と量を問う必要がある。

また、展覧会企画会社が企画した展覧会と美術館が独自に企画した展覧会を必ずしも同一の基準で評価することはできないので、年間の観覧者数や収支において、トータルで調整を図ったり、あ

るいは収支目標を超過した場合には、美術館に利益を還元できるような予算面での柔軟な改善が望まれる。

3 目標に対する達成状況について

問題点や改善点を自ら指摘しているように、多様な活動により各分野の目標はおおむね達成されたと判断される。ただし、目標の達成状況は数値だけでは十分でなく、利用者のアンケート結果の具体的な分析によってより正確な利用者の声と目標に関わる諸般の状況を知ることができる。

第2章 分野別に見た自己評価に対する委員評価

1 展覧会に関する評価

(1) 実施目標に対する達成状況について

展覧会の広報活動と普及活動については、新しい試みにも大胆に挑戦することによって、多大な成果をあげている。また、展覧会の構成と展示についても、より深い鑑賞を可能にするため、さまざまな工夫と努力を払っている。さらに、展覧会の企画会社が主導する展覧会においても、可能な限り美術館の主体性を示そうとする姿勢は評価してよいだろう。

しかし、展覧会が自主企画展と企画会社主導型の展覧会に二極分解していく中で、両者をつなぐことが極めて困難になっているのが現状である。後者の中には、「借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展」のような斬新な内容を持つ展覧会もあるが、それは一時的なイベントに終わり、美術館にとっては活動の成果として蓄積されない可能性がある。企画会社主導型の展覧会の観覧者をどのようにして自主企画展あるいは常設展に導入できるかが大きな課題である。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

取組内容は、きめ細かく計画され、斬新なものも多く見られるが、企画会社主導型の展覧会にどのように対処するかという基本的な方針が不明瞭である。

(3) 自己評価に対する総括

自己評価については、問題点を的確に指摘して適切である。

2 教育普及等関連事業に関する評価

(1) 実施目標に対する達成状況について

○県立近代美術館

教育普及に関する参加率は10ポイント以上上昇しており、目標は達成されている。

○県立万代島美術館

実施目標はおおむね達成されている。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

○県立近代美術館

展覧会に即した美術鑑賞講座は、展覧会での鑑賞を深めるための工夫がなされている。今後は大学や研究者等との連携により、講座内容に対する参加者の期待に応えるよう質的な充実を図るとともに、参加者の継続参加意欲を喚起するスタンプラリーや資格設定なども期待される。

他組織との連携では、長岡造形大学の子ども大学校をはじめ、展覧会に即した内容のワークショップの参加率が高く好評である。今後は、大学での単位化等による連携の互恵化を図るとともに、作品への関わり方に広がりを持たせたワークショップ型鑑賞の開発を連携して進めることで、美術を愛好する若年層の拡大が期待される。

出前講座は、地域の団体・学校等と連携した事業として要望も高く、子育て広場、児童館、図書館、小中学校等の教育機関との連携も恒常化し、充実した内容で実施されている。

巡回ミュージアムは、新たに中学校での実施に伴い、参加者を1000名以上増加させており、学校との連携モデルとして期待される。ただし、作品保護上の展示環境の確保と離島での実施を実現させるためには、予算確保が課題となる。例えば、資金や運送、宣伝等の側面で、企業特徴を活かした協賛を得て、ホームページや開催案内等でPRするといった互恵的な連携を組むことによって、課題が解決されることを期待したい。

○県立万代美術館

館外の人材を活用した展覧会に関わるイベントは、新潟の作家や地域の演奏家等の協力を得るなど、美術館を支える体制に厚みと広がりが見られている。

友の会との連携・協働は、友の会の特性を活かした連携と協働のあり方及び年間計画を改めて明確にし、他の地域連携と差異化させた展開が今後期待される。

学校への鑑賞用ワークシートの提供と出前授業は、学校の教育活動に美術館の利用を促すとともに、学校での鑑賞学習を美術館と協働して実践する新たな連携の基盤を作るものである。また、大学での単位化や教育研究との連携も今後ますます期待される。

教育普及関連事業は前年度と比べ種類を増やして回数も約2倍にして、一層多彩に実施されている。それに伴い参加者は約4倍に増加し、効果的な工夫の成果が表れている。

(3) 自己評価に対する総括

自己評価については、適切と判断される。平成23年度は小中学校及び大学との連携に具体的な展開が見られ、各種企画への参加者が増加しただけでなく、事業運営における協力機関との連携が具体化され、さらなる可能性が示されてきたと言える。今後は、予算と協賛・賛助等による活動運営資金の安定化を図ることや、美術館との連携が協力機関のイメージ向上と教育効果等において互恵的な形式となるように、友の会を含めた個々の連携機関の特性に応じて連携方法の多様化を進めていくことが望まれる。

3 調査・研究、収集・保存、発信に関する評価

(1) 実施目標に対する達成状況について

○県立近代美術館

県内での作品調査のほか、次年度以降の展覧会計画に基づいて、GUN展のための聞き取り調査や、全国美術館連絡協議会による研究集会「朝鮮を愛した美術家たち」に参加するなど、着実な活動を展開していることを評価したい。

また、館の独自制作による展覧会図録を1冊以上刊行するという目標に対し、3冊刊行できたことを極めて高く評価したい。展覧会図録は、調査研究を発表する最も重要な場であるとともに、美術館活動の記録でもあることから、経済的ならびに労力上の負担が大きいことは理解できるが、今後とも展覧会図録の刊行を堅持してほしい。

○県立万代島美術館

「クレールとカンティンスキーの時代」展および「新潟の画家たち」展では、展覧会図録を刊行して学芸員が論文を執筆したほか、関連した美術鑑賞講座を実施するなど、積極的な取組が見られる。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

取組内容には、特別目新しいものはないが、これらは美術館の基本的な課題であることから、着実に実施することが美術館の本来の使命を果たすことにおいて不可欠であると考えられる。

(3) 自己評価に対する総括

自己評価については、問題点あるいは実現できなかった理由などを的確に示していて妥当である。

4 環境・設備に関する評価

(1) 実施目標に対する達成状況について

今年度計画の確実な実施については、蓄電池交換工事、受変電設備交換工事、駐車場ライン引き直し工事を予定通り実施し目標を達成した。

来年度予算の獲得については、重要設備である空調設備のオーバーホール費用1台分は獲得し、次年度に向けても獲得に努力している。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

平成25年度の開館20周年を迎えるに当たり、老朽化した諸施設の修理を行うことは美術館の取組としては妥当なものと言える。

県の予算システムが大きな壁になっているようだが、「修繕計画」のロードマップを作成し、主管課と共通の認識の下に協議を続けてほしい。

(3) 自己評価に対する総括

現在の予算システムでは、大規模修理やリニューアルは無理であるとのことだが、昨年度の評価報告書でも記載した通り緊急を要するまたは危険箇所に対する修繕のための予算獲得は何にもまして優先されなければならない。老朽化や劣化設備の修理の遅れが致命的な事態（来館者のケガ、所蔵品の破損、劣化など）を引き起こす結果にならないように引き続き主管課を通じ県当局に要求されたい。

県民共有の財産である美術館は、「予防保全」の考えで施設の修繕、保守を行うべきであり、通常の予算枠以外での予算獲得策を早急に検討する必要があるのではないかと。

5 協働組織に関する評価

(1) 実施目標に対する達成状況について

○県立近代美術館

単年度目標である「長岡造形大学との連携を深める」に関して、学生と学芸員の協働による試みを実現している。成果として大学との協力関係が整い、JAGDA新人賞をはじめいくつかの企画を成功させている。また、大学だけでなく、周辺の施設などとイベントでの連携や、駐車場の借用など館の不足機能を補完するための協力体制も出来つつある。よって、実施目標はほぼ達成していると考えられる。長岡造形大学をはじめ市内の大学、教育機関との連携、協働は、長年の課題であり、ようやく実現への一歩が踏み出せたことは高く評価できる。

○県立万代島美術館

2つの目標の内、「サポートメンバー（ボランティア）活動を軌道に乗せる」に関しては、サポートメンバーとの活動日程の調整に課題があり、積極的な活動は出来ていない。よって、活動を軌道に乗せるレベルまでには達していないと考える。出来るだけ早い時期に年間の活動計画を立てるなどの基本的な準備が出来なかった原因は何であったのか、また、間口を広めて募集するよりも、活動しやすい世代などに絞り込んでアピールし募集することも必要ではないだろうか。

次に、「近隣施設との連携・協働（サポートスクール等）」に関しては、22年度から継続して連携・協働の取組対象として、近隣学校やタクシー会社との関係強化を進めており、23年度は取組・事業目標である親密な関係構築は実現しつつあると感

じられるが、この取組が同じく目標である集客力の向上にどの程度貢献しているかについては不明である。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

○県立近代美術館

「長岡造形大学等との連携を深める」という取組内容は妥当性があると評価する。館の運営の活性化や機能の補完はもちろんのこと、館の担う社会的使命、中期目標にある美術に関心がある人材を育成することにもつながるからである。

○県立万代島美術館

サポートメンバー活動と近隣施設との連携・協働ともに、取組内容には妥当性がある。特に、サポートメンバーは、館の運営のサポートだけでなく、利用者の代弁者として貴重な意見やニーズをもたらしてくれる存在でもある。本腰を入れて企画し、具体的な活動を今後望みたい。サポートスクール等に関しては、集客を意図するだけでなく、協働による新たな教育的な取組に発展することを期待したい。

(3) 自己評価に対する総括

○県立近代美術館

大学との連携・協働という枠に留まらず、若い世代の創造性を育てる教育機関としての役割を期待したい。学生が館をサポートするだけでなく、館で実践を学ぶ取組（単位化も含めて）が多く企画されると良いだろう。

○県立万代島美術館

サポートメンバー活動に関しては、自己評価では満足のいく成果は出せていないが、トライ＆エラーを繰り返しながらも館の特徴や立地条件などを考えた万代島美術館らしいボランティア活動のスタイルを模索し確立してほしい。観光タクシーとの連携では、解説会などの情報発信だけでなく、観光タクシーのドライバーが案内したくなるような美術館になるべく、彼らからニーズや課題などを引き出す機会を設けてみてはどうだろうか。

第3章 平成24年度県立近代美術館運営への提言

【近藤フチエ 会長】

県立近代美術館は、義務教育との連携はかなり進んでいるのに対し、市民との連携はまだ希薄なように見えます。大学生のための学芸員の実習の他に、高齢者から幼児に至る世代に合わせた生涯教育のプログラムの開発に取り組んでほしい。現場の教育者も必要性を感じながらも十分に取り組んでいない課題だからです。

また、美術館には大変立派な講堂や展示場があり、それらの施設設備が十分に活用されていないように思います。県民が気軽に安価で自由に使える場所として、様々な県民の利用に供することが望ましい。これは新潟市美術館のギャラリーの使用がかなり盛んに行われているのと比較してあまりに低迷しています。設備の十全な活用は評価の対象でもありますが、何に原因があるのか改善が望まれます。

県立近代美術館を取り巻く様々な芸術文化活動との連携、例えば長岡市、県立歴史博物館、長岡市立科学博物館、あるいは越後妻有アートトリエンナーレ、新潟市の水と土の芸術祭や地域の芸術活動との連携を探ることで、単一ではできないような大規模な活動を展開することもできます。他の地域で行っているような工夫が本館でも可能だと思われるので、一層の工夫を期待したいところです。

美術館の収集活動は、館の特質を打ち出す上で最も重要なものです。美術館の設立時の収集理念については、時代の変化の中で

コレクションをより魅力的なものに発展させていくことができることから、今後は美術館の将来構想として改めて考えていかなければならない課題でしょう。

【雪山 行二 副会長】

美術品の収集活動については、寄贈作品を少数受け入れただけで、残念ながら改善の兆しは見られなかった。特に近現代美術を扱う美術館において、美術品の収集は新しい血を導入するようなものであり、活力の源である。美術館は自らの収集方針に基づいて作品を購入することにより、コレクションの形成が美術館活動の根幹にあることを示す必要がある。現在凍結されている美術品収集基金のすみやかな解除を求める次第である。

参考のために一例を挙げておこう。私が平成24年3月まで勤務していた和歌山県立近代美術館でも予算の削減は続いているが、美術品購入費は毎年700～800万円が計上されている。同館が所蔵品の適正な保存管理とコレクション形成を重視していることが、作家、作家の遺族、コレクター、美術商に広く知れ渡った結果、この数年間は毎年1000点を超える寄贈作品を受け入れている。購入の再開を希望する理由である。

展覧会については、自主企画展と企画会社主導型の展覧会に二極分解していることを憂慮する。企画会社が持ち込んだ人気作家の展覧会を開催して多くの人々に喜んでもらうことは有意義であるが、この場合、主催館が展覧会の内容と構成に関与することは一般的に難しい。展覧会予算に占める一般財源の比率が極めて低い現状においては、収支が見込めるパッケージになった巡回展に頼らざるを得ないことは十分に理解できるとはいえ、この体勢を続けていくと学芸員の能力が低下し、各美術館の個性が失われていくことは避けられない。この種の展覧会に訪れる多数の来館者を、どのようにして自主企画展あるいは常設展の観覧者にすることが大きな課題である。この種の展覧会の開催を決定するに当たっては、そのメリットとデメリットをあらかじめ詳細に検討しておく必要があるだろう。

ちなみにこの種の展覧会は一般に新聞社等との実行委員会方式で運営されるが、収益があった場合でも、出資比率に応じて新聞社等と県等に還元され、多大な努力を払った美術館には還元されない。美術館職員のモチベーションを高めるためにも、県側の収益は美術館の活動資金に充てるべきではないだろうか。

また、予算不足から美術館は調査・研究、広報・普及などに必要な資金の一部を民間企業や財団からの助成金に頼らざるを得ない状況にある。しかし、獲得した助成金が予算に計上された予定額を超えると、県に超過分を没収されるというのが現状ではないだろうか。美術館の設置者である県は、館が本来の使命を十分に果たせるよう予算など財政面においても特別の配慮をしていただきたい。それは、設置者としての責務であると私は思う。

【松本 健義 委員】

県立近代美術館、県立万代島美術館ともにそれぞれの特性、立地条件を活かした多面的な教育普及事業が実施されており、広範な年代層が各種の企画を窓口として参加できる工夫がなされている。各企画への参加者数も大幅に増加しており、県民の憩いや学習の場として機能していることが伺える。

23年度は新たな方向性として、小中学校や大学の教育活動と連携した企画、学校への巡回ミュージアム、学校での教育活動への鑑賞シートの提供などに特に進展が見られた。こうした相互的で互恵的な協働が組織間に実際に作りだされたことで、予算、事業対象、個々の組織との連携・協働の差異化や個性化が、今後の課題及び可能性として明らかになってきた。

24年度は、この成果と課題を足場として中期的なビジョンに立ち、美術館の企画と事業の体制を、ボランティア、市民団体、学

校、企業の特性が互いにより触発されるような互恵的関係を構築し、相互に協働者個々の個性が際立つようネットワーク化することで、美術館を軸とした厚みのある互恵的協働を安定的に構築することが期待される。また、学校教育と生涯学習が連動する事業のあり方や、美術館・学校・大学の連携した鑑賞活動の開発と指導者養成（教員研修）も現代的な課題である。美術に関心をもつ人材育成による若年層への教育普及と利用者の増加、大学における教育研究、地域の美術文化の普及発展への貢献を通じた生涯学習などに美術館の教育普及事業が寄与することで、県民の文化レベルの向上につながると言える。

【渡辺 富栄 委員】

全国いくつかの都市を巡回する企画展の場合は、企画元の意向が強く反映され、館独自の構成や学芸員の工夫の余地がないことが評価シートに触れているが、私はそうした出来合いの企画展は可能な限り絞り込んで、地味でもよいから手作りの味がする企画展の実施を心がけていただきたいと思う。例えば、県立近代美術館のすべての所蔵品を数年かけて展示するのを、県立万代島美術館と一緒に継続してやる試みなどがあつたら嬉しい。県立近代美術館では常設展をよく観るが、会場が狭いこともありすべての所蔵品を観ることは何年経っても不可能である。入場者数が飛躍的に増えるなどということはあるまいが、郷土の美術館にどんな作品があるのかを知ることは、館への愛着にもつながると思う。私は、時折、東京国立博物館や東京国立近代美術館に出かけるが、企画展は長蛇の列だが常設展はいつも人影も少なく静かに落ちていて作品と対峙できる。常設展はこれでよいし、これこそが館本来の姿でもある。近年はどのような公立機関でも外部評価を気にして、不可能に近い数字を掲げており、達成率などという数値ばかりが大手を振ってまかり通っている。もともと上質な文化を提供すべき機関が人気投票ではあるまいし、入場者数に一喜一憂する必要など初めからないのである。

【丸山 結香 委員】

美術館を「ものづくりの新潟」復権のための人材育成の場に！
仕事柄、長年県内の製造業で働く若い技術者の育成に関わっているが、残念なことに全般的に彼らの発想力や創造（想像）力、応用力が低下してきているように感じてならない。最近では、世界的に評価されるような創造的な製品づくりをしている技術者や企業が注目されているが、それはほんの一部でしかなく、業界全体から見ると危機感さえ覚える。その原因として考えられることは、彼らが育ってきた環境である家庭、学校、世間において、問われる（考える）ことが少なくなったことと、創造的なホンモノを目にする機会が激減しているからではないか。今や日本を追い越し、モノづくりをリードする韓国の半導体や家電の技術者は、時間を見つけては美術館に足を運ぶという。そこで、ホンモノの創造物に触れ、対話し、吸収して自らの創造力を高めている。
ただ、「美術館に行こう！」と掛け声をかけても何もならない。モノづくりの人材育成に関わる組織や県の部局など異業種と連携し、人材育成プログラムとシステムなどの企画開発も県民の美術館としての役割ではないだろうか。

【日諸 博美 委員】

評価シートに美術館側が抱いているストーリー（意図）が見えるように工夫したい。
例えば、23年度評価シートの「教育普及等関連事業」の分野で2つの美術館のシートを見てみる。
県立近代美術館のシートでは、分野の「単年度目標」が1本で、「教育普及に関する参加率を…」とあり、その単年度目標実現のための取組（具体的な方策）が4本。この4本の取組一つ一つが、単

年度目標達成のための方策として、適切なものであるかどうかは別にして、意図・ストーリーが読み取れるものとなっている。

「4本それぞれの取組を実施することにより、単年度目標が達成できると意図（考えて）している、ストーリーを考えているのだな」と理解することができ、評価もしやすくなる。

同様の視点で、県立万代島美術館のシートを見ると、「分野の単年度目標」が3本あり、それぞれの目標を達成するための「単年度目標実現のための取組」が記載されているが、目標と達成のための手立ての関係（ストーリー・意図）が読み取りにくい。もし、この計画が進めるのであれば、それぞれ3つの「単年度目標」が「中期目標」の①～⑥のどの目標実現のための「単年度目標」であるのかを明示する必要がある。単年度目標の1つ目「館外人材を活用した…」は、①～⑥のどの「中期目標」の実現につながるのか、同様に2つ目の「展覧会に関連した学習に…」は、どの「中期目標」というように、それぞれのつながりにストーリー性（意図）が見えるものであるのか、疑問が残る。

「評価シート」活用の目的は、あくまでも「中期目標（社会的使命の具体像）」を達成・具現するためでなければならない。

【須佐 尚子 委員】

2年間、県立近代美術館協議会委員として、会議に出席し、美術館運営を内側から知る機会を与えていただき、感謝しています。美術館の存在そのものが身近に感じられるようになったのは、館長を初め、館の運営に携わる方々の熱意と努力を肌で感じる事が出来たからだと思っています。

そこで、私は、「この与えられた2年間で自分が具体的に何が出来たか」ということを自問しています。実を言うと、高等学校長としては、何の役にも立ちませんでした。

日頃から、長岡造形大学を含む、地域の文化施設との連携が密になることも、美術館の活性化や文化に親む次世代の育成の一助になると考え、発言してきました。

そこで、3月の長岡造形大学の保護者会三役会議で、「県立近代美術館協議会委員として、美術館と関わる機会があった。美術館関係者の皆さんの努力が非常によく分かった。しかし、美術館側から見た場合に、長岡造形大学からの美術館へのアプローチが見えない。美術館観覧補助等、保護者会の会費に組み入れてほしい。4月に近代美術館協議会がある予定なので、美術館側から見ると実行してほしい」とお願いしました。

その後、長岡造形大学保護者会役員会で、大学側は、時間の無い中で、平成24年度事業計画並びに予算に、「近代美術館利用補助」として何十万円かの予算を助成費に組み込んでいただきました。学生への支援の形については、今後、県立近代美術館と調整予定との説明もありました。県立歴史博物館に関わる立場でもある保護者が、その新規事業についての発足を含み経緯についての説明を求め、説明を聞いた後、「近美、やるなあ」という感想を漏らしていました。その発言を聞いて、自分が素人考えで無理なことをお願いしたのだということを痛感すると同時に、館長を初め、皆様の努力がこのような場面で報われたようで、とても嬉しかったのが本心です。

そこで、今回の大学との連携を、上記の内容がくみ取れる形で具体的な文字に表現して、どこかに記していただきたいというのが、私の最後のお願いです。

【丸田 洋一 委員】

本書における私の担当分野は「環境・施設」だが、昨年と同様に予算の獲得が最も大きな取組のポイントとなっている。だが、現状では予算が大幅に増額されることは考えられない。では、方策はないのか。

両館の企画展示事業には、「県単独事業」と「実行委員会方式」

新潟県美術品収集委員会

があるが、企業、団体等の第三者と協力して行う「実行委員会方式」で収入を増やし、館独自で使える予算を組むことはできないものか。県の予算とは切り離し、自由裁量を認める予算を積み立てる等の方策も是非検討していただきたい。

【高橋健太郎 委員】

私は、「美術館」が多くの県民にとって、どういう存在なのかという素朴な疑問を持っています。意識の中に、その存在すら無い人々には、どのような企画展も意味を持ち得ません。来館者に向けたアンケートは、常々、実施されていますので、「美術館」の存在を認知している人の動向は、ある程度、知ることが出来ます。是非、一度、次のようなアンケートを県全体で、実施してもらいたいと考えました。

「1、昨年、美術館に行ったことがありますか?」「2、昨年、県立近代美術館に行ったことがありますか?」。この二つの質問です。

もし、昨年、県立近代美術館はもとより、美術館そのものにも一度も行ったことがないという人が大多数を占めていても、悲観的になることはありません。まだ、取り込む余地のある人たちが大勢いるということだからです。

美術館に来てもらうための手段はいろいろと考えられます。誰もが知っている作品や作家を扱う企画展も一つだと思いますし、協働事業として全く異なる分野の人たちと事業を行うことも一つです。本当に「きっかけ」は何でも良いと思います。

県立近代美術館には、美術館を知る「きっかけ」を色々な方たちへ提供し、新しい発見や楽しみ方を県民の皆様へ提案してもらいたいと思います。

美術館が好きな人の裾野を広げ、10年後、20年後に美術館が更なる飛躍を遂げることを期待します。

【上原みゆき 委員】

県立近代美術館協議会委員の在任中、精力的に両美術館の企画展、常設展を見て回った。正直なところ、居住する上越市から出かけていくには遠いこともあり、大変な面もあった。しかし、それをはるかにしのいで、いずれも行っただけの価値のあるものだった。一度出かけてみさえすれば、両館には周囲の雰囲気も含めて多くの人は必ずやリピーターになるだけの魅力がある、と美術館に通いつめた者として断言したい。

問題は、比較的遠方からの来訪者をどう確保するかだと思う。広報が重要であることは言うまでもない。その他についても、この点について常々いろいろと考えているが、実現が可能であろうと思われることから具体的に2点述べておきたい。1つは、巡回ミュージアムによりいっそう力を入れること。両館の存在や価値を実際に広く知ってもらうために極めて有効であると思う。もう1つは、小・中・高等学校の修学旅行時に来訪してもらうこと。この年代で美術館に訪れた経験は、時間はかかるかもしれないが必ず後になって生きる。何よりも、子どもたち自身にとって、すばらしい経験となる。

この協議会委員を務めたことにより、実に多くのことを学ぶことができた。それらを活かしつつ、これからも熱心に両美術館に通いたい。

【委員】

宮田 亮平（東京藝術大学学長）＊欠席

◎草薙奈津子（平塚市美術館館長）

本江 邦夫（多摩美術大学教授）＊欠席

前川 公秀（佐倉市立美術館館長）

柳原 正樹（富山県水墨美術館館長）＊欠席

松本 透（東京国立近代美術館副館長）＊欠席

郷 晃（新潟大学教授）

◎は委員長。宮田亮平委員長が欠席のため、草薙奈津子委員が代行した。

【日程及び内容】

平成23年度「新潟県美術品収集委員会」

日程：平成24年1月27日(金)

内容：(1)平成23年度美術品収集について

① 収集候補の全体説明

② 収集候補の内覧

③ 収集候補作品の協議

(2) その他

新潟県立美術館友の会

新潟県立美術館友の会は、新潟県立近代美術館開館の翌年、平成6年4月8日に「新潟県立近代美術館友の会」として発足。平成15年、新潟県立万代島美術館の開館にともない2館共通の友の会組織となり、「新潟県立美術館友の会」と改称した。会員582名。

広く美術を愛する人たちを中心として、美術館の活動及び運営に協力するとともに、美術を通じて教養を豊かにし、会員相互の親睦を深め、芸術文化の普及、向上を図ることを目的として活動している。

●会費・会員

一般会員	一般	¥4,000	463名
	後期	¥1,000	11名
	学生	¥2,000	4名
ファミリー	会員	¥10,000	71名
特別会員	個人	¥30,000 (一口)	1名
	法人		32名
計			582名

●会員の特典

- ・会員証による常設展の無料観覧
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展で使用できる無料観覧券の配布
- ・企画展図録の割引
- ・近代美術館、万代島ビル内のレストランの割引
- ・友の会会報、美術館便り等の配布
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展開場式への参加

●役員体制

会 長	丸山結香	
副会長	櫛谷一代	小林新治
理 事	伊藤英之	小栗俊郎
	澤 秀一郎	中村正実
		丸岡 稔
監 事	大矢総一郎	堀井一明
代議員	阿部美恵子	石丸雨虹
	大平 剛	尾崎 正
	恩田里士	片野トク
	近藤フジエ	斎藤英世
	佐藤節子	佐藤嘉信
	田嶋晴美	田中弘邦
	土屋蔵三	豊野玉枝
	永井正二	原 和彦
	真壁浩司	舛岡武雄
	山本正明	若月昇治郎
顧 問	徳永健一	豊口 協
		平山征夫
事務局	事務局員	佐藤 和子

●事業内容

- ◇5月28日 代議員会 会場：近代美術館会議室
- ◇5月28日 交流会 会場：近代美術館会議室
- ◇6月3日～26日 CREATION Project2010 160人のクリエイターによる履くアート HEY! SHOES 会場：朱鷺メッセ アトリウム
- ◇7月10日 友の会サミット 会場：新潟県立歴史博物館 主催：新潟県内博物館等友の会連絡会
- ◇8月12日～8月18日 「子どもアートミュージアム」ヘワークショップの企画で参加（「新聞紙でつくる一小さな人たちの住む世界」）会場：近代美術館ギャラリー
- ◇8月24日 東京日帰り研修旅行「大英博物館古代ギリシャ展」と「ワシントンナショナルギャラリー展」（新潟日報美術鑑賞ツアーと共催）
- ◇9月16日 「キャンドルナイト@KINBI」への協力
- ◇10月1日 写生会 会場：近代美術館 講師：小林新治副会長
- ◇10月15日 撮影会 会場：近代美術館 講師：上松和義会員
- ◇10月22日 写生会 会場：朱鷺メッセ 講師：櫛谷一代副会長
- ◇10月29日～11月6日 「第15回友の会作品展」 会場：近代美術館ギャラリー
- ◇11月5日 「長岡市大手通フリーマーケット」へ出店参加
- ◇11月19日～11月27日 「第13回亀倉雄策賞受賞展JAGDA新人賞作家展」への協力 会場：近代美術館ギャラリー
- ◇平成25年3月24日 友の会会員の集い 第1部 交流会 会場：近代美術館会議室、第2部 美術講演会 会場：近代美術館講堂 講師：石原宏会員（長岡造形大学教授）

- ◇友の会だよりの発行
- ◇近代美術館内レストラン「広告塔」を会場とした会員のミニ作品展を通年開催
- ◇友の会園芸部 第2・4木曜
- ◇ミュージアムグッズの販売 近代美術館、万代島美術館のミュージアムショップにて、グッズを委託販売
- ◇近代美術館で開催される展覧会のポスター発送作業への協力
- ◇「新潟県内博物館等友の会連絡会」加盟団体との連携

沿革

《新潟県立近代美術館》

昭和63年度予算で美術館建設調査費計上

昭和63年12月

「新潟県美術品収集基金条例」制定

平成元年10月

新潟県美術館建設基本構想を策定

平成2年3月

新潟県美術館建設基本計画を策定

平成2年3月

県立近代美術館建設の設計者選考方式を指名設計競技（コンペ）に決定

平成2年3月

指名設計競技の参加設計事務所5社を決定

平成2年7月

県立近代美術館建設指名設計競技審査会開催
㈱日本設計の作品が入選

平成2年8月

設計業務の委託を㈱日本設計と契約

平成3年2月

県立近代美術館建設の実施設計策定

平成3年5月

県立近代美術館建設工事入札

大成・吉原・小杉特定共同企業体等が落札

平成3年7月

県議会で建設工事の契約承認

平成3年7月

新潟県立近代美術館の建設着工

平成4年12月

県立近代美術館建設本体工事完了・引き渡し

平成5年3月

新潟県立近代美術館条例公布

平成5年4月

新潟県立近代美術館発足

平成5年7月

開館

《新潟県立近代美術館万代島美術館》

平成12年8月

新潟県新美術館基本構想を発表

平成13年2月

新潟県新美術館基本計画を策定

平成13年4月

新潟県新美術館開設準備室発足

平成14年8月

新美術館の名称を一般公募により「新潟県立万代島美術館」と決定

平成15年3月

朱鷺メッセ万代島ビル竣工

平成15年4月

新潟県立近代美術館万代島美術館発足

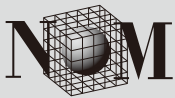
平成15年7月

開館

平成23年度
新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館 年報

編集 新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館

印刷 株式会社中央印刷
発行 平成25年3月25日



THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

The Niigata **Bandaijima** Art Museum